ることを大衆に豫告し、勞働者の益々多數を武裝させ、國民黨と國民政府を眞實の革命の途へ進ましめなければならなかつた。然るに、中國共產黨の中央委員會と、中央委員會政治局は右の如き指令を遂行しなかつた」。

中國共產黨の日和見主義的指導部の具體的な誤謬を指摘しつゝ、コミンテルン執行委員會は「(支那の)黨の中央委員會がコミンテルンの指令を回避した今日では、コミンテルン執行委員會は中國共產黨員に向ひ、中央委員會の日和見主義に對して鬪爭せよと公然呼び掛けることを自己の革命的義務と考へる」といふ問題を率直に提起した。此の歷史的決議に於て黨に提示された具體的な任務は、中國共產黨が舊指導部の誤謬を是正し、眞のボリシェヴィキー化の道に立つべき基礎であつた。

右翼的指導部を除いて農業革命展開の標語を掲ぐるに至つた中國共產黨八月會議は、中國共產黨の發展途上の轉機であつた。中國共產黨は一九二五年から一九二七年に至る革命に於て舊指導部が犯した誤謬から敎訓を汲み取り、既にソヴィエトの旗の下に行ふべき新しい鬪爭に備へつゝ反動に對する鬪爭の裡に强化されて行つた。

トロツキー＝ジノヴィエフ反對派が其の「左翼的」言辭を弄して特に是を手品の種に使つた支那に於けるソヴィエトの問題は、此の問題に對して其の支那に關する論說の大部分を捧げたスターリンに依つて極めて廣汎且全面的に分析し盡されてゐる。此の時期に於ては、コミンテルンはスターリンの指導の下に「標語變更の問題、廣汎な大衆を新しい革命的立場に導く手段方法の問題、自己の政策に依り、自己の行動に依り、又時期の選擇を誤まらずに或る標語を他のものに取り代へることに依つて、廣汎な大衆が自己の體驗に基いて黨の方針の正しさを理解するのを援助するといふ問題」(スターリン)に就き、レーニン主義の最も重要な戰術原則を適用したのであつた。

「若しも最近に於て——と此の時期に、スターリンは言つた——必ずしも二ケ月以內でなくとも、半年の間でも一年の間でもよいが、革命の新しい昂揚が事實となつたなら、勞働者農民代議員のソヴィエトを組織するといふ問題は、當面の標語として又プルジョア政府に對する對衡物として、當面の問題たり得るであらう。何故にか？革命發展の現段階に於て革命の新しい昂揚が起つて來たといふ諸條件下に於ては、ソヴィエトの結成が全く焦眉の問題となるであらうからである。然し、先程、卽ち數箇月以前には、支那共產黨員はソヴィエト結成の標語を掲げては好くなかつたのだ。何故ならば、それは恐らく我々の反對派に特有の冒險主義であつたからである。何故となれば、國民黨の指導部は未だ革命の反對者たることを暴露して信用を失墜してゐなかつたからである。今日は、是に反し、若し(然り、若し！)最近に於て新しく且强力な革命的昂揚が展開されるならば、ソヴィエト結成の標語は眞に革命的な標語となり得るであらう。故に、未だ昂揚の現れない今日では、現在の國民黨の指導を革命的指導に取つて代らせる爲に鬪爭すると共に、先走りすることなく、今直ぐソヴィエトを結成することなく、又ソヴィエトはたゞ强力なる革命的昂揚の諸條件下に於てのみ成功し得るものであることを理解して、廣汎な勤勞者大衆にソヴィエトの理念を廣く宣傳すべきである」(註)。

(註) スターリン「反對派に就て」六三四—六三五頁。

全聯邦共產黨中央委員會及び中央統制委員會の八月總會が採擇した國際情勢に關する決議の一部は、一九二五年から一九二七年にかけての支那革命を初めて總決算し(註)其の今後の發展の途を指摘してゐる。

(註) 一九二八年のコミンテルン第六回大會の決議中では一九二五年乃至一九二七年の支那革命の敎訓に一層多くの注意が割かれてゐる(其の一部は他のソヴィエト革命を論じた文獻と一緒に本書の第三部に收められてゐる)。

一九二七年八月の南昌叛亂と、共產黨員葉挺及び左翼國民黨員賀龍(此の時代に中國共產黨に入黨し、現在は赤軍司令官の一人)麾下の國民革命軍の最も戰鬪的な部隊が行つた汕頭への進擊は、武漢の地域を新しい反革命軍の地域に轉化させ嘗つての國民革命軍を新しい反革命軍に轉化させた武漢の左翼國民黨指導者の裏切後に於ける、革命の新しい地域的據點と新しい武力を創設せんとの企圖であつた。

正に此の歷史的瞬間に於て、スターリンはソヴィエト樹立の任務を實踐的に提出したのである。「……南支の革命運動——と、コミンテルンが『新しい國民黨』を作るかの如く主張する醜惡なトロツキー主義者の法螺に答へてスターリンは言つた——葉挺及び賀龍の軍隊の武漢引上げ、其の廣東省への進擊、農民の革命運動と同軍隊との合流等……は中國共產黨が口火を切つて始まつたのである。トロツキーは此の事を知つてゐるのか？總じて何かを知つてゐるとすれば、彼は正に

此の事をも知つてゐる筈だ。若し此の運動が成功し、若し支那に於ける革命の新しい昂揚が事實になるとすれば、何者が此の運動の先頭に立つべきか？ 勿論ソヴィエトである。嘗つて國民黨全盛の時代にはソヴィエト卽時樹立の好條件が存在しなかつたとしても、國民黨が物笑ひの種となり反革命と手を取つて信用を失墜した今日では、此の今日に於ては、ソヴィエトが運動の成功につれて支那の勞働者農民を自己の周圍に集結する基本的な勢力と成り得るし、又事實さうなるであらう。ところで誰がソヴィエトの先頭に立つべきか？ 勿論、共產主義者である」（註）。然るに、未だ過去の誤謬を全然脫し切らず、種々なる點で左翼國民黨員（其の殘黨は共產主義者と一緒になほ鬪爭を續けてゐた）の影響下にぐづぐづしてゐた中國共產黨員等は、廣汎なる大衆と緊密に結合することが出來ず、農業革命展開の標語を掲げることも出來ず、結局此の進擊は敗北に終つた。賀龍に率ゐられた國民革命軍の殘黨の敗殘部隊は廣東省の農村に四散し、今日は既に全然新しい標語を掲げて農民の組織に大活動を行ひ、是を新しい鬪爭に引き上げ、支那の南方諸縣に於ける、後のソヴィエト權力の最初の根源地を建設した。

（註）スターリン「反對派に就て」七〇九―七一〇頁。

然し乍ら、支那全土に亘つては、既に反動時代が、プロレタリアートと農民の優秀な勢力を、中國共產黨の活動的な鬪士達を剿滅した前代未聞のテロルの時代が襲來してゐた。帝國主義とブルジョア地主と國民黨との反動聯合勢力の重壓下に、革命の波の凋落が始まつた。支那のプロレタリアートは共產黨の指導下に、革命を新しい更に高度の段階に引き上げやうとして此の過渡期では最後の英雄的な企てを行つた。一九二七年十二月十一日、支那革命不變の兵器庫たる廣東では、一九二五年乃至一九二七年の支那革命の後衞戰となつた廣東叛亂の揭げる革命の新しい段階の旗が――ソヴィエトの旗が飜つたのである。此の叛亂は反動に依つて鎭壓されたけれども、是は支那史の新しい時代を、ソヴィエト革命の時代を開いたものであつた。

一九二五年から一九二七年へかけての支那革命は自己の任務を遂行し終らなかつた。是は其の遂行を新しい一層高度の段階に、卽ちスターリンが既に一九二五年乃至一九二七年の革命の行程に於て豫見したソヴィエト革命の段階に讓つたのであつた。「若し第一段階の特徴を――とスターリンは述べた――革命の矛先が主として外國の帝國主義に向けられた點にありとするならば、第二段階の特徴は、革命が其の矛先を主として國內の敵に、何よりも先づ封建分子に、封建制度に向けたといふ事實にある。では第一段階は外國の帝國主義打倒といふ任務を遂行したか？ 否、遂行しなかつた。第一段階は此の任務を支那革命の第二段階に遺贈した。第一段階は革命的な大衆を帝國主義に對して初めて覺醒させたのみで、其の事業を將來に讓つた。とは言へ、第二段階も帝國主義者放逐の任務を完全に遂行し得ないであらう事を知らなければならぬ。第二段階は、支那の勞働者農民の廣汎な大衆を層一層帝國主義に對して蹶起せしめるであらう。然し、第二段階は此の事業の完成を支那革命の次の段階、卽ちソヴィエトの段階に讓る爲に是を行ふであらう。……支那革命の第二段階に於て農業革命が完全に成功しないからと言つて、革命の第二段階が何百萬の農民大衆を蹶起させ封建的殘滓に立ち向はしめながら、此の事業の完成を革命の次の段階に、ソヴィエトの段階に讓るからと言つて、少しも驚くには當らないであらう。是は支那に於ける將來のソヴィエト革命にとつてはプラスであるに過ぎないであらう」（註）。

（註）スターリン「反對派に就て」六五六――六五七頁。

英雄的な廣東叛亂を以て始まる支那のソヴィエト革命に於けるコミンテルンの戰略と戰術は、本書の第三部に收めた諸文獻に明かである。

一三　コミンテルン執行委員會第八回總會（一九二七年五月）

一　支那問題に關する決議

本決議は一九二七年五月三十日採決されたもの。

支那革命の意義

コミンテルン執行委員會總會は、最近の諸事件がコミンテルンの支那革命に關する觀點の正しさを證明し、支那革命の國際的役割に關するレーニンの豫言の正しさを美事に證明したことを確認する。

支那大革命は愈々益々國際帝國主義の全體制と其の諸々の主要な世界的樞軸に對抗する極めて重要な要因となりつゝある。

故に、社會民主主義とアムステルダム・インターナショナルの政策、卽ち支那革命の意義と帝國主義的干涉の意義とを曖昧にする政策、支那革命に對する死刑

執行的戰爭の直接的な是認に直に移行するところの、野狐禪的な標語と平和主義的小刀細工の政策は、帝國主義への直接的な援助である（トーマやマクドナルドの一味が是である）。

コミンテルン執行委員會は、帝國主義者の支那國民に對する反革命的、絞殺者的な戰爭、支那に於ける帝國主義國の軍隊の集結（外國の軍艦、歩兵、日本軍に依る滿洲の事實上の占領、イギリス及びアメリカに依る最も重要な港灣の事實上の占領等々）が、ソヴィエト聯邦に對する挑發的行動と、現發展段階に於て統一されてゐる帝國主義的反支戰線の內部に於ける重大な紛爭の成熟とを伴つてゐるが故に、支那革命の大なる國際的意義が愈々益々增大しつゝあることを確認する。

故に、戰爭の思想的準備に積極的に參加してゐる社會民主主義の醜惡な一般的な役割に依つてのみ、其の社會帝國主義を隱蔽する社會民主主義のブルジョア平和主義に依つてのみ、支那革命の問題に於ける社會民主主義と、アムステルダム・インターナショナルの指導者共の、具體的な立場を明かにすることが出來るのである。

自ら勞働者的と稱し乍ら、支那に於ける干涉に對して最も決定的な鬪爭を行ふ事なく、勞働者階級の緊張感を鈍らせ、此の問題に於て消極的態度を採るべしと宣傳する政黨其の他の團體は、客觀的に（時としては意識的に）帝國主義者を援助してゐる者であるとコミンテルンは思料する。彼等は支那の勞働者や農民を絞殺する事業に於て、又是に依つて帝國主義の體制を强化する事業に於て帝國主義者を援助してゐるばかりでなく、ソヴィエト聯邦に對する帝國主義者の戰爭準備や世界戰爭一般の準備をも支持してゐるのである。

コミンテルン執行委員會は其の全支部に對し、大衆を動員し軍隊武器等々の輸送に對する大衆的反對運動を組織することに依り、支那革命に對して最も積極的な支持を與へ支那に於ける干涉に對する最も積極的な鬪爭を爲すべき義務を課する。コミンテルン執行委員會は其の全支部に對し、プロレタリアートと勤勞者一般の最も廣汎な大衆に對して、支那革命の國際的な意味と意義を、支那に於ける反革命的干涉と新しい戰爭との、第一にソヴィエト聯邦に對する戰爭との、勞働者階級に對する各國內での攻擊（イギリスに於ける勞働組合法案、フランスに於ける軍事立法、イタリアに於

けるファシストのテロル等）との關聯を說明すべき義務を課する。

コミンテルン執行委員會は、是と共に、帝國主義者と其の政府に對する積極的な反對運動の途上で、一步毎にサボタージュしつゝある社會民主主義とアムステルダム・インターナショナルの政策を暴露する爲に、執拗な活動を行ふ必要があると思料するものである。

支那に於ける民族革命運動の危機と新しい情勢

コミンテルン執行委員會は最近の（第七回）擴大總會に於て行はれた革命の推進力の評價の正しさを、支那革命の諸事件の行程が證明したことを確認する。殊にコミンテルン執行委員會は、統一民族革命戰線から必ずやブルジョアジーが脫落し反革命側へ移行するであらうといふ第七回擴大總會の豫想の正しさを、諸事件の行程が完全に證明したことを確認するものである。

「此の過程は、蔣介石等一聯の將軍達の反革命クーデターや、南京政府の樹立と國民黨の旗の下に獨自の反革命團體を組織した右翼國民黨員の離脫に現れた。

蔣介石のクーデターは支那に於ける新しい一般的政治情勢と國內の基本的、階級的勢力の新しい配置とを生んだ。蔣介石のクーデターは諸階級の決定的再編成を意味する。故にコミンテルンの戰術は正に此の新情勢から搖き直さなければならぬ。

蔣介石又は右翼國民黨との妥協を考慮に入れて戰術を立てやうとする一切の企ては、蔣介石への完全な降伏と支那革命の利益への公然たる裏切以外の何物をも意味しないであらう。

ブルジョアジーの叛逆と其の軍事指揮官たる蔣介石の裏切との主要な原因は、一方では勞働者階級と農民との發展し行く大衆運動及び中國共產黨の成功であり、他方では、國際帝國主義の聯合勢力の增大し行く壓力であつた。革命的、階級的要求を揭げる大衆運動の發展に恐怖した民族ブルジョアジーは、革命鬪爭の今後の發展を帝國主義者や軍閥に賣渡す方が良いと考へざるを得なくなり、此の方を好んだのであつた。是に依つて民族ブルジョアジーは民族革命戰線から離脫し、反革命の陣營に走つた。「部分的な敗北と蔣介石一味の反革命にも拘らず、革命は更に高度の段階に移つた。ブルジョアジー、小ブルジョアジー、農民、プロレタリアート等のブロックは崩壞してプロレタリアートと農民と小ブルジョアジーとのブロックに轉化し始め、

而もプロレタリアートの指導的役割は益々大きくなつて行つたのである。」

支那革命の發展に於ける此處迄の段階は、二つの陣營の、卽ち一方では外國帝國主義、封建軍閥及び大ブルジョアジーの買辨層の陣營、他方では民族的、革命的ブルジョアジー、農民、手工業職人、勞働者の陣營の存在を其の特徴としてゐた。此の段階は、民族ブルジョアジーを分離させ、是をプロレタリアと手工業職人と農民との「左翼ブロック」に對立させて、二つの陣營を三つに轉化させる傾向を持つてゐた。

現在は正に此の三つの陣營の存在を其の特徴とする。蔣介石は既に勞働者や農民を射殺したが、なほ一方では北方の軍閥と戰を交へてゐる。

然し乍ら、大ブルジョアジー（蔣介石や白崇禧の一味を首領とする）が必然的に、愈々益々封建的反動や外國の帝國主義者に接近して行く限り（而も此の過程は促進されるであらう）、闘爭の全論理は此の三つの陣營を二つに、而も全く新しい二つの陣營に轉化させる。

「支那革命の危機と社會階級的勢力の今日に於ける結合狀態は、封建制度に對するブルジョア民主主義的革命（農業革命を含む）の完成と更に帝國主義に對する闘爭の完成が、反革命的となつたブルジョアジーに對する闘爭に於てのみ、實現されることを示し又證明してゐる。徹底的な民族解放闘爭は勞働者農民の大衆運動の發展又は農業革命の要求と衝突しないばかりでなく、帝國主義の直接的な打倒に向ふ廣汎な國民下層階級の大衆運動の發展を直接的に豫定するものである。」

コミンテルン執行委員會は、既に過ぎ去つた革命の段階に於ける民族ブルジョアジーとのブロック戰術が完全に正しいものであつたと思料する。此の戰術が正しかつたことを歷史的に證明するものとしては、北伐唯一つを擧げても好いであらう。北伐は到る處に於て勞働者農民の大衆運動の成長を、勞働組合、農民組合、農民委員會の成長を、最後に中國共產黨の成長を隨伴したのである。

コミンテルン執行委員會はまた、幹部會が同時に、蔣介石の暴露や、政府及び國民黨の機關に於て最も重要な戰略的地位を獲得すべきことや、右翼國民黨員孤立化方針や、大衆に食ひ入るべきこと等々の指令を發したことは正しく行動したものと思料する。

同じやうに、コミンテルン執行委員會は幹部會が蔣介石のクーデター直後に採り、クーデター直後に公表

された コミンテルンの檄に初めて示された態度を是認するものである（註）。

（註）本書、一六五頁參照（編輯者）。

「コミンテルン執行委員會はもう一度强調する、蔣介石のクーデターと、是に現れてゐる根本的な階級的再編成は、民族革命運動を裏切り積極的な反革命的勢力となつたブルジョアジーとの聯携、妥協又は協定を排する今後の全戰術の出發點である、と。」

コミンテルン執行委員會は、支那革命の「內部的」問題に於ける、社會民主主義とアムステルダムの方針は支那に於ける帝國主義の政策に對する彼等の態度から直接的に流出するものであるといふことを確言する。「左翼」社會民主主義者共は、口先丈では上海勞働者を「擁護」するが、實際上では萬里の長城を以て社會主義革命とブルジョア民主主義革命とを分離し、支那共產主義者の前衞に對して闘爭しつゝ、民族革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニーを攻擊し、從つてブルジョア帝國主義的ブロックの勝利の爲に盡してゐる。官許社會民主主義とアムステルダムは、愈々益々蔣介石支持の方向を、反革命が革命的勞働組合に代へる爲に作らうと努めてゐる黃色「勞働」組合との提携の方向を取りつゝある。支那の民族革命運動を分裂させたと共產主義者を非難しつゝ（右翼社會民主主義者）、或は又支那プロレタリアートの獨自的利益の擁護が不充分であつたと嘘八百を並べて中傷し乍ら（「左翼」社會民主主義者）、國際メンシェヴィズムは實の處、外國帝國主義のみならず又其の支那に於ける手先——勞働者階級に對する死刑執行人たる南京の惡黨共の直接の同盟者となつてゐるのである。

支那革命の部分的敗北と主要反革命勢力

コミンテルン執行委員會は、一聯のブルジョア反革命クーデター（上海、南京、廣東等々）が支那革命の部分的敗北と反革命ブロックの力の一定の增大の印であることを確認する。

「然し乍ら、コミンテルン執行委員會は此の敗北が革命の全運命にとつて決定的なものであるかの如く考へる見解は間違ひであると思料する。」

此の見解は帝國主義勢力から切り離して見た支那ブルジョアジーを革命の根本的な脅威と見、同時に勤勞大衆の强大な自然發生的な運動を過小評價してゐる點で既に誤つてゐる。

一切の手段を弄し、民族革命戰線の動搖分子中に自

己の手先を持つてゐる國際帝國主義の力に依つて、若し主要な反革命の據點が支持されなかつたら、蔣介石の全勢力は勝ち誇る革命軍に依つて蹂躙されたであらう。

コミンテルン執行委員會は其の全支部に對し、支那の最も重要な產業中心の殆ど全部を事實上占領してゐる帝國主義の軍隊こそ、支那に於ける主要な反革命勢力であるといふ基本的な事實を、勞働者階級と農民に說明すべき必須的な義務を課する。

比較的に劣勢な支那ブルジョアジーは、若し外國の干涉者共に直接的に援助されなかつたなら支那の革命的大衆にとつて大きな脅威となることは出來なかつたであらう。此の外國干涉者共は其の武力を集中し、諸港灣を封鎖し、革命の中心點を孤立させ、反革命軍に財政上の援助を與へ、革命軍を分裂させやうと企て、間斷なき外交的壓迫を加へ、革命政府の領域內に於けるブルジョア的叛亂陰謀家を援助し、外國及び土着ブルジョアジー側からの生產、商業及び信用のサボタージュを組織してゐる、等々。

特に指摘しなければならないのは、勞働者と共產主義者の殺戮の組織を、農民運動の彈壓を、ソヴィエト聯邦の孤立化を目的とする帝國主義者の狂人染みた努力である。

「然し乍ら革命の部分的敗北に對しては、其の一層高度の發展段階への移行、一層猛烈な大衆動員の開始がある。農民運動の成長、叛亂部隊の武力の組織、此の自然發生的に組織された武力が得た裏切者＝將軍達の軍隊に對する一聯の勝利、反革命側からの狂人染みたテロ有にも拘らず勞働者階級の組織が維持されてゐること、共產黨と左翼國民黨の不斷の成長——是等は就れも支那革命今後の發展と深刻化の重大な兆候たるものである。」

武漢政府と左翼國民黨は、其の基本的な傾向より見て都市農村の小ブルジョア大衆とプロレタリアートとの革命的ブロックたることを示してゐる。個々の將軍達や其の一味の、國民黨「左翼」の個々の政治家又は其の一味の、今後有り得べき、否不可避でさへもあるところの裏切にも拘らず、階級鬪爭の發展は必然的に大衆——其の運動は來るべき勝利の保證である——を蹶起させるであらう。

故にコミンテルン執行委員會は支那革命現在の危機

を目して、其の敗北を決定的となし新しい國際情勢を作りつゝあるものと見る淸算派的見解を甚しい間違ひと考へる。本質的に間違つてゐる此の見解は、プロレタリア陣營の解體——コミンテルン及び革命的プロレタリアート側から、意志の斷乎たる一致と行動の一致が要求されてゐる今日、殊に有害な解體——の道具たらざるを得ないのである。

勞働者及び農民大衆の組織と中國共產黨の根本的任務

支那革命の途上に橫はる甚大な困難、先づ第一に帝國主義者の聯合勢力の武力其の他あらゆる方法に依る干涉や、動搖しつゝある社會群の不可避的な裏切と敵陣營への脫走に伴ふ困難は、革命を勝利的に發展させる爲には、尨大な勤勞大衆を鬪爭へ引き入れなければならないやうな鬪爭情勢を生ぜしめてゐるのである。

「此の大衆を積極的な鬪爭に引き入れることこそ、國內の反革命と帝國主義的干涉者共を粉碎し、帝國主義者に依る支那の分割を退け、封建諸關係の殘滓を壞滅させ、ブルジョア民主主義革命を完成し、支那の發展を社會主義の軌道上に移らせる條件を作るところの力を作り上げ得るのである。」

「大衆を鬪爭へ引き入れることは、農村に於ては農業革命を、都市に於ては勞働者階級の日常必要とする處と其の政治的要求を滿足させることを基礎としてのみ可能である。」金持に支拂はれる小作料の全廢、土地の分割、地主、官僚、寺院等の一切の土地の沒收、勞役契約の禁止、高利貸資本に負ふ貧農の負債の棒引き、徹底的減稅と其の重荷の最も富裕な階層への轉嫁等の標語を支那全土、殊に武漢政府の領土に於て實行に移し、大衆をしてブルジョアの裏切者と北支の軍閥に對し蹶起せしめねばならぬ。

土地の沒收と國有を含む農業革命——是こそ支那革命の新段階の基本的な、內的な、社會經濟的內容である。基本的なのは、今日、何千萬何億の農民自身に依つて、下からなさるべき農業問題の「平民的な」革命的解決であり、共產黨は運動の先頭に立ち、是を指導しなければならない。」是に就ては共產黨は政府部內に於ても、政府自體からも行はれる農業革命の展開を助成すべき政策を遂行しなければならぬ。此の事のみが發展の現段階に於ては當該政府を、眞に勞働者農民革命の組織的、政治的中心に、プロレタリアートと農民の革

命的民主主義的獨裁の機關に轉化させ得るのである。他方、斯くして下からと上からとの兩方面から行はれる政策に基いてこそ、眞に賴むに足る軍隊を創建し全軍隊を確乎たる革命的基礎の上に再組織することが出來るのである。

都市に於ては、勞働者大衆の物質上の地位の向上、彼等の工場內及び一般社會生活上の法律的地位の改善、勞働者を理不盡極まる「身分」に陷れてゐる一切の法令の徹底的廢止、八時間勞働制の標語の實行、勞働賃銀の値上、勞働者の團結權の承認等に努力しなければならぬ。

是と同時に、勞働者と農民、先づ組織された最も意識の高い勞働者と農民の大衆的武裝の政策を、急速に果敢に決然として實行しなければならぬ。此の政策は斷乎たる不撓不屈の意氣を以て遂行しなければならぬ。

コミンテルン執行委員會は、直接的に又左翼國民黨員と協力して、大衆の動員と組織方面に最も精力的な活動を行ふ爲に、中國共產黨は全力を傾けるべきだと考へる。最も精力的に活動して勞働者を黨に加入させること、都市に於ても農村に於ても勤勞大衆を國民黨（是は出來得る限り急速に廣汎な大衆團體に轉化させねばならぬ）に加入させる爲に最も精力的に活動すること——是が現在に於ける中國共產黨の主要な任務である。」

コミンテルン執行委員會は、中國共產黨が勞働組合、ストライキ委員會、工場委員會、勞働者自衞團、農民委員會、農民組合、農業勞働者團體、武裝農民自衞團、都市の小ブルジョアジーや小手工業者や家內工業者の團體等の勞働者農民の一切の大衆的な組織を、あらゆる方法を用ひて强化擴大する必要のあることに充分な注意を拂ふべきことを要請する。是等の全團體に於ては、國民黨へ加入せよといふ宣傳を行ひ、國民黨をして革命的小ブルジョア民主主義と勞働者階級の强力な大衆團體に轉化させねばならぬ。

コミンテルン執行委員會は民族革命の任務をプロレタリアートの階級鬪爭の任務に對置させることに斷乎として反對する。思ふに、ヨーロッパの極左派や社會民主黨內に存在する此の種の對置は、支那の民主主義革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニーを拒否すること、勞働者の職場主義のために拒否することに他ならない。この職場主義なるものは政治的には日和見主義の變種の一であり、プロレタリアートを民主主

義陣營の殿軍に轉化する。實際に於ては、ブルジョアジーが反革命の陣營に移行した後に於て、プロレタリアートは愈々益々全民族革命運動の自他共に許すヘゲモン（指導者、首領）となりつゝあるのである。ブルジョアジーに對する鬪爭に於てのみ完成され得る全民主主義革命の正しき指導者としての勞働者階級の役割を大ならしめることなくしては、支那革命は是以上發展し得ないし、又勝利を得ることが出來ないのである。

共產黨と國民黨

中國共產黨は自ら勞働者階級の前衞として獨自の政治的風貌を、最左翼の小ブルジョア革命家とさへも其の類を異にする政治的風貌を持つてこそ、其の課せられた任務を遂行することが出來るであらう。

共產黨は如何なる政治情勢に於ても決して如何なる政治團體の中にも溶け込んではならぬ。黨は自己の獨立した力を示さねばならぬ。黨は其の國に於ける最も徹底的な、最も革命的な階級たるプロレタリアートといふ獨自の階級の團體である。故に、共產黨は自己の見解の宣傳に於ても、又自己の旗の下に大衆を動員するに當つても自ら拘束を受けてはならぬ。黨は革命的小ブルジョア民主主義の動搖と逡巡を批判する權利を放棄してはならぬ。反對に、斯る批判こそ、小ブルジョア革命家を左翼の方へ押しやり、革命鬪爭に於ける勞働者階級のヘゲモニーを確保するものであらう。

然し乍ら、中國共產黨の獨立性を決して非プロレタリア的勤勞層、殊に農民からの孤立と解してはならぬ。斯る見地よりして、コミンテルン執行委員會は國民黨から脫退せよとの要求、又は事物の本質上必然的に此の脫退に至らざるを得ない態度を採れとの要求を斷々乎として排擊する。當分國民黨からの脫退を必要としない」といふ標語を今日掲げることは、國民黨からの脫退の標語を掲げることゝ同樣に不合理なことである。何故ならば、時局は正に國民黨內に於ける、プロレタリアートの指導的役割の確保をプロレタリア黨に要求してゐるからである。國民黨は支那に於て、正にプロレタリアートが小ブルジョアジー及び農民と直接的に協力し得る、特殊の支那的な組織形態である。今日の情勢に於ては、勞働者階級の政黨たる共產黨が國民黨內に於て指導者の役割を要求することなくしては、プロレタリアートは一國內に於ける指導者の役割を要求し得ないのである。

コミンテルン執行委員會は、革命運動の特殊の組織

形態としての國民黨を過小評價する政策が、其の實は右翼に依る國民黨の旗の掌握に歸するであらうと考へる。蓋し國民黨の旗は此の國に於て極めて權威のある政治的要因であるから、蔣介石を首領とするブルジョア的指導者達は國民黨の旗の陰で仕事をしやうと試みてゐるからである。共產黨の政策は(國民黨脫退の方針を取れば必然的にそれを隱蔽することになるだらう)蔣介石の此の政治的手練手管を隱蔽するに存するのではなく、ブルジョア政治家の本體が民族革命の大業の裏切者であり、國民黨の裏切者であり、孫逸仙主義の反帝國主義的傳統の裏切者であり、帝國主義陣營への脫走者であることを暴露することにあるのである。コミンテルン執行委員會は、民族解放的(反帝國主義的)革命が「始まつた」「終つて」他の、階級的な、農民的、勞働者的革命が「始まつた」とする見解は誤つてゐると考へる。蔣介石のクーデター後、民族解放革命が勞働者階級のヘゲモニーの下に於てのみ發展し得ることは、廣汎な大衆にさへ明かになつて來てゐる。其の故にこそ、國民黨の旗、民族解放鬪爭の旗は、此の鬪爭の裏切者共に渡すことが出來ないのである。

コミンテルン執行委員會は、大衆運動を勇敢に且決然として展開する任務から出發して、中國共產黨はまた、勇敢に且決然として國民黨を都市農村の勤勞人民を包括する大衆的な團體に轉化する爲に努力しなければならぬと考へる。

「コミンテルン執行委員會は、國民黨の直面してゐる任務が其の組織形態を是等の任務に順應さすべきことを要求してゐると考へる。層一層近く大衆と接觸するやうに能ふ限り急速な組織の編成替を行ふこと、勞働者、農民及び手工業職人を大々的に國民黨陣營へ加盟させること、勞働者、農民、兵士及び手工業職人の團體(勞働組合、工場委員會、農民委員會、農民組合、手工業職人の保險團體、兵士の團體、反革命分子を淸掃して農民のパルチザン部隊となつた「紅槍會」、勞働者自衞團等)の抱擁力を大ならしめること、國民黨の上下機關の地方及び中央の指導者は完全な選擧制に依つて選擧すること等々が必要である。」

斯樣にして國民黨を眞に廣汎な、眞に選擧制に基く、眞に大量的な、眞に革命的、民主主義的な團體に發展させるやうに決然たる方針をとつてのみ、支那に於ける民主主義革命の强化と勝利的發展の爲の前提は作り出されるであらう。

斯樣な方針をとつてのみ、左翼國民黨員中の動搖する一派の可能的且必然的な脫落(廣東の例が是であつた)に對する、將軍其の他の軍事指導者の裏切に對する最大の對策は作り出されるであらう。」時を逸せず共產黨は、蔣介石と提携せんとする、又は帝國主義者と提携せんとする一切の動搖を暴露し、煽動や宣傳の方面でも、又組織的對策の方面でも相當の具體的な方策を採らねばならぬ。

○中國共產黨は、自己の黨組織を維持し發展させながら、愈々益々國民黨の活動に影響を與へなければならぬ。中國共產黨はたゞ自己の階級的、プロレタリア的な立場を完全に意識し、自己のイデオロギー的及び政治的コースを堅持し、自己の組織を强化し、勞働者＝共產主義者を自黨の指導に引き附け、廣汎な勞働者及び農民大衆に對する黨の影響力を增大させ、彼等の中で黨の權威を高めることに依つてのみ、此の任務を遂行し得るのである。

コミンテルン執行委員會は、中國共產黨內に於て正に此の點に於ける多くの動搖が見られたこと、黨が國民黨指導者の批判に當つて必ずしも常に充分な堅實さを示さなかつたこと、黨の內部に時としては大衆運動の、殊に土地の收奪、土豪地主の放逐等々を期する農民間の運動の展開に或る程度の恐怖が見られたことを指摘する。

○革命の現段階に於ては特に有害な此の動搖は、中國共產黨員全部が支那革命に於けるコミンテルンの方針を充分に理解してゐなければではないといふ事を示すものである。コミンテルン執行委員會は中國共產黨の全黨員に前記の誤謬と動搖を廣く諒解せしめる必要があると思惟する。此の事無くしては、支那革命の根本的な諸問題に於ける或る程度の動搖の危險は必然的に增大するであらう。○勞働者階級の黨としての中國共產黨は農民運動の先頭に立ち、此の運動の規模を縮少せんとする一切の企てに對し、最も假借なき方法を以て鬪爭しなければならぬ。

コミンテルン執行委員會は、異常な成長をなし既に革命的英雄主義の模範たることを示した若き中國共產黨が、諸事件の極端な複雜さと支那に於ける共產主義運動の若さの結果たることの明かな是等の誤謬を急速に是正するであらうと深く信ずるものである。

コミンテルン執行委員會は、武漢政府を過小評價し、其の極めて偉大な革命的役割を事實上否定する見解は誤つてゐると考へる。武漢政府と左翼國民黨の上層部は、其の階級構成から見ると農民や勞働者や手工業職人を代表してゐるばかりでなく、又中流ブルジョアジーの一部をも代表してゐる。故に左翼國民黨の政府たる武漢政府は、未だプロレタリアートと農民の獨裁ではなく、斯る獨裁への途上にあり、プロレタリアートの階級鬪爭が勝利を得た場合には、其の急進ブルジョア的同伴者を失ひ、多くの裏切を克服し乍ら、必然的に斯る獨裁の方へ發展するであらう。

コミンテルン執行委員會は、中國共產黨は武漢の「臨時革命政府」の活動へ最も精力的に參加しなければならぬと考へる。斯る參加の拒否又は是に對する腰の据らぬ懷疑的な態度は、形の上でこそ頗る「急進的且革命的」であるが、其の實は一九〇五年に於けるロシヤのメンシェヴィキー派の誤謬を繰返すものである。メンシェヴィキー派は當時臨時革命政府に參加することを不可能と考へ、寧ろ「極左翼反對黨」たらんことを欲したのであるが、其の實に於ては自由主義的ブルジョアジーの尻にくつ附いてしまつたのであつた。

メンシェヴィキー派の態度の特徴は、正に彼等が革命政府に參加することを拒否して、反革命聯合に參加したことにあつた。

武漢革命政府への參加は、ヨーロッパに於けるブルジョア社會主義的聯合とは何等共通點を持つものでない。何となれば、武漢は事實上帝國主義者や封建軍閥に對し、而も今日では自國のブルジョアジーの大部分に對してさへ革命的戰爭を行つてゐるからである。

コミンテルン執行委員會は、故に、共產黨は自己の最も近い同盟者をさへ其の不撓不屈の意氣の足らぬことを批判し、政府の政策のコースの正しさを確保しつゝ、中央及び地方の政府機關内で最も精力的に活動しなければならぬと考へる。

コミンテルン執行委員會は、現在は如何なる時にもまして革命政府と人民大衆との最も緊密な聯携が必要であることに、中國共產黨が殊に注意すべきことを要請する。何よりも先づ國民黨を通じて實現されるところの此の最も緊密な聯携に基いてのみ、大衆を目指す搖ぎ無きコースに依つてのみ、革命の組織的中心としての革命政府の權威と其の役割とを愈々益々强化し得るであらう。

中國共產黨の任務は武漢政權の斯るコースを確保するにある。此の任務を遂行することなくしては、大衆運動を展開することなくしては、農業革命と勞働者階級の地位の徹底的な改善なくしては、國民黨を勤勞大衆の眞に最も廣汎な團體に轉化することなくしては、勞働組合を今後益々强化し共產黨を成長させることなくしては、武漢政府と大衆との最も緊密な聯携なくしては、革命を勝利に輝く完成へ導くことは不可能である。

コミンテルン執行委員會は斯る政策のみが共產黨員の政府參加を正當化するものと考へる。此の事無くんば、此の參加は、大々的な階級鬪爭の行程に於て崩壞されてしまふ上層部のみの聯合や政治屋的打算の性質を帶びるであらう。政府内の活動を大衆間の活動と一致させること、而も常に一致させることこそ、中國共產黨の絶對的な義務である。

コミンテルン執行委員會は、國民黨の廣汎な民主主義化、其の中への可及的廣汎な大衆の包容、各種の勞働者農民大衆の組織の最も急速な發展が、現情勢に於ては革命立場から見て合目的であると考へる。直接的に政府の構成部分をなす革命的國民黨の如き獨特の團體を作り出したところの、支那の發展の特殊性を看過してはならぬ。國民黨側からは大衆を廣汎に包容し、是等の大衆側からは黨の指導機關を選出し、選出される此の組織を以て民族革命政府を形成する——是が支那革命の現段階に對應する、勤勞大衆と革命政權間の聯携の特殊な形態である。武漢政府の領土内の各省の夫々趣を異にした狀態は、最初の間、地方政權の各種多樣な組織形態を條件づける（農村に於ける「農民委員會」と「農民組合」の權力、國民黨委員會の權力等々）。地方政權の形成に關する問題に於ける共產主義者の基本的な任務は、其の樹立と其の活動へ尨大な勤勞者群を、何十萬何百萬人の勞働者や農民を參加せしめることにある。

コミンテルン執行委員會は、（武漢の領土内では）ソヴィエト政權宣言の標語は他ならぬところの、勞働者農民代議員のソヴィエトの標語を現在掲げることは合目的でないと考へる。

勞働者農民及び兵士の代議員のソヴィエトを即時樹立せよといふ標語は、支那革命發展の現段階に於ては、必然的に二重權力を、武漢政府の倒壞のコースを、大衆組織と國家權力の國民黨的形態を飛び越え

て、プロレタリヤ獨裁の國家形態としての支那に於けるソヴィエト政權へ直に飛びつくことを意味するであらう。

民主主義革命が社會主義革命へ成長轉化する過程の端緒を示すべき今後の革命の發展途上に於ては、勞働者農民及び兵士の代議員のソヴィエトを樹立する必要があるであらうし、ソヴィエトを作れといふ標語が黨の中心標語となるであらう。

○ コミンテルン執行委員會は又、軍隊の再編成、絶對に眞正な革命軍の創建、軍隊と勞働者農民の諸組織との聯携、軍隊内の幹部の確保、傭兵の軍隊から正規的な革命軍への改編等々の問題が現在では特に重大化してゐると考へる。革命的な農民や勞働者から成る、絶對に信頼するに足る軍隊を編成すること、共産主義者及び、しつかりした左翼國民黨員を軍隊に入れること、軍隊中の反革命分子を清掃すること、勞働者前衞軍の創建等に對し特別の注意が拂はれなければならぬ。

現在の支那に於ける革命政策の若干の根本的な戰術上の諸問題

中國共産黨は異常に複雜な諸任務に直面してゐる。帝國主義者と軍閥に對する鬪爭を民族ブルジョアジーに對する鬪爭と組み合はせること、支那の領土内に帝國主義の武裝した大軍が存在してゐること、支那が三つの地帶に事實上分裂してゐること、經濟的及び政治的の諸關係が極端に錯綜してゐること、帝國主義者の統一戰線と此の戰線内部の矛盾とが存在すること、支那の各地方毎に革命の成熟程度が全く不均等になつてゐること、革命の特殊な「軍事的」諸形態と軍隊内部の諸矛盾、左翼國民黨戰線自體の内部に於ける諸矛盾等々——是等は孰れも革命の發展にとつて全く異常な困難を惹起させてゐる。

コミンテルン執行委員會は、是等の諸々の困難な環境にある武漢政府にとつては、外國帝國主義に對し權謀術數的戰術が原則として全く許容さるべきものと考へる。

コミンテルン執行委員會は、政權が非プロレタリア的性質のものであることを口實にして「ブレスト的」な權謀術數を原則的に排する見解を排撃する。

コミンテルン執行委員會は、此の種の見解は最も深刻な理論的、政治的誤謬に根ざすものと考へる。

プロレタリア政黨が政府に對する革命的反對派の地位にあるプロレタリア革命成熟の諸條件裡に於ては、

黨は此の政府の行ふ戰爭には通例反對し、此の政府の倒壞を期し、此の政府の仕事を容易ならしめる態度を斷じて採るものでない。

支那の現情勢に於ては、中國共産黨は武漢政府が行つてゐる戰爭に贊成してゐる。黨は自己が其の政府に直接參加してゐる武漢の政策に責任を負つてゐる。黨は萬策を講じて政府の仕事を容易ならしめる態度を採つてゐる。故に、共産黨は權謀術數的戰術に對し「原則的には」何等反對し得ない。政府の政策に責任を負ひ乍ら、若し共産黨が條件の如何に拘らず妥協の戰術を排するならば、卽ち全線に亘つて一度に戰鬪を開始しなければならぬとするならば、黨は馬鹿げ切つたことをやることになるであらう。

故に、コミンテルン執行委員會は、此の問題は全く具體的な諸條件（早くから是を豫見することは不可能である）に應じ、全く具體的に解決すべきものと思ふ。蓋し、抗爭する當事者間の相互の勢力關係は早くから正確に豫見し得ないし、又是を絶對的に正確には評價し得ないからである。

權謀術數的戰術が許さるべきことは、政府の經濟政策についても言へなければならぬ。政府にとつては一切の外國企業の卽時沒收は必ずしも義務的ではないのである。卽ち、此の點では正に原則的にも妥協が許さるべきである。

他方、コミンテルン執行委員會は、失業を生ぜしめ、經濟的混亂と經濟的癱瘓とを起させる目的を以て、内外ブルジョアジーが行ふ一聯の（工業、商業、金融）企業に對するサボタージュは政府をして此の種の企業の沒收と國有の必要に直面せしめるものと思ふ。民族革命政府は革命の敵が行ふ經濟生活の破壞に堪えることは出來ない。斯樣な場合には政府は決然たる方法を以て、自己の機關を通じプロレタリア諸團體の援助の下に諸企業の管理を自己の掌中に收めなければならぬ。

何處で妥協をしなければならぬか、又何處で攻勢に轉じなければならぬかは、一に具體的な諸條件に懸つてゐる。殊に、コミンテルン執行委員會は、蔣介石の上海クーデターに關聯して若干の黨員諸君が提議した戰術を全く馬鹿げたものと考へてゐる。此の戰術とは帝國主義者と蔣介石に對する暴動を先づ起すとか、又は廣汎な戰線に亘つて武裝鬪爭を起すとか言ふのであ

る。暴動の戰術は、暴動を起したら直に攻勢に轉ずるといふ點にある。或る程度の成功の見込がある場合にのみ暴動を起すことが出來るのである。「暴動を弄ぶ」ことは許されない。何がどうあらうとも今日の處暴動はレーニン的戰術ではない。上海で勞働者が大々的に武裝突擊をやつたら、彼等は蔣介石と帝國主義者の聯合軍に鏖殺され、支那プロレタリアートの華は勝利の見込が全く無い戰鬪で殺戮され盡すことであらう。

現在支那に於ける一般的情勢は、共產黨に對し次のやうな軍事的、政治的戰略を要求してゐる。卽ち、共產黨は北伐を援助するが、それと同時に又、必ず武漢政府の占領地全部に亘つて農業革命を深刻化し、蔣介石の後方と軍隊を崩壞せしめる爲に其の攪亂活動を猛烈に行ふ。而も勿論是は時到つた場合、是に對する直接の軍事行動を決して除外するものではないのである。大衆に一切を賭することは、內亂に於ても威力を發揮するものである。斯樣な正しい政策に依つて、革命の勝利は確保されるであらう。

共產黨は勞働者農民及び小ブルジョアジーの戰線を百方强化することを其の任務としなければならぬ。全力を擧げて農業革命を展開すると同時に、小ブルジョアジーが高利貸資本等に對して鬪爭する場合是を援助し、彼等の勤勞に依る財產の不可侵を保證してやらなければならぬ。斯樣にして、勞働者階級のヘゲモニーの下に行動する眞に革命的な諸勢力のブロックを强化し、萬策を講じて是等の階級的勢力を武漢政府領土內で强力な團體に集結しつゝ、共產黨は反革命の軍隊に占領された地域內でも大衆運動の先頭に立たねばならぬ。

黨の組織から農民組合の組織に至る鞏固な非合法團體の建設、農民運動及び勞働運動の組織と指導、大衆的蜂起の準備、兵士間での活動——是等の任務は就れも黨の最も重大な任務でなければならぬ。

コミンテルン諸黨と支那革命

支那革命の意義と役割の一般的な評價に基き、コミンテルン執行委員會は次のことを確認する。

一、コミンテルンの支部の大多數は此の意義を充分諒解せず、支那革命の支持に充分な積極性を示さなかつた。

二、「反帝國主義同盟」內に入つてゐる共產主義者も亦充分な積極性を示さなかつた。

コミンテルン執行委員會は、是等の誤謬を迅速に是正することが最も必要であると考へ、其の爲其の全支部に對し次の方向に向つて一聯の決定的な手段を採るべきことを命ずる。

（イ）印刷物に依る煽動と宣傳。

（ロ）勞働組合其の他の大衆的勞働者團體內での活動。

（ハ）當該國の植民地及び從屬國に於ける活動。

（ニ）對支派遣兵間での活動。

コミンテルン執行委員會は、軍隊及武器の支那への輸送を、言葉の上ではなく事實上妨害する爲に最も眞劍な準備をする必要のあることに注意を喚起する。コミンテルン執行委員會は其の支部に對し、帝國主義の軍隊內で最も精力的な活動を行ひ、直に支那民衆の革命軍に投ぜんことを彼等に說くべき義務を課する。

コミンテルン執行委員會は、各支部の中央委員會に對し、前記の方針に從ひ一聯の具體的方策を立てることを委囑する。

コミンテルン執行委員會は、支那支部へ兄弟の挨拶を送り、其の偉大な革命鬪爭に最も熱烈な支援を與へることを約するものである。

「コミンテルン文書集」七一七—七二九頁。

二　戰爭の結節としてのソヴィエト聯邦と支那

資本主義諸國間の全矛盾は、全世界を二つの陣營、一方ではソヴィエト聯邦と革命の支那、他方では全資本主義世界といふ二つの陣營に分離する根本的な分水嶺を前にして後方に退いてしまつた。支那とソヴィエト聯邦——是は全國際情勢の二つの結節である。此處に今や最も物凄い戰雲が凝結してゐる。未だ開發されぬ經濟資源と數億の人口を持ち、アジアの大部分とヨーロッパの半分を占める支那とソヴィエト聯邦——是は二つの無盡藏な原料の寶庫であり、二つの尨大な市場である。此の二つの無限の市場を手に入れやうとする鬪爭は、國際資本にとつて生死の問題である。世界プロレタリアートが、國際ブルジョアジーの支配の息の根を止めてしまはぬうちは、來る年も來る年も此の鬪爭で滿されることであらう。

支那革命の世界プロレタリアートに對する意義は蓋し甚大である。支那革命の勞働者農民的進路の勝利は世界の勞働者運動、就中イギリスの勞働者運動の革命

化にとつて大きな刺戟となるであらう。先進資本主義諸國に於ける勞働者運動は未曾有の隆盛に至らしめられるであらう。全世界に亘る最も深刻な大衆運動にとつての客觀的に革命的な情勢が生ずることであらう。同時に、若しプロレタリアートが無力にして革命支那から帝國主義の絞首繩を遂に取上げることが出來ないなら、支那に於ける帝國主義の勝利は、第一には全世界に亘る資本主義機構の新しい一時的な强化を、第二には帝國主義諸國に於ける勞働者階級に對する最も兇暴な反動を、第三には、最後には帝國主義ブロックのソヴィエト聯邦に對する襲撃を意味することゝなるであらう。帝國主義者に依る支那革命の彈壓に對する鬪爭は、それ故に、ヨーロッパ、アメリカ及び日本の勞働者階級の、資本の攻撃に對する自衞であり、ヨーロッパに於ける戰爭に對する其の鬪爭であり、自國に於ける社會主義革命の成功の爲の鬪爭である。

「大戰爭」の時代

帝國主義政治の新しい局面の特徴は、資本主義が「小」戰爭から大戰爭へ移る準備をしてゐる點にある。今のところ其の形態から見れば、ソヴィエトの國に對する一九一八年乃至一九一九年の干涉を彷彿たらしめてゐる支那に於ける戰爭は、引續く大戰爭の端緒を開いてゐる。其の國際的意義から見ると、支那に於ける帝國主義的諸勢力の干涉は、既に大戰爭である。此の干涉はイギリスの指導の下に、最大の資本主義諸國が四億の支那勞働大衆を相手に行つてゐるものであるから、是は正に大戰爭と云はなければならぬ。是にはアジア、ヨーロッパ、アメリカ、オーストラリアの四大陸の直接的な運命が關聯を持つてゐる。是を劈頭に於て押し潰してしまはぬと、不可避的に、新しい數多くの戰爭へと轉化發展して行くであらう。此の戰爭は既にソヴィエト聯邦に對する戰爭へと發展してゐる。イギリスの保守黨新聞がソヴィエト聯邦に喰つて掛つた言葉は既に戰をやつてゐる列强の言葉でもある。北京のソヴィエト大使館の襲撃、外交傳書使の檻禁、ロンドン駐在ソヴィエト通商代表部への侵入の如き行爲は、資本主義列强の國際關係では通常報復を以て答へられ、戰爭を孕んでゐるものである。たゞソヴィエト政府の原則的に平和的な政策が、イギリスの組織的な挑發にも拘らず、當分の間、イギリスとソヴィエト聯邦の勤勞大衆を此の反ソヴィエト戰爭から救つたのである。

然し乍ら、此の戰爭は全アジアと太平洋沿岸に擴大

する危險がある。

（イ）支那革命の勞働者農民的進路の勝利が、支那の勤勞大衆の勝ち進む運動及び、是が印度、佛領印度支那、インドネシア、フィリッピン、朝鮮に惹き起すであらう革命運動を鎭壓しやうとする一聯の帝國主義者側からの狂暴な企圖を誘發するであらうことは全く明かである。是は大資本主義諸國の帝國主義者の聯合軍が、革命支那を先頭とするアジアの蹶起した勤勞大衆を相手とする長期に亘る大戰爭となるであらう。

（ロ）他方、支那革命が失敗すれば、支那に於けるイギリスや日本やアメリカの對立が激化し、必然的に帝國主義諸國間の太平洋戰爭に發展するであらう。

ヨーロッパ及びアジア大陸の他の部面に於て愈々猛烈に行はれてゐるソヴィエト聯邦包圍政策は支那に於ける戰爭と最も緊密な關係に立つてゐる。イギリスの外交は、フィンランドからポーランドを經てルーマニアに至る單一反ソヴィエト沿バルト戰線を結成する爲に倦まず活動してゐる。イギリスの外交はリトワニア國內にファシストのクーデターを組織しつゝ、此の國をも是に引き入れやうと努めてゐる。イギリスの外交はファシストのイタリアと協同してハンガリアを反ソヴィエト聯合に引き入れ、バルカンにも地盤を作らうと努めてゐる。イギリスの外交は是に依つて、非常に廣汎な沿ドナウ河反ソヴィエト戰線を結成せんとしてゐるのである。反ソヴィエト戰線で最も積極的な役割の一を演ずべきはポーランドであるが、是は一旦緩急の場合に後方の安全を必要とする。そこでイギリス帝國主義はドイツを自分の勢力範圍內に入れ、ソヴィエト聯邦に對して共同鬪爭をさせる爲に、ドイツとポーランドの關係を調整しやうと大童になつてゐる。ドイツの「西方進出」とロカルノ政策の意味は此處にあるのである。既に極く最近では、イギリスはソヴィエト聯邦包圍工作では、フランスとの協働をさへ確保しやうと努めてゐる。中央アジア、卽ちアフガニスタン、ペルシャ、近東地方、トルコでも、又極東でも、到る處イギリス帝國主義は、ソヴィエト聯邦に對する陰謀の複雜極まる蜘蛛の巢を張りつゝある。イギリスの外交は國際經濟會議をソヴィエト聯邦の經濟封鎖に利用しやうと努めてゐる。是と同時に、ソヴィエト聯邦と境を接する國々、殊にポーランド及びルーマニア

に於て熱病のやうな戰爭準備が行はれてゐる。

「戰爭及び戰爭の危機に對するコミンテルンの任務」のテーゼ、第五―九節、「コミンテルン文書集」七〇一―七〇三頁。

一四　支那革命の現在の瞬間に關するコミンテルン執行委員會の決議（一九二七年七月）

支那の勞働者農民の鬪爭は、コミンテルンの前衞的立場に於ける鬪爭である。支那に於ける革命は今も尙コミンテルンの注視を集めてゐる。

（一）　政治情勢と國內の社會階級諸勢力の相互關係を不斷に變化させつゝある、支那の諸事件の熱病的に急速な發展テムポ。

（二）　將軍や傭兵の裏切、反革命の勢力の集結、最近蒙つた多くの局部的な敗北と關聯して支那革命が當面してゐる極度の苦難。

（三）　最後に、最近中國共產黨の指導部が犯した多くの重大な誤謬。

是等を考慮に入れつゝ、コミンテルンは、中國共產黨の全黨員、中國共產黨の中央委員會、コミンテルン全支部が、コミンテルン執行委員會に依り時機を逸せず送附された指令の敷衍として採擇された次の決議に注意する必要があると思ふ。

一、共產主義者の正しい戰術の、最も重要必須な前提は、革命情勢の所與の形勢の全特質を最も嚴格に冷靜にマルクス・レーニン的に評價し、革命の通過しつゝある段階を正しく規定することである。所與の瞬間の特質を理解して始めて、鬪爭しつゝある共產黨の特殊的任務を規定し、生々とした革命的標語を與へ、プロレタリア前衞隊の眞の戰術を示すことが出來るのである。支那に於ける革命の現段階の內容を最も明瞭且具體的に規定し、此の爲に革命の行程の全經過を批判的に呈示することを必要とする。

二、コミンテルン執行委員會第七回擴大總會（一九二六年十二月）は支那革命の特質を規定し、現發展段階の革命はブルジョア民主主義的であると同時に、其の矛先は擧げて帝國主義的重壓に向けられてゐるとした。コミンテルン執行委員會は、此のブルジョア民主主義革命が社會主義革命へ發展成長する傾向を有すると述べた。支那に於て抗爭しつゝある社會的諸勢力の地位と比重を規定しつゝ、同時に、第七回擴大總會は階級鬪

爭と階級分化が必然的に尖銳化すると述べ、先づ大ブルジョアジーの離脫の不可避を豫言して、統一民族革命戰線の分裂が益々甚しくなるであらうと述べた。右に基きコミンテルン執行委員會は、勞働者農民がブルジョアジーと其の軍隊に對して鬪爭の準備を爲すべき旨の指令を與へた。是は蔣介石のクーデターの數箇月前のことであつた。本年四月十二日の上海勞働者の銃殺を以て流血の極點に達した其の後の諸事件は、コミンテルンの診斷が正しかつたことを證明した。諸階級關係の大規模な變化が起り、ブルジョアジーは裏切つて敵の陣營に投降した。局部的敗北を蒙つた革命は新しい、一段と高い段階へ移つて行つた。

三、本年五月に開かれたコミンテルン執行委員會の最近の總會は、支那問題に關して詳細な決議を行つた。コミンテルン執行委員會五月總會は、ブルジョアジーの離反を既成の事實として是を基礎とした。總會は蔣介石のクーデター後に現れた情勢の具體的特徵を規定し、中國共產黨に對し是に對應する行動方針を呈示した。總會の根幹的な指令は、大衆獲得のコース、農業革命の展開に萬策を傾けること、勞働者及び貧農の武裝、革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニーの爲の道の淸掃、國民黨の民主主義化を目指す決定的な方針であつた。總會は、獨立的な中國共產黨が、左翼國民黨と共に武漢政府內で活動するのを可能とするに必要な諸條件を明瞭且明確に特徵づけた。出現し來つた新情勢の新しい特徵を、總會は三つの陣營（封建的、張作霖的な陣營、未だ帝國主義者や軍閥との鬪爭は行つてゐるが既に勞働者や農民を銃殺しつゝある蔣介石的な陣營、最後に武漢の革命的陣營）の存在と見た。コミンテルン執行委員會は、其の決議に於て、將軍や軍隊の信賴し難いことを强調することが極めて重要であると考へ、是に關聯して「軍隊の再編成、絕對に眞正な革命軍の創建、軍隊と勞働者農民の團體との聯携、軍隊に於ける幹部の確保、傭兵の軍隊から革命の正規軍への改編の問題が特に重大となつてゐる」とした。

是等の決議の精神に基いて、コミンテルンは支那の同志に當面の指令を與へた。

四、最近數週間のうちに、諸事件は非常に急速な展開をした。是等の諸事件中、主要なものと特徵的なものを、コミンテルンは次の如きものであるとする。

階級的矛盾は愈々激しくなり極めて尖鋭的となつて來た。支那プロレタリアートの大衆運動は廣汎に展開され、農民の大衆運動も亦廣汎な展開をした。例外なく國内の總ての政派にとつて、農業革命に對する態度の問題が最も切實となつてゐる。將軍や將校團は公然と反革命陣營に移行し、農民の敵たることを暴露してゐる。長沙で暴動を起した將校達は農民を迫害してゐるが、是に對し武漢の國民政府も國民黨の上層部も反對を示してゐない。馮玉祥は裏切つて蔣介石と結び（隨州の再會）、武漢政府に降伏を要求してゐる。武漢の軍隊を指揮してゐる唐生智將軍は農民を銃殺し、共産主義者を處刑し、是を軍隊から追放してゐる。蔣介石に始まつて唐生智に至る反革命將軍連の謀議が行はれてゐる。是と同時に、武漢の支配的分子は反革命將軍共の行動を隱蔽し、是を援助し、勞働者の武裝を解除し、プロレタリアの團體を襲撃し、農業革命を阻止し、共産主義者に對して鬪爭を行つてゐる。國民黨の上層部も、共産主義者を國民黨から放逐する用意を急速に進めてゐる。斯樣にして、武漢は既に反革命的な勢力となつてゐる。

諸事件の發展は斯の如きものであり、支那に於ける鬪爭の現狀の基本的輪郭と特徴は斯の如きものである。而して此の差迫つた特殊な情勢は、權力の問題、武漢政府に對する態度、ブロック、將來の鬪爭方針等々の問題について支那の同志達に對し是に對應した戰術的態度を要請してゐる。

五、コミンテルンは、レーニンの教義に基き、民族＝植民地的ブルジョアジーが帝國主義と革命的鬪爭を行つてゐる限りは、一定の段階に於て是とブロックを結び同盟を結ぶことが適切であり、完全に許さるべきことであり又必要である、と過去に於ても現在に於ても考へてゐる。革命の過程の一定の段階に於ては、帝國主義の勢力又は其の軍閥的買辨に對する、ブルジョアジーの軍事的攻略を援助することは許されることであり、義務的でさへある。何となれば、帝國主義に對する此の鬪爭は、革命の事業にとつてプラスであるからである。

此のレーニン的見地よりすれば、ボリシヴィズムが反革命的自由主義との如何なる協定をも全く正當に拒否したところのロシヤに於けるブルジョア民主主義革命との類比は、是を排撃しなければならなかつたし、又排撃したのである。然し乍ら、ブルジョアジーの一派とのブロックや其の軍隊に對する援助の提供は、それが中國共産黨の獨立的活動を阻害せぬ程度及び時期に於てのみ、自由主義ブルジョアジーが未だなほ、勞働者や農民に對して攻撃して來ぬ時期に於てのみ、ブルジョアジーが未だなほ、ブルジョア民主主義革命の歴史的任務を遂行し得る間に於てのみ、許さるべきものである。大衆的革命運動を發展させてゐる間は、北伐を援助することは完全に正しかつた。將介石の南京の對立者であつた間は、武漢を支持することは完全に正しかつた。然し乍ら、此のブロック戰術も、武漢政府が革命の敵の軍門に下つた瞬間からは、根本的に間違つたものとなつた。革命の過去の段階では適當したことも、今日では既に全く適當しなくなつた。

黨の指導部にとつて、殊に中國共産黨の如き若くして經驗に乏しい指導部にとつて、此の點に相當な困難があることは明かである。而も、不可抗的な諸事件の進行速度が鬪爭の段階を時間的に短縮し、急速に局面の轉換が行はれ、採用された戰術的方針の有效な期間が短縮される爲に、此の困難は一層大きなものとなる。緊張した革命の情勢に於ては、各瞬間の特質を最大限度に急速に摑むことが必要であり、巧妙に且時機を逸せず術策を施すことが必要であり、急速に時機を逸せず標語を取り代へることが必要であり、時機を逸せずプロレタリア前衞隊の陣列を立て直し、變化し行く情勢に對して精力的に反應し、革命的鬪爭の要因から、其の枷となつたブロックを決然として破棄することが必要である。

六、革命發展の一定の段階に於ては、中國共産黨側から武漢政府を援助することが必要であつたにせよ、今日では、武漢政府援助の方針は中國共産黨にとつて致命的なことであつて、是を日和見主義の泥沼へ突き落すことになるであらう。コミンテルンの助言にも拘らず、國民黨上層部は事實上農業革命を支持しなかつたばかりか、革命の敵の手を自由にしてさへやつた。彼等は勞働者の武裝解除、農民に對する討伐行、唐生智一味の彈壓行爲を承認した。彼等は南京攻略を色々な口實の下に引伸ばし、サボタージュした。武漢政府の革命的役割は終結を告げ、今や反革命的勢力になつてしまつた。武漢の急進ブルジョア的及びインテリゲンツィア的な一派は、今も尙南京攻略（勞働者を武裝

解除し農業革命を彈壓するに於ては、其の革命的な意味は畢竟空虛である）を聲明するが如き、「急進的な」空々しい革命的な「英雄的ヂェスチュア」だけはやるかも知れない。然し乍ら、此のヂェスチュアは事物の社會階級的本質を變化させるものではない。武漢政府は反革命の幇助者になつてしまつたのである。是は新しい特徴的なことである。中國共產黨の指導部や支那の同志全部は是をはつきりと考慮に入れなければならぬ。

七、中國共產黨の現指導部は最近多くの重大な政治的誤謬を犯した。中國共產黨はコミンテルンの指令に從つて、農業革命を展開して其の先頭に立ち、武漢政府の「急進的な」指導者達や國民黨中央委員會の中途半端な臆病な態度を公然と批判し暴露し、將軍達が裏切るかも知れぬといふ事を大衆に豫告し、出來る限り多數の勞働者を武裝せしめ、國民黨及び國民政府を斷乎として革命の途に押し遣らなければならなかつた。然るに中國共產黨中央委員會と其の政治局は、是等の指令を實行しなかつた。農業革命の先頭に立つ代りに、中央委員會は多くの場合其の妨害者となつた。一部の黨指導者達は明かに日和見主義的な「革命が擴大した後に（?!）革命を深刻化せよ」又は「先づ北京を、而して後農業革命を」といふ標語を掲げた（此の種の標語は黨大衆の意氣を示した黨大會で、正當にも排擊されてしまつた）。支那共產主義者の廣汎な大衆が社會の下層部で、農民や勞働者や都市の貧民の間で、獻身的な眞に革命的な鬪爭を行つてゐる正に其の時に於て、中國共產黨の指導部は大衆を後進させる方向に進んでゐたのである。コミンテルン執行委員會の革命的な指令は中國共產黨の指導部に依つて拒否された。事態は、中國共產黨中央委員會政治局が、勞働者の武裝解除に「同意する」處まで行つたのである！武漢政府首腦部の明かに反革命的な行動にも拘らず、譚平山は公然と國民政府脫退を聲明する男らしさを持たず、是に代ふるに、無原則的な卑怯な「休戰の斡旋」を以てしたのである。コミンテルンは秘密指令中で、幾度も幾度も中國共產黨指導部を最も痛烈に批判した。コミンテルンは、若し黨中央委員會が其の誤謬を是正せぬならば、是を公然と批判するであらうと豫告した。黨中央委員會がコミンテルンの指令を拒否した今日、コミンテルン執行委員會は中國共產黨員に向つて、中央委員會の日和見主義に對して抗爭せよと公然呼び掛けるのを其の革命的な義務と思料するものである。

八、コミンテルンは、中國共產黨指導部の此の誤謬を直に是正することが必要であると考へ、其の旨全中國共產黨員に報告する。

コミンテルンは次の事が必要と考へる。

（一）中國共產黨員は一刻をも失ふことなく武漢政府から示威的に脫退すること。

（二）武漢政府から脫退するに當つては、農業革命及び勞働運動に對する武漢政府の敵對的態度を以て、此の擧に出でたことの理由とし、勞働者及び農民を彈壓した罪人全部に對し處罰を要求し、あらゆる部面に亘つて武漢政府の政策を暴露する原則的な政治的聲明を發すること。

（三）國民黨からは脫退せぬこと。國民黨指導部が行つてゐる共產主義者放逐の運動にも拘らず、黨内に居殘ること。國民黨下層部と緊密な連絡を保ち、其の内にあつて國民黨中央委員會の行動に對する斷乎たる抗議の決議を行ひ、國民黨の現指導部の更迭を要求し、是に基いて國民黨大會を準備すること。

（四）萬策を講じてプロレタリア大衆間に於ける活動を强化し、大衆的勞働者團體を創建し、勞働組合を鞏固にし、勞働大衆に決然たる進擊の準備を整へしめ、プロレタリアートの當面の鬪爭を指導すること。

（五）農業革命を展開すること。「平民的な」方法、卽ちプロレタリアートのヘゲモニーの下に、勞働者農民及び都市貧民のブロックが革命的攻擊を行ふことに依つて、ブルジョア民主主義革命の完成の爲の鬪爭を繼續すること。組織的に勞働者及び農民を武裝すること。

（六）彈壓と處刑に對抗する爲に黨の非合法的な軍事機關を設けること。

（七）中國共產黨委員會の日和見主義的誤謬を是正し、黨の指導部を政治的に健全ならしめる爲の方策を講ずること。コミンテルンは、一般的には黨の政策の問題、部分的には黨の指導部の政策の問題が特に重要な役割を持つに至つてゐると思ふ。コミンテルン執行委員會は、故に、全黨員に呼び掛け、コミンテルンの決議に基いて黨の陣列を固めんことを求める。コミンテルン執行委員會は、全黨員に呼び掛けて、黨指導部の日和見主義的偏向と決定的に鬪

爭せんことを求める。共產靑年同盟の正しい態度と黨大衆の英雄的な鬪爭を滿足を以て確認しつゝ、コミンテルン執行委員會は、中國共產黨が自分の指導部を改造しコミンテルンの國際的規律を破つた首腦部を抹殺する爲に、充分な力量を發揮するであらうと信じてゐることを茲に表記する。內亂の時代に成長した勞働者農民の團體の首領や黨員が、黨の中央委員會に決定的な勢力を得ることが必要である。斯る方法に依り、黨大衆と密接に結びついて、彼等は黨の現指導部の日和見主義を克服することが出來るのである。コミンテルン執行委員會は、支那大革命の行程が、其の運動を如何なる力も壓服し得ざる廣汎な勞働者農民大衆を、政治生活と政治行動に目醒めしめたのであると考へる。正しい指導を得たとき、勝利は支那の勞働者農民のものであらう。

コミンテルン執行委員會

一九二七年七月十四日、「プラウダ」第一五七（三六八九）號

一五　支那革命の教訓

（一九二七年八月九日全ソ聯邦共產黨中央委員會及び中央統制委員會合同總會に於て採擇せられた國際情勢に關する決議から）

支那革命に於けるプロレタリア黨の戰術を規定するに當つては、三つの主要な方針があり得たし、又實際にも存在した。而して此の三つの主要な方針は客觀的に觀察すべきものであり、且支那革命の特質自體に對する各々異なつた評價を前提としてゐるものである。第一の方針（直接にはメンシェヴィズムへ移行する右翼的偏向）は、次のことから出發する。卽ち、帝國主義に對して勝利を得る迄は、支那の統一が完成される迄は、發展の全段階を通じ何がどうあらうともブルジョアジーをも含む統一的民族「革命」戰線を保持すべきであるとし、此の目的の爲には如何なる讓步（「ブルジョアジーを脅かして逃さぬ爲に」農業革命の阻止、是に對する鬪爭、勞働運動の阻止、勞働者の「法外な要求」との鬪爭等々）をも行ふと言ふのである。第二のトロツキー的な方針は、革命の發展段階の如何に拘らず、ブルジョアジーとの協定や同盟の許さるべきことを總じて（事實は後から理窟を附けるのであるが）原則的に否定し、ブルジョアジーとの同盟や協定はプロレタリアートの力を弱くするに過ぎぬ等々と考へるものである。最後は、第三の方針（コミンテルンが實行したレーニン的な方針）である。此の方針は發展の一定段階を限り一定の條件の下に於てゞはあるが、植民地的及び半植民地的な國々では、ブルジョアジーとの協定が必要であるとし、是と同時に發展の條件に變動があり階級的諸勢力の編成が變動する等々のことがあれば、此の協定を破棄し以前の同盟者に對して斷乎として鬪爭することが必要であるとする。

コミンテルンの指令に反して中國共產黨の指導部が轉落した右翼的偏向は、民族革命を農業革命に對して全く不正に對立させることに根ざしてゐる。此の傾向の人々は、支那社會の基本的な階級的諸勢力間の恒常的な關係を前提としてゐて、嘗つての統一民族革命戰線內部に階級的矛盾が起る必然性及び不可避性を理解しない。彼等は是に關聯する階級的再編成の全不可避性、民族解放運動に於けるヘゲモニーをめぐるブルジョアジーとプロレタリアートとの鬪爭、ブルジョア革命からブルジョア民主主義革命への轉化、ブルジョア民主主義革命が社會主義革命へ成長轉化する見透しの必然性を理解しない。結局、彼等は階級鬪爭の見地を否定し、

其の爲に必然的にメンシェヴィズムの軌道へ滑り込むのである。中央委員會及び中央統制委員會の合同總會は、同胞たる中國共產黨の指導部に於ける此の右翼的偏向が既に淸算され、指導部の方針が是正されたことを、今や滿足を以て確認することが出來るに至つた。

トロツキー的見地は、ボリシェヴィキーがメンシェヴィキーとは正反對に、自由主義的ブルジョアジーとの協定に對して決然たる鬪爭を行つた一九〇五年のロシヤ革命との類推に先づ形式的には根ざしてゐる。トロツキー的方針の最も重大な誤謬は、トロツキー及び其の一派（ジノヴィエフ其の他）が帝國主義國と植民地國との、帝國主義國に於ける革命と帝國主義に對して鬪爭の旗を揭げてゐる國に於ける革命との、根本的な差異を理解してゐない點に存する。ここで、レーニンは端的に次のやうに書いた。曰く「我々のテーゼの最も重要且根本的な思想は何であるか？被壓迫民族と壓迫民族との差異である。我々は第二インターナショナルやブルジョア民主主義とは正反對に此の差異を强調する。プロレタリアート及びコミンテルンにとつては、帝國主義時代に於ては具體的な經濟的事實を確認し、全

植民地及び民族問題を解決するに當つては、抽象的な問題からではなくして具體的に、現實の諸現象から出發することが特に大切である」(註一)。又更に曰く「コミンテルンは植民地及び後進國のブルジョア民主主義と一時的な同盟を結ばなければならぬ。然し乍ら是と融合してはならぬし、其の最も未發達の形態に於てさへもプロレタリア運動の獨立性は無條件に維持しなければならぬ」(註二)。最後に、彼は次のやうに端的に書いてゐる。曰く「植民地諸國に於けるブルジョア的解放運動が眞に革命的であり、其の代表者達が、農民や廣汎な被搾取大衆を我々が革命的精神に於て敎育し組織することを妨害せぬ場合に限り、我々は共產主義者として此の運動を支持しなければならぬし、又支持するであらう」(註三)。レーニンの見地は斯くしてトロツキーの見地とは根本的に違つてゐる。トロツキーの見地は、帝國主義國と植民地國との差異の最も甚しい抹殺、社會民主主義的偏向にとつて極めて特徴的な抹殺に根ざすレーニン主義の最も甚しい歪曲である。

(註一) レーニン、全集第二十五卷、三五一頁。
(註二) 同上、二九〇頁。
(註三) 同上、三五三頁。傍點は編者。

コミンテルンの方針の根本的な特質は、革命の各種の段階と各種の階級的再編成との分析が此の方針の基礎をなしてゐることである。コミンテルンは民族ブルジョアジーが革命的であつた頃、即ち(一)彼等が帝國主義と眞の闘爭を行つてゐた頃、(二)共產主義者が勞働者農民大衆を革命的精神に依つて敎育し勞働者農民の革命團體を創建するのを妨げなかつた頃、(三)彼等が共產主義的プロレタリアートの獨立した黨の創建、強化及び擴大を妨害しなかつた頃の、支那革命の發展段階に於ては、是を援助すべき旨を表明した。民族ブルジョアジーが革命の陣營から反革命の陣營へ移行したことを示した蔣介石の裏切に至る迄の廣東及び北伐時代に於ては、事態は右の如きものであつた。此の期間を通じて、單に中國共產黨が成長したばかりでなく、又勞働者農民の運動も非常に發展し、プロレタリアート及び農民の大衆團體(勞働組合、農民組合、農民委員會)も創建せられた。此の發展段階に於ては、ブルジョアジーとの協定は勞働者階級の勢力の增大を容易ならしめた。植民地國に於けるレーニン的戰術の、階級闘爭の現實と行程を以てする確認は、何よりも先づ此の點にこそ存する。蔣介石のクーデターは諸々の階級的勢力の新しい再編成を意味するものであつた。故にコミンテルンは、此の新しい發展段階に於て、帝國主義者と張作霖のブロック竝に蔣介石的ブルジョアジーに對する、勞働者農民及び小ブルジョアジーのブロックの決定的且假借なき闘爭といふ新しい戰術上の方針を提出した。左翼國民黨及び武漢政府に居殘つた急進小ブルジョアジーの一部は蔣介石に戰を宣し、共產黨に對して活動の可能性を與へた。共產黨は此の可能性を「カヴェニャック達に對する抵抗」(譯註)の組織と大衆の動員との目的に利用しなければならなかつた。然し乍ら、發展し行く階級闘爭と帝國主義者の壓迫とは、新しい勢力再編成を生ぜしめた。武漢政府と左翼國民黨の上層部は、大部分革命から脫落し勞働者農民の運動の剿滅を開始した。此の次の段階は、武漢政府からの脫退、「眞に革命的なる」ことを止めた此の政府に對する共產主義者の宣戰といふ、是に對應した戰術及び標語の變更を齎した。

(譯註) フランスの將軍、ルイ・ユージーヌ・カヴェニャックは二月革命の直後陸軍大臣となり、六月革命勃發するや是を鎭壓した。

—此の發展の全段階に於て、コミンテルンは早くも一段階から他への移行を豫見して、大衆を此の移行に備へしむることを必要と見做し、獨立的な中國共產黨の精力的な活動のみならず、又最左翼をさへ含む自己の一時的な同盟者のあらゆる動搖と逡巡の決定的な批判、自己自身の勢力、即ち大衆團體、武裝力等々の組織の準備、勞働者農民及び都市の貧民に革命今後の發展と深刻化の最大限の保證を與へる武力的據點の創建をも必要と考へた。農業革命の展開、農民に依る下からの土地收奪、勞働運動の展開、勞働者農民の武裝、國民黨の民主化、其の逡巡する指導者の地位の剝奪——是等の標語がコミンテルンの主要な標語であつた。

革命を促進すると同時に、コミンテルンは、未だ終了しない革命段階を飛び越えることに對しては斷乎として反對した。コミンテルンは、國民黨といふ大衆團體からの脫退が、是を右翼の手に渡すことになり、共產主義者を國民黨大衆から孤立させることになるやうな情勢の下に於て、正當にも國民黨からの脫退を非難した。コミンテルンは、ソヴィエトの標語が、前記の如き意味に於ける革命政策を當時なほ實行しつゝあつた

武漢政府や左翼國民黨を飛び越えることを意味してゐた時に、この標語に對して正當にも反對した。同時に、コミンテルンは、動搖しつゝある自己の同盟者の爲に農業革命や勞働運動の利益を犧牲にしつゝあつた中國共產黨指導部の全右翼的偏向に對して鬪爭し、又、若干の日和見主義的理論家が、或はブルジョアジーを端的に辯護し（ラデックの「廣東勞農政府」論）、或は極端に日和見主義的な支那革命理論を作り出してゐた（トロツキーの「關稅」論）全ソ聯邦共產黨內に於て、決定的な鬪爭を行つた。

コミンテルンの正しい戰術にも拘らず、支那革命が大敗北を蒙つたとすれば、其の原因は先づ國內及び國際的見地から見た階級的勢力の相互關係にあつたのである。更に、此の敗北の原因は、勞働者農民大衆が外國の帝國主義や張作霖を首領とする封建分子及び反革命的民族ブルジョアジーの如き敵の、共同的又は平行的な行動する勢力に對して、勝利を維持するに足る勢力を未だ組織し得なかつたといふ事情、最後に、勞働者階級が、未だ鞏固に組織された大衆的共產黨を創建し得なかつたといふ事情に存する。他方、組織的にコミンテルンの指令を拒否した中國共產黨指導部が、支那に於ける勞働者階級及び農民の敗北の、責任の一部を負擔すべきことをも承認しなければならぬ。

支那革命の現段階は、甚大な敗北及び是と同時に根本的に行はれた諸勢力の再編成（全支配階級及び帝國主義に對する勞働者農民及び都市貧民のブロックが形成された）を其の特徵とする。此の意味に於て、革命は其の最高の發展段階に、卽ち勞働者階級及び農民の獨裁を目的とする直接的な鬪爭の段階に移つてゐるのである。過去の發展の經驗は、ブルジョアジーが帝國主義の重壓からの民族的解放といふ任務を遂行し得ないことをはつきりと示した。蓋し、ブルジョアジーは勞働者と農民に對して戰を續けつゝあつて、外國の帝國主義に對する徹底的な鬪爭を行ふことを得ず、愈々益々是との妥協に、而も其の支配を事實上殆ど侵害しない程度の妥協に傾きつゝあるからである。民族ブルジョアジーは革命の國內的任務をも解決し得ない。蓋し、彼等は農民を援助しないばかりか、却つて是に對し積極的な攻勢をとり、斯くして愈々益々封建分子とのブロックに傾き、ブルジョア民主主義的革命の初步的な問題をさへ解決しないからである。他方、彼等は

農民との妥協に入ることも殆ど不可能である。何故とならば、支那に於ては土豪及び小地主を打倒することなくしては、毛程の土地改革も實行し得ないのであつて、ブルジョアジーには其の打倒を行ふことが絕對に不可能であるからである。斯く觀じ來るとき、革命の一時的敗北は比較的短期間內に、其の新しい昂揚に取つて代られるであらうといふ見透しは、益々正確なものとなつて來るのである。

中國共產黨は、現在革命の敵全體の砲火が集中されてゐる政黨である。黨は今や、最も困難にして且最も責任ある任務に直面してゐる。黨は先づ自己の內部に於ける淸算主義を淸算し、其の指導部が犯した一切の誤謬を反省し、コミンテルンの指令に基いて强化に努め、指導部を變更し、直接的な革命的鬪爭の經驗を持つ下層部の人々から新しい指導者を選んで是を中核に据えねばならぬ。又、同時に、黨は武漢の領土內に於ても自己の非合法的機關を創建しなければならぬ。

共產黨は民族解放鬪爭の利益を勞働者農民の階級鬪爭の利益に對立させる一切の理論に對して、斷乎たる組織的鬪爭を行はなければならぬ。革命の裏切者達（孫逸仙主義の旗に依つて欺瞞的に本體を隱蔽してゐる蔣介石、馮玉祥、汪精衞等）が廣く宣傳してゐる是等の反革命的な思想は、民族大衆を反革命的民族ブルジョアジーの利益と指導に屈服させんとする目的を持つてゐるものである。共產黨は、封建分子及び資本家に對する、最も廣汎な勞働者農民大衆の階級鬪爭に基いてのみ、帝國主義に對する勝利、支那の革命的統一及び其の帝國主義の羈絆からの解放が可能であることを解說せねばならぬ。

共產黨は、更に、勞働組合や農民團體（農民組合、農民委員會等々）の維持、强化、擴大の爲に萬策を講じなければならぬ。

共產黨は左翼國民黨の下層部を上層部に反對して立ち上らせ、此の方面で精力的な活動を行ふ爲に萬策を講じなければならぬ。同時に、共產黨はソヴィエトの思想の精力的な宣傳を展開しなければならぬ。若し國民黨の革命化を目論む共產黨の企てが成功せず、又若し國民黨を勞働者農民の最も廣汎な大衆的團體に轉化して此の團體を民主主義化することが成功しないとしても、若し、他方、革命が昂揚して行くならば、ソヴィエトといふ宣傳的標語を直接的鬪爭の標語に轉化させ、勞働者農民及び手工業職人のソヴィエトの組織に

取かゝる必要がある。

同時に、能ふ限り萬策を講じて農業革命を展開し、勞働者農民を武裝して、眞に革命的な勞働者農民の軍隊の基礎を作る爲に全力を傾ける必要がある。黨は最も假借なき方法を以て一切の假面を剝ぎ、勞働者階級のヘゲモニーの爲に鬪爭し、最も廣汎な農民及び都市貧民を指導する勞働者階級の眞の前衞たることを示しつゝ、蔣介石及び武漢政府の裏切を暴露する爲に組織的な活動を行はねばならぬ。

「全ソ聯邦共産黨の大會、會議及び中央委員會總會の決議集」、第二部、三四五―三四九頁。

第三部　支那のソヴィエト革命に於けるコミンテルンの戰略及び戰術

ソヴィエトのみが決定的な崩壞と窮迫から支那を救ふことが出來る

（スターリン「レーニン主義の諸問題」第九版、四九七頁）

第一章　新しい昂揚の前

緒論

本章は左記文書を收錄する。廣東コムミューンに關するコミンテルン執行委員會の檄文（一九二七年十二月）、全ソ聯邦共產黨第十五回大會の決議の拔萃（一九二七年十二月）、コミンテルン執行委員會第九回總會の採擇した支那問題に關する決議（一九二八年二月）、コミンテルン第六回大會（一九二八年八月乃至九月）及び同執行委員會第十回總會（一九二九年七月）の決議中支那に關する部分、勞働組合內に於ける中國共產黨の活動に關する決議（一九二九年）及びコミンテルン執行委員會が中國共產黨中央委員會へ寄せた三通の指令的書翰（一九二九年の二月書翰、一九二九年六月の農民問題に關する特別書翰及び一九二九年の十二月書翰）。

植民地革命は其の最高の段階に於てはソヴィエト的形態を採るに至るものである。「ヨーロッパ及びアメリカの先進的プロレタリアから、植民地の勤勞者はソヴィエトの標語を學び取る」と、既にコミンテルン第二回大會は其の宣言書で述べてゐる。然し最も近い將來の植民地革命の見透しとして示された此の標語は、資本主義の一般的危機の第三期が始まると共に初めて當面の標語となつたのである。ソヴィエトの旗は、一九二七年十二月植民地世界に於て、南支那のプロレタリア的中心地に於て、植民地東洋に初めてプロレタリアートと農民の革命的、民主主義的獨裁を實現した廣東コムミューンの歷史的な日に、初めて揭げられたのであつた。帝國主義とブルジョア地主的反動との聯合軍に依つて扼殺され血潮の中に溺死させられて、廣東コムミューンは僅かに三日生き續けてゐたに過ぎなかつたけれども、革命の新段階の端緒を開いた點に於て、正に支那革命に巨大な足跡を殘したものであり、今日支那のプロレタリアートと基本的な農民大衆が中國共產黨の指導下に實現してゐるソヴィエト段階の綱領を與へたものであつた。

「廣東暴動（一九二七年十二月）は支那革命の國民黨段階からソヴィエト段階への轉換點となつた」（註）。

（註）コミンテルン第十五周年記念に寄せた同執行委員會宣傳煽動部のテーゼ。

此の時以來、ソヴィエトは植民地革命の新しい昂揚に於ける日常の標語となつた。此の標語の下に、支那

に於ては強大な革命の昂揚が展開され、今やソヴィエトを目指す闘爭は全土の四分の一に亘つて行はれ、六分の一では安定したソヴィエト區が存在してゐる。ソヴィエトの標語は安南で實現され、最後に、ソヴィエトは太平洋の對岸たる南アメリカの植民地、チリーでも作られた。

植民地革命に於けるソヴィエトは、其の發展の第一段階に於ては、ブルジョア民主主義革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニーが最も完全に實現されるところの、プロレタリアート及び農民の革命的民主主義的獨裁の形態であつて、ソヴィエトの內には既に國家權力の萠芽形態が現れてゐる。ソヴィエト的運動形態は、ブルジョア民主主義革命の早期の發展段階が終了した時、植民地革命がブルジョア民族主義的軌道を脫して終つた時、プロレタリアートが農民の基本的な大衆及び都市貧民と同盟し、ブルジョア民主主義革命を大々的に展開して其の極點に達した時に於てのみ可能となつた。ソヴィエトは既にブルジョア民主主義革命からプロレタリア革命への移行を準備する要因である。

今や運動の基本的な形態としての植民地革命のソヴィエト的形態は、革命が多くの豫備的段階を次から次へと通過して其の最高段階に達した支那に存在するだけである。故に、支那のソヴィエトの經驗は此の同じ途を行く他の植民地全體にとつて最も重要な經驗である。

一九二八年から一九二九年へかけての時期は、既に革命のソヴィエト的段階の時期ではあつたが、未だ革命の波濤の昂揚期ではなかつた。コミンテルン第六回大會は此の時期を「大衆の力を革命の新しい昂揚に準備する期間」と特徴づけた。

「支那革命の現瞬間は——と、第六回大會の決議中に述べられてゐる——次の如き特徴を有する。帝國主義者、封建分子及びブルジョアジーのブロックは、其の內部に諸々の矛盾が存在するにも拘らず、プロレタリアートと農民に甚大な敗北を蒙らせ、共產黨の幹部の大部分を肉體的にも剿滅した。勞働運動は未だなほ敗北から完全には回復してゐない。農民運動の發展は多くの地方で續いてゐる。農民の暴動が成功した處では農民の權力機關や部分的には農民ソヴィエトの基礎が置かれた。共產黨は强化し、內部の結束が强くなり、勞働者農民の廣汎な大衆に對する其の權威と影響力は成長しつゝある。總じて、支那の尨大な領土の各部分に於ける發展の不同性を考慮に入れつゝ、現在は『大衆の力を革命の新しい昂揚に準備する期間』と特徴づけなければならぬ」。

此處に收錄したコミンテルンの文書は支那革命の新しいソヴィエト段階に於ける、コミンテルンのマルクス・レーニン的分析、戰略及び戰術の標本を示すものであつて、其の作成せられた時期たる「新しい昂揚への大衆の準備」の時期の埒を越えてゐる。是等の文書は、コミンテルンの方針と支那に於けるソヴィエト革命の今日迄の發展とを理解する爲ばかりでなく、總じて植民地革命の一般的な法則性を理解するに當つても、大きな方法論的及び政治的意義を有するものである。

冒頭に收錄されてゐる文書——廣東コムミューンに關する檄文及び全ソ聯邦共產黨第十五回大會の決議の拔萃——は、支那革命の最初の波濤たる一九二五年乃至一九二七年の時期の終末と、革命のソヴィエト的段階の開始とに關する明瞭な定式化を既に與へてゐる。廣東コムミューンの歷史的な日に開かれた全ソ聯邦共產黨第十五回大會は、コムミューンの歷史的な意義を、「國民黨が將軍や反革命家や死刑執行人の一味の直接的な道具となり」、「ソヴィエトの旗と勞働階級のヘゲモニーの下に、勞働者農民及び都市貧民の革命が」始まつた此の新しい段階の開始としてレーニン的に評價した。

一九二五年から一九二七年に亘る革命の廣東及び武漢段階は、支那ブルジョア民主主義革命の任務を遂行しなかつた。此の段階は、スターリンが豫見したやうに、其の任務の遂行を新しい一段と高い段階へ移讓した。故に、階級的諸勢力は根本的に再編成されたにも拘らず、革命の內容は變化しなかつた。「支那革命の現在の時期は——とコミンテルン執行委員會第九回總會の決議は述べてゐる——經濟的見地（農業革命及び封建關係の絕滅）から見ても、帝國主義に對する民族的鬪爭の見地（支那の統一と民族的獨立）から見ても、又權力の階級的本質の見地（プロレタリアートと農民の獨裁）から見ても、未だ完成されてゐないブルジョア民主主義革命の時期である」。

コミンテルン執行委員會第九回總會は、支那革命が既に社會主義革命へ成長轉化してゐるといふ「左翼的な」問題提起を斷乎として排擊した。此の種の問題提起は、事物の本質上ブルジョア民主主義革命の未解決

の任務に對する清算主義を隱蔽するものであつた。此の「左翼」理論は、支那反革命の政綱に於て陳獨秀主義と聯携して支那革命の完全な敗北を承認し（彼等の意見に從へば）、革命が長年月の後に延期されたとする反革命的トロツキー主義の直接的な清算主義と一脈通ずるものがあつた。此の反革命的ブロックの實際的な歸結は、憲法制定會議の要求であつたが、此の點ではトロツキー主義者も陳獨秀主義者も蔣介石と全く同意見だつたのである。

コミンテルンが現段階のレーニン的分析に基いて、新しい時期をブルジョアジーの完全な勝利の時期とは規定し得ず、革命の一時的な敗北の時期に過ぎぬとし、引續いて近い將來に新しい強力な昂揚が必然的に到來するものと考へたのは當然のことである。

「現在では——とコミンテルン執行委員會第九回總會の決議中に述べられてゐる——全國民的規模に於ける大衆の革命運動の新しい強力な昂揚は未だ存在しない。然し乍ら、一聯の兆候は勞働者農民革命が正に斯樣な新しい昂揚に進みつゝあることを物語つてゐる」。歷史は此の分析が全然正しかつたことを示した。支那革命の新しい昂揚は、未だ全國民的規模に於てゞはないが、一九三〇年の初めには既に事實となつた。此の事は本書の次章に收錄されてゐる一聯の文書に明かである。

新しい革命的昂揚直前の時期は、周知の如く、一九二五年乃至一九二七年の廣東段階のみならず、武漢段階に比較してさへ、階級的諸勢力の配置が異なつてゐる點に特徵を持つてゐた。コミンテルン執行委員會第八回總會（一九二七年五月）が支那革命に於ては三つの陣營が存在すると述べ、第三の蔣介石の陣營が封建的、帝國主義的反革命の陣營と必然的に合同するであらうと豫斷したとすれば、第九回總會當時には此の時期は既に終了して、支那は二つの基本的な陣營が互に對立するやうな革命發展の時期に入つてゐたのであつた。卽ち、國民黨的ブルジョアジーは既に決定的に反動の陣營へ移行してしまつたのである。「ブルジョアジーは——と第九回總會の決議中に述べられてゐる——反革命的封建分子や軍閥との完全なブロックへ移行したばかりでなく、基本的な經濟的地位の奪取と自己の政治的勢力の强化に、一層積極的に動くやうになつた外國帝國主義と事實上協定を行ふに至つた。此の三つの基本的な反革命の勢力は共に勞働者と農民に對し、革命に對し、共產黨に對し攻勢に出てゐるのである」。然し乍ら、此の陣營の內部では改良主義的一翼を成してゐる舊「左翼」國民黨員の「反對派的」改組派が活動してゐた。革命の此の段階に於ける階級勢力配置の問題、革命の諸陣營の問題は、コミンテルン執行委員會の玆に公開する文書中に廣汎な分析を受けてゐる。

此の時期に於ける支那の政治情勢の詳細な分析は、コミンテルン執行委員會が中國共產黨中央委員會へ寄せた十二月（一九二九年）書翰をも含む玆に收錄された一聯の文書中に現れてゐる。

一九二五年乃至一九二七年の革命が一時的な敗北を蒙つた後、嘗つて國の「統一」を宣言した國民黨は支那を統一しなかつたばかりでなく、愈々益々其の封建的分裂を甚しからしめた。國民黨自體も、支那に於ける自己の支配を目指して鬪爭しつゝある各種の帝國主義的勢力の利益を共に反映するところの一聯の分派に分裂し、支那の封建的、軍閥的分裂と同じ過程を自己の內に反映してゐた。共產黨と國民黨の支配的な一派との間に、中間的な地位を占めやうと試みる「改組派」や、各種の「第三黨」一派が出現したことは、支配者たるブルジョア地主ブロック內の鬪爭の內的過程を意味するものであつた。

革命の一時的な敗北の直後、南京と吳佩孚との戰爭（一九二八年秋）、奉天派の戰爭、南京と廣西派の戰爭（一九二九年春）等の新しい軍閥戰爭が始まつた。コミンテルン執行委員會第十回總會は支那に於ける此の「小」戰爭に注意をした。一九二五年乃至一九二七年の革命で動搖した帝國主義の支配は、此の時期に支那に於て再び强力なものとなつたが、此の場合一層大きな役割を演じてゐるのはアメリカであつて、國民黨を牛耳つてゐる一派は是を賴りとしてゐる。國民黨は、清算主義者と共にアメリカを目して、支那が獨立的發展の途に就くのを援助し「得る」勢力と見てゐる。中國共產黨の日和見主義的分子中にも、或る程度の反響が見られる此の反革命的幻想の暴露が、コミンテルンの一聯の文書中の一部を占めてゐる。

本章に收錄されてゐる諸々の文書は、ブルジョアジーが支配的なブロックに入つたことが、支那にとつて「新時代」を意味するものでもなかつたし、又意味し得るものでもなかつたといふ最も重大な命題を理論的に基礎づけたものである。支那經濟の全分野に於て混

亂が進行しつゝある情勢の下で、獨立的な資本主義的發展が可能であるかの如き幻想を抱いてはならなかつた。支那の帝國主義的奴隷化の强化、未だ世界經濟恐慌が始まらぬ前から既に非常に明かに見られたところの支那工業の崩壊、支那工業の外國人所有化の動かし難い過程、商業及び手工業の恐慌、金融恐慌、最後に農業の崩壊は、國民黨が是等の支那革命の根本的諸問題を解決するに全く無力であることを證明した。新しい革命的昂揚の不可避性の認識は、危機の革命的な解決の必要を、遠ざけぬどころか、愈々益々接近せしめつゝあつた、支那の社會經濟的諸條件の具體的分析に基くものであつた。

茲に收錄されてゐる文書が此の時期に於ける革命陣營の狀況、其の任務、戰術、革命的發展の特殊性に最も深く注意してゐるのは當然である。國全體が未だ革命的昂揚の新段階に入つてゐないといふ事實は、勿論革命運動が、支那の全地方に於て、革命戰線の全線に於て、革命陣營の全部に亘つて立消えとなつた事を意味するものではなかつた。此の時期に於て殊に明かとなつた支那革命の特質の一は、實に支那の革命的發展が不均等であると言ふことである。コミンテルン執行

委員會第九回總會は此の特質を特に指摘した。「支那革命の經驗は——と第九回總會の決議中に述べられてゐる——運動が極端に不均等に發展してゐるといふ此の革命の特質を强調してゐる。運動は支那の各省で歷史的に作り上げられた各種の鬪爭條件に從ひ、不均等に發展してゐる。今日迄、都市と農村を問題にするだけでも、運動は不均等に發展して來た。就中、現在の特徵とすべきは、一聯の省では農民運動が益々發展してゐるのに、一聯の工業中心地では、勞働運動が前代未聞の白色テロの壓搾機中で放血され壓搾されて、或る程度の不振の時期を經過しつゝあることである」。

此の時期に於ける勞働運動は、反動の最も甚大な打擊を受けた。一九二八年八月に蔣介石が革命的勞働組合の解散命令を出したこと、中國共產黨が昔と同じく再び地下へ追ひ込まれたこと、勞働者階級の最良の代表者達が殺戮せられたこと、勞働運動のあらゆる火花が、反動化した國民黨に依つて鮮血を以て消されたことは、人の知る處である。然し乍ら、無制限な搾取、勞働者階級の地位の一般的低下、勞賃の引下げ、勞働時間の延長、失業者の增大等を許容し、生活費の昂騰を甚しからしめた國民黨の勞働「政策」や「勞働立法」は、

支那プロレタリアートをして、鬪爭の繼續に押しやらざるを得なかつた。一九二八年には、既にソヴィエト革命の諸條件下に於ける最初のストライキの波が起り、上海、天津、塘山、青島、廣東、香港といふ支那最大の工業中心地を席卷した。一九二八年のストライキの波は、概算したところ約四十萬の勞働者を捲き込んだのである。然し乍ら、此のストライキの波の特質は、是が主として經濟的性質を帶びたストライキで、而も專ら外國の企業に起つた點にあつた。

革命の新段階に於ける勞働運動にとつて最も大きな障碍となつたのは、改組派や陳獨秀主義者等のあらゆる「日和見主義」的な一派に率ゐられる國民黨的な黃色勞働組合の創立であつて、彼等は半植民地的な支那の勞働運動に於て、ヨーロッパの社會ファシストやアムステルダム系の勞働組合の役割を演じたのであつた。故にプロレタリアートの政治鬪爭は、先づ勞働運動に於ける是等國民黨の手先に對して集中せられざるを得ず、新しい昂揚の兆候の一は、正に此の反革命的な勢力に對する鬪爭であつた。一九二八年末には早くもプロレタリアートの政治的ストライキが起り（上海、安遠鑛山、旌德縣等々）、帝國主義（日本の山東出兵等）と、國民黨に對する鬪爭と並んで、改良主義的勞働組合に對する鬪爭の標語が揭げられた。

一九二九年は、早くも經濟鬪爭が政治鬪爭に成長轉化し、支那人の企業にもストライキの波が押し寄せ始めたことを其の特徵とする。漢口、汕頭、厦門、蕪湖等では大々的な政治的ストライキが起つた。漢口では日本人の企業の全勞働者及び事務員のゼネストが起つた。一九二九年十一月に開かれた第五回全支那勞働組合大會は、反動の打擊から回復し正にソヴィエト革命の新しい昂揚に近附かんとしつゝあるプロレタリアートの分散した勢力を結合した。

此の時期に於ける、支那の勞働組合に對するコミンテルンの戰術は、本書に收錄された多くのコミンテルンの文書、殊に、第十回總會の決議及び支那に於ける勞働組合運動に關する特別決議に現れてゐる。

農民運動は此の時期に、一九二五年乃至一九二七年の革命が開拓した各地方で更に其の規模を大にし、撓みなき進展を續け、農業革命の深刻化、バルチザン鬪爭の强化、農民の權力機關の、部分的には農民ソヴィエトの創建の方向へ進んで行つた。

農業恐慌、週期的な凶作、饑饉、帝國主義の支配の

強化と地主高利貸軍閥の新しい壓迫に依つて益々甚しくなつた小作料、稅金、高利貸金利の增大、軍閥の軍隊の掠奪、國民黨の反革命政策（農村の「清掃」等）は、農民運動を新しい昂揚へ導かずには置かなかつたのである。

反革命的國民黨は農業問題を解決することが出來ない。支那の農村を一種のストルィピン的な方向へ導かうとした國民黨の企圖は、コミンテルンが豫見したやうに失敗に終つた。農民運動は撓みなき成長を續けてゐる。

此の時期に於ける農業問題と農民運動の其の特質と任務に關して、農業革命のソヴィエト段階に於ける中國共產黨の農民に對する戰術の分析は、此處に蒐集した一聯の文書に示されてゐる。殊に農民問題に對しては、コミンテルンが中國共產黨中央委員會へ寄せた特別の書翰に其の意見を明示し、此の問題に關して最も重要な指示を與へてゐる。

支那革命の新段階に於ける階級的諸勢力の根本的な再編成は、支那農村でも行はれた。支那に於けるブルジョア民主主義革命の第一段階に於ては、總じて支那の富農が農民全體と行動を共にしたとすれば、「支那革命の敗北後は、農村に於ける富農分子は當然のこととして到る處公然と農民大衆の革命鬪爭に反對して反動の側に加はつたのであつた」。

農村に於ける革命の新しい時期は、富農が革命から脫落したこと、支那の決定的な諸省（中南支）に於て農業革命が、封建地主的反動ばかりでなく富農に對しても、激烈に行はれるやうになつたことを其の特徵とする。農民問題に關するコミンテルンの書翰は、支那のブルジョア民主主義革命に於ける、階級的諸勢力の此の特殊的な配置を詳細に分析してゐる。支那の富農をロシヤの富農と對照しつゝ——中國共產黨の一部の黨員は支那の富農を理解するに當つて、ロシヤの富農の特質を鵜呑みにしてゐる——書翰は次のやうに述べてゐる。「支那に於ては、富農は資本主義的搾取形態を採ること少く、より多く地主的、封建的搾取體制の代表者として振舞つてゐる。支那の富農は、多くの場合、支那の基本的な農民大衆に對し、一層奴隸的で一層苛酷な搾取形態を採るところの小地主である」。

コミンテルン執行委員會の此の極めて重要な提言は、各國の具體的な國民的特殊性を考慮すべしとなすレーニン的原則と、富農の發展には各種の型があり得

ると言ふ、レーニンの直接的な言說に全然基くものである。周知の如く、レーニンは早くも「資本主義の發展」中で次の如く書いてゐるのである。「農村ブルジョアジーには商業資本（土地擔保に依る資本の貸付、各種の生產物の買入等）と工業資本（勞働者雇傭に依る農業經營等）の糸が集中してゐる。資本の斯る兩形態の何れが他を犧牲として發展するかは、環境に、我が農村に於けるアジア的なものゝ驅逐と文化の普及の程度の多寡に依存してゐる」（註）。支那の植民地的狀態の環境にあつては、封建的、アジア的殘滓を保持する帝國主義が、此の「アジア的なものゝ驅逐と文化の普及」を妨げてゐる。コミンテルンは正に此の點に支那富農の特殊な性質の基本的な原因を見たのである。「支那富農の此の種の社會的本質は——と書翰は續けてゐる——一聯の原因の結果する處である。此の點に於て些少ならざる役割を演じてゐるのは、支那に於ける外國資本の支配といふ嚴たる事實である。諸々の半植民地國に於て、外國資本が最も遲れた半封建的生產形態と苟合し、是を維持し、利用し、支配してゐることは周知のことである。外國資本は支那の全面的な資本主義的發展を妨害する結果、農村に於ける商品的、貨幣的關係の發展に伴ふ階級的分化は（總ての資本主義的發展と同樣に）、著しく半封建的な諸關係を保持する極めて畸形的な形態を採るに至つてゐる。是に加ふるに、特殊的な支那の土地關係があり、此の爲に富裕な農民にとつては、基本的な農民大衆に半封建的な搾取方法を用ひるよりも雇傭勞働を用ひる方が不利となつてゐる」。

（註）「レーニン全集」、第三卷、五號。

支那の富農の特殊性の分析に基いてこそ中國共產黨の富農に對する明瞭な戰術も立てられるわけで、是もコミンテルンの前記書翰に述べられてゐる。是と共に書翰は、支那農村の他の階級及び農民問題一般に於ける中國共產黨の戰術についても多くを述べてゐる。此の提言は、コミンテルンの指示に基き嘗つて中國共產黨第六回大會が採擇した「農村に於けるプロレタリアートの堅牢な支柱は貧農、中農は鞏固な同盟者」といふ一般的な標語を具體的に適用したものである。

此の時期のコミンテルンの諸文書は、既にソヴィエトの旗の下に行はれてゐる、農民のバルチザン運動の發展の諸問題に對する端緒的分析と、基本的な立場を

示してゐる。此の時期には、ソヴィエト運動は主として帝國主義的支配の中心から遠く離れ、干渉者の武器に依る壞滅を受けることの少い農村で發展し維持されてゐた。何十何百のソヴィエトの根源地が廣東、湖南、江西、廣西等の諸省の各地方に勃興した。

分散した個々のパルチザン部隊を統一しつゝ、支那紅軍が成長した。スターリンは早くも一九二五年乃至一九二七年の武漢革命期に、革命のソヴィエト段階の最も重大な任務の一として、支那紅軍の建設を說いた。スターリンは、現に一九二七年五月、支那革命に於ける武力の役割に關し廣汎な問題を提起して次の如く述べたのであつた。「今日大切なことは、農業革命の學校を卒業した革命的農民と革命的勞働者から成る新しい革命軍の基礎を直に置き、賴むに足る軍幹部を有する、多くの新しい眞に賴むに足る軍隊を創建し、是を武漢に於ける革命政權の防塞とすることである。此の軍隊は將來紅軍に發達すべき、新しい軍隊の中核となるであらう」(註)。支那革命其の後の發展に於て、スターリンが豫め設計した此の途は、決定的な途の一となつてゐる。一九二七年八月に南昌で叛亂を起した葉挺と賀龍の「共產軍」は、紅軍の最初の部隊となつたが、是は革命的勞働者農民の代表者を以て固められ、南支に於ける其の後のソヴィエト根源地に最初の種を播いたのであつた。

(註) スターリン「反對派に就て」五八〇頁。

然し乍らソヴィエト運動の此の時期の特徵は、ソヴィエト運動が勞働者の中心地には未だ殆ど及んで居らず、それが爲に、多數の比較的に小規模なソヴィエト區が弱々しく分散してゐたことであつた。

此の時期の農民運動は、一九二五年乃至一九二七年の廣汎な革命の波が席卷しなかつた諸省でも成長しつゝあつた。北支那の諸省ではもつと時代遲れの型を持つた舊來の農民團體(祕密結社等)が息を吹き返した。最後に、新しい昂揚の準備の時期は、革命の第一段階では殆ど運動に參加しなかつた民族的農民層が革命に接近して來た事を其の特徵とする。農民問題に關する書翰は、例へば、此の時期に「甘肅に於ける回敎徒の農民運動が、其の規模に於て甚だ重要な意義を有するに至つた」ことを確認してゐる。

正に此の時期に於て初めて、支那に於ける國內の民族問題が大規模なものとなつたのである。一九二八年に甘肅を席卷した强力な回敎徒の暴動、北支那(綏遠、寧夏、察哈爾)に於ける蒙古諸部族の民族的獨立を目指す鬪爭の激化、南支の少數民族(モン族、タイ族、ノス族等)の南支のソヴィエト運動への參加(海南島、西部廣西等)——は、數世紀の間支那の封建諸侯に依つて特殊の蒙昧と孤立に押し込められ無制限に壓迫されてゐた、名も知られぬ諸民族に革命が生氣を與へたことを示すものである。

コミンテルン執行委員會は其の多くの文書中に於て、支那の少數民族に一層多くの注意を拂ひ其の中で一層活潑に活動すべしといふ問題を、中國共產黨の前に提示した。「叛亂回敎徒間に於ける黨の活動に轉換を行へ」——とコミンテルン執行委員會が中國共產黨中央委員會へ寄せた十二月(一九二九年)書翰は述べてゐる。「回敎徒の叛亂者大衆を味方に引入れる鬪爭の爲に、黨は先づ支那に於ける被壓迫民族の爲の綱領と標語を作らねばならぬ」——と農民問題に關するコミンテルン執行委員會の書翰は述べてゐる。「黨は——と一九三〇年の決議(次章に收錄)は述べてゐる——少數民族間での活動を强化しなければならぬ。黨は、北支の回敎徒の運動、內蒙古の民族革命鬪爭、滿洲の朝鮮人勞働者農民の鬪爭、南支の苗族及び猺族の鬪爭の緊密な聯絡と指導を確立しなければならぬ。是と共に、印度支那に於て激化しつゝある革命鬪爭の最も大きな意義を認め、黨は自己の勢力を特に雲南省や香港や廣東の安南族大衆に及ぼして、是を把握しなければならぬ」。

最後に、此處に收錄した諸文書が最も注意してゐるのは、中國共產黨の問題、支那のブルジョア民主主義革命を最後迄指導し、是を社會主義の軌道へ導くべき唯一の黨としての、現段階に於ける其の役割と意義である。

周知の如く、此の時期には中國共產黨の第六回大會が開かれたが、是は、黨が一九二五年乃至一九二七年の革命に於ける其の指導の特徵をなした、右翼日和見主義的方針と革命の一時的敗北の時期に於て特に明かとなつた「左翼的」一揆主義的誤謬とに對する鬪爭の最初の總決算を行つた歷史的轉機として、特別の意義を有するものであつた。現段階に於ては、此の「左翼的」誤謬は新しい昂揚を準備するに際しての正しい方針に對立する重大な危險となつた。「現時の情勢に於ける最も重大な危險は——とコミンテルン執行委員會第九回總會は確認した——勞働者農民の運動の前衞が、

現時の情勢の誤つた認識と敵の力の過小評價の結果として、大衆から切り離され、前進し過ぎ、自分の力を使ひ過ぎ、各個に撃破される懼れのある點に存する」。此の危險は、此の時期に初めて深く革命の地下へ潛入し第一の革命的昂揚期に集積された相當の厄介物を殘してゐた黨の個々の部署や個々の部面に事實となつて現れた。黨はソヴィエト革命の新しい昂揚の準備期を、二つの戰線に於て、卽ち當時既にブルジョア地主的反革命の殿軍に轉化してゐた陳獨秀主義の殘滓と、「左翼的」傾向——一揆主義、軍事冒險主義、「暴動の遊戲」——に對して決定的な鬪爭を行ひつゝ、やり過さなければならなかつた。コミンテルンの諸文書は、黨に其の誤謬と其の是正の方法を示す具體的な提言を與へ、黨が勞働者農民大衆をソヴィエト革命の昂揚へ、レーニン的に導く眞のボリシェヴィキー黨となるのを助けてゐる。黨は、コミンテルンの指導下に新しい革命の波濤を準備する最も困難な時期を勝利に輝き乍ら通過し、既に反動との鬪爭裡に鍛へ上げられ、國民黨の地下と白色テロルの諸條件下に堪え忍び、新情勢下の鬪爭の經驗を豐富に持つに至つて、大衆を新しい昂揚へと導いた。

ソヴィエト革命の昂揚と新しい昂揚期のコミンテルンの戰略及び戰術は、本書第三部の第二章に明かである。

一　廣東コムミューンに關するコミンテルン執行委員會の檄（一九二七年十二月十五日）

全勞働者、全被壓迫民族、資本主義國の軍隊の全兵士諸君

廣東、革命鬪爭の名譽ある此の都市に於て、勞働者と農民は權力を奪取した。——ソヴィエトの旗、革命の赤旗は南支那の首都に飜つた。廣東勞働者の比類無き勇敢さは、最も偉大な眞に世界的な意義を持つ行爲である。

勞働者と農民に對して、反革命の全勢力が、外國の帝國主義者共、血に餓えた將軍＝死刑執行人共、反革命的ブルジョアジーが團結した。是等の勢力は廣東奪取の爲に狂暴な鬪爭を行つてゐる。彼等は廣東を全世界から切り離して包圍した。ブルジョア通信は、赤色廣東は既に陷落した、勞働者と共產主義者の大衆的處刑は始まつた、然し勞働者の革命部隊、支那の赤軍は、圍を破つて逃れたと報じてゐる。若し是が本當としても、廣東に於ける反革命の勝利は確實なものでもなく、又長期のものでもあり得ない。廣東省では五箇所でソヴィエト權力が固く維持されてゐる。新しい鬪爭は不可避だ。局部的な敗北にも拘らず、運動は進展してゐる。ブルジョア反革命家、將軍＝絞刑吏は擊破されるであらう。帝國主義的强盜は支那の領土から驅逐されるであらう。然し、今は、彼等の斧の下に、英雄的な支那革命が、勞働者農民の革命が立つてゐるのだ。

革命の救援に驅けつけろ！支那ソヴィエトの救援に急げ！支那革命を扼殺する爲の一人の兵士をも、一人の水兵をも、一個の彈丸をも、一艇の小銃をも送らしてはならぬ！汽船に軍需品を積むのを拒否せよ　諸君の力を動員せよ！帝國主義的軍隊の支那卽時撤退を要求せよ！

支那に於けるソヴィエト權力萬歲！

國際革命萬歲！

一九二七年十二月十五日　　コミンテルン執行委員會

二　支那革命の新しい段階

全聯邦共產黨第十五回大會の決議から、一九二七年十二月。

支那革命の一時的敗北、殊に廣東に於けるソヴィエト樹立の暴動の鎭壓にも拘らず、支那革命は再び全戰線に亘る攻勢に轉ずる力を蓄へ乍ら生き續けてゐる。支那に於ける革命運動の新しい昂揚は新しい基礎の上に行はれるであらう。支那の民族ブルジョアジーは其の革命的潛勢力を徹底的に使ひ果して、完全に國際帝國主義への奉仕に移行した。國民黨は、將軍の、反革命的、死刑執行人的な一味の直接的な武器となつた。今日、支那革命は、たゞソヴィエトの旗と勞働者階級のヘゲモニーの下に、勞働者農民及び都市貧民の革命としてのみ、發展し得るし、又發展するであらう。日和見主義的な誤謬を犯した共產黨は、其の指導部を更新することを得、勞働者農民のソヴィエトの旗の下に、支那革命の大業を勝利を以て鬪ひ取る爲に、自己の部隊を建て直しつゝある。

全聯邦共產黨第十五回大會、速記錄一二九〇頁。

三　コミンテルン執行委員會第九回總會（一九二八年二月）

支那問題に關する決議

一、支那革命の現在の時期は、ブルジョア民主主義革

命の時期であるが、此の革命は經濟的見地（農業革命及び封建關係の廢絶）からも、帝國主義に對する民族的鬪爭の見地（支那の統一と國家的獨立）からも、權力の階級的本質の見地（プロレタリアートと農民の獨裁）からも未だ完成されてゐない。支那革命の現段階を、既に社會主義革命に迄成長轉化した革命として特徴づけるのは、間違ひである。同じやうに、是を「永久」革命として特徴づける（コミンテルン執行委員會の代表者の立場）のも間違つてゐる。革命のブルジョア民主主義段階を飛び越え、同時に、革命を「永久」革命と評價する傾向は、一九〇五年にトロツキーが犯したのと類似した誤謬である。此の種の問題提起に於ては、半植民地的革命としての支那革命の最も大きな民族的特質が除去されてしまふので、此の誤謬は一層有害である。

二、根本に於て共產黨の標語の下に、著しい程度に於て其の指導の下に行はれた勞働者農民の廣汎な革命運動の最初の波濤は、既に過去のものとなつた。此の波濤は一聯の革命運動の中心地では、勞働者農民の慘澹たる敗北を以て、勞働者及び農民運動の共產主義的な、總じて革命的な幹部の一部の殺戮を以て、社會的諸勢力の兩極端の鮮明な發展を以て、鬪爭する諸階級の政治的標語の形成を以て、國民黨＝將軍達の指導部が反革命の指導部であることを完全に暴露したことを以て、廣汎な勤勞大衆が最大の革命的經驗を得たことを以て、最後に、支那に於ける一切の大衆的革命運動が其の新しいソヴィエト段階へ移行したことを以て、終を告げた。諸階級の再編成が行はれたのに關聯して、反動の勢力が或る程度迄鞏固となつたことは全く疑ひの無い處であつて、ブルジョアジーは反革命的封建分子や軍閥との完全なブロックへ移行したばかりで無く、基本的な經濟的地位を獲得し自己の政治的勢力を强化しやうと、一層積極的に動き出した外國の帝國主義と事實上協定を結んだのであつた。反革命の此の三つの基本的な勢力が勞働者農民に對し、革命に對し、共產黨に對して共同して襲ひ掛つてゐる。同時に此の反革命陣營内では猛烈な内部鬪爭が見られるが、是は一方では互に抗爭しつゝある支那の諸分派の利益の對立を、他方では帝國主義列强の各種の群の利益の對立を反映したものである。

三、現在では、全國的な規模に於ける革命運動の新しい强力な昂揚は未だ存在しない。然し乍ら、一聯の

兆候は、勞働者農民の革命が正に斯樣な新しい昂揚に進みつゝあることを物語つてゐる。此の事は、廣東勞働者の英雄的な叛亂ばかりでなく、何はさて措き、一聯の地方に於て農民運動が發展しつゝあること（廣東省の數縣のソヴィエト化と此の省に於ける革命運動の擴大、湖南、江西、湖北、河南、山東、滿洲及び北支諸省一般に於ける革命運動の成長）、更に、軍閥の軍隊の兵士間に騷亂が繰返されてゐることが、是を物語つてゐる。大衆の經濟的地位の慘澹たる惡化、金融恐慌、軍閥間の不斷の戰爭に依る窮迫、前代未聞の政治的壓迫は、大衆を驅つて必然的に革命的鬪爭の途に押し進めつゝある。

四、支那革命の經驗は、運動が極端に不均等な發展をするといふ特質を强調してゐる。運動は歷史的に出來上つた各種の鬪爭條件に從つて支那の各省で不均等に發展してゐる。それは、都市と農民を問題とするだけでも、今日迄不均等に發展した。現在の特徴とすべきは、就中、一聯の省では農民運動が發展を續けてゐるに反し、一聯の工業中心地では前代未聞の白色テロルの壓搾機に放血され壓搾されて、勞働者運動が或る程度の不振の段階を經過しつゝあることである。

五、右の如き情勢は現在に於ける黨の根本的な戰術的方針を決定する。黨は新しい革命の波濤の廣汎な昂揚を準備しなければならぬ。此の昂揚は必ずや黨をして大衆的武裝暴動の組織と實行といふ直接的、實踐的任務に直面せしむるであらう。蓋し、暴動と現權力の顚覆の方法を以てしてのみ、革命の任務は遂行され得るものだからである。正に此の爲にこそ、現在に於ける一切の黨活動の重心は、勞働者農民の何百萬といふ大衆の獲得、彼等の政治的啓蒙、彼等を黨と其の標語（地主土地の沒收、八時間勞働制、支那の民族的統一と其の帝國主義の重壓からの解放、現權力の顚覆、プロレタリアートと農民の獨裁、ソヴィエトの組織）の周圍に組織することに、置かれてゐるのである。現在の情勢に於ける最大の危險は、現情勢の認識を誤り敵の力を過小評價した結果、勞働者農民運動の前衞が大衆から切り離され、徐りに前進し過ぎ、自分の力を使ひ果して、各個に擊破される懼れがある點に存する。共產黨が大衆の獲得と其の組織の必要を理解しなかつたなら、何百萬といふ大衆を新しい廣汎な革命的昂揚に準備すること及び、現在の中心的な任務たる此の準備から注意を逸らさうとする一切の企てに對して鬪爭を行

はなかつたなら、黨は必ず擊破され解體させられるであらう。

六、コミンテルン執行委員會は、是に鑑み、勞働者農民間に於ける黨の大衆的活動を強化する必要のあることに特別の注意を拂ふものである。勞働者を勞働組合に組織する活動を、萬策を講じて強化する必要があり、此の目的の爲には、勞働者の所謂「兄弟分關係」を利用し、勞働者を階級敵の手から奪還する爲に、合法的な勞働組合、更に黃色勞働組合へも(其の警察的、國民黨的な指導機關と鬪爭する爲に)潛入しなければならぬ。蓋し是等の組合は、多かれ少なかれ大衆團體たることに相違ないからである。同時に、勞働組合運動では、黨にとつて破滅的なものとしてテロルの實行を一擧に止めなければならぬ。又ストライキを强制的方法を用ひて行はせることに對しても、最も決定的に抗爭すべきである。大衆を說得して黨の指導する正しい途に向はしめてのみ、大衆側から獻身的な支持と完全な信賴を受けてのみ、運動の指導は可能である。同じやうに、農民團體(農民組合、農民委員會等)の網を創建し擴大する活動を强化する必要があり、農村のプロレタリア的分子の特殊な團體と共に、常に大衆の階級意識の覺醒に組織的活動を行ひ、貧農間での活動の强化に特別の注意を拂はねばならぬ。彼等の日常鬪爭を指導し是を組織することは、今日如何なる時よりも大きく中國共產黨の義務たるべきものである。

七、勞働者階級の一部に見られる一揆主義に對し、都市と農民とを問はず準備も組織もなしに攻勢に轉ずることに對し、暴動の遊戲に對し、決定的に鬪爭しなければならぬ。勞働者農民の大衆的暴動に非ずして暴動を弄ぶことは、革命を破滅に陷れる的確な方法である。

農民の自然發生的な、バルチザン的な進擊を指導する際、此の進擊がプロレタリア的中心地に於ける革命の波濤の新しい昂揚と結び附いた場合にのみ、勝利に輝く全民衆的暴動の出發點に轉化し得るものであるといふことを、黨は知つてゐなければならぬ。又黨は此處でも、農村と都市、隣接諸省に於ける一般的な並列的な進擊、廣汎な規模に於て準備され組織された進擊の準備をすることを、其の主要な任務としなければならぬ。是に關聯しては、力を浪費し互に何の連絡もなく失敗することが判り切つたバルチザン戰爭に熱中することに對して鬪爭しなければならぬ(斯樣な危險が湖南、湖北其の他の地方に見られる)。農民の進擊の組織は黨が今後重視すべきものであるが、是を行ふに當つては、支那の各省及び各地方の夫々異なつた鬪爭條件を常にしつかり考慮に入れてゐなければならぬ。ソヴィエト權力が共產主義者の指導下にある地方では、殊に此の差異に注意しなければならない。コミンテルン執行委員會は、ソヴィエト化された農村での黨の主要な任務は農業革命を遂行し、漸次合同して將來は一個の一般的な全支那的赤軍たらしめる意圖の下に赤軍部隊を組織することにあると思惟する。

八、支那革命今後の發展の最も重要な條件は、中國共產黨自體、其の幹部、其の周邊、其の中核を萬策を講じて强化することである。中國共產黨は根本に於ては、コミンテルンの舊諸決議中に指摘された過去の日和見主義的誤謬を是正したが(一九二七年中國共產黨八月會議)而もなほ、戰術的分野(一揆主義や勞働組合內でのテロル的鬪爭方法の危險の過小評價、農村に於けるパルチザン鬪爭への熱中)でも組織的分野でも動搖を示し、現情勢の諸條件にはまだ全的に順應してゐない。黨組織の强化、新黨員の募集、中央及び地方の黨組織間の聯絡の强化、鞏固な黨機關の創建、黨と黨外大衆との正しい相互關係、日和見主義の殘滓及び「左翼的」言辭(「冒險主義」、「青年共產黨」創建の思想、テロル、暴動主義、暴力に依るストライキの强行等々)に熱中することに對する鬪爭——是が當面の任務でなければならぬ。

九、コミンテルン執行委員會は、中國共產黨が、新しい、外見だけ「眞に共產主義的な」「勞働者農民の」黨で其の實は、ブルジョア改良主義的な黨を組織しやうとする企圖、若干の舊共產黨員(譚平山等)がやつてゐる企圖に對し、假借なき鬪爭を行ふべきものと考へる。是は、事物の本質上、蔣介石其の他の勞働者階級や農民の死刑執行人共の御用を勤める武器で、結局はメンシェヴィキー的な反勞働者的、反農民的な黨となるであらう。勞働者農民運動中の此の右翼的、反革命的な危險に對する鬪爭は黨の當面の任務であつて、此の鬪爭は中國共產黨が日和見主義の殘滓に對しては如何なる讓步をもせず、自己內部の「左翼的」一揆主義的な偏向を克服することが徹底的であればあるほど、早く成功するであらう。

一〇、コミンテルン執行委員會は、支那の革命運動の全經驗を充分に研究し、此の經驗を全黨細胞內で檢討することが必要であると思ふ。殊に廣東暴動の經驗

の檢討が必要である。廣東暴動は、支那に於てソヴィエト權力を組織せんとしたプロレタリアートの英雄的企圖であり、勞働者農民の革命の發展に巨大な役割を演じたものであるが、未だなほ指導部の一聯の誤謬を含んでゐる。勞働者農民間、同じく敵の軍隊内で、充分な豫備活動を行はなかつたこと、黄色勞働組合員の勞働者に對する働き掛けが間違つてゐたこと、黨組織及び共產青年同盟團體が暴動の準備を充分にしてゐなかつたこと、全支那的な黨の中央部が廣東の事件に充分通曉してゐなかつたこと、大衆の政治的動員が貧弱であつたこと（廣汎な政治的ストライキが行はれなかつたこと、暴動の機關としての選擧制ソヴィエトが廣東に存在しなかつたこと）――是等の誤謬については、コミンテルンに對して政治的責任を負ふ直接の指導者達（N其の他）が罪過の一半を負擔すべきものである。指導部の此の誤謬にも拘らず、廣東暴動は大支那革命の指導者たる歷史的役割を主張する權利を持つ支那勞働者の最も偉大な英雄主義の見本として、是を考慮すべきものである。

一一、コミンテルン執行委員會はコミンテルンの全支部に對し、支那革命が清算されたと主張する社會民主主義やトロツキー主義者の中傷に對して鬪爭すべき義務を課する。此の中傷は、新しい強力な革命的昂揚へ進みつゝある支那の勞働者農民の運動を扼殺せんと努める支那に於ける帝國主義者の活動を容易ならしめるだけである。コミンテルン執行委員會は其の全支部に對し、萬策を盡して支那革命を援助すべき義務を課する。帝國主義の反革命的干涉が激烈となつてゐる現在、此の援助は特に必要であり義務的である。帝國主義諸國に於けるコミンテルンの支部は、陸海軍の支那撤退の爲に、支那の領土を併合し分割せんとする一切の企圖に對し、支那の革命運動を扼殺せんとする政策に對し、從來以上に鬪爭しなければならぬ。コミンテルン執行委員會は、全勞働者及び先づ共產主義者に呼び掛け、支那の英雄的プロレタリアートに對し、連帶と援助の國際プロレタリア的義務を果さんことを求めるものである。

「コミンテルン文書集」七六三―七六七頁。

四　コミンテルン第六回大會（一九二八年八月―九月）

一　支那に關する拔萃

第三期と支那

全國際的矛盾（資本主義諸國とソヴィエト聯邦間の矛盾、支那分割の端緒としての北支那の軍事占領、帝國主義者間の鬪爭等）を激化し、資本主義諸國内の内的矛盾（勞働者階級大衆の左翼化過程、階級鬪爭の激化）を尖鋭ならしめ、植民地運動（支那、印度、エヂプト、シリア）を發展せしめつゝ、此の時期（第三期――編輯者）は資本主義的安定の矛盾を愈々發展させ、是を通じて資本主義的安定の愈々激しい動搖と、資本主義の一般的危機の激化へ不可避的に進みつゝある（註）。

（註）周知の如く、コミンテルン第六回大會は、植民地に於ける革命運動の問題を取扱つた特別のテーゼ（本書第一部に收錄）を採擇した。本章には第六回大會の採擇した支那關係の他の決議とテーゼからの個々的な拔萃のみを收錄した。我々は是等の拔萃の全部を體系的に配列し、一般的な表題を附した。第六回大會の支那に關する檄文は別の部分に收めた。

「國際情勢とコミンテルンの任務に關するテーゼ」、五七頁。

斯樣な諸條件下に於ては、販賣市場と投資市場の問題が極めて尖鋭化した。大規模な軍事的衝突の新しい時期、ソヴィエト聯邦に對する干涉戰爭の成熟は此の爲であり、支那に於ける一切の干涉沙汰も此の爲である。資本主義的安定の矛盾過程は、斯樣にして結局現在の「安定期」を、不可避的に大破局期へ成長轉化せしめつゝある。

「同上」、第六項、五九頁。

來る年も來る年も支那革命に對する帝國主義者の公然たる軍事干涉に滿されてゐる。支那市場に對する帝國主義者の制御の名に於て、何百人もの勞働者や農民が殺されたし、今も現に殺されてゐる。然し乍ら、此の干涉が軍事占領と支那分割の形態に凝結してゐる今日程、支那に於ける干涉が大規模になつたことも嘗つて無かつたし、全世界の平和に對する公然の脅威となつたことも無かつた。

「世界帝國主義戰爭第十四周年に際しての檄」、一九四頁。

「販賣市場と投資市場の獲得鬪爭は、ソヴィエト聯邦に對する戰爭や帝國主義者相互間の戰爭を孕んでゐるばかりでなく、もはや既に、巨大な支那市場の分割を目的とする大々的な干涉戰爭を惹起してゐる。支那には帝國主義者の前に搾取の對象が存在すると同時に、資本主義の原則の支配を覆へさんとする革命運動も存在する。從つて一般的、帝國主義的ブロックの形成は疑ひの余地なきことである。故に、ソヴィエト聯邦に對する帝國主義的列强のブロックと併立して、支那革命の諸

勢力に對する一般的な反革命的、死刑執行人的軍事干渉も存在する。同時に、支那革命に對する此の共同闘爭は、帝國主義ブロック内の利益の最も深刻な矛盾を、何よりも先づ日本の劫掠者的な公然たる侵略的な帝國主義と、現發展段階では平和主義の欺瞞的な外衣を纏つてゐるアメリカ帝國主義の強大な力との間の矛盾を發展せしめつゝある。斯様にして、支那民衆に對する帝國主義者の事實上の戰爭は、帝國主義者間の大衝突を惹起せしめる懼れがあるのである。」

「國際情勢とコミンテルンの任務に關するテーゼ」、第十二項、六〇頁。

一九二五年乃至一九二七年の革命の教訓

中國共產黨は過去の幾多の重大な日和見主義的誤謬——國民黨に對し獨立と批判の自由を缺いてゐたこと、革命の一段階から他の段階へ移り、時を逸せず抵抗の準備をする必要のあることを理解しなかつたこと、最後に、農業革命にブレーキをかけたこと——に依り、幾多の慘澹たる敗北を蒙つた。敗戰の打撃の下に此の英雄的な黨は、日和見主義に對して假借なき戰を宣して自己の誤謬を是正したが、其の指導部は明かに一揆主義的、冒險主義的な氣分に對して充分な抵抗を示さずして別の誤謬に陷り、結局、湖南、湖北等に於ける暴動の失敗を齎した。他方、若干の黨員達は日和見主義的誤謬に陷り、國民議會の標語を掲げるに至つた。本大會は廣東暴動を一揆と見やうとするのは全く間違ひであると思惟する。支那革命の此の時期に於ける、支那プロレタリアートの英雄的な後衛戰であつた廣東暴動は、指導部の重大な誤謬にも拘らず、革命の新しいソヴィエト的段階の旗たるを失はぬ。革命的昂揚の二つの波の中間期たる今日に於ける黨の重要な任務は、大衆獲得の闘爭、卽ち勞働者農民間での大衆的活動、其の組織の再建、革命闘爭を發展させる目的を以て、地主、ブルジョア、將軍、外國帝國主義者に對するあらゆる不平不滿を利用することであるが、其の爲には黨自體を、萬策を講じて強化する必要がある。大衆的叛亂の標語は宣傳的な標語に變更されなければならぬ。そして新しい革命的昂揚が眞に大衆的に準備され成熟して行くにつれて、初めて是はソヴィエトを基礎とするプロレタリアートと農民の獨裁の旗の下に、更に高い段階に於て再び直接的實踐の標語となるであらう。

「國際情勢に關するテーゼ」、第五十四項、七八頁。

植民地及び半植民地の被壓迫民衆の帝國主義者に對する民族革命戰爭——是が必然的に大規模なものとなることに就ては、既に、一九一六年レーニンが論じてゐる——は、最近數年間に理論命題から歷史的事實に轉化した。斯様な戰爭の例を擧げれば、モロッコに於けるフランス及びイタリーの帝國主義に對する戰爭、シリアに於ける暴動、メキシコ及びニカラグァに於けるアメリカ帝國主義に對する戰爭、一九二五年の香港に對する廣東の革命戰爭及び最後に一九二六年乃至一九二七年の支那に於ける北伐が是である。民族革命戰爭は、世界革命の現段階に於て重大な役割を演じてゐる。故に、プロレタリアートは是等の戰爭の經驗と教訓、殊に一九二六年乃至一九二七年の北伐の教訓に對し最も注意しなければならない。

北伐の全期間を通じ、其の指導的役割を演じたのはブルジョアジーであつたにも拘らず、支那のプロレタリアートは充分な根據に基いて、北支那の軍閥と其の背後に居る帝國主義者に對する、南支那の戰爭を支持した。支那プロレタリアートは、北支那の反革命政府の敗北を希望し促進したばかりでなく、動搖するブルジョアジーに對し、其の妥協的な態度に對し、其の引續き行はれた裏切に對して抗爭し、革命戰爭の遂行を支持し、此の戰爭に於けるプロレタリアートのヘゲモニーの爲に闘爭した。コミンテルンが支那の共產主義者に提示した此の一般的方針は、前世紀の民族戰爭に對するマルクスとエンゲルスの態度に合致するものでもあつたし又、レーニンの教義にも合致するものでもあつた。

然し乍ら、それにも拘らず、中國共產黨は幾多の最も甚大な誤謬を犯した。全被壓迫民族の共產主義者は、是から重要な教訓を汲み取ることが出來やう。此の戰爭に於ける中國共產黨の義務は、當時存在してゐた革命的情勢を、萬策を講じて自己のプロレタリア階級的軍隊の創建と軍事組織の擴大に利用し、革命に於ける指導權の奪取を目的とするプロレタリアートの闘爭を容易ならしめるやう、勞働者農民を準備する爲に利用することであつた。然るに、北伐當時の客觀的條件は共產黨に有利であつたにも拘らず、黨は實踐的には軍隊内での活動を行ふ爲に國民黨の軍事的及び政治的機關を利用する能力なきことを暴露し、自分自身の軍隊を創建しやうと企てなかつた。共產黨は、國民黨系の將校との掛引に最も注意して、兵士大衆の間で宣傳した

り、彼等を組織したり、軍隊の性質を變化させる目的を以て、勞働者農民を大衆的に軍隊へ引き入れたりすることを、自己の活動の中心的な要素としなかつた。黨は、勞働者農民大衆の武裝の革命的意義を理解せず、農民のパルチザン戰爭の準備と指導に拂ふべき注意を怠つた。

民族革命戰爭を支持するに當り、プロレタリアートは同時に、現在の民族革命戰爭や其の渦中にある個々の階級的役割等々の具體的な分析を基礎としてのみ決定すべき戰術を、此の戰爭に於て適用しなければならない。例へば、マルクスは一八四八年にッァリズムに對する戰爭といふ標語を提示したが、此の戰術はナポレオン三世に對してドイツが戰つた一八七〇年のものとは異なつてゐた。支那の共產主義者は、充分な理由があつて、北伐時代には民主主義的ブルジョアジーと一時同盟を結び、ブルジョアジーが帝國主義の手先共と鬪爭する間は、又、共產主義者が民族革命陣營に於て暴露的煽動を行ふ可能性を有する限りは、是と行を共にした。然し乍ら、フランス帝國主義の侵入に對する國民的防衛の問題が當面の問題となつてゐた一九二三年に於けるドイツの共產主義者の戰術は、右とは異なるものでなければならなかつた。共產主義者は、國土の防衛を、革命的役割を演ずる能力の無いドイツのブルジョアジー覆滅の爲の鬪爭と結びつけなければならなかつた。支那の共產主義者は、今日右と同じ立場に立つて、日本の干涉に對する國民的鬪爭の問題を提起しなければならない。彼等は國土の革命的防衛を、蔣介石と國民黨ブルジョアジーの打倒、勞働者農民の革命的、民主主義的獨裁の實現の爲の鬪爭と結びつけなければならぬ。

「戰爭の危險に對する鬪爭に關するテーゼ」、第三十三乃至三十五項、一〇〇—一〇一頁。

支那に於ける干涉に對する現在の鬪爭について言ふならば、それは支那ブルジョアジーの一部や國民黨が未だ或る程度の革命的な役割を演じてゐた當時の干涉に對して行はれた鬪爭とは、戰術的に別個のものである。各種の土着軍閥の權力間に行はれてゐる現在の國內戰爭は、結局に於て、支那分割の問題に就き各種の帝國主義的列强間に存在する對立抗爭の表現である。ブルジョアジー及び地主の各種の分派を代表する交戰當事者は、孰れも反革命的な性質を帶びてゐる。國際プロレタリアートは、支那に於ける現時の情勢に於て

は、支那の勞働者農民の擁護を目的とする自己の積極的な鬪爭を、一切の支那のブルジョア諸政府と帝國主義の道具たる軍閥の反革命的な役割の暴露に結びつけなければならぬ。帝國主義に對する鬪爭の支持は、ただ、支那の勞働者農民の革命にのみ與へられ得るのである。被壓迫植民地民衆へ味方せよとの標語を、今日、支那のブルジョア軍隊へ適用してはならぬ。

斯樣な戰術の變化にも拘らず、干涉自體に對する鬪爭は、如何なる場合に於ても、從前に劣つてはならぬ。然し乍ら、各國共產黨の大部分は、支那革命に於ける戰術の變更を口實にして右に反する結論を導き、重大な誤謬を犯したのであつた。

「同上」、第四十項、一〇三頁。

「今日、是等の（植民地的——編輯者）國々には全く其の型を異にした二つの軍隊のあることを看過してはならぬ。卽ち、一方には國民軍（必ずしも常に革命軍といふわけではない）、他方には帝國主義者の軍隊（本國から派遣された遠征軍であることもあるし、他の植民地國の土人に依つて編成されてゐる軍隊であることもあるし、最後には、其の國で徵募された軍隊であることもある）——是である。支那に於ても、斯樣に軍隊に二つの型がある。國民軍が事實上帝國主義の軍隊に轉化する例も同じである。卽ち、蔣介石の行つたクーデターの後には、南支那の國民軍は事實上帝國主義の御用を勤める軍隊に轉化してしまつたのである。プロレタリアートと革命的勤勞大衆が此の二つの型の軍隊に對して採るべき態度は、全然異なつたものでなければならぬ……。

（民族革命戰爭の政策を遂行するに當り帝國主義と鬪爭する爲には、植民地軍隊內での組織的、煽動的、宣傳的な活動が絕對に必要である。共產主義者と民族革命家は、故に、各種の植民地軍の研究と、其の內部に於ける活動の效果的な方法の研究に最も注意しなければならぬ。支那に於ける例が示すやうに、訓練の惡い、給與の惡い土人の傭兵軍內での活動は、屢々成功の最大のチャンスを持つものである。

是に就いての部分的な要求は、前に揭げた帝國主義諸國家に關する要求と或る程度迄類似したものであらう。然し、此處でも、具體的諸條件の總體（軍隊の創設、構成及び士氣、物質的狀態等）を最も入念に研究しなければならぬ。又特に土人兵の諸要求を纏め上げること、白色軍幹部の加へる迫害や輕蔑に對する鬪爭

に注意を向けねばならない。

國民軍内部に於ける共産主義者の活動は、是とは別の性質を持つてゐるものであるが、一九二六年乃至一九二七年に於ける支那の民族戰爭の經驗が示すやうに、是は非常に重大である。共産主義者の任務は、正に、全軍隊内に細胞を組織し、軍隊を帝國主義に對する意識的な鬪爭の武器となし、民族革命の利益の爲に將校中の賴み難い分子と鬪爭し、共産主義者の掌中に歸してゐない軍司令部を最も廣汎な革命的民主主義の方法に依り兵士の統御下に置くことにある」。フランス革命當時の國民公會の軍隊が、其の有する將校選擧制に依り大勝利を博したことを看過してはならぬ。他方、是に反し、一九二六年乃至一九二七年に於ける南支の軍隊の全然非民主主義的な組織は、ブルジョアジーや其の將軍達の裏切的クーデターを著しく容易ならしめたのであつた。

「戰爭の危險に對する鬪爭に關するテーゼ」、第五十四、五十七項、一一〇、一一二—一一三頁。

支那革命の現段階と中國共産黨の任務

世界資本主義體制の一般的危機は、今日植民地及び半植民地の暴動や革命に頗る鮮明に現れてゐる。北米合衆國の帝國主義政策に對する抵抗（メキシコ及びニカラグア）、南アメリカに於ける反北米合衆國運動、シリア及びモロッコに於ける植民地暴動、エヂプト及び朝鮮に於ける不斷の人心動搖、インドネシアに於ける暴動、印度に於ける革命的危機の成長過程、最後に、支那に於ける大革命——是等諸々の事件や事實は、孰れも、帝國主義に對する鬪爭に於ける植民地及び半植民地の巨大な役割を物語つてゐる。

是等諸々の事實中最も重大な、全世界史的意義を有する事件は支那大革命である。此の革命は、直接的には何千萬の、間接的には何億の人間を、帝國主義との鬪爭場裡へ、初めて登場した尨大な人間大衆を、巨人の力を以て其の軌道内に引き入れてゐる。支那が印度支那及び印度に最も近い關係を持つてゐるといふことも、それ自體として、支那革命の意義を甚しく大ならしめるものである。最後に、此の革命の行程自體、其の民主主義的な性質、其のプロレタリア革命への必然的な成長轉化は、全國際プロレタリアートに對し支那革命の國際的役割の成長を啓示せずには置かない。

反帝國主義的、民族解放革命たる支那革命は、同時に、現段階に於ける其の客觀的な内容から見れば、必然的にブロレタリア革命へ成長轉化するブルジョア民主主義革命である。其の發展行程に於て、廣汎な勞働者農民大衆が動員されて行くに伴ひ、又地主や劣紳や「土豪」に對して平民的に復仇する農業革命が現實に發展して行くに伴ひ、民族（國民黨的）ブルジョアジーは幾多のクーデターを經て結局は、反革命陣營へ、封建分子との同盟、帝國主義的暴虐者との協定へと移行してしまつた。

故に、帝國主義に對する鬪爭は、土地獲得の鬪爭とも、反革命的ブルジョアジーの權力に對する鬪爭とも切り離すことの出來ないものである。此の鬪爭は、地主（劣紳、土豪）や軍閥に對する鬪爭とも、國民大衆の掠奪を齎し帝國主義者の地位を鞏固ならしめる彼等相互間の戰爭に對する鬪爭とも、切り離すことの出來ないものである。支那の解放は支那ブルジョアジーに對する鬪爭に於てのみ、農業革命、地主の土地の沒收、前代未聞の重稅からの農民の解放を目指す鬪爭に於てのみ、達成され得るであらう。支那の解放は、プロレタリアートと農民の獨裁の勝利なくしては、土地の沒收なくしては、外國企業や銀行や交通機關等の國有化なくしては、達成され得ないであらう。

是等の任務は、支那の革命的プロレタリアートの指導とヘゲモニーの下に進む最も廣汎な農民大衆の、勝利に輝く蜂起の環境裡に於てのみ遂行され得るであらう。

支那革命の現瞬間は、次の特徴を持つてゐる。内部には互に矛盾を藏し乍らも、帝國主義者と封建分子とブルジョアジーがブロックを作つてゐること、プロレタリアートと農民が甚大な敗北を蒙り共産黨の幹部の大多數が殺戮されてしまつたこと、勞働運動はまだ完全には敗北から回復してゐないこと、一聯の地方では農民運動の發展が引續き行はれてゐること、農民の暴動が成功した處では農民の權力機關が、部分的には農民のソヴィエトが樹立されてゐること——是である。共産黨は鞏固となり、内部の結束も固くなり、勞働者農民の廣汎な大衆に對する、其の權威と影響力は增大しつゝある。總じて、尨大な支那の領土の各部分に於ける發展の不均等性を考慮に入れるときは、現在を特徴づけて、大衆の勢力が革命の新しい昂揚を準備しつゝある中間期としなければならぬ。

「國際情勢に關するテーゼ」、第二十五—二十六項、六六—六七頁。

支那革命とコミンテルン諸黨

切迫してゐる帝國主義戰爭との鬪爭の問題、ソヴィ

エト聯邦の擁護、支那に於ける干渉と其の分割に對する闘爭、支那革命と植民地の蜂起の擁護——是が現在に於ける共産主義運動の主要な國際的任務であり、此の任務の遂行は、プロレタリアートの獨裁を目指す闘爭と歩を一にするところの、資本の攻勢に對する勞働者階級の日常闘爭と結びついてゐなければならぬ。

帝國主義戰爭に對する闘爭、支那革命とソヴィエト聯邦擁護の爲の闘爭は、勞働者階級の戰闘的國際主義の向上を要求する。各國の共産黨が是等國際的諸任務を充分に遂行してゐないことは、經驗の示す處であつた。既に第七回擴大總會も、「コミンテルンの殆ど全黨が、イギリスのストライキと支那革命とを支持すべき闘爭に充分な努力をしてゐない」ことを確認した。其の後の經驗は、正に此の運動の國際的任務が充分に理解されてゐなかつたことを證明した。一聯の場合、殊に支那に於ける干渉に對する闘爭に關しては、コミンテルン各支部の動員能力は明かに不充分であつた。本大會は全共産黨に對し、此の不充分さを最も決定的に是正する必要のあること、是等の問題に關して組織的に活動する必要のあること（印刷物に依る廣汎な啓蒙、宣傳的、煽動的文書の發行等々）、從來より遙に大なる精力を傾けて、國際的且戰闘的な自己教育を行ひまた廣汎なプロレタリア大衆の教育を行ふ必要のあることに注意すべきことを要求する。

植民地運動の支持、殊に壓迫しつゝある帝國主義諸國の共産黨からの支持は、現在の最も重要な任務の一つである。支那に於ける干渉との闘爭、全植民地に於ける解放運動の彈壓に對する闘爭、陸海軍内での活動、蜂起した植民地諸民族の徹底的な支持——斯くの如きものが今後の方策でなければならぬ。

「國際情勢に關するテーゼ」、第三十、三十三——三十四項、六八——六九頁。

我等が諸黨は、議院内の我々の反戰闘爭を、我々の要求を普及する爲の院外の活動と結びつけることを未だ學ばなかつた（サン・ゴタール事件及び支那への武器輸出の問題に於けるチェッコスロヴァキアの共産黨員の全活動は、院内と新聞紙上での臆病な抗議を出でなかつた）。

「戰爭の危險に對する闘爭に關するテーゼ」、第六十七項、一一七頁。

萬國の共産黨は、支那の帝國主義的分割に對する闘爭を、廣汎な大衆運動の形態に於て、列强の特別な、軍事的、政治的方策に對する闘爭の形態に於て行はなければならない。此の闘爭は新しい帝國主義戰爭の危險に對する闘爭と、最も密接に結びついてゐるのである。

「戰爭の危險に對する闘爭に關するテーゼ」、一二〇頁。

二　支那の勞働者及び勤勞者に對する第六回大會の檄

日本、イギリス及びアメリカの代議員の提議に依り大會第一日に採擇されたものである。

コミンテルン第六回大會は、大革命の前衞部隊たる支那のプロレタリアートと、帝國主義竝に地主ブルジョア反動に對する決定的な闘爭へプロレタリアートに依つて導かれつゝある數億の勤勞者達とに熱烈なる挨拶を送る。

支那の勞働者及び農民諸君！萬國のプロレタリアートは苦惱を以て諸君の甚大な喪失の苦痛を分ち、喜悦と歡喜を以て諸君の勝利を迎へるものである。支那に於ける帝國主義の打倒、卽ち世界帝國主義戰線の最も重要な一角の擊破は、獻身と堅忍不拔とを要求するものであるが、支那の勤勞者達は、革命の事業に對する其の大膽さと誠實さを以て、死を怖れぬ其の英雄的な態度を以て、全世界に深い感銘を與へてゐる。

何萬といふ勞働者や農民が、齒迄武裝した帝國主義との闘爭裡に斃れ、國民黨の醜惡な死刑執行人共の斧の下に斃れた。然し、革命は生きて居り、其の部隊は鞏固になりつゝある。闘爭に斃れた人々を、永久に忘れまい！斃れた人々の部署に就き、革命戰の赤旗を押し進める闘士達に榮光あれ。

支那の勞働者諸君！敵ブルジョア世界に對する民族革命闘爭の指導は、高度の階級意識、革命の推進力と其の途上にある恐るべき障碍物との正確な評價、闘爭の各段階に於ける手段の正當な選擇を要求する。支那革命の勝利は、闘爭の經驗に試練されたマルクス＝レーニン的方針の遂行に依つてのみ達成し得るであらう。農業革命を展開する爲にも、ばらばらになつた農民の何百萬といふ大衆を、其の中に溺れ込むことなくして、指導するが爲にも、煙眼を以て賴りにならぬ小ブルジョア同盟者の動搖を悉く突き止め、裏切の色が見えるや否や是を假借なく摘發するが爲にも、支那の勞働者は其の歷史的な使命を意識した階級として團結し、大衆的共産黨を創建しなければならなかつた。

帝國主義的追跡者から殘虐極まる搾取と嘲弄を受け

てゐた無定形の大衆から、支那の若いプロレタリアートと其の共産黨は第一義的な國際革命的な要因に轉化した。

本大會は聲明する、支那に於ける我等が部隊を、共産黨の前代未聞の急速な發展と成長を、黨が闘爭の第一線で示しつゝある英雄的行動を、黨が自己陣營中の誤謬を暴露し是正した大膽さを、本大會は誇りとするものである、と。

苟も被壓迫國にして、革命支那の打ち鳴らす警鐘の反響が起つてゐないやうな國は存在しない。上海、漢口、海陸豐及び廣東の例は、闘爭に起てと呼び掛けるばかりでなく、勝利をも敎へてゐる。支那の革命闘爭の經驗は、既に東洋の全勤勞者の共有の財產である。印度のプロレタリアートは、一九二二年に於ける自國のブルジョアジーの恥づべき降伏の敎訓のみならず、各種の形態を採つて現れた國民黨の裏切の經驗をも考慮しつゝ、革命闘爭の新しい段階に突き進んでゐる。インドネシアの大衆の血にまみれた蜂起は、新しい力を集結し、支那の例に倣つて自己の闘士達を再武裝しつゝある。

到る處、朝鮮でも、エヂプト等でも、農民大衆は支那革命の例から、土地を掠奪者や地主の手から取り上げるのはプロレタリアートと緊密な同盟を結び其の指導の下に於てのみ可能であることを知つて來た。プロレタリアートが意識的に民族革命闘爭の段階を招來しやうとしてゐる植民地や半植民地では、到る處プロレタリアートの前には、廣東の英雄達の旗に熱烈な文字を以て書き記された標語が終極の目的として置かれてゐる。帝國主義者の國際的密偵は到る處支那の革命的勞働者の後を嗅ぎ廻つてゐる。腐り切つた改良主義を以て民族解放闘爭を毒殺しやうと企てゝゐる第二インターナショナルは、何よりも先づ支那の革命家側からの暴露を怖れてゐる。上海、廣東、漢口の勞働者は、壓迫された全東洋に於ける帝國主義に對する勝利に輝く革命闘爭の擔當者である。

親愛なる同志諸君、國際プロレタリアートは、諸君の闘爭が資本主義制度の基礎を掘り返してゐること、諸國がプロレタリア革命の突擊隊であることをはつきりと知つてゐる。偉大な、然し愈々益々苦難の伴ふ任務が諸君の前にある。帝國主義の砲兵と支那政府の狂人染みたテロルの十字砲火の下に、諸君は諸君の部隊を建て直し、新しい力を動員し、今はまだ敵の手中にある陣地へ、近く突擊する準備として新しい部隊を集結しつゝある。資本主義諸國の革命的プロレタリアートは、此の闘爭に於て諸君に革命的支持を與へる爲に、あらゆる犧牲を物ともせず駈けつけるのが其の歷史的義務であることを知つてゐる。

コミンテルンは、資本主義諸國のプロレタリアートが、其の個々の代表者達の英雄的行動にも拘らず、支那に於ける勞働者農民の革命に、充分強力な援護を與へ得なかつたことを公言する必要があると考へる。第六回大會は、民族革命闘爭を支持し、支那に於ける革命の勝利を促進する爲にプロレタリアートの國際的な力を組織することを、其の最も重要な任務の一とするものである。

廣東暴動は、支那勞働者の最も偉大な英雄的行動の模範として勤勞者の意識に刻みつけられた。確乎不拔な、徹底的に試練されたレーニン主義の諸原則の上に組織され、國際プロレタリアートに依つて支持された、最も廣汎な勞働者農民大衆の來るべき蜂起をして支那の爲の勝利に輝く十月革命たらしめよ。

不羈獨立の、統一支那ソヴィエト共和國萬歲！

被壓迫民衆の勝利に進む蜂起萬歲！

世界プロレタリア革命萬歲！

第六回大會速記錄、第六輯、一八九—一九〇頁。

五　中國共産黨中央委員會に寄する

コミンテルン執行委員會の書翰

（一九二九年二月）

親愛なる同志諸君！

諸君の政治局の報告書、夥しい新中央委員會の回狀や地方黨組織の活動に關する各種の材料を熟讀吟味して、我々は、支那に於ける情勢の變化に照應してコミンテルン執行委員會第九回總會及び、諸君の黨の第六回大會に依り採擇され、次いでコミンテルン第六回世界大會に於て承認された新しい戰術的コースが、根本的には新中央委員會の把握するところとなつたが、黨全體に依る遂行の程度は甚だ貧弱であることを確認するものである。諸君の報告書や回狀にも明かなやうに、黨陣列中には、まだ或る程度の呆然自失さと組織の瓦解が存在し、是が黨の活動の展開を妨げてゐる。故に、黨の方針を說き明かすことに依つて此の狀態を可及的に急速に克服し、最大の徹底さと不屈さとを以

て黨員大衆を鼓舞激勵し、一刻も猶豫の出來ぬ根本的任務の遂行に向はしめなければならぬ。

何よりも先づ必要なのは、透徹したボリシェヴィキー的宣傳活動を以て、革命的昂揚の時代には共產黨の指導下に鬪爭した黨大衆や同情的勞働者の一部が、幻滅を感じ革命の見透しを失ふかも知れぬ危險を擊攘することである。今日の革命的勞働者運動にとつては極めて困難な情勢に於ては、此の危險は甚だ現實的である。革命敗北後の息詰まるテロル橫行の情勢下に於ては、呆然自失と意氣消沈は極めて徐々にしか消失しない。狂暴な反革命の激烈な打擊の結果、共產黨の組織や赤色勞働組合や革命的農民團體に加へられた打擊の結果、若干の臆病な人々の眼には、實際にさうある以上に、革命運動が荒廢した光景が、否絶望的に破壞し盡されてゐる光景さへもが、頗る容易に現れて來る。他方、內亂の終熄後、國內に現れた局部的な好景氣は、支那にとつて、資本主義の「回復」期が始まり、革命の波濤の新しい昂揚を排除するか、さなくとも是を際限のない遠方へ押しやるところの、平和的な政治的、經濟的發展の途が開かれたといふ、幻想の傳播する若干の根柢を作り出してゐる。

此の際全く看過されてゐることは、マルクス主義的分析を以て暴露すべき次の如き情勢、卽ち、支那革命の過去の波濤を發生せしめた根本的諸矛盾が未だ解決されず、是等の矛盾は支配し搾取する諸階級の手を以てしては解決し得ない、といふことである。

諸君の黨の最近の大會竝にコミンテルン第六回大會に於て、嚴に强調された此の決定的意義を有するモメントは、理論的判斷から出て來るばかりでなく、昨年の諸事件を充分に研究し現在の情勢を分析すれば、其の具體的な確證が多くの關係に現れてゐるのである。

現在の政治的情勢に於ける根本的な諸矛盾

國民黨と南京政府は國民の間に、外國帝國主義の羈絆から徐々に平和的に解放され得るかの如き幻想を發生させやうと努めてゐる。然るに支那に於ける帝國主義列强は、支那の若干の形式的な權利（例へば關稅自主權）の承認を約束すると同時に、事實上は「支那から手を引く」代りに、絞め繩を强めてゐる。殊に南支那ではイギリス、北支那では日本が最近其の「勢力範圍」を擴大し、其の支配的地位を强化し、其の爲に、是等現實的な事實の見地からすれば、空想的な「外交的方法」に依る支那の解放どころか、寧ろ支那の分割及び是と切り離し難い關係のある帝國主義戰爭竝に軍閥の內亂を論ずる方がもつと事實に卽してゐるといふ有樣になつてゐる。

勿論、支那に對する帝國主義列强の戰線は決して緊密なものでもなく、又緊密でもあり得ない。此の點で最も目立つのは、アメリカ合衆國と日英ブロックとの競爭である。若し此の競爭が大したものでなかつたら、日本は北支那への軍事遠征當時中途半端でぐらつきもしなかつたらうし、又イギリス（其の他の諸國）も支那に關稅自主權や不平等條約の撤廢を斷じて約束しなかつたであらう。是は事實である。然し乍ら、此の事實の意義を過大に見てはならない。

中央委員會の或る回狀中で爲されてゐるやうに、アメリカ合衆國の「根本政策」が、イギリス及び日本の政策と「正面から對立してゐる」と主張するのは間違ひであらう。是は間違つてゐる。アメリカ合衆國の對支政策は、イギリス及び日本の政策と同樣、帝國主義的である。政策の遂行方法に差異があるのだ。アメリカ合衆國が言葉の上で宣言してゐる「門戶開放」の原則は、決して植民地解放政策への傾向を意味するものではなく、是はアメリカ合衆國が行ひつゝある帝國主義的領土擴大政策を、上手に誤魔化すことの出來る自由主義的な假面である。何となれば、現在の客觀的諸條件はアメリカ合衆國が、イギリスや日本がやつてゐるのとは異なつた帝國主義的領土擴大方法を取ることを要求してゐるからである。其の經濟的な威力に依據しつゝ、アメリカ合衆國は當分の間重心を經濟的瞰制高地の獲得、中央政府の財政的、外交的制御に置き、イギリスや日本が支那で持つてゐるやうな領土的勢力範圍の缺如を斯くして補ひ、後日强力な方法を用ひる際に、斯くして鞏固となつた地位を利用しやうと考へてゐるのである。

支那ブルジョアジーは帝國主義に對して獨立的な民族政策を行ふ力を持つてゐない。彼等は帝國主義列强の相互的な競爭を利用する方法を以て、又主としてアメリカ合衆國の援助に依り、支那の獨立的な資本主義的發展に著しい成功を收めやうと望んでゐる。然し、是は幻想である。現實では、彼等は所與の各瞬間に於てあれこれの列强の、今日では、例へばアメリカ合衆國の、帝國主義的政策の目的に副ふやうな「權利」以外には何物も獲得し得ないのである。關稅自主權の承認が形式的な權利以上には少しも出てゐないことは、

一九二九年二月一日から效力を發した南京政府の新關稅率が是を示してゐる。是は、本質上、政府の歲入を多少增加する目的を持つてはゐるが、國民的產業の發展といふ要求には殆ど合致しない國庫稅率に過ぎない。帝國主義に對する支那の民族ブルジョアジーの弱さは、此の稅率に明かに現れてゐる。現在に於ては、中央政府が或る程度迄鞏固となつても、それはアメリカの帝國主義的政策の特別の利益とは何等矛盾しないのである。反對に、是は舊外債及び豫定の新規外債の保證といふ見地から見て望ましきことですらある。然し乍ら、外債に關する支那の保證條約は、孰れも愈々益々支那を植民地的劫掠の締め木に掛けるものなのである。

昨年支那で起つた好景氣は、今日迄の處主として帝國主義者の掌中にある商工業の回復に役立ち、支那國民の輕工業は僅かに潤されたに過ぎなかつた（殊に絹工業はまだ深刻な不況に取り殘されてゐる）。同時に、處に依つては、支那產業の外國人所有化さへ局部的には續いてゐる（多くの企業が日本人の掌中に移つた）。成程、時としては極めて困難でもあらうが、產業資本主義をも含む支那の民族的資本主義が若干發展することは近い將來に或は可能であらう。然し乍ら、是に關聯して國の生產力が獨立的、國民的軌道上で發展する國內的傾向は、到る處で世界帝國主義の植民地劫掠への傾向と衝突し、支那の民族ブルジョアジーは此の紛爭に際して一步一步國家的獨立の利益を裏切ることであらう。支那ブルジョアジーの全部が、其の反革命陣營への移行後、「買辨化」し、支那の舊地主＝軍閥政府の政策を全部自分のものとしたと考へるのは、誤りであらう。民族的產業の獨立的、資本主義的發展の利益と、帝國主義の利益との現存する克服し得ざる矛盾の爲に、民族ブルジョアジーは自己の民族改良主義の綱領を全然放棄する譯には行かない。然して此の綱領自體は既に帝國主義者との不斷の妥協政策を豫定するものであり、是は實際上民族ブルジョアジーの帝國主義への降伏に通ずるものである。是に加ふるに支那ブルジョアジーの個々の群の直接的な經濟的利益が、愈々強く各種の帝國主義國の外國資本と癒着して行き、是が帝國主義に對する支那ブルジョアジーの單一的政策を不可能ならしめる。あれこれの帝國主義列強と結びついた支那ブルジョアジーの個々の群は、此の列強の利益に呼應して、時と場合に依つては、若干の人民層

を（反帝國主義的鬪爭といふ伴りの旗の下に）競爭相手の列強に向つて、けしかけることがある（例へば、現在の漢口に於ける排日運動が是である）。

然し乍ら、斯樣なブルジョアジーの戰でさへも、廣汎な人民大衆が反帝國主義運動へ參加し始めるや否や、ブルジョアジーは退却の太鼓を打つのである。

共產黨の任務は、反革命的、ブルジョア的民族改良主義を暴露し、妥協なき反帝國主義鬪爭に廣汎な勤勞大衆と小ブルジョアジーを動員しつゝ、彼等を民族ブルジョアジーの影響下より解放し、同時に口先だけの帝國主義反對に依つて帝國主義への自己の屈從を隱蔽し斯くして支那の植民地奴隸化の道を開きつゝある國民黨政府の反革命的な役割を暴露するにある。

帝國主義の羈絆からの國の解放にしても、又眞の國家的統一の達成にしても、ブルジョアジーや國民黨政府にとつては、全く實現し難い、自己に不利な任務である。言葉の上でだけ全支那的な權力である國民黨の中央政權（南京政府）は、支那の眞の統一を爲し遂げることが出來なかつたし、又今後も爲し遂げ得ないであらう。滿洲ばかりでなく、多くの西部及び南部の諸省では、地方政權は事實上南京政府から全く獨立してゐる。國民黨陣營出身の軍閥が、略々舊督軍の型通りに、諸省を獨立的に支配してゐるのである。是等の軍閥は、半封建關係が殘つてゐるが爲のみならず、又國の經濟的分散性の故に益々勢力を得、自己の地位を保持してゐるのである。尙留意すべきは、國民黨內部の各軍閥の背後には、個々の帝國主義列強が身を潛めてゐるといふことであり、彼等帝國主義列強は軍閥を自己自身の地位の強化に利用し、切迫してゐる內亂では是を武器として使ふ爲に其の維持に努め、斯くして國民黨及び其の政府を帝國主義國の掌中の玩具に、結局は其の計畫の遂行者に變化させつゝあることである。

支那の支配者層間の是等の內的矛盾には、各種軍閥及び其の背後の帝國主義者の傳統的な競爭のみならず封建的地主劣紳と民族ブルジョアジー間の階級的矛盾も反映されてゐる。ブルジョアジーは國民黨を通じて支配者ブロックに參加してゐるが、此のブロック內部には階級的ヘゲモニーをめぐる鬪爭が行はれてゐるのである。然し、此の際、支那ブルジョアジーの鬪爭の決意と鬪爭能力を過大評價するのは誤りであらう。斯樣な過大評價は、ブルジョアジーが今や「土豪地主及

び劣紳の階級に致命的打撃を與へることに」努力してゐると記してゐる中國共產黨中央委員會政治局の報告書の一部に明かに現れてゐる。中央委員會機關紙「布爾塞維克」（一九二八年十一月一日發行）にも、ブルジョアジー（及び特に商業ブルジョアジー）が「地主の權力の覆滅の爲に」軍隊を整備しつゝあると記して、同じやうな過大評價を見せてゐる。否、現在の支那ブルジョアジーは是を行ふ力も無く、其の氣も無いのだ。一九二七年の革命的昂奮も農民運動の昂揚も無駄ではなかつた。一方ではプロレタリアートと農民と、他方ではブルジョアジーと地主の間の階級鬪爭を極度に激化せしめつゝ、一九二七年の諸事件は、支那ブルジョアジーの反革命陣營への終局的な移行、其の帝國主義者への降伏、封建制度の殘滓を剿滅する爲の鬪爭からのブルジョアジーの逃避の條件を作つた。支那の統一と其の帝國主義からの解放との任務は、農業革命と封建制度の一切の殘滓の剿滅と切り離し難く結びついてゐる。然し乍ら、支那に於けるブルジョア民主主義革命の此の第三の大問題の解決は、封建制度を徹底的に剿滅する力を持つてゐるプロレタリアート及び農民の獨裁の政府が、革命の强力な昂揚を示してゐる環境に於てのみ遂行し得べき任務を自ら提示してゐる。現在の情勢に就いて言へば、農業恐慌は今日の支那に於て益々激化し、農民の地位は愈々益々貧窮化しつゝある。支那の大部分は凶作を蒙り（山東から北支那一帶、直隸から山西及び甘肅へかけての一帶）、概算して二千萬の人々が餓えてゐる。此の場合ざうして偶然をのみ、天災をのみ問題にすることが出來やう。饑饉が來たのは寧ろ支那の農業經濟の一般的な沒落に關係がある。農業に必要な灌漑設備も河川の治水工事も放置されてゐる。地主、高利貸及び軍閥に依る農民の息つく暇もない强奪は、農民から單純再生產を基礎とした今後の耕作に必要な最小限度の生產手段をさへ取り上げてゐる。小土地所有が壓倒的に多い結果（其の特質として小作料の引下げをさへ行ふことが不可能である）、また農業改良資金が缺乏してゐる結果として、たとへ一般的にはブルジョア改良主義的方法を以てしてさへ、又特に富裕な農民や小作人に讓歩する方法を以てしても、農業問題の解決は不可能としなければならぬ。小規模な改良さへも行はれてゐない。昨年革命の壓迫の下に行はれた小作料の引下げも、反動が勝利すると驚に復した。支那のブルジョアジーが農業と最も密接な關係があり、其の大部分が、或は直接的に地代の形態で、或は高利貸資本及び商業資本に依る搾取といふ間接的な方法に依つて其の收入を得てゐるといふ事實——此の事實は、多少なり徹底した一切のブルジョア的農業改革を不可能ならしめてゐる。況んや、國民黨政府のやうな軍事的地主ブルジョアのブロックが具體化した政權には、農業改革を期待し得ない。

然るが故に、支那に於けるブルジョア民主主義革命の根本問題は、未だ解決してないばかりでなく、支那ブルジョアジー及び國民黨政府にとつて全く解決し得ざるものであることは、何の疑ひをも容れないことである。支那に於ける發展が「ケマル主義的」性質を持ち得るといふ一切の議論は、空虛な饒舌である。支那では現在の根本的な矛盾が克服されるどころか、却つて激化しつゝあり、是は必然的に、以前よりも愈々廣汎且愈々深刻な新しい一般的な革命的危機の成熟過程を作り出してゐるのである。

各所與の瞬間の具體的な情勢を正確に分析し、是に基いて、此の過程と此の見透しを黨大衆と一切の革命的勞働者の前に、常に說明し明瞭ならしめることが最高度に大切である。此の場合、具體的な觀察を基礎として新しい革命的昂揚の成熟テムポの問題を常に眞劍に精密に考究する必要がある。

現在此の問題に就いては、中國共產黨第六回大會が述べてゐる處に比して極めて僅かな、新しいことを述べ得るに過ぎないであらうと言ふことは、明瞭である。大會は新しい昂揚の「最初の」、未だ極めて微弱な兆候を確認し、「其の全體を以てしてさへも、未だ運動の眞の昂揚とはならぬ」前記の現象の過大評價を端的に警戒した。最近諸地方で起つてゐる自然發生的な大衆的ストライキは、勞働者大衆の氣持の中に沈滯の狀態を脫せんとする若干の轉換氣運のあることを證明するものであるが、それにも拘らず、現在では右の如き評價は其の意義を失つてゐない。

出來る限り「短期の見透し」をつけそれを基礎として動かうとする傾向が、支那の同志の一部に見られる（是は明かに革命的性急である）。中央委員會政治局の報告書さへ、是から脫し切つてはゐない。是に關聯して反革命陣營に於ける分解と矛盾の深刻さとの程度に就いても若干の過大評價が見られる。例へば、中央委員會の或る回狀には、ブルジョアジーが廣西派に對して戰鬪

の準備をしやうと考へてゐるとか、だから「反革命權力は愈々急速に、完全な動搖と崩壞への途に進みつゝある」とかいふ文句が見える。是は稍早まつた結論である。國民黨政府の地位が過去半年間に「著しく動搖した」と言つてはならない。新しい昂揚の成熟は今の處、まだずつと緩慢なテムポで行はれてゐるに過ぎない。

「支那に於ける今後の革命的昂揚がずつと後に延期されたといふ立場に、一方的に立つ傾向を示してゐる同志諸君も、同じやうに間違つてゐる。一般的に言へば、直接的に革命的な情勢、即ち武裝蜂起に有利な情勢が數年間延期される可能性は、理論的に見て否定出來ない。然し、此の場合でさへ、國の全經濟組織に何等の深刻な動搖（農業恐慌の深刻化、饑饉、國民產業の個々の部門に於ける危機）も無く、帝國主義者間の矛盾の激化も無く、軍閥相互間の武力に依る抗爭も無く、プロレタリアートの大規模な階級的鬪爭も無く、農村に於ける新しい農民暴動も無しに、「靜穩な」「平和的な」發展の長い期間が可能であると考へるのは、最も大きな誤謬であらう。支那の現狀では、ブルジョア地主政權の斯樣な危機の多くは、抗爭する勢力間の醜惡な妥協に依つて一時的には引き延ばすことも出來やう、だが如何なる妥協も總て勤勞大衆の背中で行はれるのであるから、是は勤勞大衆側からの反抗を惹き起し、新しい革命的昂揚の客觀的な前提を作り出すであらう。

共產黨の政治的實踐は、あれこれの、きわどい「可能性」を基礎とするものではなく、常に情勢の眞劍な明確なマルクス主義的評價に基くものである。

コミンテルン第六回大會は、支那に於ける現在の時期を「革命の新しい昂揚に向つて大衆を準備させる」時期と特徵づけてゐる。是は最も重要な事柄であり、今日中國共產黨は是を肝に銘じてゐなければならぬ。封建分子とブルジョアジーとのブロック打倒の爲の、プロレタリアートと農民の革命的、民主主義的獨裁の樹立の爲の差迫つた鬪爭に、黨自身も準備をし、廣汎な大衆、殊にプロレタリア大衆を準備させなければならぬ。若しも共產黨が時を逸せずして自己の陣列を强化し、產業プロレタリアートの陣營に於ける自己の勢力を强化し、組織されたプロレタリアート側からの鬪爭を通じて行ふ農民の指導を强化し得なかつたならば、國內に革命的危機が襲來した時、黨は客觀的に革命的な情勢を充分に利用することも、革命の勝利を確保することも出來ないであらう。

黨の戰術的方針と最近の根本的任務

中國共產黨は昨年中に自己の革命活動を、變化した客觀的な諸條件へ充分に適應させることが出來ず、是が今日に至る迄、支那では共產黨の最も大きな弱點である。

黨は大衆の革命的襲擊の諸條件中に生れ成長し、革命的大衆運動の强烈な昂揚と公然たる合法的活動の環境裡に其の戰鬪の經驗を得た。殘虐なテロル治下に於ける地下活動に對して、黨は準備を持つてゐなかつた。故に、反革命の打擊は斯くも激烈に黨を痛めつけ、解體の狀態に導き、黨は今最大の困難を以て是を克服しなければならぬことになつてゐるのである。黨の活動的な幹部にインテリゲンツィアが壓倒的に多數を占めてゐるといふことは、是等の困難の克服を容易にするものでは決してない。充分なボリシェヴィキー的經驗を持たず、日常の革命活動を上手に運んで行くことも知らずして、若干の同志達、決して通り一遍の黨員とは言へない人々でさへも、殆んど全く消極的に身を構へてゐて、中央委員會の或る回狀に言つてゐる通り唯「何かしらを待ちわびてゐる」ばかりである。或る者は全活動の昂揚の出發點たり得るであらうとて、軍閥の戰爭（例へば蔣介石と廣西派の戰爭）を待つてゐるし、他の者は國民黨支配下での民主主義と合法の政治體制を待つてゐる、等々である。過去の右翼的及び「左翼的」な偏向と氣分の殘滓が、此の現象と緊密に結びついてゐて局部的には新しい形態に出來上らうとあせつてゐる。黨は是から生ずる危險をはつきりと意識してゐなければならぬ。

現在の環境にあつては特に危險な一の右翼的偏向——中央委員會自體も或る回狀の中で正當にも是に注意してゐる——は、それ自身としては完全に正しい任務を、卽ち大衆間での革命的活動のあらゆる合法的な可能性を利用するといふ任務を、一方的に强調するといふことに關聯するものである。一見、此の一方的な强調は比較的無害な戰術的偏狹さに見えもしやう。然し、實踐に於ては是は、自己の活動を新しい客觀的な諸條件に適應させると見せて、其の實、運動の從來の根本的な任務の拒否に通ずるものである。革命活動を變動した客觀的な諸條件に適應させるといふことは、革命運動の從來の任務を拒否したり、削り取つたりするこ

とを決して意味すべきではない。それはたゞ、從來の任務と標語を實現する爲に、新しい諸條件に應じて活動の形態と方法を變更することを意味するだけである。合法的可能性利用の標語もたゞ右の如く理解すべきである。然るに合法主義者では是が反對になつてゐる。活動の合法的可能性を失ふ危險を冒さゞらんが爲に、彼等は黨の政治的標語の削減を主張する。政府の權力の勘忍袋に觸るやうなことをしない爲に、彼等は現在の政府の體制に對する革命的批評を回避する。斯樣にして、彼等にあつては合法的大衆團體への參加は、本質上改良主義的活動へ墮落し、合法性と、それへの完全な屈服へ這ひ込む特徴を持つに至る。此の合法的活動に較べて彼等は共產黨の非合法活動を——其の成功を既に信じてゐないのであるが——無用のものと見る。それどころではない、彼等は地下の共產黨側からのあらゆる原則的な批判を、現實の諸條件下では不可能な獨斷であると中傷し、共產黨の指令が實際的活動にとつては非實際的な不利益な妨害やブレーキであると中傷する。斯樣にして、此の合法主義の偏向は結局の形に於て、共產主義的指導と共產黨との清算主義

的性質を帶びた對立を成すに至る。支那に於ける現時の第一の根本的任務は、非合法的共產黨の强化、其の組織、其の權威及び其の指導的勢力の强化であるが、合法主義的偏向は先づ是を過小評價し、次いで是にブレーキをかけ、最後に是を否定し、是に對抗する。

右翼の危險は、支配者たる國民黨が小ブルジョアジー、更に勞働階級の大部分をさへ自己の勢力下に引き入れる爲に今やあらゆる方策を講じてゐるが故に、支那の革命運動にとつて一層重大である。右の樣な目的を以て、共產主義者に對する血みどろの彈壓を繼續すると同時に、例へば南京政府勞働省創設案や上海市政府社會局の諸條令の如き若干の社會改良案（勞働時間の部分的な短縮、利潤の配當等）が立てられてゐる。民主主義的な民族改良主義的な言辭の金箔を以て、若干の、國民黨の「左翼的な」——大變な左翼だ——首領達が、反動的な封建分子や軍閥と鬪爭しやうとしてゐるとか、帝國主義に對する民族解放の事業を擁護せんと欲してゐるとかといふ幻想を作り出さうと努めてゐる。

此の瞞着は大衆に對して永續的な影響力を持ち得るものではない。蓋し、言葉と事實との間の對照が餘り

に明白だからである。然し乍ら、或る期間は是が大衆に對して若干の作用を及ぼし得るのであるから、我々は此の危險を過小評價してはならない。今日では共產黨の諸組織が脆弱で、其の活動の環境が最も困難であるところから、國民黨員は國家機關のあらゆる手段を利用し、全搾取階級の支持の下に或る期間は勞働大衆の一部を引き摺ることが出來る。若し共產主義者の間にすら國民黨に對する降伏的、追隨的政策に贊成する（「國民黨の標語をぐらつかしてはならぬ」と言ふが如き）聲が（たとへ如何に小さい聲であらうとも）少しでも起つてゐるとするなら、共產黨の陣營外の勞働者の一部に國民黨の政策に對する幻想が消え去らぬどころではないのも當然であらう。

斯樣な幻想の粉碎、國民黨の政策の暴露、此の政策に對する勞働大衆の動員、國民黨支配の顚覆に備へて大衆を準備すること——是が現段階の第二の重要な任務であるが、右翼的偏向は是を過小評價し、抹殺し、其の結局の形では是に對して直接的な鬪爭を行つてゐるのである。

我々は中國共產黨內の右翼的偏向が、既に完全な傾向又は危險な分派に結晶してしまつたとは決して主張するものでない。黨內では是は、今日寫ろ個々の右翼的誤謬や動搖の形で其の姿を現してゐる。然し、若し黨が時を失はず、一切の右翼的誤謬や動搖の用心を重ねた鋭い自己批判に依つて是を妨げなかつたら、是は恐らく恐しい危險に轉化するであらう。昨年中少なからざる脫黨事件があつたことは（進んで國民黨政權へ自首した事件さへあつた）、黨內の右翼的危險が如何に重大であるかを仄かすものである。然し、例へば勞働組合運動に於けるが如き、黨外では此の危險は一層甚大である。黨內であらうと大衆間であらうと、其の現れる場所や形態の如何に拘らず、小ブルジョア的動搖に對しては確乎たる徹底的な鬪爭方針を立てることが絕對に必要である。それにつけても殊に心懸くべきは、譚平山一派の所謂「第三黨」の如き小ブルジョア群の暴露である。此の一派はまだ左から國民黨を批判してゐないどころか、事實に於ては共產黨に對する鬪爭に依つて、國民黨の手先を勤めてゐるのである。我々が知つてゐる中央委員會の指令中には、是等の反共產主義的一派に對する鬪爭に關して何等特別言及したものを見ない。

中國共產黨第六回大會は、黨に向つて其の「左翼的」偏向（一揆主義、軍事的冒險主義、個人的テロリズム）

と所謂「國民黨張りに」大衆と接觸すること（「命令」の濫發）を矯正せよと執拗に叫んでゐる。客觀的な諸條件の結果として、一揆主義的な實踐と軍閥的な冒險主義は昨年中に其の根據を甚しく失つてしまつた。然し、黨内の「左翼的」病患の殘滓が既に片附けられてしまつたと考へるのは誤りであらう。昨年夏書かれた中央委員會の回狀には、廣西派を最も反動的な勢力として粉碎する目的を以て、先づ（と回狀に記されてゐる）軍事行動を準備する爲に全國を軍管區に分けるといふ、相當の程度に於て一揆主義的な計畫が見えてゐる。若干の回狀には、「左翼的な」言辭が時として、革命的行動の缺如を隱蔽してゐるのを見ることが出來る（例へば、「土豪、劣紳、地主を打倒せよ！全封建勢力を粉碎せよ！」といふ言辭が是である）。十二月乃至一月に發せられた地方組織の活動に關する中央委員會の最近の指令中にさへ、次のやうな農村への檄が見られる。曰く「諸君全部は新年を地主、土豪及び劣紳の邸宅で迎へなければならぬ！」。若し今日の情勢に於て斯樣な喧嘩腰の言辭が、多少でも大衆的運動と稱すべきものを惹き起す力の無い空虛な大言壯語に變化するとすれば、是は共產黨の指導に對する信賴を强化するに斷

じて協力するものでないのみか、却つて其の指導が大衆から遊離してゐることを公表して、勤勞大衆の眼前に於て其の權威を失墜させるものである。

第六回大會は、「左翼的」偏向を特徵づけ乍ら、就中、「日常の準備的な經濟的、政治的鬪爭を行ふ意志のないこと」及び「部分的な標語を遂行する鬪爭の合目的性を認識してゐないこと」を强調した。此の「左翼的な」病患がまだ黨陣營中に殘つてゐる。又、勞働組合活動の巨大な革命的意義や、合法的可能性の正しい利用や、合法活動と非合法活動との正しい結合等の無理解さが今日でもなほ見られる。鬪爭の合法的な形態や方法を革命的に適用することを知らぬが故に、それを適用することが必然的に、右翼的な醜態に導き、合法主義的幻想を强化しはせぬかと心配してゐるのである。意識のない、又は半ば意識した動搖する大衆を說得し、是に革命的な教育を與へるといふ困難な技術の意義と必要を過小評價して、それを實踐に於て研究しやうと思はないのである。斯樣にして、現在に於ける中國共產黨の第三の根本任務——廣汎な勤勞者層からの黨の遊離の淸算、大衆殊に勞働者大衆の革命化と獲得——は「左翼的」偏向に依つて過小評價され、事實上

プレーキをかけられ、其の結局の形では端的にサボタージュされてゐる。

實際、支那の同志諸君は、第六回黨大會及びコミンテルン世界大會の大衆獲得に關する指令を、言葉の上では取り入れたが、事實上では是を實行に移す眞劍な準備をしてゐない。「左翼的な」危險は今日主として此處に存する。黨は無條件に徹底的に是を淸算しなければならぬ。

勤勞大衆間の活動を展開するに當つて、黨は支那革命のブルジョア民主主義的な性質を考慮に入れてゐなければならぬ。民族的契機（殊に反帝國主義的鬪爭）の特殊的な意義を充分に考慮すべき必要は、何よりも先づ右に發するのである。「反帝國主義運動の過小評價と、此の運動に於ける指導的役割を獲得する爲の鬪爭の拒否とは——と大會は聲明した——非常に重大な誤謬である」。然し、此の際はつきり理解して置くべきは、此の運動に諸君が參加することが、如何なる場合に於ても、國民黨の似而非反對派的な遊び事を支持するかの如く見られてはならぬといふことである。諸君が此の運動に參加することは、あれこれのブルジョア層の反帝國主義運動を、帝國主義と、同時に國民黨に對しても、矛先を向けた勤勞者の大衆的鬪爭に轉化するが爲に必要なのである。

中央委員會は最近、黨の行動の基本的な綱領たり得べき一聯の正しい部分的な要求を纏め上げた。國民黨の似而非民主主義的な政策を暴露し、是に對して勤勞大衆を動員するが爲には、勞働者農民の爲の政治的自由（結社、出版等の自由）の要求が、從來より以上の大きな意義を有するに至るであらう。

然し乍ら、各所與の瞬間にとつて切實な部分的な要求と黨の根本的な標語を正しく結合するといふ任務が、中央委員會の指令に依つて常に成功的に遂行されてゐるとは言へない。若干の場合に於ては、或る時は大衆の日常の要求が、又或る時は革命運動の根本的な目的が押し退けられて黨の利益を害してゐるし、又或る場合には黨の主要な宣傳的標語が直接的な行動標語と機械的に併立してゐる。若し、例へば、各種の行動標語と平行的に、何等の註釋も無く「地主の土地を沒收せよ」とか「勞働者農民の政權としてソヴィエトを樹立せよ」とかいふ標語を併立させるなら、それはたゞ混亂を起させるばかりであらう。

現在では如何なる部分的鬪爭を行ふに當つても、黨

自身にせよ、又廣汎な勤勞大衆にせよ、是を來るべき革命的昂揚の任務と權力獲得を目指す武裝鬪爭に、出來るだけ充分に準備させるといふ現實的な目的を追及するものでなければならぬ。此の見地からすれば、例へば、帝國主義國の軍隊の支那撤退の要求、又は南京政府の鐵道從業員や兵士間の如き分野に於ける活動の强化の如き部分的要求は、現在既に舊に倍する意義を持つに至つてゐるものであつて、是には特に注意を拂はなければならぬ。

あらゆる大衆的進出に際し、又ストライキ、農民の蜂起、反帝國主義的大衆運動に際して、共產主義者が精力的に是に參加するに當つては、勞働者階級の革命的創意を發揮し、勞働者階級の周圍に都市農村の何百萬人といふ勤勞者大衆を動員し、斯くて解放運動に於ける指導的役割（ヘゲモニー）をプロレタリアートに確保するといふ、戰術的目的の實現を期しなければならぬ。是に關聯して支那の同志諸君は、一般的、革命的ストライキ、一般的鐵道ストライキの如きプロレタリアートの革命鬪爭の方法を、入念に準備し、愼重に組織し一旦革命的情勢が到來した場合には、是を實行するといふことに特別留意しなければならぬ。そして此の鬪爭形態

がプロレタリアートの周圍に國の全革命分子を動員しつゝ、支那革命に於て最も重要な役割を演じ得るし、又演ずるに相違ないといふことを銘記すべきである。

勞働組合について

全黨員は、勞働者階級の大衆中に下した堅固な深い根が無くては、企業や勞働組合運動中に廣汎な組織的基礎を有せずしては、黨が支那革命に於て指導的役割を演じ得ないことを意識しなければならぬ。黨が現在、企業や勞働組合運動やストライキ運動で、愈々益々鞏固な地位を獲得すればする程、切迫した階級鬪爭の時に愈々益々强い力を發揮し得るものであることを、黨員は意識してゐなければならぬ。

中央委員會は、既に第六回大會の直前、中國共產黨の勢力下にある革命的勞働組合の數が武漢時代（支那革命の武漢時代——編輯者）から見ると、七百三十四から八十一に減少したことを指摘した。同時に中央委員會は、大衆的性質を帶びた黃色勞働組合を十四、大衆的な性質を帶びぬものを六十四と算へた。其の當時から革命的勞働組合運動の地位は間斷なき追及を受けて益々惡化し、其の反對に國民黨系の組合の成長が續いた。是は——最も危險な意義を持つ事實である。支那の諸條

件は、普通の改良主義的勞働運動にとつて廣汎な堅固な地盤を決して作り出すものではないといふことに若し同意してはならないならば、支那勞働者間の革命運動の發展にブレーキをかける要因としての（上海の「七大勞働組合」の如き）黃色勞働組合の意義を過小評價するのは重大な誤謬であらう。是等の勞働組合を通じて、支配者たる反革命的國民黨は、勞働者階級の陣營中に自己の權力や政策の爲の鞏固な組織的基礎を作り上げ、勞働組合の指導を自己の手先共の獨占物とし、一切の階級的勞働組合運動にテロルを加へ是を壞滅させやうと企てゝゐる。此の國民黨の勞働組合的ファシズムに對して、共產主義者は到る處勞働者階級の間で、黃色勞働組合の內外を問はず、最も精力的に組織的且執拗な鬪爭を行はなければならぬ。

事情が許す限り、階級的、革命的勞働組合を再建し强化する爲に全力を盡さねばならぬ。勿論、勞働組合が非合法的地位を保つことは頗る困難である。故に、非合法的勞働組合の爲には、或は合法的外衣を發見してやり、或はたとへ事實上の半合法性でも奪はれぬやうな形態へ、其の組織と活動とを發展させることが大切である。諸企業內では、其の處の如何を問はず、當局の追及に對し、又勞働組合組織の自由の爲にカムパを行はなければならぬ。各勞働組合の鞏固な基礎は、共產黨細胞の指導下に、正に諸企業內にこそ置かるべきものである。然し共產黨のフラクションは（赤色勞働組合の內部に於てさへも）、國民黨のスパイ共の「活動」を樂にするのを欲せぬならば、公然と活動してはならない。革命的勞働組合が大企業に深く根を下してゐる場合には、事情如何に依つては公々然たる形で事實上の合法性を獲得し得るであらう。其の良き機緣たるべきものは、例へば革命分子に指導されたストライキ運動の成功である。或る條件の下に於て赤色勞働組合の合法的外衣たり得べきものは、勞働者が公然と接觸し易い各種の既存朋友團體や同鄉團體である（あれこれ名稱を持つた此の新しい團體を組織することも可能である）。革命的勞働組合運動の發展に役立つ、もつと重要な公然たる部面は、工場委員會や週期的な勞働者代表集會に依つても作ることが出來るであらう。

然し乍ら、共產主義者の勞働組合活動が、非合法的乃至半合法的、革命的勞働組合の强化を以て盡きると考へるのは、甚しい誤謬であらう。是等の勞働組合の外に、なほ大衆的な合法的な國民黨系の黃色勞働組合が

存在することを忘れてはならぬ。故に大衆的な國民黨系勞働組合に潛入し、大衆を黃色幹部から奪取すべき任務がある。一瞬の躊躇も無く、共產黨員其の他の意識的な革命的勞働者は黃色勞働組合の中へ潛入し、其の內部で國民黨の手先に對する鬪爭を行はなければならぬ。是等の團體中にある大部分の勞働者を獲得し、是を共產黨の祕密フラクションの周圍に集結する爲に、全力を盡さねばならぬ。勞働者のあらゆる紛爭やストライキに際しては、黃色幹部の妥協的な裏切的な役割を暴露する必要がある。國民黨に對し、國民黨に依る勞働組合役員の任命に對し、國民黨の命令や干涉に對して勞働者を動員すべきである。完全な勞働組合民主主義、卽ち多數決を以て信賴する人々、役員及び指導機關を自由に、選擧する權利を要求しなければならぬ。各團體が選擧した役員は國民黨に所屬することを要する旨の條件を斷乎として排除しなければならぬ。勞働者に彼等自身の經驗を基礎として、國民黨の政治が壓迫者の政治であることを說いて、納得させなければならぬ。

斯る方法を以てしてのみ、國民黨の勞働組合ファシズムの體制を覆へし、黃色勞働組合內部に於てさへも、革命的勞働組合運動の鞏固な地盤を築くことが出來るのである。是と同時に、國際聯盟勞働事務局に對し、アムステルダム・インターナショナルに對し、日本の改良主義者鈴木文治等の提唱するカルカッタに於けるアジア勞働組合會議の召集に對して、反對の宣傳を行はなければならぬ。

勞働組合ファシズムに對する、勞働者大衆の直接的な利益の爲の、革命的勞働組合運動の强化の爲の鬪爭に於て、此の時期に特に重要な意義を持つに至つてゐるものはストライキ鬪爭である。ストライキを準備し其の時機を選ぶに當つて、出來るだけ正確に判斷すべきは成功の客觀的な前提である。鬪爭を指導すべき、黃色勞働組合とは完全に獨立したストライキ委員會は、最初から當該企業の勞働者に依り選擧されなければならぬが、ストライキ委員會の選擧と有能な構成分子は、前以て企業內で充分に煽動し、萬全を期しなければならぬ。又地方の（又は最も近い所にある）指導的黨機關との規則的な祕密の連絡を保つべきである。罷業者の各總會又は代表者會議の前には、共產主義者は有力な同情者の可及的多數と接觸し、最も重要な問題や提案について話合ひをつけて置かねばならぬ。罷業者間での猛烈な煽動に依つて、調停裁判所や協調主義や國民黨の調停の信用を失墜させ、黃色勞働組合指導部が企業者や政府の手先であることを暴露しなければならぬ。又、ストライキ勞働者に說いて經濟的要求と共に、部分的な政治的要求を揭げるやうに努めなければならぬ。而も此の政治的要求は罷業者自身が、自分自身の直接的に重要な要求であることを自覺するが如き性質のものでなければならぬ。ストライキの際には、企業家及び當局をして、ストライキ委員會のみならず勞働者の選擧した恒常的な代表機關を、勞働條件の交涉に關する勞働者の全權代表として承認させるやう、全力を擧げて鬪爭しなければならぬ。若し國民黨員の掌中にある工場委員會が存在するならば、改選を煽動し、又如何なる場合にもストライキ委員會がストライキ終了と共に直に解散されることなく、出來る限り（必要の場合には其の構成を一部分變更して）事實上、工場委員會に轉化するやう全力を盡さなければならぬ。

黨の組織的及びイデオロギー的强化について

黨の現在の組織的狀況は、中央委員會の諸文書にも記されてゐる通り、甚だ不滿足なものである。「都市に於ける細胞は大部分、分散狀態にあり——と中央委員會の或る回狀中に述べられてゐる——勞働者の積極分子の大部分は黨を發見することが出來ず、其の爲に自動的に我が黨組織から遠ざかつて行きつゝある」。積極的な黨員の大部分は職場を失ひ、大衆から離れ、黨の仕送りで生活してゐる。政治局の報告に依れば、黨全體中に占める勞働者の數は「最大限」四千人を出でない（其の內上海に千三百人、香港に六百人で、他の大都市では全く僅少である）。大多數の都市、例へば武漢、天津、廣東の如き巨大な勞働者の中心地でさへ「何等の活動も行はれてゐない」。

斯樣な現狀に鑑みて、中央委員會は其の組織問題に關する回狀中で、先づ第一に工業地帶や大都市や最も重要な職業群に注意を集中すること、勞働者を積極的な黨活動に引き入れること、同時に出來る限り多數の失業又は無職業黨員を企業內の活動に移らしめること、生產細胞及び其の活動方法を作り出すこと、黨員の政治的水準を引き上げること、地方の黨委員會を作り上げ强化し其の活動を健全ならしめること、指導機關の活動を改善すること等に關し、一聯の具體的な正しい指令を發した。今日、任務は中央委員會の發した指令を實行に移すことである。

中央委員會が擧げた任務の中、二つのものは中國共

產黨にとつて根本的な意義を有するものであつて、我々も特に其の重要性を強調したいと思ふ。

其の一は生產細胞の創建と正しい活動である。周圍の勞働者大衆中で、確實に指導的中核の役割を演じてゐると言へるやうな生產細胞を、黨は今もなほ持つてゐない。生產細胞の數は、今日總じて微々たるものであり、愈々益々減少しつゝあり、指導的な大企業には細胞が全く又は殆ど全く存在しない。「例へば、上海について言へば、家內工業的、手工業的企業內や商店員中の細胞は非常に多いが、生產細胞に至つては、名のみで其の實は存在しない」(中央委員會同狀)。細胞の內的生活も亦非常に貧弱で、大多數の細胞內には、政治問題や實際上の任務に關して活潑な討論が行はれず、分業等も行はれてゐない。斯樣な狀態では細胞は、一方では大衆から孤立し、他方では自己の構成員に革命的敎育を與へる力を缺くに至る(若干の場合に於ては、「勇敢な勞働者は黨へ加入すると墮落する」とさへ言はれてゐる)。此の分野に於ける任務は、生氣潑溂たる生產細胞の再建の爲の執拗な、細心な活動に全力を盡すことである。此のこと無くんば黨は前進することを得ず、此のこと無くんば黨は衰弱し崩壞せざるを得ぬ。蓋し、黨は其の存立の組織的基礎を失つてしまふだらうからである。支那の同志諸君は此の分野に於ける國際共產主義運動の豐富な經驗を考慮に入れ、生氣潑溂たる活動的な(祕密な、小規模な)生產細胞の廣汎な網から黨組織の有力な據點を作り出す爲に、支那に於ける特殊條件に照應して、是を正しく實行に移さなければならぬ。

第二の任務は黨のイデオロギー的武裝である。此の爲には、第一にマルクス主義理論の眞劍な研究が必要である。黨の指導的中核のみならず、宣傳者や煽動者をしてマルクス＝レーニン主義の理論を以て愼重に準備せしめること無くんば、黨にとつても革命の行程にとつても最大の意義を有するところの、變動し行く情勢や複雜な政治問題に對して、是あつてのみ正しい態度を採り得べきイデオロギー的基礎を、黨は敢へて失つてしまふであらう。此の爲には、第二に黨員大衆の政治的啓蒙が必要である。黨員大衆及び革命的青年間で特別の敎育活動を行ひ(黨立の學校、政治講習會、獨學サークル、通俗的なマルクス主義文獻の出版と頒布等々)、是に依つて黨の政治的水準を引き上げなければならぬ。殊に、此の際想起すべきは、黨員全部をしてコミンテルンの綱領や、第六回世界大會及び中國共產黨の最近の大會の最も重要な決議を知悉せしむるといふ任務である。

辛棒強い、原則的な說明活動と同志的批判が、今日主要な方法の一として、中國共產黨內の右翼的及び「左翼的」偏向に對する鬪爭に用ひられなければならぬ。政治的肅淸の手段としての除名は、眞に矯正し難い黨員が問題になつてゐるやうな例外的な場合に於てのみ行ふべきである。中國共產黨は、今日、此の方法を大規模に用ひる何等の根據をも持つてゐない。

中央委員會及び黨活動者は、黨內民主主義確立に關する第六回黨大會の指令を、それが必要な祕密の諸條件下に於て可能な限りは(例へば、選擧の原則の如きは黨の各機關を通じ完全に實行し得ないこと勿論である)實行に移さなければならぬ。黨內民主主義を口實にして無統制や不健全な分派鬪爭を發展せしめてはならぬ。中國共產黨の陣營中では、遺憾ながら稀とは言へない右の如き現象を淸算するが爲には、黨はあらゆる必要な方策を、殊に說得の方法を用ひなければならぬ。全黨機關の義務は、個々の黨員側からのありとあらゆる解黨派的行動に對し、黨の統一、黨の規律及び黨指導機關の權威を斷乎として堅持するにある。

コミンテルン執行委員會は、中國共產黨の黨員諸君が、プロレタリアートのヘゲモニーは、團結の固い鞏固なマルクス主義に依つて武裝した共產黨なくしては、實現し得ざることを肝に銘じつゝ、自己の黨を强化する爲に全力を盡されんことを希望する。

コミンテルン執行委員會

追白

(一) コミンテルン執行委員會は本書翰を中央委員の外、省及び地方の委員會の積極的活動家にも熟讀させると有益であると考へる。

(二) 農民問題には、右に倍する重要な意義を認めてゐるので、我々は是を本書翰で取扱はず、此の問題については特別の書翰を以て諸君に見える積りである。

一九二九年二月八日　　コミンテルン執行委員會

六　農民問題に關し中國共產黨中央委員會に寄するコミンテルン執行委員會の書翰(一九二九年六月)

親愛なる同志諸君!

前の我々の政治的書翰に於ては、我々は是を特別の

書翰で取扱はうと考へて農民問題には觸れなかつた。其の後農民問題に關する我々の見解は、相當な同志諸君を通じ、口頭を以て諸君に傳達する機會もあつたが而も尙此の極めて重要な問題に關する我々の見解を單に口頭の傳達に止めず、其の上に是を書翰の形式で披瀝するのを我々は合目的だと考へた。

特別の書翰にするのを必要ならしめたのは、殊に、個々の指導的黨員諸君が今日に至るもなほ、農民問題の解決に當つて重大極まる誤謬を犯しつゝあるといふ事情に基くのである。最近我々が受取つた中央委員會の活動に關する文獻や資料（農民運動に關する指令、中央委員會の毛澤東に與ふる書翰、「布爾塞維克」誌其の他の誌上に於ける蔡和森と李立三の論爭）は、現在の情勢に於て農民問題につき、黨が實行すべき戰術を多くの黨員がはつきりと知らず、支那農民の各種社會層に對してプロレタリアートが採るべき態度を充分に理解してゐないことを證明するものである。同樣の問題は中國共產黨にとつても非常に重要な意義を持つてゐる。此の解決を誤ると、重大な甚だ香しからぬ結果を惹起するであらう。右の樣な次第であるから、我々は諸君が次のやうな我々の意見を考慮に入れて、最

も愼重に農民問題を再檢討されんことを求める次第である。

前の書翰でも既に、支那經濟の一般的狀態を分析しつゝ、我々は農村經濟の危機が激化しつゝあることを確認した。國際帝國主義に依る從來の支那の農作（茶、絹糸）の破壞、地主、軍閥及び高利貸に依る農民の强盜的な掠奪、灌漑設備の放置、農業生產力の益々激化する崩壞は、其の規模に於て實に尨大な凶作と是に關聯する饑饉とを齎しつゝある。農業の激烈な慢性的な危機は、農民の基本的な大衆の地位の間斷なき惡化と益々甚しい貧民化を豫定するものである。支那の反動分子には此の過程を阻止する力も全く無ければ、農業が經驗してゐる此の危機を緩和する力も無い。周知の如く支那に於て農業生產力を多少なりとも、本質的に目に見える程に發展させやうとすれば、それは今日支那の農村を束縛し諸君の國の一般的な經濟的發達を阻害してゐる封建諸關係のありとあらゆる殘滓を淸算した上でのみ可能なことである。又、支那の反動分子が此の方向に於て何等の成功にも達してゐないことも人の知る處である。それは判り切つたことである。支那ブルジョアジーの壓倒的な層はあらゆる連繫を以て、土地領有と封建的搾取の全體制と結びついてゐるのである。南京政府といふ形を成してゐる地主ブルジョアジーのブロックは、農業問題の中途半端な部分的な解決をすら行ふ力を持たず、又是を希望してもゐないことを世人に示し來つたのであつた。

尤も、南京政府も事實、今日若干の農業改革を準備しつゝある。此の仕事をやつてゐるのは胡漢民を議長とする委員會である。然し乍ら、此の改革が農民の革命的な大衆の地位を惡化する要因たることは疑ひを容れない處である。現在立案されてゐる新地租が全部貧農（小作人及び半小作人）に轉嫁されるであらうといふことは豫言に難くない。他方、立案されてゐる公定價格に依る土地買收が支配階級の掌中に於て、獨立小農搾取の新しい要具に轉化するであらうといふことも疑ひの無い處である。何れにしても、資本主義發展の爲の若干の息拔きの意味を持つ國民黨の「成案」なるものは、ロシヤに於けるストルィピンの農業改革の役割をすら演ずるものでなく、如何なる程度に於ても農業恐慌を緩和する力を持たず、假に實行されたとしても、寧ろ地租の轉嫁となり農民大衆の一層激烈な破滅と奴隸化の手段たるに過ぎないであらう。

南京政府要人が幾らかでも本質的な意義を有する農業改革を實行する能力を有せず、又是を欲してもゐないことは、現存制度の埒內では解決し得ない支那農村に於ける諸矛盾の結節を愈々益々、こんがらかせるものである。そして國民黨の農民政策は是を實行するに從つて農民に對する經濟的壓迫を强からしめ、是を完全な政治的專斷の下に引き入れるものである。實際の處、今日に於ける支那の反動の勝利は、農民にとつて稅金の重壓の强化、新しい追徵金（劣紳及び地主の行ふ民團維持費の徵收）、懲罰隊、慘酷な彈壓、農村の「淸掃」等々を意味した。斯樣な實際的行動は、ブルジョア地主ブロックの掌中にある權力の下で、農業恐慌の緩和が可能であり農民大衆の福祉が增進されるだらうといふ、一切の幻想を完全に打ち破るものである。

激化し行く農業恐慌を背景とする農民の經濟的地位の惡化は、支那農村に於ける階級鬪爭を必然的に激化し、基本的な農民大衆と其の上に座して是を搾取する連中との間の鬪爭を深刻化し、尖銳化し、農民運動の新しい强力な昂揚の前提を發生させ、農民團體の成長に刺戟を與へ、廣汎な農民大衆の急速な革命化を促進するであらう。斯樣な見透しは諸君の國の諸省で行は

れてゐる、止まる處の無い農民の蜂起に今日其の確證を示してゐる。

甘肅の回教徒農民の運動は其の規模から見て極めて重大な意義を持つに至つてゐる。「紅槍會」、「小刀會」其の他の農村に於ける宗教的秘密結社の活動が復活した。毛澤東及び朱德のパルチザン部隊は、反動派の數度に亘る彈壓の企圖にも拘らず、其の幹部を失はずにゐるばかりか、最近では福建省で相當の成功を收めた。農民の武裝蜂起が他の地方でも起つてゐる。殊に指摘すべきは、上海の直ぐ近所でさへ農民暴動が猖獗を極めてゐるといふことである。是等の蜂起の大部分が反動派の指導する處であるにも拘らず、是は決して黨の活動を鈍らせるべきものではなく、寧ろ反對に、土地の獲得を目指し軍閥の暴虐に反對して起つた是等の自然發生的な、客觀的に革命的な農民運動の指導權を奪取する一層決定的な鬪爭に黨を向はしめるものである。

さうは言ふものゝ、我々が擧げた事實は革命の波濤、殊に農民運動の强力な昂揚が、既に押し寄せてゐることを證明するものであると考へられては困る。否、右のやうな主張は現實の情勢に合致しないものであらう。

右のやうな事實を擧げたのは、中國共產黨が被搾取農民大衆間の活動にとつて極めて有利な見透しに依然として惠まれてゐることを、是に依つて强調しやうと考へたからである。黨は此の客觀的な情勢を其の農業綱領の宣傳の爲に、革命的農民團體の再建の爲に、來るべき革命的昂揚に備へる爲に、帝國主義と支那の反動とに對する妥協無き鬪爭の旗の下に大衆を動員する爲に、地主的土地領有の利益の爲に尨大な農民大衆を窮死と貧窮と破滅に突き落しつゝある國民黨の暴露の爲に、利用しなければならぬ。

然し乍ら、農民大衆獲得の爲の黨の成功的な鬪爭は農村の各種社會層に對する正しい關係の確立なくしては不可能である。そして先づ玆に我々が提起すべきは富農に對する戰術の問題である。蓋し、正に此の問題に於てこそ、支那の同志諸君は最も本質的な誤謬を犯してゐるからである。富農に對する態度の問題自體は、中國共產黨にとつて決して新しいものではない。此の問題は中國共產黨第六回大會でも論議されてゐる。當時既に國內の階級的諸勢力の相互關係を分析しつゝ、中國共產黨第六回大會は、プロレタリアートと全農民との同盟を論じ、運動に於て屢々公然若くは暗默裡に反革命的な役割を演じつゝある富農を此の同盟から除外した。是に對應して第六回大會は「農村に於けるプロレタリアートの堅固な支柱は貧農であり、中農は鞏固な同盟者である」と決議した。何を以て一般的農民大衆から富農を除外する必要を說明すべきか？ 此の問題は多くの支那の同志諸君に今もなほ不明の儘になつてゐる。革命のブルジョア民主主義的段階に於ける、勞働者階級の農民に對する態度に關するレーニンの問題提起を機械的に適用して、彼等は支那の富農をプロレタリアートの同盟者に依然として算入した。

プロレタリアートと農民との同盟といふレーニンの定式が、支那にとつても其の效力を持つてゐることは事實である。然し乍ら、レーニンは未だ嘗つて富農との同盟締結を提唱したことはなかつた。レーニンにとつては富農との同盟は如何なる條件の下に於ても許すべからざるものであつた。レーニンの定式からは、支那の黨の諸文獻に提唱されてゐる「富農との同盟」の標語を正當化する結論は如何にしても出て來るものではない。況んや此の結論は支那に對する關係では間違ひである、若し支那の富農とロシヤの富農の社會的本質に差異を生ぜしめる特殊的條件を注意するなら、此の事は特に明白である。ロシヤでは富農は資本主義的諸關係の具現者として立ち現れ、一九〇五年の革命が實現する迄は、其の經濟的な力を封建的搾取制度の適用の上に打ち立てゝゐた地主階級とは對立してゐたのである。然るに支那では、富農が資本主義的搾取形態を用ひることは寧ろ少く、多くは地主的な封建的搾取制度の代表者として立ち現れてゐる。支那の富農——それは多くの場合、支那農民の基本的な大衆に對して一層農奴的な一層苛酷な形態の搾取を加へる小地主である。支那の富農が持つ此の種の社會的本質は多くの原因が累積した結果である。是について些少ならざる役割を演じてゐるのは、實に支那に於ける外國資本の支配といふ事實である。此の外國資本が諸君の半植民地的な國土に於て、最も遲れた半封建的生產と苟合し是を支持し利用し支配してゐることは、人の知るところである。支那が全面的な資本主義的發展を行ふに當つて、外國資本が阻害的な役割を演じてゐる結果として、農村に於ける商品＝貨幣關係の發展を齊す階級分化も一切の資本主義的發展と同樣、半封建的諸關係を多量に保存したまゝ極めて畸形的な形態に於て行はれることになる。かてゝ加へて、支那の土地關係も一種

獨特であつて、富裕な農民が雇傭勞働を使ふと、是が基本的な農民大衆に半封建的な搾取方法を加へるよりも不利益になるものである。土地を小作に出し、高利貸に從事しつゝ、支那の富農は獨立的な經營を行ふに當つては（殊に灌漑施設に於て）必要な大規模な資本投下を回避し、不斷の軍閥戰爭の破壞的な結果から身を守り、斯樣な諸條件に依つて生ずる一切の患苦を小作人大衆に轉嫁しつゝ、瀕發する必然的な災害を免れてゐる。農業過剩人口、農民の基本的な大衆に土地の保證が全く存在せぬことは、富農及び地主が農奴的小作制と高利貸的掠奪を以て、自己の資本と所有地を一層有利に利用する種にせられてゐる。さればこそ支那に於ては、自分で農業經營を行ひ生產の目的を以て土地を賃貸し雇傭勞働の生產的利用を行ふ富農層が極めて稀薄なのである。支那に於て著しく發達してゐるのは他の型の富農、卽ち半地主である。プロレタリアートと全農民との同盟に關するレーニン的な問題提起に噛り附き、是を日和見主義的に利用しやうと試みてゐる支那の同志達は、支那の富農の斯る特殊性を考慮することを無くして、支那にとつては特に重要な農民問題に於て、黨を誤つた方向へ引摺つて行く重大な誤謬を

犯してゐるのである。此の誤謬は、支那革命の敗北後、農村に於ける富農分子が當然の事乍ら、農民大衆の革命鬪爭に對する反動側へ到る處公然と參加した爲に、愈々益々大きな意義を持つに至つてゐる。

農民問題に於ける我々の戰術に對する間違つた解釋に或る程度の根據を與へたものが、中國共產黨第六回大會の決議中に見られる可成り不明確な首尾一貫せぬ定式化であつたことは、爭ひ無き處である。例へば政治決議中では、農民と地主階級間の根本的な矛盾を曖昧にし混亂させさうな程度に、また混亂させさうな場合に、富農に對する鬪爭を激化してはならぬと提示してある。此の命題の根本的な（完全に正しい）意味は、支那農村に於ける中心的な搾取者と主要な敵が地主と軍閥であること、黨は其の戰術に於て如何なる程度たりとも此の事情を看過してはならず、又革命の現段階に於ける支那農村の、農民及び地主階級間の根本的な對立を忘れた爲に生ずる誤謬を避けなければならぬといふことに歸着するものであつた。正に是と關聯して第六回大會は、最近の段階に對應し地主の土地を全面的に分割すること無く、唯是を沒收するに止めよといふ要求を提出した。然し乍ら、大會の政治決議に見られる富農との鬪爭を激化しないといふ定式は、農民問題の解決の眞の意味を反映したものでは無くて、寧ろ其の反對に其の基礎から遊離し獨立の標語に轉化してしまつて間違つた政治的結論に根據を與へたのであつた。殊に此の定式は地主の土地の沒收に關する第六回大會の決議を、此の命題は富農の所有地に及ぶものでないといふ、甚しく間違つた風に解釋する可能性を開いたのである。他方、農民運動に關する決議中にも、もつと不徹底な定式化が含まれてゐて、是には富農の反動分子に對する鬪爭を說く一方では、支那農村の富裕な層を中立化せしめよとか、更に第六回大會の意見からすれば革命の潛勢力をまだ失つてゐない富農の一部を、反軍閥、反帝國主義へ引き入れるとかといふ說が見られるのである。是等の定式化は總て農民問題に關する大會の決議を、明かに日和見主義的な精神に、富農と同盟を結ぶ必要があるかの如き意味に解釋する橋渡しとなつた。

右の如き見地は個々の黨員に見られるばかりではなく、是がもつと大事なことであるが、中央委員會の決議や文書を通じて黨の戰術に對する此の種の解釋に、富農との同盟に逢着するのである。一例として、中央委員會が毛澤東へ寄せた書翰を取れば次のやうに書いてある。

「一般的、戰術的任務（地主階級に對する鬪爭）に從つて、富裕な農民と同盟を結ばなければならぬ。貴下が意識的に富農との鬪爭の煽動を始めるなら、それは間違ひであらう」。

又、他の個所にも

「それにも拘らず、我が一般的、戰術的方針が富裕な農民との同盟を要求するといふ理由だけで、黨は富農に對する貧農の階級鬪爭を放置してはならぬ」。

右の如く、貧農の支持を受けて中農と同盟するといふ黨の一般的方針は「富農との同盟」といふ日和見主義的方針とすり代へられてゐた。そこで農民問題に關する一切の論爭（例へば蔡和森と李立三間のそれ）は間違つた軌道の上を走ることになつた。第六回大會の決議の曖昧な定式化を修正する代りに、同志達はプロレタリアートと富農との同盟の必要を（例へば我々の民族的產業ブルジョアジーとのブロック時代を引き合ひに出して）理論的に正當化しやうと努めつゝ益々深い誤謬に陷つたのであつた。

此の種の誤謬は、殊に支那に於ける革命運動の現在

の諸條件下にあつては重大な危險を成すものである。嘗つて、農業革命遂行の諸條件下に於て、農民運動の最初の大々的な昂揚の環境に於て、帝國主義と支那の反動とに對する公然たる武裝鬪爭の諸條件下に於て、バルチザン運動の力強い發展の諸條件下に於て、多數のソヴィエト策源地と我が共產軍が存在する諸條件下に於ては、其の富裕な部分をも含む小土地所有農民に對する關係で——是との抗爭は、帝國主義や地主階級との激甚極まる鬪爭に直面して後廻しにされたのである——餘計な苦難を作り出さぬやうに考慮が拂はれたのであつた。右の如き諸條件下にあつては、一切の革命的勢力を支那革命のもつと重要な根本的な敵に打擊を與へる爲に先づ集中すべきであつた限り、「富農との鬪爭を緩和せよ」といふ標語も或る程度の根據は持つてゐた。然し乍ら、當時富農は既に反動の側へ走つてゐたのであるから、此の定式は誤つた戰術に根據を與へたのであつた。現在、卽ち革命が失敗に終り、新たに自己の組織を建設し、新たに自己の勢力の支點を築かねばならぬ情勢にあつては、農民大衆や農村貧民の動員は、先づ、ありとあらゆる壓迫と搾取の形態に對する決定的、且何物をも怖れざる鬪爭無くしては不可能

である。農村貧民間に於ける我々の勢力の强化は、階級的に首尾一貫した鬪爭標語を押し進めること無くしては絕對に不可能である。ところで、是は地主及び富農の壓迫と搾取に對する、農業プロレタリアートと農村貧民の廣汎な大衆の鬪爭の指導を前提とする。

富農に對する誤つた戰術は、同時に、貧農及び日傭農民に對する間違つた戰術を意味する。富農との同盟といふ戰術を立てると、農業勞働者の組織や其の鬪爭の强化やプロレタリアートの此の最も遲れた層（而も是が同時に農村に於ける我々の勢力の支柱なのである）の階級意識の昂揚に關する、黨の重要な活動が不可能となることは全く明かである。反對に、共產黨の指導下に行はれる、農業勞働者の經濟的、法律的地位の改善を目指す成功的な鬪爭は、黨が富農問題に於ける極めて有害な日和見主義的動搖を斷乎として克服してこそ初めて可能なのである。富農との同盟の方針を、たとへ一步を讓つても是に對する鬪爭の緩和の方針を固持するに於ては、共產黨は貧農の階級鬪爭の先頭に立つことを得ず、黨は必然的に、支那農村の富農搾取者層の利益に於て、貧農大衆の積極性を鈍らせるに至るであらう。

是に反し、孰れの時にも勝つて、黨は今日農村プロレタリアートの運動の展開、農村の貧民層の組織といふ任務に直面してゐる。此の任務は、富農のことなぞ顧みること無く、是が「革命から逃避すること」を顧慮すること無く遂行されなければならぬ。此の種の顧慮は、富農が國民黨に依つて相當成功的に農民運動彈壓に利用されてゐる今日の情勢では全く意味無きことである。

農民大衆の鬪爭は都市プロレタリアートの革命鬪爭と緊密に結合されてゐなければならぬ。他方、農村に於ける我々の戰術は、都市プロレタリアートを其の日常の經濟鬪爭の過程に於て獲得する黨の活動と照應しなければならぬ。農業革命の遂行を呼びかけたり、バルチザン戰爭や蜂起と結びついた農民運動を直に始めなければならぬといふのではない。反對に、支那に於ける現狀は、局部的な小規模の紛爭を利用し、是を煽動し、あらゆる形態の搾取に對する基本的な農民大衆の日常鬪爭を擴大し、是を一層高度の政治的段階に引き上げるべき任務を黨に課してゐるのである。日傭農民の勞働條件の改善の爲の鬪爭、苛斂誅求に對する鬪爭、新しい軍閥戰爭に對する鬪爭、高利貸に對する鬪爭、殊に小作料の引下げ又は不拂の爲の鬪爭——是等は孰れも、黨が是を摑んで何百萬の大衆を蹶起させ自己の勢力を鞏固にし農民運動の新しい昂揚に備へ得べき仲介の環でなければならぬ。

我々の推奬する戰術は、富農＝半地主に對してのみならず、又支那に於てはそれ程多くない獨立經營を行つてゐる型の富農に對しても、是を適用しなければならぬ。彼等に對する關係でも、黨は日傭農民大衆の階級鬪爭を抑制してはならず、解放運動に於て此の種の富農が占めてゐる地位に、如何なる程度たるとを問はず自己の活動を從屬せしめてはならず、此の種の富農が反徵稅運動又は反軍閥運動に參加してゐる場合ですら、富農に對する讓步に依つて自己の活動を拘束してはならぬ。黨は富農に對する自己の一般的方針を變更してはならず、富農に大衆を自己の利益に利用する可能性を與へること無く、農民大衆の指導權をめぐり彼等と鬪爭しなければならぬ。

農業プロレタリアートの組織と農村の貧民層の團結とは、ブルジョア民主主義革命に於てプロレタリアートが農民の基本的大衆に對し、指導的役割を獲得せんとする鬪爭を行ふ爲の必須の前提である。日傭農民間で

の活動は、從つて、彼等を反帝國主義的農業革命の積極的な闘士の陣營中に引き入れる任務をも追求するものでなければならぬ。日傭農民は土地を所有しない農民である。彼等は土地を獲得せんとし封建制度に反對する全農民の闘爭を傍觀し得ないし、又傍觀してもならない。それに就いて忘れてはならぬことは、農民ブルジョアジーと富農＝半地主が農民運動彈壓の仕事では支那の反動の同盟者となつてゐるにせよ、農村に於ける國民黨と支那の反動の社會的基礎と根本的な支持者は、依然として地主、劣紳、土豪であり、其の支配は農村に於て未だ崩れてゐないといふことである。故に、農業プロレタリアートと富農との間の階級對立の意識は少したりとも是を曖昧にすることなく、日傭農民及び全農民の前に、農村の搾取者たる地主、劣紳、軍閥及び其の背後に居る外國資本家の正體を暴露することが必要である。局部的な要求の爲の闘爭を黨の根本的な標語の宣傳と結びつけ、國民黨の政策の反革命的な本質の暴露と結びつけなければならぬ。

ブルジョア民主主義革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニーの實現は、中農獲得の、是をブルジョアジーと富農の勢力から引き離す爲の、支那農民の基本的な壓倒的な大衆の眞實の利益には同じく敵對的であるところの、あらゆる濃度の（將介石的なものから譚平山的なものに至る）ブルジョア民族改良主義の反動性を中農の目の前で暴露する爲の、最も決定的な闘爭を前提とする。黨は中農との同盟を鞏固にする方法を探求し是を軍閥と地主に對する積極的な闘爭に引き入れなければならぬ。日傭農民間で活動を同時に展開しつゝ、黨は中農の相當廣汎な層が一時的には（主として季節勞働者の）勞働力を使用するものであることを考慮に入れてゐなければならない。

共產黨を中心とし其の根本的な部分的な標語を中心として農民大衆を組織するといふ任務を實際的に遂行する爲には、農業勞働者の獨立的な組織と併立して、貧農を筆頭とする農民の地主、劣紳、高利貸、土豪、富農等に對する革命闘爭の下級機關たるべき革命的農民委員會を創建することが必要である。農民委員會は上部のみの組織であつてはならず、反對に、農民の基本的な大衆と農業プロレタリアートの卑近な要求を貫徹せんとする日常闘爭を基礎とし是と密接に結合して、農民大衆の革命的エネルギーを集結する眞に强力な中心とならねばならぬ。此の闘爭を基礎として農民委員會は反動的な組織の中に入つてゐる農民大衆を獲得するに當つて、根本的な楔杆の役割を演じなければならぬ。

純然たる實際的な提言に移るに當つて、我々は農民間に於ける成功的な活動が、農村に於て進行しつゝある一切の過程（是は今日に至るもなほ、黨の理論的機關では充分明かにされてゐない）の嚴密な研究を要求してゐることを指摘する必要があると思ふ。その研究が行き届いてゐない爲に黨の指導機關は、指令を具體的にし自己の一般的決議を檢討するに當つて、困難を來してゐるのである。

他方、黨は農民運動家の特別の幹部を養成することに大いに留意しなければならない。都市で役に立たぬインテリゲンツィア出身の役員を、農村へ送つて働かせるといふ制度は最近迄行はれて來たのであるが、是は農民間での大々的な活動を成功的に遂行する力を持たぬものである。積極的な農民運動家の養成は短期の間に農民運動の發展の上に眞の數歩を進めるものであらう。

特に必要なのは、回教農民の大規模な蜂起が起つてゐる地方へ大至急、一聯の責任ある活動家を派遣することである。此の蜂起は今の處何等外部の者の參加もなしに行はれてゐるのであつて、中國共產黨の指導を受けてゐないことも勿論である。回教徒の叛亂大衆を味方に獲得する闘爭に於ては、黨は先づ明かに現れてゐる運動の民族的な性質を考慮し、是に照應して支那に於ける被壓迫民族の爲の闘爭の綱領と標語を編成しなければならぬ。パルチザン運動が起つてゐる他の地方では、黨中央委員會は此の問題に關する中國共產黨第六回大會の決議に基き、此の運動との充分な連絡と自黨からの指導を確保しなければならぬ。

農民間の活動を展開するに當つて、黨の最も重要な任務なるものは、農村に於て黨細胞の鞏固な網を組織し、大衆的農民團體內で共產黨のフラクションを組織することである。最後に、黨は農村の家內工業者や手工業職人間での活動に大いに留意し、是を大々的に一般的な革命闘爭に引き入れなければならぬ。是に當つては、特に婦人手工業職人に注意しなければならぬ。我々の書翰を終るに當り、我々は支那革命の社會主義的性質に關する全然誤つた純然たるトロツキー的な結論を警戒したいと思ふ。我々が說明した富農に關する

意見を誤つて解釋する一部の同志諸君は、ともすれば此の結論に赴かうとしてゐる。農村に於ける各種の社會層に對する態度の問題に關する中國共產黨第六回大會の諸決議を一層明確に解說することも、又「富農との同盟」といふ日和見主義的な標語を撤回することも、支那革命の現段階の性質をブルジョア民主主義的なものとする我々の見解を動搖させるものではない。革命のブルジョア民主主義的段階の根本的な矛盾が未解決の儘に殘されてゐる限り（封建地主的土地所有の廢絕、外國資本の支配の淸算、軍閥支配の粉碎と國の眞の統一）、支那に於ける革命の波濤の現在の昂揚開始期にもブルジョア民主主義的性質は依然として殘されてゐるのである。

然し乍ら同時に指摘すべきは、プロレタリアートと貧農の團結と、解放鬪爭の現段階に於て既に起つてゐるところの全農民に對するプロレタリアートの指導的役割の强化とが、他の事情と共に、革命がブルジョア民主主義的段階から社會主義的段階へ變轉して行くテムポに好影響を與へるに相違ないといふことである。

我々が本書翰に於て觸れることを必要と考へた、農民運動に於ける共產黨の任務に關する最も主要な諸問題は右の如きものである。中央委員會が我々の注意を容れ、農民問題に於ける黨の方針を是正し、此の問題に關する日和見主義的動搖を克服し、農村に於ける實際活動を强化し、農民間での活動にとつて有利な情勢を利用し、此の事自體に依つて勞働者階級と其の前衞たる共產黨との指導的役割を强化しつゝ、農民運動の强力な昂揚の促進を確保すべきことを、我々は信じて疑はない。

一九二九年六月七日、共產主義者の挨拶を以て
コミンテルン執行委員會政治書記局
「共產」誌一九二九年十一月號に支那語を以て公表。

七　コミンテルン執行委員會第十回總會（一九二九年七月）

植民地問題及び資本主義の根本的矛盾の尖銳化

……ブルジョアジーは植民地に於ける革命運動の壓伏にも失敗した。帝國主義と植民地との間に於ける對立關係は、主要なる植民地及び半植民地諸國に於て、愈々尖銳となつて現れつゝある。支那に於ける革命運動の一時的な敗北後、各種の帝國主義國（英、米、日本）の金融資本と經濟的利益を緊密に合生せしめてゐる支那ブルジョアジーは封建的反動勢力と提携して、支那の獨立の事業に於て完全な破產者となり、事實上此の獨立防衞の帝國主義的な敵の陣營に移つた。現今支那で起りつゝある帝國主義諸政府の傀儡たる三軍閥の戰爭は、支那を支配する一味の利益が根本的な形で支那の民族的統一の利益と相反することを明瞭に物語つてゐる。支那の統一と帝國主義の羈絆からの解放とは、農業革命及び封建制のあらゆる殘滓の絕滅と不可分に結びついてゐる。然し是等のブルジョア民主主義的革命の根本的任務の解決は、勞働階級を主導とする勞農革命の新しい强力な昂揚に依つてのみ、實現し得べきものである。其の爲の諸條件が疑ひもなく成熟しつゝあるところの此の昂揚は、プロレタリアート及び農民の革命的＝民主主義的獨裁の機構たるソヴィエトの創建に導かざるを得ないのである。

今や印度に於て力强い革命運動が展開されつゝある。ボンベイのプロレタリアートの勇敢なるストライキ、サイモン委員會に反對する勤勞大衆の鬪爭、街頭デモと衝突、盛りあがりつゝある農民運動——是等は總て印度が既に植民地革命の最も重要なる根據地の一つになりつゝあることを語つてゐる。民族的獨立の事業に對する印度プルジョアジーの露骨なる變節（スワラヂ派の國民會議の印度自治權に關する決議）と、罷業勞働者の流血的懲罰に對する積極的助力とは、印度ブルジョアジーの反革命的性質を暴露してゐる。是は、印度の獨立、勞働階級の立場の改善、農業問題の解決が、イギリス帝國主義や印度の諸侯及び民族資本との反對鬪爭に於て、プロレタリアートの指導下に於ける勞働者及び農民の革命的鬪爭に依つてのみ、獲得され得べきことを明白に示してゐる。印度革命の任務はソヴィエトの旗の下に、プロレタリアートと農民の革命的、民主主義的獨裁獲得の爲の鬪爭裡にのみ解決され得べきである。

印度に於ける革命的昂揚の成長と同時に、植民地及び保護領諸國の外國人壓制者に對する鬪爭が新たに展開されつゝある（モロッコ、コンゴー、ラテン・アメリカ諸國其の他）。各植民地に於ける革命運動は、諸本國に於ける革命的勞働運動の擡頭とソヴィエト聯邦の强化といふ條件の裡に、全資本主義制度の破局を近づけつゝ、今迄よりも遙に急激なテムポを以て强化成長するであらう。

「國際情勢とコミンテルンの當面の任務」、「コミンテルン文書集」八八〇—八八一頁。

植民地及び半植民地諸國に於て行はれつゝある「小」戰爭は、(支那――廣西派と南京、馮玉祥)其の背後に增大しつゝある英米の競爭を伏藏するものであり、英米間の世界制覇の爲の大戰爭への踏段である。

「同　上」、八七七頁。

植民地及び半植民地諸國に於ける勞働運動

最近數年は、總ての植民地及び半植民地諸國、特に印度に於ける經濟鬪爭の驚くべき昂揚を以て特徴づけられてゐる。此のストライキの波濤はまた、植民地プロレタリアートの最も時代に取殘された隊列をも搖り動かし(エクワドル、アフリカ)、勞働運動に於ける新しい昂揚が舊資本主義諸國の埒外に遠く溢出したことを立證してゐる。

植民地及び半植民地諸國(印度、支那、インドネシア、セイロン、ビルマ、アフリカ其の他)に於ける最近のストライキの根本的特異性は、其の運動が自然發生的に勃發せる處に於てさへも、それが深刻なる革命的性質を有せる點である。是に依つて、從來なほ共產黨や革命的勞働組合の存在しなかつた地域に於て、其の發展と强化の爲に好都合な地盤が作り出されつゝある。是等諸國の總ての共產黨員や革命的勞働者等の最も重要なる任務は何かといへば――ストライキの機關の中から民族ブルジョア的及び社會改良主義的分子を掃蕩し、勞働者の經濟鬪爭を鬪爭の高度段階に移行せしめ、以て總ての經濟鬪爭に於ける指導權を勞働者の手に保證することである。

植民地及び半植民地諸國に於ける勞働組合の種々雜多な形態は、是等諸國の共產黨員及び革命的勞働者等が經濟鬪爭を獨立的に指導し、ストライキ鬪爭展開の過程に於て一般大衆を獲得し、また勞働者の經濟鬪爭をプロレタリアートの一般的階級任務と緊密に結びつける方策の實行に當つて大きな融通性を有することを要求してゐる。

是等諸國に鬪爭委員會を設立する場合には、從來存在しない處に革命的、階級的組合を創建したり、また非合法勞働組合を非合法性から脫却させる爲に此の設立を利用しなければならぬ。

ボンベイに於ける左翼纖維工業勞働者組合「ギルニ・カムガル」の經驗は、大衆的左翼勞働組合運動の組織內に於ける革命的分子が、ストライキ鬪爭の指導、新しい組織形態(ストライキ委員會)の廣汎な適用、及び企業內に於ける活動(工場委員會)を基礎として、如何に急激且鞏固な成功を獲得し得るかを物語つてゐる。

最も重要なことは何かといへば――非合法にもせよ合法にもせよ、革命的な勞働組合を强化し擴大することである。勞働運動の昂揚に立脚して、非合法勞働組合が廣汎な大衆から遊離せる狀態を克服する爲に、あらゆる可能性を利用し、以て大衆的活動の展開を達成し公然たる存在の爲に鬪ふ必要がある。それからまた必要なことは、總ての大衆的、改良主義的組合及び黃色組合內に於て不撓の活動を絕えず繼續して、是等の組織內にある勞働者を革命的階級鬪爭の味方に獲得することである。共產黨の任務は――帝國主義と民族ブルジョアジーが階級的勞働組合に對抗して敷設した一切の鐵條網を破碎する爲に、ストライキ鬪爭の昂揚を利用するにある。帝國主義諸國の共產黨は、植民地諸國のストライキ運動に積極的且系統的な援助を與へ、經濟鬪爭の成長と關聯して反帝國主義及び植民地獨立の爲の鬪爭を尖銳化せしめなければならぬ。

特に留意を要するのは、支那及び印度の勞働運動に對する援助である。蓋し此の二つの國に於ける革命の勝利は、世界帝國主義體制に對して致命的打擊を與へるだらうからである。

「經濟鬪爭及び共產黨の任務に關するテーゼ」、「コミンテルン文書集」九〇五―九〇六頁。

八　勞働組合內に於ける中國共產黨の活動に關するコミンテルン執行委員會の決議(一九二九年)

最近數年の支那に於けるストライキ運動を分析すれば、此の國に於て勞働運動の新たなる昂揚が成熟しつゝありと確認すべき完全なる根據が與へられる。最近の經濟鬪爭には幾十萬といふ勞働者が參加し、ストライキは往々にして顯著なる政治的性質を表現するに至つてゐる。それ故、政治書記局は中國共產黨中央委員會最近の總會の決議が、勞働組合內の活動方針を大體に於て正しく規定せることを是認する次第であるが、而もなほ中國共產黨に對し極めて重大なる注意を促す必要ありと考へる。卽ち、大衆的勞働者組織、先づ第一に勞働組合內に於ては――獨立赤色勞働組合に於ても、又國民黨系組合(政府の組合)及び黃色組合(「左翼」國民黨的組合)に於ても、共產黨員の活動に急速なる轉換を必要とすること、是である。

中國共產黨は現在、赤色勞働組合を活氣ある眞の大衆組織たらしむる爲に一切の方策を講せねばならぬ。是は現今の經濟鬪爭の昂揚に際し特に重要である。蓋し斯くせざる時は、經濟爭議に於て赤色勞働組合の活動を感せざる勞働大衆間で、赤色勞働組合の信用を失墜するといふ危險に脅かされるであらうから。現段階に於ける共產黨員の中心的な任務は成長する鬪爭の先頭に立つて指導し組織することである。是と同時に赤色勞働組合との關係に於て黨內のあらゆる淸算主義的傾向に對し、右翼的危險や純然たる日和見主義に對すると同樣に、斷乎たる鬪爭を遂行せねばならぬ。赤色勞働組合は革命的鬪爭の時代に培はれた偉大な政治的資本を有すること、其の政治的影響力は彼等の現時の組織狀態に較べて遙に大きなものたることを忘れてはならぬ。赤色勞働組合は革命的勞働運動の中心的な基礎であり、此の組合は客觀的に好都合な地盤を有する處に於ては隨所で擴大されねばならぬ。其の關係に於て先づ第一に擧ぐべきは、全支勞働總同盟の核心であつた鐵道從業員、鑛山勞働者及び海員等の組合である。

それと同時に中國共產黨中央委員會は、その一部が廣汎な大衆組織化してゐる黃色勞働組合及び國民黨系

組合の內部に於て、共產黨員が活動することの意義を過小評價する黨內の傾向に對して、右に劣らぬ斷乎たる鬪爭を行ふと共に、是等の勞働組合內に於ける精力的な活動の必要について問題を提起せねばならぬ。蓋し、大衆的な國民黨系及び黃色勞働組合の實在といふ事實と、他面また赤色勞働組合の極度の組織的脆弱性といふ事實とに依り、斯くする必要があるのである。國民黨系及び黃色勞働組合內での共產黨員の活動に於ける方向轉換は、單なる決議だけに止まらず實行を必要とする。其の爲に共產黨員や革命的勞働者等が大衆的な國民黨系及び黃色勞働組合に加入するの必要を說く黨內の宣傳運動を行はねばならぬ。今なほ共產黨員の勞働組合活動のうちに殘つてゐる例のセクト主義の殘滓を粉碎せねばならぬ。支那に於ては改良主義的傾向が缺如して居り（改良主義は支那勞働運動に侵入しやうと大いに努力をしてはゐるが）、且强力な下部勞働組合機關が缺けてゐるので、支那でストライキの波が高まりつゝある現狀に於て、大衆や國民黨系及び黃色勞働組合を手に入れることは、舊資本主義諸國の改良主義的組合內で是を行ふよりも遙に容易であるだらう。共產黨員は、國民黨系及び黃色勞働組合內にあつては、

自己の周圍に組合內の總ての革命的分子を結成するフラクションに統一されて居らねばならぬ。然し中國共產黨は、共產黨員及び革命的勞働者が黃色及び國民黨系の大衆的組合へ加入すべきことを決定したけれども、なほ是に依つて一般勞働大衆を、黃色及び國民黨系勞働組合へ加入させる爲に煽動せんとするものではない。蓋し是等の組織は反階級的性質を持つからである。それ故に黃色及び國民黨系勞働組合が大衆的性質を帶びて居らぬ處に於ては、共產黨員及び革命的勞働者等は彼等の組織に加入すべきでない。我々が是等の勞働組合に加入するのは唯其の組合內に勞働大衆があるからこそ、現時の勞働運動の擡頭を利用して是等の勞働大衆を獲得する目的を以て加入するのである。大衆的な國民黨系乃至は黃色勞働組合と平行して革命的勞働組合の創建に好都合な客觀的情勢が存在する處に於ては、當然それを組織すべきであるが、然し又同時に黃色及び政府の勞働組合內に於ても革命的政策に立脚して大衆を獲得し、是等の勞働組合を解消せしめる目的を以て活動せねばならぬ。

中國共產黨は大衆の中で精力的活動をする爲に、工場＝製作所委員會の創建を通じて工場及び製作所に於

ける自己の立場を强化する必要がある。支那に於ける工場＝製作所委員會の意義は、黃色組合にしても國民黨系勞働組合にしても中央集權化されて居らず、且また民族的にも生產的にも。更に全市的乃至は省の範圍に於てさへも統一されて居らぬ點に鑑みて一層大きいのである。工場＝製作所委員會は、たとへ祕密連絡の方法に依るとしても全勞働者に依つて選出されたものでなければならぬ。工場＝製作所委員會は企業內に於ける黨細胞の指導の下に、最近益々增大しつゝある自然發生的な經濟的爭議及び企業內勞働者大衆の日常鬪爭の組織者となり指導者となるべきである。黃色及び國民黨系勞働組合員等を、工場＝製作所委員會の活潑なる行動に依つて大衆的な赤色勞働組合員に移行せしめることは可能となるであらう。而して工場＝製作所委員會は企業勞働者大衆と黃色及び國民黨系勞働組合との中間に於ける隔壁たり得るであらう。工場＝製作所委員會は、若し工場や製作所內で確乎たる根を下した場合には、勞働運動昂揚時代の適當な瞬間に於て階級的な赤色勞働組合の下部機關となり、且產業別勞働組合組織の水先案內たり得るものであり、又當然さうならねばならぬ。それ故に、工場＝製作所委員會を創建

する仕事は、特に黄色及び國民黨系勞働組合の存在する處に於て最も重要となるのである。單に赤色勞働組合のみが存在する處にあつては、工場＝製作所委員會は赤色勞働組合の大衆的根據地の創設と强化の出發點とならねばならぬ。

中國共產黨は勞働運動が新たに昂揚して來る場合には、たとへ名稱を改め、申告手續をとつてさへも、赤色勞働組合が地下から表面へ進出する問題を提起せねばならぬ。此の場合に、是等の勞働組合の事實上の指導部を祕密にする必要がある。赤色勞働組合は其の合法的存在の時代に於て多くの場合に、製作所や企業內に自己の確乎たる組織的根據地を作りあげる事に成功しなかつた。斯る事情は、國民黨の彈壓をして比較的容易に赤色勞働組合の大部分を粉碎せしむるに至つたのである。故に現在に於ては、赤色勞働組合の爲に右の樣な組織的根據地を創設することが第一義的な任務として提起されるのである。此の事なしでは、强力な赤色勞働組合を設立することも、工場＝製作所委員會を創建することも、黃色及び國民黨系勞働組合內で活動することも、乃至はまた獨立的にプロレタリアートの經濟鬪爭を指導することも出來ぬであらう。

中國共產黨は黨內に於て次の如き共產黨員と決然たる鬪爭を行ふ必要がある。卽ち、赤色勞働組合が大衆的なものであると否とに拘らず、或はそれが大衆的なものになり得ると否とに關係なく、更に同組合が非黨員勞働者の廣汎な層に對し勢力を有するや否や、或は其の勢力を勞働大衆の經濟鬪爭への積極的參與といふ手段に依つて更に一層强化し得るや否やを問はず、總ての赤色勞働組合を淸算すべしと提唱する黨員と斷然たる鬪爭を行ふ必要がある。中國共產黨は今なほ大衆的勞働組合組織の存在せざる都市や企業內に於ては、階級的勞働組合（必ずしも赤色勞働組合なる名稱を採用せずともよい）の組織に着手せねばならぬ。勞働者と企業家の間に於ける經濟爭議は、斯かる大衆的組織の創建にとつて適切な契機である。

然し乍ら是と共に中國共產黨は、「机上命令主義」とか勞働組合の上部機關だけを作つて得々とする極めて惡質な傳統を斷然淸算せねばならぬ。赤色勞働組合の名簿を、其の活動の積極性と生活能力の觀點から再檢討し、其の中の大衆的ならざるもの、嘗つては實際に存在したが現在は單に紙の上でのみ存在するもの（無用な機構を有するのみで）、或は其の地域に大衆的な黃色及び國民黨系勞働組合が現存する爲に、大衆的な勞働組合組織に發展する能力なきもの等——は些の躊躇もなく解消すべきである。是は斯る組合內で手を塞がれてゐる同志達を、工場や製作所又は黃色及び國民黨系勞働組合內での一層成功的な活動の爲に解放する必要があるからである。黃色及び國民黨系勞働組合について言へば、中國共產黨は是等の組合內に確乎たる立場を獲得せる場合、適當な瞬間に黃色及び國民黨系指導部の排除に關する問題を提起せねばならぬ。若し其の指導部に忠實な組合員大衆の一部が、其の爲に分裂するに至るとしても、是は必要である。

同時に、我々が現在の條件の下に於て黃色及び國民黨系勞働組合の下部機關を支配することが可能だと考へたり、勞働運動の昂揚とは無關係に國民黨の法律の範圍內に於て、赤色勞働組合の合法的存在を獲得出來ると考へるのは有害なる日和見主義的空想であらう。それ故、勞働組合の合法的及び非合法的活動を巧みに併用し、祕密指導部を通じて赤色勞働組合と大衆との連絡を鞏固にし、あらゆる手段を盡して罷業と結社の自由の爲に戰ひ、また國民黨の法律に對抗し、赤色勞働組合が申告手續をとつて地下から拔け出る爲に鬪爭する必要がある。

中國共產黨の勞働運動に於ける最も重要なる任務は、成長しつゝある經濟鬪爭の獨立的指導、此の鬪爭の最善の組織と準備とである。是に依つて是を見れば「黃色及び國民黨系勞働組合なしには活動できぬ」とか、或は「黃色及び國民黨系勞働組合幹部が我々の提議を實施するやうに彼等を嗾かす」必要があるとか考へてゐる黨內の總ての日和見分子に斷乎たる彈壓を與へる必要がある。赤色勞働組合は經濟鬪爭を準備し、企業の全大衆に依つて選出される處の工場代表會議や鬪爭委員會の如き機關を通じて此の鬪爭を指導せねばならぬ。此の方針を以て革命的分子を指導部に引入れつゝ、勞働大衆の最大限の能動性を發展させる必要がある。是こそ——共產主義的前衞に依つて現時の勞働運動の昂揚を成功的に把握する重要なる前提條件である。

「コムニスチーチェスキー・インテルナツィオナル」誌、一九二九年三八—三九號、五六—五八頁。

九　中國共産黨中央委員會に寄する

コミンテルン執行委員會の書翰

（一九二九年十二月）

親愛なる同志諸君！

支那に於ける最近の諸事件は、現在の條件下に於ける黨の活動及び方針に關する諸君よりの情報を待たずして、我々をして今將に支那に於て生成されつゝある情勢に對する我等の見解を表明し、且又共産黨の最重要任務に關する豫備的指示を與へしめるのである。

一、支那は深刻なる全國民的危機の段階に入つた。此の危機は次の相貌を持つてゐる。

一　相互の間に於ける矛盾が益々尖鋭化しつゝある帝國主義諸國を背後に持つ、諸々の軍閥間の內亂戰の新しい爆發。

二　軍閥中の一人（張發奎）の支援の下に政治舞臺へ進出して南京派國民黨に對立する「國民黨改組派」（汪兆銘、陳公博等の一味）の結成。

三　反ソヴィエト的冒險とそれに依り喚起された一切の矛盾の尖鋭化とに依る全情勢の複雜化。

四　多少とも目ぼしい外國資本の投下を誘引せんとする一切の企圖及び帝國主義諸國との不平等條約改訂計畫の失敗。

五　國民黨內政の全面的な明白なる失敗。卽ち大衆の革命運動の彈壓（未曾有の白色テロ手段に依る）は徹底するに至らず、財政的及び軍事的な國內統一は些かも實現のチャンスを獲得せず。

六　國內の經濟生活に於ける外國資本の役割の增大と共に各種產業の沈衰。

七　現存するブルジョア＝地主制度の埒內では出口のない、繼續的な益々深化する農業恐慌。

八　從來としても堪え難かつた勞働階級及び農民の基本大衆の立場の一般的惡化。

九　新しい革命的昂揚の中心勢力として登場した新しい勞働運動、特にバルチザン運動の活潑なる動き。

ブルジョアジー及び地主の同盟が、反革命運動の勝利を基礎として、民族主義ブルジョア的、中央集權的政府を建設强化しやうとした企圖は失敗に歸した。若し南京政府の支配の第一期に於て、支那のブルジョア的發展が若干安定の外觀を作り得たとすれば、今や帝國主義

の影響の强化、經濟恐慌の深刻化、支配的上層の新しい頽廢、及び勞働者農民の大衆的革命運動の活潑化等に依つて一層擴大された基礎の上に、古き矛盾が再生産されつゝあるのを見る。全國民的危機の直接的な革命的局面への移行の速度を豫言することは出來ない。然し乍ら、今や既にブルジョア＝地主ブロックの權力の革命的な顚覆に大衆を準備し、階級鬪爭の革命的形態（大衆的政治罷業、革命的デモンストレーション、バルチザン的進擊等々）を益々積極的に展開し擴大しつゝ、ソヴィエトの形式で勞働階級及び農民の獨裁制の樹立を準備することは可能であるし且必要である。

二、一九二七年の末に勞働者及び農民の革命運動を彈壓粉碎する目的で結成された軍閥、地主、全ブルジョアジーの統一的な反革命的ブロックは、第一期に於てはブルジョア＝地主的反動の凱歌の裡に存在を續けて來たが、今や此のブロック內では內部的矛盾と分裂が增大深化しつゝある。總ての搾取階級は一般に反動性を持ち、支那內部及び支那と帝國主義との間の根本的矛盾に對する態度に於て、彼等自體の立場の分界が極めて不明確なのに、而も尙現在此のブロックは二つの基本的な政治グループに分れてゐる。

其の第一のグループは軍閥、封建的地主及び大規模な土着ブルジョアジー（例外なしにではないが主として買辨及び銀行家の層）を結合してゐる。此のグループは現在自己の政治的代辯者を政府、國民黨及び非國民黨の地主＝ブルジョア的黨派（蔣介石派、四川派、安福派、馮玉祥、閻錫山、廣西派等々）の中に有してゐる。經濟的事情が極めて多彩的であること及び支那各地に於ける資本主義的發達が不均衡であることは、地主や土着ブルジョアジーの種々錯綜した利益を代表する是等の黨派中の各自の階級的性質に特殊性を持たしめてゐる。然し乍ら彼等は誰も彼も國家の外國資本への從屬を實現しつゝある點で一致してゐる。封建的な分割性と、支那が帝國主義列强間の鬪爭舞臺であり對象であるといふ事實は、此の政治的陣營の埒內に於て內部的平和の缺如すること及び間斷なき軍閥戰爭の原因として說明されるものである。

第二のグループを政治的に結成せんとしてゐるのは、支那の民族ブルジョアジーの中間層、卽ち工業資本家と商人の一部の利益を代表するブルジョア民族主義的＝改良主義の中央部である。此のグループは現在の政府たる國民黨に對して反對派の立場にあり、資本

主義的な中小企業家の間や、小地主の不平家群及び都市と農村の小ブルジョア上層（搾取者的な）の間に自己の勢力を扶植してゐる。政治的に此のグループを代表してゐるのは國民黨改組派（汪兆銘及び陳公博の一味）である。現在此の一味は、民族主義及び民主主義の爲の闘爭に關する、社會的デマゴギーや似而非標語を廣く應用して、南京政權の更新の爲に、新しい革命的爆發を豫防する爲に、都市小ブルジョアや廣汎な國民大衆間に高まりつゝある不滿を利用しやうと企圖してゐる。「改組派」が代表する此のグループは、勞働者及び農民の革命運動に對して深い敵意を持ち、ソヴィエト聯邦にも敵意を持ち、帝國主義と軍閥に對して常に協調的、奴隷的な態度を持つ反革命グループである。斯る事情は、「改組派」の進出が、「自派」の軍閥（張發奎）の支援と北方諸軍閥（馮玉祥其の他）との同盟の下に行はれたといふ、軍國主義的形態のうちに露骨に暴露されてゐる。第二のグループに依つて代表される階級には、國家を繼續的な恐慌からブルジョア的發展の途に脫出せしむべき豫定計畫を企圖する力は無く、況んや是を實現する能力は無い。假に欲したとしても、現存權力の社會的性質を變更せしむる事業に於て彼等は一

層無力である。彼等は獨立的な勞働者及び農民運動の今後の革命的昂揚といふ諸條件の下で、現存權力に對する自己の反對派的性質を極めて急激に喪失するであらう。而して彼等は擡頭せるプロレタリアートと農民との最初の決然たる階級闘爭に際して、忽ちにして第一のグループと、單一反革命的ブルジョア＝地主ブロックに結合するであらう。

然し乍ら現時の革命的昂揚の初期にあつては「改組派」（是は未だなほ「更新せる」國民黨への期待を濃厚に有してゐる一派である）が、未だ勤勞大衆の眼前で徹底的に自己の假面を暴露するに至つて居らぬので、彼等の反動的＝協調主義的影響に對する最も決然たる闘爭は、將來の革命闘爭の展開及びプロレタリアートのヘゲモニー强化の爲に必須な前提條件である。

政治的に反動主義的な是等のグループに對立して、唯一の革命的陣營——プロレタリアート、農民及び都市貧民が立つてゐる。此の陣營は勞働階級と其の進步的前衞——共產黨に依つて指導されてゐる。

一九二七年に於けるブルジョアジーの變節と其の帝國主義及び封建主義に對する降伏の結果として、國民黨の雜多な政治グループ、特に「左翼國民黨」の社會的根據は變化し轉化した。現在及び武漢時代の各政治グループに就いて類推を行はうとする各種の無批判的な試みは、露骨にして拙劣なる日和見主義の發露に他ならない。中ブルジョア的な民族改良主義派が大ブルジョア及び地主ブロックから一時的に分裂してゐることを以て、小ブルジョアジーの獨立的な進出乃至は民族改良主義的ブルジョアジーの革命的進出だと解釋することは全く不可能である。斯る解釋は勞働者及び農民の大衆的、革命的活動を、何時でもブルジョア陣營に於ける各種の妥協苟合とすりかへる用意のあるところの、中國共產黨內の右翼が行つたものである。

實際に於ては、此の中ブルジョア的な民族改良主義派が南京の徹底的な信用失墜後に分裂したのは、政治的袋小路から脫出する爲と稱して國民黨の改組を聲明する事に依り革命的爆發を防止し延期せんとする支那ブルジョアジーの新しい試みであるに過ぎない。「改組派」は唯、斯る目的を以て自己の軍閥的內亂への參加を、民主主義及び民族主義、「眞の國民黨」復興の爲の闘爭に見せかけやうと努めてゐるのに過ぎない。卽ち、彼等が「國民黨改組」の旗の下に行動するのは、全くブルジョア＝地主的反動勢力を破滅から救はんが爲であつて、是を排擊せんが爲ではない。

三、支配階級の間に於ける政治的グループの再編成、「國民黨改組派」の結成は、支那に於ける深刻なる全國民的危機を標示するものである。

國民的危機と革命的昂揚は其の獨自な支那的特徵を持つてゐる。

張發奎の進出及び馮玉祥と南京間の戰爭は國民的危機の發展が新たに軍事的＝政治的形態を採つて現れたことを示してゐる。軍閥相互の間に於ける戰爭はブルジョア＝地主ブロックの反革命政策の直接的な繼續であると同時に、客觀的に支配的權力を弱體化し、大衆を政治闘爭に引き入れ、帝國主義戰爭と其の結果に對する大衆の積極的な反抗を喚起し、更に獨立的な勞働者農民運動の振動を助成するものである。

支那に於ける國民的危機と革命的昂揚の、今一つの明白なる特徵は農民戰爭である。ブルジョア地主的反動勢力は農民革命運動を徹底的に彈壓し得なかつた。反動の指導下にあり乍らも自己の大衆的性質に依つて客觀的に革命的な囘敎徒、紅槍會其の他の一揆、特に支那の多くの省に於ける大衆的農民運動の一般的成長、ソヴィエト政權諸地方の維持と最近に於ける其の

擴大强化、南方に於ける間斷なきパルチザン戰爭等は、——將來全支那的革命運動の力强い昂揚の成長する河床の一つとなりつゝある。而して成長する昂揚の極めて確實且本質的な兆候は、一九二七年の慘澹たる敗北後の沈衰狀態から脫出した勞働運動の活潑化である。プロレタリアートの經濟的ストライキ鬪爭は發展しつゝある。それは政治鬪爭、街頭デモへの展開の傾向を現しつゝある。勞働運動に於ける是等の過程は、既に、革命的デモ及び五月三十日、八月一日及び九月一日のストライキを成功的に指導せる共產黨の强化を齎した。

而も共產黨の思想的、政治的影響力と勞働階級の組織狀態とは、大衆的不滿の成長、蓄積されつゝある革命的エネルギー及び自然發生的運動から未だなほ立遲れてゐる。赤色勞働組合の多數は未だ大衆組織となつてゐない。黃色國民黨系勞働組合の勢力は未だなほ絶大である。特に黃色勞働組合內に於ける「改組派」の勢力は際立つて著しいものがある（北部に於て）。黃色國民黨系勞働組合內に於ける共產主義的活動は眞劍に組織されてはゐない。共產黨が自己の周圍に、生產企業內の基本的な革命的勞働者基幹部隊を結成したと言ふには未だ前途遼遠である。のみならず勞働階級の多數を獲得する爲の鬪爭任務も黨に依つて解決されてゐない。プロレタリアートの自然發生的な經濟的及び政治的鬪爭の指導權把握といふ、現在の瞬間に於て第一義的な任務も解決されてゐない。黨は未だ廣汎な大衆の直接的革命鬪爭の主動者、組織者及び指導者たるに至つてゐないのである。

共產黨自身の內部には、黨の戰術や政策上の根本的諸問題に關する大きな逡巡と動搖がある（陳獨秀の淸算主義的グループ、「改組派」や黃色組合官僚とのブロックの傾向、農民戰爭の支持及び指導の必要に對する否定的傾向）。是は、成長する革命的昂揚の新しい情勢の下にあつて、黨が大衆の獨立的鬪爭を指導することを阻害してゐるものである。

斯くの如き勞働階級に對する黨の影響力の立遲れ、强大化しつゝある勞働階級の自然發生的鬪爭からの黨自身及び革命的勞働運動の組織狀態の立遲れ等は、支那に於ける革命鬪爭の今後の全發展にとり極めて危險である。

四、總て上述の事は黨の緊急任務を規定するものである。我々の前回の書翰（農民及び勞働組合に關する）を補足して、我々は現時の諸條件に於て黨が直面してゐる次の根本的諸任務に對し注意を喚起するの要ありと考へるものである。

（イ）革命的、獨立的大衆運動を一層展開させる爲に、あらゆる手段を盡して、今正に始まつた大鬪爭を利用する必要がある。新聞、ビラ、檄文、口頭に依る大衆的煽動等に於て、國民黨のあらゆるグループの反革命的役割の暴露を最大限に展開する必要がある。黨は夫々の地方を支配する總ての軍閥グループの權力（南方に於ては南京政府、張發奎等々、北方に於ては閻錫山、馮玉祥、奉天派其の他）を顚覆せねばならぬ。軍閥戰爭を、階級戰爭、市民戰爭に轉化せよ、ブルジョアジーと地主の權力を打倒せよ——といふ標語は、大衆煽動の爲の黨の基礎的な當面の標語とならねばならぬ。

（ロ）それと共に大衆に對する影響力の獲得、プロレタリアートのヘゲモニーの獲得の爲に、先づ第一に現在、大衆の不滿を利用しやうと努め、勞働者及び農民の革命運動の將來の發展の爲に重大な危險をなしてゐる所謂「改組派」に向つて鬪爭を尖銳化する必要がある。

「改組派」のあらゆる影響を粉碎し、彼等の反革命的本質を暴露する目的を以て卽時に、斷乎として能ふ限り大衆的な宣傳煽動を展開する必要がある。事實上に於て地主的土地私有制と資本主義的搾取を擁護して勞働者に反對し、農民革命に反對して行動する「改組派」の勞農政策を積極的に暴露する必要がある。「改組派」の帝國主義者に對する忠實さを大衆の眼に示すことが極めて重要である。特に東支鐵道の衝突問題でソヴィエト聯邦に對し、全くファシスト的な使嗾を行つた厚顏無恥の態度の中にそれが露骨に現れてゐる。「黨の政權」（大衆の政治生活への參與を完全に排除した）の原則を是認し、單に別の軍閥の獨裁の爲に、蔣介石の獨裁に對して鬪ふ「改組派」の似而非民主主義を徹底的に暴露せよ。無論、如何なる形式にもせよ「改組派」とのブロックが全く許すべからざるは明白である。若し如何なるブロックにもせよ容認したとすれば、それは取りも直さず、プロレタリアートの獨立的運動が、反革命的、民族改良主義的ブルジョアジーへ服從したことに他ならず、且革命運動の敗北を齎すことは不可避であらう。現在は如何なる時期にもまして、我が黨の指

導下に立つ勞働者及び農民の堅固なる獨立的鬪爭の必要が大である。

（ハ）勞働者のストライキ鬪爭に黨の特別の注意が向けられねばならぬ。經濟的及び政治的鬪爭の併用と共に政治的總罷業準備の方針を採りつゝ政治的ストライキの發展に全力を注ぐ必要がある。從つて國民黨の反革命的支配力の弱まつた處、革命的鬪爭が擡頭した處に於ては、到る處に於て勞働組合が地下から合法舞臺へ進出する企圖を組織せねばならぬ。

（ニ）總ての帝國主義諸國、特にアメリカ帝國主義に對する反帝國主義運動の發展と其の指導權獲得の爲の鬪爭に黨の多くの注意を割かねばならぬ。帝國主義者側からのあらゆる迫害の現れを大衆の革命的振動の爲に利用し、而して政治的示威運動とストライキを組織し、是を勞働階級の廣汎な層に普及せしめる事に努め、都市の小ブルジョアジー大衆を運動に引入れつゝ、彼等をブルジョア的民族改良主義の影響下から引離す樣にせよ。反帝國主義運動の活潑化は、擡頭しつゝある勞働運動に更に絶大な革命的影響を與へ、是を積極化するであらう。滿洲に於ける衝突と關聯して、帝國主義の手先たる「改組派」をも含む一切の國民黨分派の假面を暴露し、ソヴィエト聯邦擁護を直接標語としてカムバニヤを組織する必要がある。

（ホ）特に滿洲各地、毛澤東、賀龍の活動地方に於てパルチザン戰爭を强化擴大せよ。農民鬪爭、特にパルチザン運動の革命的意義を過小評價する黨内の傾向に對し決然たる打擊を與へよ。兵卒の間に於ける活動により大きな注意を向けよ。軍閥の部隊を武裝解除し、輜重を奪取し是に依り勞働者農民の部隊を最大限に武裝せしめよ。軍閥の撤退せる地域を占領し强化せよ。農民の大衆的革命鬪爭が擴大伸張しつゝある地域に於ては、ソヴィエト根據地の創建に努力せよ。ソヴィエト政權の存在する各地域では積極的に地主の土地の收奪、農民の武裝、ソヴィエトの組織等を實施せよ。廣東、福建、湖南、湖北等に於ける勞農軍の分散的な行動の統一を達成せよ。農村に於ける國民黨、地主、軍閥に反抗する日常的衝突を煽動深化しつゝ、全支那に於て農民の大衆鬪爭を積極化せよ。「紅槍會」及び叛亂回敎徒の如き形態の組織中に於ける黨の活動方針の方向轉換を達成せよ。農民運動に於けるプロレタリアートの指導を

極力强化しつゝ、勞働者大衆の間に農民鬪爭の任務を說明することに努力せよ。

五、提起されたる任務の成功的な解決は、プロレタリアートの共產主義的前衞の鬪爭能力の强化と積極化に立脚してのみ可能である。新情勢下に於ける共產黨の根本的重要任務は革命運動に於ける指導的役割の獲得である。黨は既に除去せる一揆主義的誤謬を反覆することをせず、全力を盡して階級的衝突を尖銳化し、大衆の憤懣を煽動し、將來の衝突の發展程度に從つて高度の要求を提起し、革命鬪爭を益々其の發展の高度の段階に移行させねばならぬ。是等一切のことは共產黨の隊列の確乎たる結束と積極化、鬪爭しつゝある革命的プロレタリアートの優秀分子を以てする黨の思ひ切つた充實、黨の根本方針からの日和見主義的偏向との斷乎たる鬪爭等を必要とする。

現在は如何なる時代に較べても、黨が其の思想的ボリシェヴィキー的磐石性の確保を必要とすること大なる時である。黨は、成長しつゝある革命の昂揚や、それを不可避ならしめる客觀的前提條件をさへも否定する陳獨秀の清算主義的政治綱領と容赦なき鬪爭を行はねばならぬ。

トロツキズムの反革命的本質の暴露を繼續し强化せねばならぬ。それと共にトロツキストの「社會主義」革命の立場は本質に於て、右翼清算主義者の見地への附加物であることを剔抉する必要がある。

黨は自己の隊列中から假面を冠つたトロツキスト及び清算主義者を一掃する必要がある。然し乍ら現在黨内に於ける最も重大なる危險は、「改組派」との鬪爭を弱化し、小ブルジョアジーの代表者としての彼等に對して誤れる觀察をなし、農民戰爭の意義を過小評價し、大衆の革命的エネルギー及び積極性の過小評價や阻害をなし、プロレタリアート及び共產黨の獨立的且指導的役割を減殺せしめんとする、右翼日和見主義的氣分と傾向とである。斯くの如き傾向は何等レーニン主義との共通性を有せず、支那革命に於けるプロレタリア的ヘゲモニーの否定と反革命的ブルジョアジーに對する追隨主義を自ら表明するものである。共產黨は自己の隊列に於ける各種雜多なブルジョア的逡巡動搖を克服する事なしには、新しい革命的昂揚の主動者、組織者、指導者としての役割を遂行することは不可能である。

一九二九年十二月二十九日、「プラウダ」紙。

第二章　支那ソヴィエト革命の新しい昂揚に於ける

コミンテルン

緒　論

本章には一九三〇年―一九三三年の時代の諸文書が收錄されてゐる。卽ち、コミンテルン執行委員會擴大幹部會の決議（一九三〇年二月）の拔萃。一九三〇年六月に採決された支那問題に關するコミンテルン執行委員會の決議。全聯邦共産黨第十六回大會に寄せた李立三に關するコミンテルン執行委員會の指令書（一九三〇年十月）。コミンテルン執行委員會第十一回總會（一九三一年四月）決議中の支那に關する拔萃。十月革命第十四周年記念祭（一九三一年）及び一九三二年メーデー（五月一日）に對するコミンテルン執行委員會の檄文よりの拔萃。コミンテルン執行委員會幹部會の決議（一九三一年八月）及びコミンテルン執行委員會第十二回總會（一九三二年八月）竝に第十三回總會（一九三三年十二月）の決議よりの拔萃。

「支那に於ける革命運動の新しい昂揚は爭ふべからざる事實となつた」――と一九三〇年六月のコミンテルン執行委員會の決議は確認してゐる。

「支那に於ける革命的危機は、幾千萬の人口を有する地域にソヴィエト及び紅軍の組織された事實の中に表現されてゐる。此の事は支那をして植民地世界の民族革命運動の第一位に立たしめるものである」――と一九三一年四月のコミンテルン執行委員會第十一回總會は確認してゐる。

「支那には革命的形勢があり、而も多くの地域に於てはソヴィエト革命が勝利してゐる」――と一九三二年八月のコミンテルン執行委員會第十二回總會は確認してゐる。

「支那に於けるソヴィエト革命は世界革命の巨大なる要因となつた」――と一九三三年十二月のコミンテルン執行委員會第十三回總會は述べてゐる。

支那に於ける此の連續的なソヴィエト革命の發展――革命的昂揚から革命的危機を經て、革命的形勢及び世界政治の大きな要因としてのソヴィエト革命までの發展――は一九二五年―一九二七年に於ける支那の革命的發展の情勢とは著しく異なつた情勢下に經過して來た。新しい昂揚は、二つの體制の鬪爭の激化の時代に、ソヴィエト聯邦に於ける勝利的な社會主義の建設の時代に、世界的資本主義體制全體を把へた驚くべき經濟恐慌の時代に事實となつて現れた。支那に於ける革命的形勢は、資本主義的安定の末期と、ソヴィエト聯邦に於ける第一次社會主義五箇年計畫の勝利的完成といふ諸條件の中に作り出されたものであつた。

支那に次いで總ての植民地及び半植民地國の革命運動が發展擴大を續けてゐる。資本主義の一般的恐慌の第三期は、既に各植民地に於ける民族解放革命の力强い進展を意味するものであつた。資本主義的安定の末期及び革命と戰爭との新しい局面への推移は、アジア、南米及中米、アフリカ等に於ける民族的＝植民地的革命の新しい爆發に依つて特色づけられてゐる。キューバの革命とチリーに於けるソヴィエトとは植民地革命戰線の大進展を示してゐるし、モロッコに於ける新しい民族解放戰爭とパレスチナの叛亂とは――最も立ち遲れた植民地勤勞者の豫備隊を革命戰線へ引入れ、彼等を支那、印度、インドネシア、印度支那に於ける鬪爭の前衞的隊列にまで引上げつゝある。

然し乍ら支那革命は從來の如く、他の總ての植民地や半植民地革命の先頭を進み續けて、彼等の將來の發展進路を示してゐる。斯くして支那革命のソヴィエト的段階に於けるコミンテルンの戰術の經驗は、全植民地世界にとつて、大きな原則的意義を有するものである。

支那は他の資本主義國や植民地諸國に先んじて、資本主義的安定の末期に於て、革命の新しい局面に入つた。支那はまた、新しい世界戰爭の主要發火點として、且新しい世界再分割の爲の帝國主義的鬪爭の第一對象として、他の諸國よりも先に戰爭の新しい局面に入つてゐた。

一九三一年九月に勃發した日本の滿洲占領は、支那の帝國主義的新分割に端緒を與へたものである。コミンテルン執行委員會は一九三一年十一月に、其の檄文中で確認して曰く

「帝國主義者等は恐慌からの出口を求めつゝ事實上既に東洋で戰爭を開始した。

英佛に指導される國際聯盟は、ジュネーヴで平和主義のコメディを演じ、日本と獲物の分け前を談合し、滿洲に於ては『如何なる戰爭も行はれては居ない』と全世界に向つて斷言しつゝ支那の分割を組織してゐる。國際聯盟は、支那を東洋に於ける軍事的

掠奪の足場たらしめ、且未來の反ソヴィエト戰爭の數々の足場中の一たらしめんと欲してゐる。アメリカ帝國主義は頑強に自己の獲物の分け前を強要してゐる」。

日本帝國主義は滿洲占領に次いで上海への出兵干渉を組織し、支那本土の領域へ侵入した。上海事變は新しい帝國主義戰爭發展の第二步であつた。一九三二年五月一日のコミンテルン執行委員會の檄文は次の如く確認してゐる。

「帝國主義戰爭は既に眼前に存在する。日本帝國主義は帝國主義諸國の暗默の同意の下に、武力を以て滿洲と上海とを占領した。壞滅された都市と農村、或は慘殺され或は餓死せる勞働者、農民、婦女子と子供の死骸——是こそ支那の勞働者農民に對して行はれた帝國主義戰爭の最初の結果である」。

コミンテルン執行委員會の第十二回及び第十三回總會のテーゼは、新しい支那分割の廣汎な分析を與へてゐる。

「支那分割の爲の武力鬪爭は日程として提起されてゐる」。「太平洋の矛盾全體は擧げて新しい世界的帝國主義戰爭の主要なる根源である」。

と第十二回總會（一九三二年九月）は述べてゐる。

「新しい世界戰爭の火事は太平洋岸に於て燃え盛つてゐる」。

と一九三三年十二月の第十三回總會は述べてゐる。

第十三回總會は支那に於ける帝國主義的諸勢力の配置の廣汎な分析を與へてゐる。

「ブルジョア＝地主的專制政治の深刻なる內面的危機に驅り立てられた日本の軍閥は、支那に對する侵略戰爭を繼續し、國民黨の手を藉りて北支を自己に從屬させて、外蒙古人民共和國に對する攻擊を準備してゐる。イギリス帝國主義は支那の南東地方——西藏、四川に向つて觸手を伸ばし、フランス帝國主義は雲南に手を伸ばしてゐる」。

日本帝國主義に依る侵略戰爭の繼續は、其の後の北支及び內蒙への進出の中に表徵された。一九三三年一月に日本は山海關を占領し、二月には熱河に進擊し始め、三月には同省の首府承德を占領し、是に依つて新「國家」——滿洲國の國境を擴張した。一九三三年三月に於ける日本の國際聯盟脫退は日本軍閥の手を徹底的に自由ならしめた。一九三三年四月の多倫諾爾奪取は、察哈爾に對する廣汎なる進擊の前觸れであり、五月の

灤州占領は天津に對して直接脅威を與へるに至つてゐる。秋の張家口爆擊と北京上空への日本飛行機の飛行は、塘沽協定の締結後一時中止されてゐた進擊に新しい時期を劃するものであつた。日本帝國主義は正面からの軍事的侵略と平行して「自治」運動に名を藉りて內蒙領域內に於て反動勢力を組織しつゝある。

日本帝國主義は、買收された回敎將軍連の軍閥內亂戰爭を組織して、支那西域の獲得の爲にイギリスと鬪爭しつゝある。其處では又、滿洲に於けると同樣に此の鬪爭は反ソ聯鬪爭に振り向けられてゐる。新疆に於ける諸事件は支那の分割を意味すると共に、反ソ聯鬪爭の爲の足場の設定としての意義をも有するものである。

イギリス帝國主義は西南支那に於て自己の手先——「國民黨西南政治會議」——を通じて滿洲國に類似したものを作りあげ、同時に支那西部諸省に於て軍閥戰爭を組織し、且西藏と境域を接する支那諸地方の直接的占領の爲に西藏軍隊を利用してゐる。

フランス帝國主義は南支那海にある珊瑚諸島を占領し、佛領印度支那と境を接する支那の西南隅、雲南省に於ける自己の立場を强化しつゝある。在支アメリカ新聞は率直に「雲南省は既に支那の他の部分から分離されてしまつてゐる。現在同省は政治的にも經濟的にも事實上佛領印度支那の一部である」と述べてゐる。

支那の新分割は國民黨の直接的助力の下に始められた。國民黨の一切の反動政治は支那分割の爲の基礎を與へ、且國民黨は直接的軍事行動に際して眞面目な反抗を示さなかつた。コミンテルン執行委員會は、一九三一年十一月の檄文中に述べて曰く

「帝國主義の利益の爲に反日デモを射擊した帝國主義者達の奴僕——國民黨及び蔣介石は支那の獨立を防護し得ず且防護しないであらう」。

「國民黨は帝國主義者の間に於ける支那分割の爲に途を掃き淸めた」。（コミンテルン第十五周年に寄せたコミンテルン執行委員會宣傳煽動部のテーゼ）

國民黨は日と共に廣汎なる勤勞者大衆の前に民族解放事業の變節者として其の假面を脫しつゝある。國民黨のファッショ化、「藍衣」社の創立は、蔣介石が革命運動と鬪爭する爲にテロの新形式、社會的及び民族的デマゴギーの新形態を見出さうとする企圖である。福建事件は「左翼」民族改良主義が大衆を新しい旗幟の下に引きつけやうとする試みであつた。福建の企圖の失敗は、大衆が是等の新しい「民族的指導者」に追隨

しなかつたことを立證してゐる。總ての帝國主義者に對し、又ブルジョア＝地主的反動及び「左翼」民族改良主義者等のあらゆるゼスチュアに對して、大衆を眞の闘爭に導く唯一の政黨は、日と共に自己の旗の下に幾千の新闘士を結合しつゝある中國共産黨である。

「日本の支那に對する攻撃の當時、中國共産黨は既に廣大なる領域に於て、強力にして破り難きソヴィエト運動を指導する驚くべき大勢力であり、全支那民族の反帝闘爭の唯一の指導者であつた。閘北及び上海の街頭に於て、滿洲、熱河、察哈爾の曠野に於て、共産黨員は日本帝國主義に反抗し第一線に立つて闘爭した。中國共産黨は賣國的な破廉恥な國民黨政府に依つて代表される自國ブルジョアジー及び地主に對して闘爭すると同時に、日本帝國主義に對して力強い反撃を組織しつゝある。中國共産黨は、破り難き紅軍建設の如き闘爭形態、パルチザン戰術及び敵部隊や後方の大衆的武裝解除の經驗に依つて世界革命運動を豐富ならしめつゝ、今や既に全東洋に於ける帝國主義者等の最も怖るべき敵となつてゐる」（コミンテルン第十五周年に寄せたコミンテルン執行委員會宣傳煽動部のテーゼ）。

支那の新分割は、支那に於ける革命的危機の增强、勞働運動の新昂揚、變節せる國民黨から離脱した小ブルジョア大衆の左翼化、反帝闘爭の新しい爆發、支那に於けるソヴィエト革命の未來の勝利等を喚起する要因であつた。

「反帝革命及び農業革命の中からソヴィエトが發達し、其の勞農紅軍が成長した。中華ソヴィエト共和國は帝國主義の羈絆を斷ち切り、農業革命を實現し、ソヴィエト的支配を强化し、勞働組合を組織し、貧民團を設立し、中農をソヴィエトの周圍に結合せしめ、勞働者と農民の同盟を鞏固ならしめ、既に國民黨や帝國主義干渉者の六回に亘る反革命的遠征を擊退して世界プロレタリア革命の最大の要因となつた」（コミンテルン第十五周年に寄せたコミンテルン執行委員會宣傳煽動部のテーゼ）。

既に一九三〇年の支那に於ける、新しい革命的昂揚の極めて重大なる特徴は、何よりも先づソヴィエト地區の强化と一層の發展であつた。一九二八年―一九二九年に於ける新しい革命的波濤の準備時代にあつては諸ソヴィエト區は、新しい强力な昂揚の成長を證明する根據地であつたに過ぎない。昂揚そのものを特徴づける一つの契機はソヴィエト地區の强化と安定化、ソヴィエト政權の著しい質的强化のもとに於ける多數の

ソヴィエト細胞を基礎とする三大ソヴィエト區の建設である。農業革命のコースに沿ふ新しい昂揚を特徴づける今一つの契機は、從來非組織的であつた農民運動が逐次にソヴィエト的軌道に移行すると共に、新しいソヴィエト區（湖北、江蘇、及び湖南其の他の新しい諸郡）が建設されたことである。

然し、此の革命的昂揚の新しい徴候は、一九二九年―一九三〇年時代には未だ全支に於て革命的形勢が存在することを意味するものではなかつた。

一九三〇年六月のコミンテルン執行委員會の決議は述べてゐる。

「我々は闘爭の現段階の分析に際して、現在まだ全支的な客觀的＝革命的形勢を持たぬといふ事から出發せねばならぬ。勞働者と農民の運動の波は、未だ一つに融合してゐない。其の全體に於て彼等は、まだ帝國主義と國民黨の秩序に對する襲撃に必要な力を確保してゐない」。

コミンテルンの全文書の中に强調されてゐる支那革命の此の極めて重要なる特異性と其の不均等性に對する無理解は、新しい昂揚期に中國共産黨内に出現した「左翼」日和見主義――李立三主義の理論と實踐の根據の一つであつた。コミンテルン執行委員會の方針に對立する一つの體系に迄成長した李立三の諸誤謬は、本編收錄のコミンテルン執行委員會の書翰で徹底的に暴露されたし、且此の書翰を基礎として中國共産黨指導部に依り急速に誤謬が認識され修正されたのである。（其の後になつて李立三自身も自己の誤謬を承認した）。

農業革命の展開、ソヴィエト區の質的强化に關するコミンテルン執行委員會の方針に對して、チリヂリバラバラに隨處で行はれる地方的一揆、軍事的冒險主義の如き盲動的方針が對置された。總てそれがソヴィエト區の狀態に反映せざるを得なかつたことは明白である。

コミンテルン執行委員會は李立三主義に關する書翰中に次の如く書いてゐる。

「共産主義者の各自は支那に於けるソヴィエト運動の力と弱點とを眞面目に考慮する義務がある。支那には未だソヴィエト政府は無いではないか。ソヴィエト政府があると言つても、單に傳單や、紙の上に存在するのみであつて、現實的な權力として、蹶起せる大衆の組織者及び指導者として存在するのではな

い。ソヴィエト區は未だ組織化されてゐない。ソヴィエト政權は固められてゐない。農業革命はソヴィエト區域に於てさへ、最重要な任務を解決するといふ意味では實行されてはゐない。富農のみならず小地主までがソヴィエトや新しい權力機構や、紅軍の中へ潛り込んでゐる。富農は農業革命の收穫を自己の手に橫取りしやうと劃策してゐる。……土地の均等的分配——是は農業革命の最重要任務である——は極く稀な場合に實施されてゐるに過ぎない。貧農の組織には手も染められてゐない。貧民團は創立されてゐない。苦力や雇農は組合に組織されてゐない。ソヴィエト區のプロレタリアートは數に於て如何に劣弱であるとしても是を組合に組織する必要がある。我々は斷言することが出來る、本格的、ボリシェヴィキー的には是等の諸任務の解決に着手されてさへ居らぬと。……未だ新しい權力機構は作り上げられてゐない。ソヴィエトは多くの處に於ては選擧に依つてゐない。運動の是等の弱點と並んで、集團農場やソヴィエト農場の建設、計畫經濟の實施、專賣制度の開始の企圖、及び軍事的必要に迫られてゐない處に於て經濟生活の統制を行はうとする企圖が見受けられる。是等の企圖は尙早であり且誤つてゐる」。

コミンテルン執行委員會が指摘したソヴィエト革命の弱點に對する大きな責任は李立三派の左翼指導部が負ふべきものであつた。コミンテルンは此の半トロツキスト的方針を全力を以て排擊すると同時に右翼日和見主義＝羅章龍主義と斷乎たる鬪爭を行つた。コミンテルン執行委員會幹部會は一九三一年八月の決議の中で述べてゐる。

「右翼日和見主義は革命勢力に對する不信を植えつけ革命運動の發展を阻害する。ソヴィエト區に於ては右翼日和見主義は搾取分子と結びついて、勞働者の生活水準向上鬪爭に障碍を與へ本質的には農業問題の富農的な解決を固守してゐる。右翼派に依る紅軍建設及び紅軍內に於ける黨指導の任務の放棄、乃至は彼等に依る是等諸任務の過小評價、ソヴィエト區に於ける門地主義及び地方主義的傾向の支持、ソヴィエト運動擴大鬪爭の放棄又は過小評價——總て是等の現象や是に似た右翼日和見主義の現れは、唯搾取階級の利益になつてゐるに過ぎない」。

ソヴィエト革命情勢の眞面目なる評價を基礎としてコミンテルン執行委員會は他の具體的指令と共に一九三〇年の決議中で、二つの戰線に於ける決然たる鬪爭の三つの重要任務を中國共產黨の前に提起した。

一　眞の勞農紅軍の卽時の集結。

二　鞏固な活動能力あるソヴィエト政府の卽時樹立。

三　眞の革命的大衆活動、ソヴィエト區域に於ける大衆のボリシェヴィキー的組織、非ソヴィエト區域に於ける經濟的、政治的大衆鬪爭の展開及び此の鬪爭過程に於ける大衆の組織。

一九三一年八月に採擇されたコミンテルン執行委員會幹部會の決議は、此の三位一體的な任務解決の實際的方法を指示しつゝ是を具體化してゐる。

現在に至る最近數年間は、李立三主義的誤謬を修正した中國共產黨が羅章龍主義を粉碎しつゝ、コミンテルンに依つて提起された任務を毅然と履行した且現に履行しつゝある時期であつた。

本書附錄に揭載されたコミンテルン執行委員會第十三回總會に於ける王明の報告は是を完全に示してゐる。

新段階に於ける黨の第一任務として「勞農紅軍の卽時の集結」を指示されたのであるが、此の支那紅軍は、帝國主義者等に支持された國民黨軍との猛烈なる戰鬪及びソヴィエトに對して直接派遣された帝國主義的軍隊との正面衝突のうちに成長し且鍛練された（廣西、長沙、岳州其の他）。一九三〇年九月から一九三一年四月までに紅軍の勢力は小銃五千から三萬五千に增大した。コミンテルン執行委員會第十二回總會當時、紅軍は、十五以上の地方獨立師團と青年赤衞軍を別にして、既に五箇の軍團聯合に編成された二十六箇軍團に達してゐた。第十三回總會の當時には更に六箇の新軍團と五箇の師團が建設された。數字的に見て支那紅軍は、コミンテルン執行委員會第十二回總會から第十三回總會までの期間に、二十萬乃至二十五萬から三十五萬の戰鬪員に增大してゐた。中國共產黨に依つて提起された「鐵の如き百萬の紅軍を建設せよ」といふ標語の下に紅軍の力强い成長は繼續されてゐる。而もそれ以上に重要なことは紅軍强化の質的指標である。大戰鬪の新條件に適應した軍の再編成、革命軍事會議といふ單一軍事指導部の創設、勞働者、雇農細胞及び共產主義的指導の强化、勞働者、共產黨員及び共產青年同盟員より成る模範突擊師團の建設、軍事的技術の習得、軍隊の

一般政治水準の向上等が是である。支那紅軍の力強さは敵に依つてさへ承認されてゐる。「タイムス」は曰く「事實は事實である。共產主義者は軍事關係に於て彼等の敵よりも優れた才能を持つ者である」。

紅軍正規部隊の增大と共に革命の補助的軍事勢力も增大强化しつゝある。一九三一年八月コミンテルン執行委員會幹部會の決議は「赤衞軍、青年赤衞軍及び農民自衞隊を擴大强化すべし」と指令を與へてゐる。此の指令が同樣成功的に遂行されてゐる事は次の事實を示せば足る。卽ちコミンテルン執行委員會第十二回總會以來の過去一箇年間に、是等の武裝部隊は四十萬から六十萬の戰鬪員に增大したのである。

コミンテルン執行委員會第十三回總會當時、支那紅軍は既に第六回目のソヴィエト討伐軍を反擊した。第一回のソヴィエト討伐は一九三〇年十二月に擊退され、其の時國民黨軍は三箇師團を失つてゐる。第二回の討伐（一九三一年四月—五月）に於ては國民黨軍は既に五箇師團を喪失し、而して紅軍は大都市吉安を占領し南昌に直接的脅威を與へるに至つた。一九三一年七月に開始された第三回討伐には、帝國主義諸國の最新式の武器を以て裝備された三十五箇師團が參加したが、是に於ても紅軍は敵の十七箇師團を粉碎して輝かしい勝利を獲得した。一九三二年二月に開始された第四回の討伐は國民黨軍の將軍達にとりそれ以上に惡い結果に終つた。

一九三三年の春に終局した第五回の討伐に對する戰鬪に於て支那紅軍は敵の手から莫大な鹵獲武器を獲得して自己の技術的力を一層强大ならしめた。王明はコミンテルン執行委員會第十三回總會に於ける報告中に、第五回討伐に對する戰鬪で紅軍の達成した驚くべき成功を物語つてゐる。

第六回のソヴィエト討伐は一九三三年の秋に開始された。此の討伐は帝國主義諸國に依つて直接組織され、既に公然たる出兵干涉を實現したものである。コミンテルン執行委員會第十三回總會は次の如く述べてゐる。

「日本のファシスト的軍閥は支那に於ける反帝國主義的革命及び農業革命に對して恰も破城槌の如く突進しつゝある。アメリカ、日本及びイギリスの帝國主義は國民黨の背後に立ち、支那に於ける唯一の國民的政權——中國ソヴィエトに對する國民黨の第六回討伐を援助してゐる」。

第六回討伐の經過、其の準備及び帝國主義者と國民黨との聯合軍に對する紅軍の勝利についての全面的評價も同じく王明の報告中に語られてゐる。是等總ての討伐の結果は、次の事を明確に示した。

「支那ソヴィエト區域の成長は、支那及び外國ブルジョアジーの聯合反革命を以てしても是を停止することを不可能である」（スターリン）。

紅軍はソヴィエト討伐軍との鬪爭に於て「黨の全組織の注意はソヴィエト地區の一層の擴張に向けられねばならぬ」といふ、コミンテルン執行委員會が一九三一年の決議中で與へた指令を、中國共產黨の指導下に成功的に遂行してゐる。コミンテルン執行委員會第十三回總會當時ソヴィエト政權は、其の規模に於て西歐の孰れの國をも凌駕するほどに廣大な領域に亘つて根を下してゐたのである。

江西省の中央ソヴィエト區の地域內では、一九三一年十一月に第一回中國ソヴィエト大會で選出された中國ソヴィエト共和國臨時政府が設立された。此の事實に依つて、一九三〇年のコミンテルン執行委員會の決議中で指示され、一九三一年の幹部會の決議で反覆された「最短期間中に最も安全な地域に於て中央ソヴィエト政府が形成されねばならぬ」といふ第二の最重要任務が遂行されたのである。今やソヴィエト政府は「紙上」や「傳單」中に存在するのでは無くして支那の現實的な國民政府であり、且實際に於て支那を統一し、民族解放と封建的殘滓一掃の重大任務を解決する能力ある。唯一の政府である。

共產黨に依り指導されてゐる江西の中央ソヴィエト政府及び總ての地方ソヴィエトは、ソヴィエト區域內に於ける革命の最重要任務、何よりも先づ農業革命の任務を解決した。農業問題解決の部門に於ける中國共產黨の諸任務の全面的な分析は、コミンテルン執行委員會の一九三一年八月の決議が、それ以前（一九三〇年六月及び同年十一月）に與へた指令を發展させつゝ、是を與へてゐる。一九三〇年十一月のコミンテルン執行委員會の書翰は「農業革命はソヴィエト區域に於てさへもなほ、最重要任務を解決する意味を以ては實行されてゐないのであるが、次の時期には既に、ソヴィエト區域に於ては是等の任務が解決された。地主の土地の收奪、高利貸制度の淸算、土地の均等分配は、ソヴィエト區に於て實行された極めて重要なる

任務であつた。成程、其の後の實踐に於ては個々の誤謬が犯され、土地の配分其の他の方法に關する富農的提案が爲され、而して屢々實行に移されたりしたが、然し乍らコミンテルンに依つて指示された根本方針は實現されたのである。ソヴィエト區に於ける農業革命は、「富農的なものとしてゞは無く、貧農的＝中農的なものとして」勝利した（一九三〇年六月の決議）。

王明の報告中に充分に說明されてゐる農業問題解決の線に沿ふソヴィエト革命發展の最新の時代は、卽ち紅軍の戰鬪能力を保證する革命的な經濟建設の時代である。春の播種や秋の收穫に際して農民大衆が採用した革命的競爭や突擊隊の方法は、從來壓迫されてゐた農民の間に共產黨の手で昂揚せしめられた革命的熱意の如何に偉大なるかを立證するものである。

革命的昂揚の數年間、支那ソヴィエト區では反革命的地主＝富農團體の陰謀叛亂が續發した。一揆叛亂とテロルからサボタージュと、紅軍內に於ける攪亂活動に轉向した「アンチ・ボリシェヴィスト團」（ＡＢ團）、社會民主主義者、トロツキスト、「改組派」等の行動は、ソヴィエト支那に於て經驗された峻烈なる階級鬪爭の現れであつた。是等總ての反革命組織は蔣介石の參謀本部と直接連絡を保ち國民黨軍の反ソヴィエト的攻擊と其の行動を牒し合せて相呼應してゐる。共產黨は國家保衞局の機構を通し、廣く大衆の支持を得て是等の一切の反革命組織を壓伏した。此の鬪爭に於ける大衆の支持は、彼等大衆のソヴィエト制度建設に於ける熱意と同樣に、中國共產黨がコミンテルン執行委員會の指令中で最重要任務として指示されたプロレタリアートと農民基本大衆との同盟を强化したことを立證してゐる。

中國共產黨はまたコミンテルン執行委員會が提起した第三の任務をも成功的に解決してゐる。「ソヴィエト區域に於ける眞に革命的、大衆的なる活動、大衆のボリシェヴィキー的組織」といふ任務が是である。勞働組合は建設された。貧農團は設立された。大衆的義勇團體は創立された。曩に引用されたコミンテルン執行委員會の書翰は「貧農の組織には手が染められてさへ居ない、貧農團は創立されて居ない、苦力や雇農は勞働組合に組織されて居ない」と指摘してゐるのであるが、其の後のソヴィエト區の發展過程に於て此の方面に顯著な推進が遂げられたのである。一九三〇年末に組織化され始めた雇農組合は、既にソヴィエト區に於て極めて重要な役割を演ずる組織的勢力となつてゐる。一九三一年の中頃に、河南、湖北、安徽のソヴィエト地域の雇農第一回大會が召集され、是に依つて黨が此の問題で李立三主義の敎訓を顧慮してコミンテルンの指令を履行したことを立證した。

然し乍ら大衆の組織といふ任務が中國共產黨の前に提起されたのは、單にソヴィエト區域に於ける鬪爭任務としてのみではない。

是は國民黨が支配する「非ソヴィエト區域」の支那に於ても共產黨の最重要任務として提起されてゐるのである。非ソヴィエト區域に於ける中國共產黨の任務の全面的な分析は、一九三一年の決議中で與へられてゐる。支那の大工業中心地に於ける勞働運動の成長、益々深刻化する農業恐慌の地盤の上に伸びつゝある非ソヴィエト區域の農民運動の擴大、兵士の叛亂、兵士の紅軍との戰鬪拒否、國民黨軍隊のソヴィエト側への轉向の頻發、而して最後に小ブルジョア大衆とインテリゲンツィアの左翼化等は——中國共產黨が此のコミンテルン執行委員會の指令をも遂行しつゝある事を證明するものである。國民黨支配下の支那に於ける勞働運動の成長は特殊の意義を有する。日常的經濟鬪爭の放棄、勞働組合の事實上の解消に歸着する李立三コースの修正は、勞働運動の擴大强化の要因であつた。一九二九年には四十萬人がストライキ運動に參加したのであるが、一九三一年には既に七十三萬人、一九三二年には百萬人以上が是に參加してゐる事實を示せば足るであらう。最近に支那の勞働運動內部に現れた質的躍進は極めて重要である。卽ち、經濟鬪爭の政治鬪爭への發展轉化、黃色及び國民黨系勞働組合から大衆を戰ひ取つた赤色勞働組合の影響と勢力の增大、攻擊的性質のストライキの比率の向上、新しい地方を把握せる運動の地域的擴大、鬪爭の頑强性等々がそれである。

支那革命の勝利は支那のボリシェヴィキー的黨に依つて現實化された處のコミンテルンのレーニン的戰術の結果である。是等の勝利と李立三主義及び羅章龍主義との鬪爭に於て實現された正しい方針とを最もよく示すものは中國共產黨自體の成長である。「支那の獨立と保全を擁護して日本及び世界帝國主義に反抗する民族的＝革命戰爭、大衆的反帝運動を指導する能力ある唯一の政黨たる」（コミンテルン第十五周年に寄せたコミンテルン執行委員會宣傳煽動部のテーゼ）中國共產黨は約四十二萬の黨員を數ふるに至り（內六萬人は

國民黨の支配する地域で極めて至難なる條件の下に地下活動を行ひつゝある)、コミンテルンの最も大きな支部に成長したのである。

新しい情勢に從つて中國共產黨の前に提起された諸任務は、第十二回總會の決議中に全く明確に定式化されてゐる。此の決議は現在でも全體的に其の意義を保持してゐる處のものである。總會は次の樣に述べてゐる。

中國共產黨の特殊任務として擧げらるべきは次の諸點である。

一　支那の獨立竝に統一の爲に、日本其の他の帝國主義者に對する民族革命鬪爭の標語の下に大衆を動員すること。

二　ソヴィエト區の發展と統合及び紅軍の强化。

三　國民黨政權顚覆の爲の鬪爭。

四　赤色勞働組合を大衆組織に轉換し、國民黨系勞働組合に加入してゐる勞働者獲得の爲の斷乎たる方策。

五　滿洲に於て農民委員會の創立、政府の稅金と命令のボイコット、帝國主義者の走狗の財產の沒收、選擧制人民政權の組織の標語を提起してバルチザン運動を展開すること。

六　ソヴィエト區の成功及び支那の勞働者農民のソヴィエト聯邦との兄弟的同盟と其の標語の普及宣傳。

王明はコミンテルン執行委員會第十三回總會に於ける其の報告中に於て、新しい情勢の下で是等の根本任務が如何に具體化されたかを語つてゐる。

支那ソヴィエト革命の將來の見透しは一九三〇年六月の決議の中に既に充分に示されてゐる。此の決議は新しい昂揚期の最重要ドキュメントである。プルジョア民主主義革命の社會主義革命への發展轉化及び發展の非資本主義的な途——といふ見透しは既にマルクスとレーニンとに依つて豫定され、更にスターリンの諸著作及びコミンテルンの過去のドキュメント中に於て完全に發展せしめ盡された處のものであるが、此の決議では既に理論的可能としてゞはなくして、中國共產黨が其の實現の爲に鬪爭すべき現實的な途として分析されてゐるのである。決議は述べてゐる。

「支那に於けるプロレタリアート及び農民の革命的、民主主義的獨裁は一九〇五年の革命の情勢の下で、ボリシェヴィキーに依つて豫定された民主主義的

獨裁とは本質的に相異なるであらう。此の相違の第一は、支那革命の國際的環境、ソヴィエト聯邦——社會主義的建設を成功的に發展させつゝあるプロレタリア獨裁國家——の實在と關聯してゐる。……それと同時に又、支那革命は當に封建主義との峻烈なる鬪爭を豫期するばかりで無く、外國や支那の資本家との鬪爭をも豫期するといふ事情を考慮に入れる必要がある。支那に於ける民主主義的獨裁は、外國及び支那の資本に屬する諸企業の徹底的收奪といふ必要の前に立ち、斯くして極めて本質的な社會主義的性質の步みを取るべき必要に迫られるであらう。社會主義的諸要素の實在は亦、支那に於けるプロレタリアート及び農民の革命的、民主主義的獨裁の獨自的特徵となるであらう。支那革命は資本主義から社會主義への轉移に際して十月革命に比し、より多くの中間段階を持つであらうが、然しそれは社會主義的革命への發展成長の期間を著しく短縮し、一九〇五年の革命の情勢に應じて豫定された處のものよりも遙に急速に、ブルジョア民主主義的段階から社會主義的段階への轉移を完成するであらう」。

一九三一年八月のコミンテルン執行委員會幹部會の決議は革命の發展轉化の問題を具體化してゐる。コミンテルン執行委員會第十三回總會は、支那ソヴィエトの發展に於ける最新時代の分析を基礎として、支那の條件の下に於ては、プロレタリアートと農民との革命的、民主主義的獨裁の國家形態たるソヴィエト權力がブルジョア民主主義革命の社會主義革命への轉化を確保するものであるといふ事を指示しつゝ、新段階への發展轉化の問題を提起してゐる。

「社會主義的發展行程への支那の移行の諸前提の創造と强化の爲の鬪爭は、ソヴィエト及び赤軍の地域的基礎の全面的擴大、反革命の武裝的勢力に對する勝利及び支那に於て決定的意義を有する地域に於けるソヴィエト權力の樹立を要求する」(コミンテルン執行委員會幹部會の決議、一九三一年八月)。

此の見透しの爲に今や中國共產黨は鬪爭しつゝある。

一〇　世界經濟恐慌と植民地に於ける成熟しつゝある革命的昂揚

コミンテルン執行委員會擴大幹部會の決議からの拔萃、一九三〇年二月。

北米合衆國に於ける生產過剩恐慌の意義は、それが

生産力の增進と縮小された販賣市場との間の矛盾の特に激烈な尖鋭化の條件の下に展開せられることに依つて深められつゝある。然るに他方一切の資本主義國にとつて一般的な、定期的性質を帶びた不況期の長びく傾向が鋭く現れつゝあり、又世界經濟の若干の重要部門（石炭、纖維、造船等々）が此の數年間恐慌から脫せず、多くの他の部門（護謨、石油、非鐵金屬、銀等々）が恐慌に陷り、又諸資本主義國及び植民地が、或る國々に於ては原料及び農産物の生産過剩の形態で現れ（北米合衆國、カナダ、オーストラリア、アルゼンチン）、他の國々、主として植民地（印度、支那）に於ては食料品の激烈な農業恐慌に基いて現れてゐる處の、既に激烈な農業恐慌に襲はれてゐるのだ……。

「成熟しつゝある世界經濟恐慌、大衆的失業及び罷業鬪爭」、「コミンテルン文書集」、九一六頁。

……植民地に於ては恐慌は、土着封建制度に依據する金融資本の掠奪的形態の發展や、植民地經濟を帝國主義國に於ける經濟上の景氣の變動に完全に從屬せしめる畸形的經濟の廣く普及せられた型（印度、エヂプト等々）や、一切の他の工業生産物及び農産物の價格の低下を追越す處の植民地的原料の價格の特に激烈な

低下と關聯してゐる。植民地型の國々に於ける恐慌が特殊な尖鋭さを帶びるのは、帝國主義者と土着地主とブルジョアジーとに依る勤勞者大衆の奴隷化が、此處では勞働者及び農民の前代未聞の窮乏化と結びついてゐるからである。

「同　上」。

……資本主義體制の發展の不均衡は個々の國に於ける恐慌的現象の形態、程度及び性質の多樣性を規定する。或る國々に於ては、アメリカの恐慌の影響は是等の國を恐慌的段階へ直接に引入れることの中に現れ（カナダ、オーストラリア）、他の國々に於ては、益々廣汎な領域を占めつゝある既存の不況の激化の中に現れる（東ヨーロッパ、植民地、支那及び印度、南米諸國、日本）……。

「コミンテルン文書集」、九一七頁。

恐慌の發展と深刻化とは、單に勞働者階級の經濟的地位を劣惡化するのみではない。恐慌は農民大衆、而して何よりも先づ其の貧しき層に慘酷に襲ひかゝる。此の地盤の上に革命的農民運動の活躍が始まるのである（イタリー、ポーランド、ギリシャ、ルーマニア）。此の運動は若干の植民地國に於て最大の規模に達し、其

處では勞働者運動及び民族革命運動と融合しつゝある。支那に於ける勢力範圍の爲の帝國主義者の鬪爭の激化は、革命的な農民の進出の新しい波（バルチザン軍と農民軍）を伴つてゐる。印度に於ては、經濟恐慌の激化及びテロ制度の强化の基礎の上に、大罷業（カルカッタ、大印度鐵道）及び政治的示威運動と並んで、農民大衆の革命的動搖が行はれてゐる（バンジャブ）。現在、印度支那に於てはフランス帝國主義に對する革命的鬪爭が炎上しつゝある。

「同上」、九二三頁。

……政策と戰術との總ての根本問題に關するトロツキスト的背敎者と右翼的背敎者との見解の完全な一致と、公然のブロック（ハンブルグと支那）の締結にまで達してゐる全く一致した活動の存在とが確認せられる。トロツキストも右翼も社會民主主義の直接の手先として共産黨の崩壞の爲に活動を行はうとしてゐる。

共産主義の側へ大衆を獲得する任務と不可分に結合せられた處の、社會民主主義に對する共産黨の決定的鬪爭は、右翼的及びトロツキスト的背敎者の如き共産主義の假面を冠つた社會民主主義の手先を無慈悲に暴

露すること、共産黨内に於て同一の役割を演じやうとしてゐる分子を黨から今後もなほ清掃すること、直接の危險たる右翼なると「左翼」なるとを問はず、共産主義的隊伍に於ける、あらゆる日和見主義的偏向を克服することを前提する。

「同上」、九二四頁。

植民地及び隷屬國に於ける共産黨の活動の中心には、都市及び農村の勤勞者大衆の、成熟しつゝある民族革命運動に於て、プロレタリアートが指導的役割を獲得する根本條件として、大衆的プロレタリア組織の設立と强化及び其の階級的獨立性の確保が存在しなければならぬ。支那に於ては、共産黨と赤色勞働組合との强化、而して又國民黨系の勞働組合に於ける大衆の獲得と、革命的農民大衆に對する勞働者階級の指導の確保の任務に我々は當面してゐる。印度に於ては、第一に、プロレタリアートの眞實の指導者としての共産黨の設立の任務に我々は當面してゐる。インドネシア及び印度支那に於ける共産主義者も亦同一の任務に當面してゐる。

「同上」、九二五頁。

一一　支那問題に關するコミンテルン執行委員會の決議（石川補訂）（七月テーゼ）

（一九三〇年六月）

支那に於ける革命運動の昂揚

一、支那に於ける近時の諸事件は、支那に於ける革命の波の新しい昂揚の不可避性を確認した中國共產黨第六回大會及びコミンテルン第六回大會の決議の正しさを完全に確認してゐる。右翼日和見主義の降伏者的な、トロツキスト的、陳獨秀的其の他の清算派的豫言にも拘らず、支那に於ける革命運動の新しい昂揚は爭ふべからざる事實となつた。革命的解放鬪爭が此の數箇月特に急速且顯著に發展し始めた。支那革命の推進力——勞働者階級と農民——は、反動の打擊から回復して、農業革命、帝國主義的支配の絕滅及び反革命的な國民政府顚覆の標語の下に、再び革命的鬪爭に立ち上りつゝある。

二、支那に於ける反動の過去數年間は勤勞者大衆を未曾有の困難な狀態に導いた。支那革命の敗北に續いて、外國及び支那の資本家は、それでなくてさへ酷い勞働者階級の生活水準に狂暴な攻擊を加へた。最も深刻な經濟恐慌の結果としての大衆的失業は、支那のプロレタリアートのかなり大きな部分を餓死の境へ追ひ詰めた。一切の勞働條件が劣惡化された。食料品價格の不斷の昂騰（米價は近時七七%騰貴した）にも拘らず、勞賃の引下げが行はれた。基本的農民大衆は不斷の破滅と細民化とに曝された。數千萬の農民を死滅に運命づける飢餓は未曾有の規模に達してゐる。都市の小ブルジョアジー、特に手工業者の大衆的破滅の過程が强化された。支那の反動の是等の一切の結果は、勤勞者大衆の中に、現存政治制度の下に於ては彼等の狀態が救濟せられ得ないといふ意識、國民黨の山師共が完全に賴りにならないといふ意識を强化せざるを得ない。總て此のことは、一般的、國民的危機を强化せざるを得ず、勞働者と農民の最も廣汎な層を革命化せざるを得ず、小ブルジョアジー及び特に都市の貧民を、ブルジョア的・地主的反動や其の背後に立つ國際帝國主義に對する鬪爭に押しやらざるを得ない。總て此のことは革命的解放を早めざるを得ない。

三、新しい昂揚の成長過程は支那では獨自の形態で行はれてゐる。新しい昂揚は個々の地方に於て、主に一九二五—一九二七年の革命が地盤を開拓した地方に於て成熟し、然る後、漸く徐々に爾餘の地方を捉へてゐる。此の事は同時に新しい革命的昂揚の初期の段階に於ける運動の若干の弱さを說明するものであつて、其處では、鬪爭しつゝある大衆が一氣に工業中心地を占領することが出來ず、又鬪爭勢力の一般的相互關係が勞働者及び農民にとつて最初は不利なものである。此の相互關係は、たゞ革命運動の其の後の發展過程に於てのみ、プロレタリアートに依つて指導される農民の波が新しい地域に擴大する時に、積極的な方向へ變化するであらう。

四、此の鬪爭段階を分析する場合、我々は今の處、全支那的な客觀的、革命的情勢を持つてゐない、といふことから出發しなければならぬ。勞働者及び農民運動の波はまだ一つに合流してゐない。是等は其の總體に於てまだ帝國主義と國民黨の支配とに對する攻擊に必要な力を確保してゐない。農民層の革命的鬪爭は今の處、南部諸省の一部に於てのみ首尾よく發展してゐる。支配階級の支配者的徒黨の內部に於ける分裂と相互的鬪爭は、まだ是を完全な劣弱化と政治的崩壞とに導いてゐない。然し事件は、革命的情勢が近い將來に、全支那の地域ではないとしても、何れにせよ多くの決定的な諸省の地域を捉へるやうな方向へ發展しつゝある。此の過程の促進は多くの點に於て、共產黨の正しい戰術に、而して第一に自己の指導の强化とソヴィエト運動のより以上の發展に關する任務の正しい解決にかゝつてゐる。

黨の最も重要な任務

五、ソヴィエト運動は黨の前に、中央ソヴィエト政府の組織と活動の整備に關する第一次的重要性を有する任務を提起してゐる。支那勞農ソヴィエト政府の問題に於て黨は、共產黨の指導に完全に服從し且政府の支柱となり得る眞實の紅軍が、最もよく確保された地方に創設せられるといふ條件の下に於てこそ、ソヴィエト政府が當然の力と意義とを獲得し得るといふ命題から出發しなければならぬ。故に我々は、將來、軍事的、政治的情勢の如何に依つて、一箇又は數箇の工業的及び行政的中心地を獲得する爲に、紅軍の形成と强化に注意を集めなければならぬ。

共產黨は、完全に戰鬪能力を有し且政治的に訓練せられた紅軍の創設が、支那の現在の特殊な條件の下に於て、其の解決が革命の强力な展開を眞實に確保する第一次的任務であることを理解しなければならぬ。

政府の機構を形成する場合には出來る限り注意深く人的構成を選擇し、如何なる場合にも國民黨員出身の舊官吏が入るのを許さず、試驗濟の無條件に獻身的な人々のみを仕事に取入れなければならぬ。臨時革命政府の任務は、封建制度と軍閥制度との決定的な根絶及び富農的、高利貸的要素の制御の基礎の上に農民運動を結合し且最大限に統一することである。臨時革命政府は、展開された煽動と勤勞者大衆の動員を行ふと同時に、農民運動に於けるプロレタリアートのヘゲモニーを確保する權力形態とならなければならず、上から下まで革命的權力機關への大衆自身の參加を確保しなければならぬ。

六、黨は土地問題の解決をソヴィエト區に於ける自己の注意の中心に置かなければならぬ。農業革命は富農の革命ではなくて、貧農、中農の革命でなければならぬ。日傭人、貧農が其の推進力となり、彼等が中農と鞏固な同盟を結び、勞働者階級が指導的役割を演じなければならぬ。或は沒收を妨害し、或は沒收せられた地主の土地を農民の所有する生產手段に比例して分配しやうとする富農の企圖を決定的に阻止しなければならぬ。富農の企圖に對して黨は一切の地主、寺院其の他の大所有者の土地の沒收と、是等の土地の平等主義に依る中農及び貧農への分配の實行を對立せしめることが必要であつて、沒收の原則を富農にまで擴大してはならぬ。それと同時に中心的標語として、黨は土地の國有化を宣傳し、其の實際的實現と革命の全支那的昂揚及び勞働者農民の革命的、民主主義的獨裁の勝利とを結合せしめなければならぬ。

七、ソヴィエト區域に於ける農業革命の任務と不可分に結びついてゐるものは、日傭人及び農村プロレタリアの組合組織竝に貧農グループの組織であつて、其の目的は自己の周圍に中農を結合すること及びソヴィエト機關の一切の方策を貧農及び中農の利益に向けることでなければならぬ。同じく是と關聯してソヴィエト諸機關の完全な選擧主義と、富農、劣紳及び地主の選擧權の剝奪とが達成せられなければならぬ。農村ソヴィエトが農民大衆の組織の基本的形態であることを考慮して、黨はソヴィエト區に於ける農民組合を徐々に解散するコースを取らなければならぬ。

八、ソヴィエト區に於ける經濟政策の領域に於ては、黨は時期尙早の方策を避けるべきであつて、たゞ農民大衆を我々の指導から引離し得るに過ぎない機能を、

自ら引受けてはならぬ。特に商業の自由が許容せらるべく、今の處では土地の賣買は禁止せらるべきでなく、軍事上の必要を考慮した特殊の場合（鹽、石油）又は住民自身の要求に依つて必ずや行はれる投機やサボタージュに對する鬪爭を除く外、供給の集中化、國內商業及び價格の統制が行はれてはならぬ。

九、立法手段に依るソヴィエト區に於ける勞働者の地位の改善の方向に沿ふて、八時間勞働日、最低の社會的立法及び階級的勞働組合の組織と活動の自由が樹立せられなければならぬ。其の後の改善はソヴィエト機關の命令に依つてゞはなくて、地方の具體的諸條件と結びついた勞働組合の階級鬪爭及び活動の結果として達成せられねばならぬ。

一〇、ソヴィエト區に於ける黨の一切の活動と革命機關の一切の方策とは、農民層の眞に大衆的な鬪爭の利益、農民運動のより以上の發展の利益、プロレタリアートの指導的役割の下に於ける勞働者と農民との同盟の强化の利益、ソヴィエト權力の强化及びソヴィエト區のより以上の擴大の利益に從屬せられなければならぬ。此の目的を以て黨はソヴィエト區に於て、勞働紅軍の組織の爲に一切の資源を利用せねばならぬ。革命的鬪爭のより以上の展開の仕事に於て極めて巨大な役割を演ずべき紅軍に對する、黨の統制と指導とを完全に確保せねばならぬ。紅軍は眞に全國民的な軍隊に轉化せらるべきである。社會的諸組織、第一に勞働組合と貧農グループとは、自己の成員の定期的動員に依つて、紅軍の隊伍を補充しなければならぬ。鞏固な勞働者的核心の下に、紅軍の構成は、貧農及び一般に農民層の革命的要素に依つて擴大せられなければならぬ。幹部は第一に、進步分子、勞働者に依つて補充しなければならぬ。軍隊の軍事的及び政治的指導は然るべき高さに置かれ且最大限に集中化せられなければならぬ。

一一、一切のカムパニヤ及び一切の大衆的煽動に於て黨は、特に勞農ソヴィエト政府の名に於て、次の標語を中心的標語として提唱しなければならぬ。卽ち、農民の爲に地主の土地を沒收すること、帝國主義が支那ソヴィエト權力の法律に違反した場合には、彼等の企業及び利權の國有化にまで至る彼等との鬪爭、支那を統一的獨立ソヴィエト國家に轉化すること、國民政府の顚覆、全支那に於けるソヴィエト運動の支持及び擴大、八時間勞働日と勞働團體の生產管理。

一二、ソヴィエト區に於ける黨の仕事は支那の全領土に於ける其の活動と結合されねばならぬ。革命の增大しつゝある昂揚の條件の下に於ける黨の根本任務は、鞏固にして徹底的に行はれるプロレタリアートのヘゲモニーを確保することである。

たゞ斯る條件の下に於てのみ、農民大衆の鬪爭は首尾よく行はれ、一切の革命的解放運動は反帝國主義鬪爭の最高の段階へ引上げられ、而して此の鬪爭は封建制度及び軍閥制度と共に外國資本——自己の利益の爲に、封建的殘存物をも、あらゆる種類の軍閥及び支那資本家をも支持し、强化し、利用する處の——支配を一掃するであらう。

一三、プロレタリアートのヘゲモニーの實現の任務は、罷業運動のより以上の發展の爲の、支那プロレタリアートの經濟鬪爭の組織及び指導の爲の黨の鬪爭を前提とする。經濟鬪爭と政治鬪爭とを結合しつゝ、黨は政治的罷業の發展の爲に全力を傾注し、一切又は多くの工業中心地に於ける政治的總同盟罷業を準備する方針を取らなければならぬ。政治的罷業の組織の際には、反軍閥的及び反國民黨的標語と並んで、勞働者階級の最も遲れた層をも含めて、一切の勞働者大衆にとつて親しく且生々とした、經濟的要求を必ず提起しなければならぬ。大衆的黃色組合の中に於ける自己の活動を强化しつゝ、黨は全力を盡して赤色勞働組合を强化し、勞働者階級の自衞團を訓練し、それと同時に、國民黨の反革命的支配が弱まつた處や、革命的鬪爭が成長しつゝある處では、何處でも革命的勞働組合を地下から引出す試みを組織しなければならぬ。

一四、プロレタリアートのヘゲモニーを實現すべき任務は、一切の帝國主義的强國に對する反帝國主義運動の發展と其の中に於ける自己の指導との爲の黨の鬪爭を前提とする。黨は反帝國主義鬪爭のより以上の展開の任務から立ち遲れる危險性に對し自ら警戒しなければならぬ。黨は帝國主義者側からの、暴力の一切の現れを、大衆の革命的激發の爲に利用しなければならぬ。黨は、民族的獨立、國の統一、完全な經濟上及び政治上の國家的獨立の標語の下に、國際帝國主義の支配及び束縛清算の標語の下に、支那に於ける帝國主義的束縛及びソヴィエト聯邦に對する攻擊の企圖に對する鬪爭の標語の下に、世界のプロレタリアート及び植民地竝に隷屬國の勤勞者大衆との同盟の標語の下に、自己の大衆的煽動を擴大しなければならぬ。

一五、プロレタリアートのヘゲモニーの實現の任務は、革命的、獨立的、大衆的鬪爭の展開の爲の黨の鬪爭を前提とする。

帝國主義戰爭に對する鬪爭と帝國主義を階級的內亂に轉化する爲の鬪爭、一切の軍閥及び國民黨の總ての反革命的グループに對する鬪爭は、黨の今日の大衆的煽動に於て其の緊切な標語とならなければならぬ。それと共に大衆に對する影響の爲の鬪爭は、改組派や、第三黨や、前進しつゝある新しい强力な革命の昂揚に對して支那の反革命を救濟しやうとする胡適のグループに對して差し向けられなければならぬ。それと同時に黨は、陳獨秀派及びトロツキストの罷業破り的な反革命的役割を暴露し、大衆組織と結びつかうとする彼等の試みを癱瘓せしめなければならぬ。黨は、新しい革命的昂揚に對するトロツキストの明白な清算派的立場を實踐に於て隱蔽する處のトロツキストの理論の反革命的本質、展開せられつゝある大衆的、革命的農民鬪爭を彼等が完全に閑却してゐること、憲法議會の召集といふ彼等の標語に於ける國民黨及び帝國主義への明白な奉仕を暴露しなければならぬ。

一六、ソヴィエト區以外に於ける農民運動の方向に沿ふて黨は、農民委員會、農民同盟及び鬪爭委員會を設立し、農民大衆の組織のあらゆる形態を一切の革命的活動の爲に利用し、特に饑饉と軍閥戰爭の新しい發展に關聯して、自己の大衆的煽動を强化しなければならぬ。黨は地代及び軍事的苛稅の不拂の爲の運動を發展せしめ、パルチザン鬪爭とソヴィエト區の支持の爲に呼びかけなければならぬ。黨は農民を、鬪爭と地主及び劣紳の反動的勢力の武裝解除とに召集し、紅軍及び青年衞兵の地方部隊を作り出すべきである。

一七、是と並んで黨は少數民族の中に於ける自己の活動を强化しなければならぬ。黨は北支那に於ける回敎徒の運動、內蒙古に於ける民族的革命鬪爭、滿洲の朝鮮人勞働者農民及び支那の南部に於ける苗族及び猺族の鬪爭との確乎たる連結と其の指導との確立を達成しなければならぬ。それと共に、印度支那に於て成長しつゝある革命的鬪爭に極めて重大な意義を與へて、黨は、安南の大衆、特に雲南省、香港及び廣東に於ける大衆を自己の影響に依つて把握することを擴大しなければならぬ。

一八、第六回大會當時から今日の時期に至る間に中國共產黨は其のイデオロギー的成長の道に於て、又自

己の隊伍のボリシェヴィキー化の仕事に於て、大なる成功を遂げた。然し是は一切の任務を此の方向に於て解決することには決して成功しなかつた。今や、組織的任務の解決の方向に於ける其の戰闘能力の向上と並んで、黨は何時よりも大いに自己の觀念的ボリシェヴィキー的獨立性を確保しなければならぬ。然し確乎たる政治的方針と、黨の前に起る新しい任務の黨に依る正しい解決を確保し、實踐に於て黨の方針を眞實に實現することを確保し得るのは、二つの戰線に於ける闘爭——右翼的偏向に對しても、「左翼的」、一揆主義的、分派的偏向に對しても闘爭することに依つて、理論に於ても實踐に於ても二つの偏向と闘爭し、基本的危險性たる右翼に銃火を集中することに依つてのみである。黨自身の隊伍に於ける右翼的及び「左翼的」偏向に對しては、それがたとへ一定の形を備へず、如何に些細なものであつても、無慈悲に、無容赦に闘爭することなくしては、陳獨秀派及びトロツキストに對する、同時に決定的な勝利及び彼等に對する妥協的氣分の完全な克服は不可能である。たゞ、二つの戰線に於ける眞に無慈悲な闘爭の下に於てのみ、黨の前に起る新しい任務の明瞭且眞實のボリシェヴィキー的解決が可能なのである。二つの戰線に於ける闘爭は黨の一切の活動と其の指導との基礎とならなければならぬ。

一九、恐慌の深刻さと階級對立の尖鋭さとが非常に大であつて、個々の進出が敗北する場合でさへも、斯る進出が大衆性を帶びてゐる爲に解放運動の成長が停止せず、又黨が近き將來に於ける決定的闘爭の爲に闘爭過程自體の中に力を準備し且集結すべき任務に當面して居り、又黨が數百萬の大衆の革命的エネルギーと闘爭とを、眞實に革命的に極力發展せしめなければならないといふ、今日の段階の條件の下に於て——斯る條件の下に於て主たる危險性たるものは、右翼日和見主義的偏向であつて、其の現れは追隨主義、黨又は個々の組織が大衆的革命運動の發展のテムポに立ち遲れてゐること、反帝國主義闘爭のより以上の發展に對する日和見主義的恐怖、罷業闘爭に於ける率先者、指導者となることの回避、合法主義と黄色組合の指導者の暴露の仕事に於ける優柔不斷、個々の場合には、彼等に對する降伏及び彼等の要求に依る罷業の中止、バルチザン闘爭の過小評價、ソヴィエト區域に對する富農の要求の支持である。

二〇、然しバルチザン闘爭の、あらゆる手段に依る

發展及び農民暴動竝に罷業闘爭の大膽な指導の必要と關聯して、一揆主義的及び分派的傾向の危險が强化された。斯る危險は大衆の役割の過小評價や、廣汎な大衆の參加を考慮せぬ暴動計畫の作成や、個々の場合に重心を廣汎な農民大衆から、孤立せる軍閥軍隊内の兵士の集團に移すことや、罷業闘爭に於ける革命的戰術の形式的、機械的實現の試みや、ソヴィエト區の經濟政策に於ける「左翼」小兒病の現れ等々の中に現れてゐる。黨の任務は二つの戰線に於ける闘爭、而して特に、黨の當面する任務の成功的な實現の仕事に於ける主要な危險たる、右翼的偏向に對する闘爭の同時的强化にある。

「支那革命の見透しと其の任務」

二一、ブルジョア＝地主のブロックは、一九二五—一九二七年の支那革命を生んだ矛盾を解決し得なかつたし、又解決し得ないで反對に、それを尖鋭化し且深刻化した。今や擴大せられた基礎の上に再生せられた此の矛盾は、歷史的不易性を以て、革命の波の新しい、一層强い昂揚を豫め決定する。開始せられた革命の新しい昂揚が國際帝國主義と支那反革命との聯合勢力の打擊の下に、部分的に敗北し且退却するかも知れず、また一時的休止が起るかも知れないが、それにも拘らず、ブロレタリアートに依つて指導される農業革命は發展し、而して不可避的に支那革命の全民族的昂揚に導くであらう。

二二、此の狀態が既に今日支那革命の進路と任務の問題を提起せしめる。たゞ支那革命の不可避的發展の見透しの視角からのみ、今日の闘爭の進行を理解し、黨の當面の任務と戰術とを正しく定めることが出來る。一九一一年及び一九二五—一九二七年の革命の未完成、ブルジョア民主主義的段階の任務の未完成は、革命の新しい昂揚の前に以前の根本任務、卽ち帝國主義的支配の廢絶、地主的土地所有の清算、地主＝ブルジョア・ブロックの粉碎、プロレタリアートと農民層との革命的、民主主義的獨裁の樹立を包藏してゐる。總て是等の任務は支那革命の現段階のブルジョア民主主義的任務を規定するのである。

二三、然し支那革命が通常のブルジョア民主主義革命と相違するのは、たゞ推進力の構成に依るのみでなく、たゞ勞働者と農民がブルジョアと一緒でなく、況んや其の指導の下に於てゞはなくて、それとの直接の闘爭の中に、ブルジョア民主主義的段階の任務を實現

することのみに依るのではない。ブルジョア民主主義的支那革命の異常性は、それが成功する場合には社會主義的發展の見透しを開く點にある。多くの條件の故に、支那に於けるブルジョア民主主義革命は、同時に反帝國主義革命でもあり、プロレタリア獨裁と社會主義革命との諸前提を準備する。非資本主義的發展道程は、多くの中間的段階を經て、支那革命が社會主義革命へ徐々に且逐次に轉化することの物質的、經濟的基礎として役立つのである。

二四、支那に於けるプロレタリアートと農民層との革命的、民主主義的獨裁は、一九〇五年の革命の條件下に於てボリシェヴィキーに依つて特徴づけられた民主主義的獨裁と本質的に異なるであらう。第一に此の差異は支那革命の國際的情勢、即ち、ソ聯邦——社會主義建設を成功的に發展せしめつゝあるプロレタリア獨裁國の存在と關聯してゐる。他方、支那に於て形成せられつゝある情勢は、政府の中で共産主義者が多數派を成すだらうと豫想することを許すのである。此の故に、プロレタリアートは農民層に對して、單に觀念的なるのみならず、また國家的なるヘゲモニーを實現し得るであらう。それと共に、支那革命が單に封建制度のみならず、また外國及び支那の資本家と激烈な鬪爭を前提する、といふ事情をも更に考慮しなければならぬ。支那に於ける民主主義革命は外國及び支那資本に屬する企業の徹底的沒收の必要に當面するであらうし、斯くして社會主義的性質を有する全く本質的な歩みを爲すであらう。社會主義的要素の存在もまた支那に於けるプロレタリアートと農民層との革命的、民主主義的獨裁の特殊な特性であらう。支那革命は資本主義から社會主義への移行に際して十月革命と比較して一層大なる中間段階を有するであらうけれども、それは社會主義革命への轉化の期間を著しく短縮し、ブルジョア民主主義的段階から社會主義的段階への移行を、一九〇五年の革命の條件に就て認められたよりも著しく急速に完了するであらう。

二五、支那革命の轉化の見透しの見地からみれば、國際的情勢は一般に有利である。社會的性質を有する諸前提もまた積極的である。プロレタリアートの大衆的組織、其の貧農との結合は、支那に於ける新しい革命的昂揚の最も初期の段階以來形成されつゝある。此の事情は支那革命の展開の形態及びテムポに對して特殊な影響を示さゞるを得ない。是に加ふるに、支那の反革命に對する不可避的な內亂と、國際帝國主義に對する戰爭との條件下に於ては、基本的農民大衆は革命の進行に依つて、外國及び支那資本に對する過渡的な、必要な革命的方策の支持へ押しやられるであらう。

二六、支那に於ける內部的、經濟的條件もまた非資本主義的進化の必然性を提起する。支那に於ける工業恐慌及び農業恐慌は社會主義への過渡的性質を有する方策の經濟的必要を生む。支那は次の何れかを採らなければならぬ、即ち或は完全な植民地的隷屬、大衆の一層の零落か、或はソヴィエト的、非資本主義的、社會主義的な發展行程かである。非資本主義的發展行程に沿ふ次の對策は、豫め一般的な形で述べることが出來る。斯る對策は經濟的に完全に實現せられ得るものであり、支那革命の社會主義革命への轉化の經濟的諸前提の創出を保證する。斯る對策は最近の鬪爭の實踐に於て中國共產黨に依つて具體化せられなければならぬ。

さて斯る對策として左の如きものを擧げ得るであらう。即ち、第一に外國資本に屬する外國人の工業的企業、銀行、シンヂケート、株式會社、鐵道、航空、水運及び自動車運輸の國有化、勞働者及び農民のソヴィエト運動に對する反革命的鬪爭の組織者として現れる支那ブルジョアジーの企業及び資本の經濟的武裝解除としての國有化、小企業をも含めて、爾餘の諸企業に對する統制、土地、湖沼及び灌漑設備の國有化、消費組合及び販賣組合に關する最も簡單な形態から始めて、住民の徹底的な協同組合化、專ら自由意志的基礎とプロレタリア獨裁國の技術的援助の基礎の上に於ける其の次の對策としての集團化、革命的支那國家の經濟的指揮權を更に一層强化することを目的とする豫算及び國民經濟計畫の建設。

二七、支那革命は第一段階に於ては勿論資本主義から發展の可能性を奪はないであらう。反對に、特に農業の方面に於ては、地主的土地所有と高利貸的、軍閥的搾取の絕滅の後、資本主義は必ずやより以上の成長の傾向を表現するであらう。經濟の領域に於ける支那革命の非資本主義的性質は、一度に社會關係の一切の機構から資本主義が根絕せられることに現れるべきではなくて、革命的、民主主義的獨裁の機關が、經濟的地位の征服を利用しつゝ、非資本主義的（社會主義的）生產形態の徹底的發展の爲の前提と優位とを徐々

に創造することに現れるべきである。二つの傾向の闘爭の成否はたゞ內的條件に依つてのみならず、また外的條件に依つて決定せられるであらう。社會主義は直に、直接的に實施せられることはない、といふことから出發しなければならぬ。社會主義への移行は多くの中間段階を前提とする。社會主義への移行は、多くの具體的な、徹底的に實行せられる方策に分れた長期の過程である。社會主義への道を打開する個々の步みは、大衆の必要から生れ、而して其の必然性が大多數の住民に依つて意識せられなければならぬ。此の步みは經濟的現實性に於て成熟しなければならず、又經濟的に完全に實現されなければならない。支那——小經營が優勢な國——に於ける過渡的方策は基本的農民大衆の利益と結合されねばならぬ。種々の地方に於ける社會制度の差異、農民大衆の組織及び意識の種々の程度、氏族制度其の他の影響力を考慮しなければならぬ。我々の任務は小農民經營を破壞することではなくて、改造することであることを想起しなければならぬ。過渡的方策を定める場合にはプロレタリアートは決して自己の農民豫備軍から分離してはならぬ。

二八、社會主義的發展行程の見透しを提起し且宣傳すると同時に、此の問題に於けるコミンテルンの立場が（一）トロツキスト・陳獨秀派的概念や、（二）孫逸仙的イデオロギーと完全に對立することを力說しなければならぬ。非資本主義的發展行程に關する問題提起は、支那革命の現段階を社會主義的段階とするトロツキスト的認識を意味しない。正にトロツキーこそ支那革命の社會主義的性質に關する「左翼的」文句の背後に、展開されつゝある農民大衆の今日の鬪爭の完全な閑却を隱蔽してゐるのである。正にトロツキーにとつてこそ農民層の力と革命的可能性との過小評價、ブルジョア民主主義的段階の任務と其の社會主義的段階への轉化過程との無理解が特徵的である。支那革命の中心には農業問題がある。革命自體は、プロレタリアートに依つて指導される農民戰爭の形態で發展する。非資本主義的發展行程、從つて社會主義的發展行程に關するマルクス・レーニン主義的學說は、支那に於ける憲法議會といふメンシェヴィキー的・トロツキスト的な實際的標語を隱蔽する爲の假面たる、支那に於ける社會主義革命に關するトロツキスト的美辭麗句と何等の共通點をも持たないのである。他方、資本主義の否定的方面を資本主義の部分的修正に依つて避けるといふ、孫逸仙的空想は、コミンテルンの立場に無緣である。孫逸仙的イデオロギーの反動的性質は、彼が自己の計畫の實現を、周圍の資本主義世界の側からの援助と結合せしめたことに依つて、既に明かである。

中國共產黨の機關雜誌「紅旗」一九三〇年十一月號に支那語で發表せられたもの。

一二　支那に於ける新しい昂揚

全聯邦共產黨第十六回大會の決議から、一九三〇年七月。

發展しつゝある革命的昂揚は、經濟的罷業鬪爭の成長と尖銳化や、其の政治的鬪爭への轉化や、罷業の獨立的指導戰術の共產黨及び革命的勞働組合に依る成功的適用や、殆ど一切の資本主義國に於ける失業者の廣汎な運動や、植民地に於ける多くの革命的進出や、國民黨のブルジョア的反革命に對する支那の農民及び紅軍組織の革命的鬪爭や、印度と印度支那、インドネシア、アフリカに於ける帝國主義に對する民族革命的鬪爭の成長や、ヨーロッパ、アメリカ及び支那に於ける共產黨の强化と是等からの腐敗的、日和見主義的要素の肅淸の中に現れてゐる。

「全聯邦共產黨中央委員會の報告に關する全聯邦共產黨第十六回大會の決議」、第十六回大會速記報告、七一一頁。

一三　李立三主義に就て中國共產黨中央委員會に寄するコミンテルン執行委員會の書翰

（一九三〇年十月）

黨員Mの報告の後、中國共產黨中央委員會政治局が

自己の以前の決議を撤回して、中國共産黨中央委員會代表との完全な一致の下に作成された決議に同意したといふ政治局の報告を、コミンテルン執行委員會は滿足を以て受領した。コミンテルン執行委員會は、中國共産黨中央委員會がコミンテルン執行委員會の決議、決定及び政治的指令に含まれてゐる政治的方針をボリシェヴィキー的根強さと徹底性とを以て實行し、斯くして支那に於ける反帝國主義革命及び農業革命のより以上の前進を確保すべきことを深く期待するものである。然しながら、支那革命の歴史上重要な時期に、一方ではコミンテルン執行委員會と中國共産黨中央委員會政治局の多くの成員との間に、他方では政治局の他の成員の間に——李立三を含む——極めて重大な意見の相違が發生したことに鑑みて、我々はコミンテルン執行委員會の政治書記局と政治委員會との決議及び決定を展開せしめつゝ、是等の意見の相違の本質を詳說することを自己の義務と思料する。何故ならば、政局の評價と戰術的任務の理解とに於ける、何等かの偶然的な意見の相違又は第二次的な不一致が問題なのではなかつたとゆふことを、明瞭に理解することが必要であるからである。支那革命の最も重要な瞬間に於て、相

互に原則的に相違する二つの政治的方針が對立してゐたことを完全に明瞭ならしめなければならぬ。此の二つの對立及び相互排除的な政治的方針の原則的相違を抹殺することは、啻に有害なるのみならず、また將來此の誤謬を反覆する極めて大なる危險性を包藏するであらう。

黨の指導部の個々の黨員に依つて支持された李立三の政治的方針はどの點にあつたか？李立三が自己の方針をコミンテルン執行委員會の政治的方針に對立せしめた時、彼は當該の瞬間及び力の配置の、如何なる評價から出發したか？

李立三はあらゆるマルクス主義者・レーニン主義者にとつて義務的な、客觀的情勢の分析から、闘爭する力の相互關係の分析から出發せず、從つて彼は個々の誤謬を犯したのみならず、誤つた見解の全體系を作り出し、反マルクス主義的、反レーニン主義的立場を作り出した。此の立場は、具體的現實から離れることに依つて、大衆から、大衆の組織及び動員から離れることに依つて、それが發展すれば一揆主義的、冒險主義者的戰術に導かざるを得ないものであつた。然し一見「左翼的

な」文句に依つて消極性を隱蔽する此の立場は、本質に於ては、例へばトロツキー主義の場合の如く、日和見主義的でもある。此の非マルクス主義的、非レーニン主義的立場から、支那には全民族的規模に於て既に成熟せる革命的情勢が存在するとか、又同じ革命的情勢が世界的規模に於て成熟したとかいふ理論が發生した。武漢、南京、上海、天津、北平、哈爾賓、廣東、香港、大連に於ける武裝暴動、長沙、南昌、漢口への紅軍の遠征——是が李立三の概念であつた。彼は、一省又は數省に於ける勝利は全民族的規模に於ける暴動の直接の情勢を意味するといふ、自己のテーゼを終始一貫して展開し、而して此の有名な概念を補充するに、革命の成功の開始、革命的支配の創造の開始は、間隔なしにブルジョア民主主義革命のプロレタリア革命への即時の轉化の開始である、といふ更に明かにトロツキー主義的なテーゼを以てした。

此の點に李立三に依つて提起せられた政治的方針があつた。然らば如何なる點に此の方針の誤謬、危險性及び有害性があるか？

一、李立三は、支那に於ける今日の革命的昂揚の最も重要な特殊性の一つ、即ち國内に於ける革命運動の發展の不均衡を考慮しなかつた。國内に於ける勞働者運動の意識性と組織性との昂揚、發展、水準、程度は極めて雜多である。南支那のかなり廣大な地域にソヴィエト區が存在し、紅軍が成長し、パルチザン戰爭が荒れ狂ひ、地主に對する農民戰爭が擴大しつゝある時、國の他の部分に於ては農民層が漸く闘爭に引き入れられつゝあることは何等證明する必要がない。地盤が以前の革命の進行に依つて開拓されてゐる南方、廣東に於てさへ、革命運動は緩慢に展開されてゐる。即ち湖南、江西、湖北、福建に於ては農民戰爭が行はれてゐるが、浙江、四川、安徽、江蘇に於てはそれは漸く始まつたばかりであり、雲南及び貴州に於てはそれはまだ展開されてゐない。北支那や滿洲に於ては農民層に對する我々の影響は非常に弱い等々。國の諸部分に於ける革命運動の發展の不均等性は支那の封建的細分や、國の諸部分に對する帝國主義諸强國の影響及び權力や、支那の諸部分の經濟的發展の不均衡から生ずるのである。事實自體が示してゐるやうに、國の他の決定的な部分に於ては黑い、流血的反革命が權力を握つて

ゐる時に、革命運動は多くの省、多くの地方に於て勝利することが出來るのである。一省又は數省に於ける勝利が直接に全民族的規模に於て成熟せる革命的情勢を意味する、といふ李立三のテーゼは、支那の封建的、軍閥制度的細分や、帝國主義者の間に於ける國の分割や、經濟的發展の不均衡や、革命運動の發展の不均衡等に就てコミンテルン執行委員會及び中國共產黨に依つて確認された一切の事實を一擧に取消すものである。

二、コミンテルン執行委員會の分析に對して李立三に依つて對立せしめられた概念は、農民運動の昂揚が其のテムポと規模に於て勞働者運動を著しく追ひ越した、といふ事實を全く無視してゐる。なるほど勞働者運動の昂揚は作り事ではない。勞働者運動は國の最も遠隔の、最も遲れた地方にさへ波及してゐる。然し全體としての勞働者運動の昂揚が、廣東、香港、大連、哈爾賓は言ふ迄もなく、揚子江流域の最も決定的な工業中心地たる上海、武漢に於てさへ、農民運動よりも立ち遲れてゐることを考慮しなければならない。上海や武漢に於てさへ、自然發生的な罷業鬪爭が緩慢に展開されつゝあり、我が黨は大なる經濟的及び政治的罷業の組織者及び指導者となることが出來なかつた。上海、武漢に於ける五月及び八月の進出にはたゞ前衞中の前衞のみが參加したに過ぎない。プロレタリアートは微弱にしか組織せられてゐなかつた。我々はプロフィンテルン大會に於ける勞働者代表との會談に依り確認することが出來たのであるが、ソヴィエトの通俗化の爲の黨の活動が非常に弱かつた。ソヴィエト權力が彼等の權力だといふ意識が基本的勞働者大衆に注入せられてゐない。其の代りに基本的勞働者大衆の間では、紅軍がやつて來て蔣介石の軍を擊破する、それから漸く勞働者が進出することが出來るのだ、といふ氣分が優勢である。

三、支那に於ける情勢のマルクス・レーニン主義的分析は、支那に於ける帝國主義の巨大な役割を計算に入れなければならぬ。恰も最も重要な工業中心地、從つてプロレタリア中心地が、帝國主義者の干涉の直接の打擊の下にあるのみならず、帝國主義者は最も重要な工業的、商業的及び行政的中心地を自己の直接の不斷の軍事的、政治的統制の下に維持してゐる。具體的な事實の言葉に飜譯すれば、是は次のことを意味する。卽ち李立三が武漢に於ける武裝暴動を提起した時、中國共產黨は武漢に於て二百人の黨員、組合員僅か百五十八より成る赤色勞働組合を持つて居り、武漢に於ける其の後の一切の進出はプロレタリアートの弱き組織性と無準備とを示した。然し、我々の有する充分信賴し得る資料に依れば、帝國主義者は武漢に於て、現代ヨーロッパの十箇師團に相當する兵力を持つてゐた。上海に於ける情勢もまた、國民黨的反革命が、まだ崩壞しなかつた若干の兵力を持つてゐたことは別としても、より有利ではなかつた。斯る條件の下に於ける武裝暴動は支那のプロレタリアートの精銳を帝國主義者の直接の打擊の下に引き入れ、決定的な工業中心地の勞働者階級を、當面せる大戰鬪に於て無氣力ならしめ、紅軍を無氣力ならしめ、我々の運動を後退せしめるであらう。

武裝暴動への進路は取られてゐる。ソヴィエト政府の樹立は、中國共產黨が大工業中心地に於て武裝暴動に向つて進んでゐることを意味する。然し具體的情勢を考慮することなくして、力の優勢が階級敵の側にある今日、大中心地に於ける力の相互關係の分析なくして、暴動を組織することはレーニン主義ではなくて一揆主義である。一切の努力を部分的要求の爲の鬪爭に於ける勞働者大衆の動員の爲に注ぎ、斯くして適時に暴動にとつて最も有利な瞬間を選ぶ爲に大衆を準備することが必要である。此の點に階級敵に對する眞實の攻擊がある。然しコミンテルン執行委員會の方針を、一時的退却であるかの如く理解し又は說明しやうとする一切の試みは、最も有害な右翼日和見主義であらう。

四、あらゆる共產主義者は支那に於けるソヴィエト運動の力と弱さとを冷靜に考慮しなければならぬ。實に、ソヴィエト政府はまだ支那には存在しないが、それが存在する限りに於て——それはたゞ微文の中に、紙の上に存在するに過ぎず、現實の權力として、蜂起せる大衆の組織者及び指導者としてゞはない。ソヴィエト區はまだ組織せられてゐない。ソヴィエト權力は固定せられてゐない。農業革命はソヴィエト區域に於てさへ、最も重要なる任務の解決と云ふ意味では行はれてゐない。たゞ富農のみならず、小地主もまたソヴィエトへ、新しい權力機構へ、紅軍へ這入り込んでゐる。富農は農業革命の成果を刈取らうとしてゐる。生產手段に比例して土地を分配せよ、といふ富農的標語は必要な反擊を受けてゐない。處々で五十畝以上の地主の土地の沒收といふ標語が提起されてゐる。

其の土地所有が五十畝を超過しない場合には、地主・高利貸に負債を支拂へ、といふ標語が處々で提起せられてゐる。此の種の標語は譚平山には當然であるが、ボリシェヴィズムとは何等の共通點をも持つてゐない。土地の平等分配——農業革命の此の最も重要な任務——はたゞ稀な場合に於てのみ實行せられてゐない。貧農の組織は開始せられてさへゐない。貧農グループは作られてゐない。苦力と日傭人とは勞働組合に組織せられてゐない。ソヴィエト區のプロレタリアートは、數に於て如何に貧弱であらうとも、勞働組合に組織せられなければならぬ。眞實の方法では、ボリシェヴィキー的な方法では、是等の任務の解決に着手せられてさへゐないと我々は云ひ得る。然し是等の任務の解決なくしては、眞實のソヴィエトを作ることが出來ず、富農の影響下から中農を引離すこと、彼等と鞏固な同盟を作ることが出來ぬ。まだ新しいソヴィエト機構は作られてゐない。ソヴィエトは多くの地方に於て選擧的ではない。運動の此の弱味と並んで、コルホーズ及びソフホーズの創設や、計畫經濟の實施や、專賣の創設や、軍事上の必要に依つて喚起されない場所に於ける經濟生活の統制の時期尚早な誤つた試みが見られる。第一回ソヴィエト會議は臨時農業法を採用したが、それは根本に於て多くの問題を誤つて解決してゐる。たゞ沒收せられた地主の土地のみが、平等的分配に附せられることは誤つてゐる。大經營は細分すべきではなくて、ソフホーズに轉化せられなければならない、といふのは正しくない。土地を分與せられた日傭農夫が既に現在の段階に於てコルホーズに結合せられなければならない、といふのは正しくない。紅軍兵士が全支那的規模に於けるソヴィエト權力の確立の後に於てのみ、土地を與へられなければならない、といふのは誤つて居り且極めて有害である。ソヴィエト政府が公表した綱領もまた、明かにトロツキスト的臭味を帶びてゐる。我々が持つてゐる此の綱領に關する報道からして次のことが明かである。卽ちソヴィエト政府が、鞏固なソヴィエト政府、鞏固なソヴィエト權力を作る代りに、自己の綱領を展開し且實行する代りに、又革命の地域的基礎を組織し、固定し、ソヴィエト區を統一し、達成せられた成功を固め、眞に貧・中農的農業革命を實行し、背後を組織し且豫備軍を引緊める代りに、社會主義の直接且卽時の實行といふ目的及び任務を提起したこと、是である。李立三は此の瞬間の是等の最も根本的な任務を提起さへしなかつた。

五、我々は李立三に依つて行はれた、革命の武裝勢力の驚くべき過大評價（勞働者五百萬人、農民三千萬人、各都市に於て勞働者衞兵、青年衞兵五百萬人等々）を詳說しないであらう。然しながら、我々が勞働者の軍幹部を持ち、鞏固な黨の骨格を持つ眞正の勞農紅軍をまだ有しないことを李立三は絕對に理解してゐない、といふことを指摘しなければならぬ。紅軍の成功は巨大であり、其の成長、其の英雄的躍進は全國際プロレタリアートの歡喜を呼び起してゐる。然るに此の紅軍はまだ弱く、充分組織せられて居らず、完全に中國共產黨の掌中にはない。紅軍の社會構成は決して滿足なものではない。多くの軍隊の人的構成の中では軍閥の軍隊の舊兵士が優勢である。富農が紅軍の中へ這入り込んでゐる。紅軍はプロレタリア的指導を有する勞農軍に轉化せられなければならぬ。ソヴィエト、勞働組合、貧農グループは、紅軍が貧農、苦力、日傭人で構成せられ、幹部が勞働者で構成せられるやうに、共同して活動しなければならぬ。肝腎な指導的地位には最良の共產主義者が立たなければならぬ。紅軍の軍事的、技術的弱點に對しても眼を閉じてはならぬ。それは裝備が劣惡であり、それは軍需品の供給が極めて惡く、それは大砲に於て極めて貧弱である等々。是等の事情は、大都市の占領、近代的帝國主義軍に對する正面攻擊、大中心地への遠征がまだ紅軍の手に負へないことを運命づけてゐる。經驗は、長沙の占領と漢口の奪取が紅軍にとつて力不相應の任務であつたことを示した。此のことは變化し得るし又恐らく變化するであらうけれども、事實を考慮しなければならず、力の相互關係を冷靜に考慮し、現實的な任務を提起しなければならぬ。

六、非マルクス主義的な一般的立場から多くの他の誤謬が生じた。勞働者がたゞ暴動にのみ進んで、示威運動、同盟罷業、經濟的及び政治的鬪爭に進まない、といふテーゼは、事の本質に於て日和見主義的消極性を一見左翼的な文句に依つて隱蔽するものである。最近經濟鬪爭に對する黨の注意が弱まつた。黨は勞働者階級の日常鬪爭を無視した。赤色組合の活動及び黃色組合に於ける革命派の活動は弱まつた。眞實の大衆の眞實の鬪爭は、全支那的規模で、到る處に於て公然と集會を組織しやうとする試みに代へられた。大衆的政治罷業を眞實に組織し準備する代りに、必要な組織及

び準備のない總政治罷業が四月には四つ、五月には五つ宣言せられた。黨と共產青年同盟の細胞との合同、赤色勞働組合を專ら暴動の準備に轉置したことは、黨及び赤色勞働組合の活動を解體せしめた。斯くして、革命の時には個々の黨、共產青年同盟及び勞働組合の組織は不必要であるかの如く、革命は、黨、共產青年同盟及び勞働組合の清算を以て始まるかの如くであつた。革命の現實的任務の實現の爲の活動の代りに、李立三は、空想に驅られて、一見左翼的な文句で今日の眞實な最も重要な任務の遂行に於ける消極性を隱蔽した。

此の點に唯一の政治的方針、李立三の方針があつた。コミンテルン執行委員會は此の方針を非ボリシェヴィキー的、非レーニン主義的なものと見做したし又見做して居り、而してそれを批判し且却下した。此の方針は、消極性に、敗北に導くものであり、而して最も危險な冒險に導くであらう。此の方針は、中國共產黨中央委員會代表と共同して作成せられたコミンテルン執行委員會の方針に對立するものであつた。コミンテルン執行委員會は、あらゆる情勢に依つて其の即時の實現が要求せられてゐる中國共產黨の肝腎な實際的任務を次の點に於て認めるものである——

一、眞正の勞農紅軍の即時結成。第一期に於て此の軍隊が四萬五千乃至五萬人から成るとすれば、それは其の社會的構成に於て勞働者農民軍であり、基本的な點に於て勞働者的幹部を持ち、鞏固な共產主義的骨格を持ち、先頭には最良の、最も望ましい指導者を持ち、鐵の規律を持たなければならぬ。完全に中國共產黨の掌中にある此の軍隊は、革命の地域的基礎となるべき一箇或は數箇のソヴィエト區に於て鞏固な物質的基礎を持たなければならぬ。此の任務の解決は少しの猶豫をも許さないのである。黨の最善の力が此の任務の即時の解決に集中せられなければならぬ。

二、共產主義者が多數を占め、最も優秀な非黨員勞働者、農民及び紅軍兵士を吸引した鞏固な活動能力を有するソヴィエト政府の即時建設。ソヴィエト政府は革命の地域的基礎の上に建設せられ且紅軍に依據しなければならぬ。ソヴィエト政府は自己の綱領、反帝國主義革命及び農業革命の綱領を作成し、宣言し、自己の綱領の實現に着手し、而して事實に依つて勤勞者大衆に、ソヴィエト權力が彼等の爲に、帝國主義者と地

主なくして新生活を建設し得ることを示すであらう。貧・中農的農業革命の實行、勞働者階級の地位の急激な改善、勞働者及び農民の大膽な拔擢を伴ふ新國家機構の創造、大衆的組織(勞働組合、貧農グループ等々)の創設、正しい經濟政策——はソヴィエトの領域に於て數百萬の勞働者及び農民の大衆をソヴィエトの周圍に結成しなければならぬ。

三、眞實の革命的、大衆的活動、ソヴィエト區に於ける大衆のボリシェヴィキー的組織、經濟的及び政治的大衆鬪爭の展開と、非ソヴィエト地域に於て此の鬪爭の進行中に於ける大衆の組織。中國共產黨は、非ソヴィエト地域に於けるあらゆる經濟鬪爭、あらゆる同盟罷業、あらゆる大衆的進出が、大衆の組織への一步であり從つて武裝暴動の道への一步であるのみならず、ソヴィエト區への正面からの、最も直接の援助であることを理解しなければならぬ。勞働者、而してまた農民の日常の必要、日常の要求を閑却することは客觀的に見て、帝國主義及び國民黨に奉仕することである。それ相應の前提なくして武裝暴動の標語を弄ぶことは、準備なく、其の組織なくして政治的罷業の標語を弄ぶと同樣に、大衆の組織に於て中國共產黨を助けることが少い。勞働者がたゞ武裝暴動を以てのみ進出し得るとか又は一般に何事も爲し得ないとかいふ理論は、最も有害な日和見主義的な理論であつて、「左翼的」文句に依つて隱蔽されてゐても、それは革命的理論とはならないであらう。大衆を日常的要求の爲の同盟罷業に動員し、彼等をプロレタリアートの全階級的任務と結びつけなければならぬ。貨幣價値の低下、生活費の昂騰及び、資本の攻勢が勞賃を引下げる時に於ける勞賃の引上げの問題、ソヴィエト區域に於て八時間勞働日が實施せられてゐる時に於ける勞働時間の問題、ソヴィエトが社會立法策を實現してゐる時に於ける社會立法の問題、失業が增大してゐる時に於ける失業手當の問題、勞働條件や、勞働者の待遇の問題及び勞働者に關する一切の問題は、鬪爭の出發點となることが出來るし又ならなければならぬ。勞働者民兵に關する問題は、紅軍が勞働者の眼前に於て增大しつゝある今日、以前とは異なつて來る。ソヴィエトの勝利と一切の經濟的及び政治的情勢とが、勞働者の中に於ける戰鬪的氣分を高めた時、黃色組合の中に於ける活動、赤色組合への徵募、黨への徵募は別樣に行はれ得るし又、

行はなければならぬ。それと同時に、現在まだ非ソヴィエト的な地域に於て農民運動を展開し、其處に於てルチザン闘爭を展開し、大及び最大のものをも含めて、都市を農民騷擾の環に依つて包圍し、軍閥の軍隊内に於て我々の勢力を組織し、是等の軍隊内に於ける活動を十倍化すること、卽ち國民黨の權力を解體せしめ、到る處に於てそれを瓦解せしめなければならぬ。たゞ斯くしてのみ、大工業中心地に於ける武裝暴動、蜂起せる勞働者及び紅軍に依る是等の都市の占領を準備することが出來る。あらゆる同盟罷業は大衆の組織と暴動の準備への一步である。あらゆる同盟罷業はソヴィエトへの現實的援助である。眞正の紅軍の建設、鞏固な政府の樹立と非ソヴィエト地域に於ける大衆的な經濟的及び政治的闘爭の組織の爲の最も精力的な活動が、今や黨の最も重要な任務である。

茲に摑まなければならぬ主要な環がある。

此の場合コミンテルン執行委員會は、帝國主義者に對する策略、謀略を許され得ること、考へたし又考へてゐるのみならず、また必要なこと、さへ考へてゐる。帝國主義との「假の」同棲關係は有害であり、危險である、といふことを我々は黨に警告する。然しそれと同時に、帝國主義者の間に於ける對立を利用する爲に、帝國主義者と支那の反革命とのブロックを弱める爲に、我々が鞏固になるまで決定的な衝突を避ける爲に、帝國主義との決定的闘爭を延期する爲に、我々の力の及ぶ一切のことを試みなければならぬ。それと同時に中國共產黨は帝國主義的干涉に對する自己の闘爭を十倍化し、勞働者及び農民大衆を動員し且啓蒙し、農民層を帝國主義に對する闘爭の全民族的任務の理解にまで高めなければならぬ。

是が中國共產黨中央委員會代表と完全に一致して作成せられたコミンテルン執行委員會の政治的方針の大綱である。

たゞボリシェヴィズムと何等の共通點をも持たない人達のみが、此の方針を退却と說明することが出來る。此の方針を實行することに依つて、中國共產黨は退却しないで、反對に前進する。革命は停滯しないで、展開せられつゝある。此の任務は低くならないで、反對に、具體的になり、現實的になり、革命の決定的任務となりつゝある。暴動への進路は取られてゐる。ボリシェヴィキー的根強さと徹底性、レーニン主義的な不撓

不屈性を以て、暴動を準備し、組織しなければならぬ。共產主義的前衞は大衆を啓蒙し、結成し、組織し、彼等を決定的闘爭の立場へ引き上げなければならぬ。消極性の代りに、ボリシェヴィキー的大衆的活動。暴動に關する「左翼的」文句の代りに、暴動の準備と組織の爲の活動。手に餘る任務の提起の代りに、革命の最も重要な現實的任務の實現の爲の活動。

中國共產黨中央委員會政治局が、而して希くは黨全體が、再び此の方針を取り、李立三の原則的に異なつた方針を棄却したといふ報道を、コミンテルン執行委員會は滿足を以て受領した。コミンテルン執行委員會はボリシェヴィズムの支那部隊に、コミンテルン執行委員會のレーニン主義的方針の徹底的實行を期待するものである。コミンテルン執行委員會は李立三の立場と提議とに對する極東事務局の方策を完全に承認する。コミンテルン執行委員會は支那問題に關する一切の自己の以前の決定及び指令を有效なものと認める。コミンテルン執行委員會は支那に於ける勞働組合運動に關するプロフィンテルン第五回大會の決議の斷乎たる實施の必要に特別の注意を向ける。コミンテルン執行委員會は、此の問題に關する討論が今日黨の活動を痲痺せしめ且黨の力を革命の決定的任務から引離すであらうと考へる。然しながら總ての積極的な黨員に二つの政治的方針の本質を完全な明瞭さを以て、ボリシェヴィキー的自己批判を以て說明し、李立三の立場の反マルクス主義的、反レーニン主義的本質を說明し、而して黨員を正しいボリシェヴィキー的方針の周圍に結成しなければならぬ。

李立三の進出の中には危險な調子が響くが故に、此のことは一層必要である。李立三は、誤つた情報を得てゐるコミンテルンとか、支那の排他性とか、コミンテルンが支那革命の發展の傾向を理解してゐないとかいふ、共產主義の一切の右翼的及び左翼的背敎者の陳腐な理論を敢へて弄んでゐる。彼は大膽にもコミンテルンに對する忠誠を支那革命に對する忠誠に敢へて對立せしめ、九月三日の政治局會議に於て、「コミンテルンへの忠誠、其の規律と、支那革命への忠誠とは別個のものである、漢口の占領の後にはコミンテルンと別樣に語ることが出來るであらう等々」と聲明した。反マルクス主義的、反レーニン的立場はボリシェヴィズムに敵對的な、コミンテルンに敵對的な此の種の結論に導かざるを得なかつたのである。

コミンテルン執行委員會は、中國共產黨の全黨員が此の反革命的立場に決定的反擊を與へるであらうこと、一切の支那のボリシェヴィキーがコミンテルン執行委員會の方針の實行の爲に一體の如く結成するであらうことを確信する。

コミンテルン執行委員會の方針の爲の不屈のボリシェヴィキー的活動、根強いボリシェヴィキー的鬪爭は、中國共產黨を支那革命の新しい、偉大な勝利に導くであらう。

論集「反對李立三主義」（極東國立出版所、一九三一年刊）に支那語で發表せられたもの。

一四　コミンテルン執行委員會第十一回總會

（一九三一年四月）

支那に於ける帝國主義的對立の强化

恐慌は特別の力を以て資本主義世界に於ける主要な對立——イギリス自治領に對するアメリカ帝國主義の壓迫の中にも、イギリス帝國の帝國主義的關稅政策の中にも（帝國會議）、ラテン・アメリカや支那に於ける「勢力範圍」の爲の摑み合ひの强化の中にも表現せられてゐる處の、世界制覇の爲のイギリスと北米合衆國との間の鬪爭を尖銳化しつゝある。

「經濟恐慌の深刻化及び多くの國に於ける革命的危機の前提の成熟に關聯せるコミンテルン支部の任務に就て」、「コミンテルン文書集」九五五頁。

支那に於ける現在の革命的危機

經濟恐慌と農業恐慌との最も密接な組合せ、帝國主義的及び封建的、高利貸的搾取の强化、大衆の驚くべき零落の影響を受けて、數百萬の大衆が一切の帝國主義的・植民地的體制に對する民族革命的鬪爭に立ち上りつゝある多くの大なる植民地及び半植民地（支那、印度）に於て、深刻な革命的危機が急速に成熟しつゝある。

資本主義の一般的危機及び今日の經濟恐慌から發生し、大衆の革命的昂揚の基礎の上に發展しつゝ、革命的危機の是等の要素は、大衆の異常な貧困の尖銳化や、彼等の增大する革命的積極性や、資本主義的支配の一切の國際的及び國內的體制の瓦解や、階級的勢力の急速な再編成や、ファシズム・新帝國主義戰爭及びソヴィエト聯邦への軍事的干涉の途上に於て、自己の矛盾からの出口を求める上層の危機と結びついてゐる。

「同上」、九五八頁。

支那に於ては、革命的危機は數千萬の人口を有する地域に於けるソヴィエトと紅軍との組織の中に表現せられて居り、而して此のことは支那を植民地世界の民族革命運動に於て第一位に置くものである。ソヴィエトと紅軍との形成の事實は民族革命運動に於ける、反帝國主義革命及び農業革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニー——卽ち、既に國家權力の發端の中に强化せられつゝあるヘゲモニーの成功を條件づける。農業革命から成長するソヴィエトと紅軍は、大衆にとつて明白なソヴィエト地區の經驗に依つて、工業中心地の勞働者及び、地主の封建的所有を淸算しつゝあり、基本的農民大衆の利益の爲に土地を再分配しつゝあり、反革命的國民黨の刑吏的支配を益々崩壞せしめつゝある處の農民大衆とを、鬪爭に引き上げる。全植民地世界を革命化しつゝある支那に於けるソヴィエト運動のより以上の發展は、ソヴィエトと紅軍との地域的基礎の擴大及び强化と結びついてゐる。

「經濟恐慌の深刻化及び多くの國に於ける革命的危機の前提の成長に關聯せるコミンテルン支部の任務に就て」、「コミンテルン文書集」九五九頁。

最近のコミンテルン執行委員會擴大幹部會以來、勞働者階級の生活水準の激烈な低下や、失業の驚くべき發展や、勤務員及び都市小ブルジョアジーの零落や、農民層の大衆的剝奪や、植民地の極端な窮乏化や、ソヴィエト聯邦の革命的役割の强化と關聯した革命的昂揚のより以上の成長が、進行してゐる。

革命的昂揚の展開は次の點に表現せられてゐる——

（イ）罷業鬪爭と失業者運動のより以上の尖銳化。

（ロ）支那の領域の相當な大部分に於けるソヴィエトと紅軍の發展及び强化。

（ハ）植民地に於ける革命運動の强化。

「同上」、九五七—九五八頁。

過ぐる期間に於けるコミンテルン支部の最も重要な成功は次の點に表現されてゐる——

（イ）支那に於けるソヴィエトと紅軍との建設、支那及び印度支那の農民運動に於ける共產黨の指導的役割……。

（ホ）多くの共產黨（中國共產黨……）の組織的成長。

「同上」、九六三頁。

戰時とソヴィエト聯邦に於けるソヴィエト權力の發生以來の社會民主主義の一切の發展は、ファシズムへの不斷の發展過程である。

……植民地的掠奪の線に沿ふて——是は植民地及び半植民地國に於ける民族革命運動の直接の壓迫であり、是は印度に於ける數萬の投獄者と大量的射殺、支那に於ける農村の飛行機に依る破壞——蔣介石の刑吏的政府の直接的支持と揚子江に於ける外國の軍艦が支那の南部に於ける紅軍部隊に對して行ふ公然の戰爭、印度支那に於ける大量的體刑である。

「同上」、九六一頁。

支那ソヴィエトと僚友共産黨の任務

プロレタリアート獨裁を獲得する條件としての勞働者階級の多數獲得の爲の鬪爭は、此の段階に於ては次の基本的方向に於て共産黨に依つて實行せられなければならぬ……。

帝國主義戰爭とソヴィエト聯邦への軍事的干涉に反對する鬪爭。卽ち帝國主義政府に依る軍事的干涉の準備の暴露、共産黨が全くの非合法狀態に移行する場合には共産黨が多くの組織的方策を適時に採用すること、反帝國主義的活動の强化、勞働者青年の中に於ける活動の强化。

「同上」、九六五頁。

一五　中國共産黨の任務に關するコミンテルン執行委員會の決議

（一九三一年八月二十六日）

支那に於ける今日の革命的危機

一、コミンテルン執行委員會第十一回總會は支那が革命的危機の地帶へ入つたことを確認した。「支那に於ては革命的危機は、數千萬の人口を有する地域に於けるソヴィエトと紅軍との組織の中に表現せられて居り、而して此のことは支那を植民地世界の民族革命運動に於て第一位に置くものである。ソヴィエトと紅軍との形成の事實は、民族革命運動、反帝國主義革命及び農業革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニー——卽ち、既に國家權力の萠芽の中に保證せられつゝあるヘゲモニーの成功を條件づける」。

既に今日世界史的意義を有する支那に於ける農業革命と反帝國主義革命との成功、共産黨の强化と成長、鬪爭に立ち上りつゝある勞働者と、成長擴大し續けてゐる農民との運動に對する共産黨の影響の增大、紅軍の創設、成長及び勝利、南支那及び中支那の廣汎な地域に於けるソヴィエトの建設、是等の地區に於ける農業革命の標語の徹底的な實行等々——總て是等はコミンテルンと中國共産黨との立場と政治的方針との正しさを完全に確認してゐる。

それと同時に、民族的な資本主義的發展の有利な見透しと國民黨の權力の長期に亘る安定化とを豫言し、而して今ではブルジョア民主主義的、反帝國主義的及び農業的革命に對し、支那のソヴィエト、プロレタリアートと農民層との獨裁に反對する國民議會といふ國民黨的標語の下に戰つてゐる陳獨秀派やトロツキストの一切の反革命的概念は、事件の進行に依つて微塵に粉碎せられた。

二、支那に於ける革命的危機はブルジョア的反革命の破產を意味してゐる。それは帝國主義の支配と國民の壓倒的大多數の極めて日常的な要求とが絕對的に兩立しないことを意味する。封建的・地主的土地所有と高利貸層との支配に立脚する國の半植民地的債務奴隷化は、未曾有の全面的な經濟的危機に導いた。定期的になり且極度に尖銳化せられた農業危機は數千萬人を餓死の脅威に當面せしめた。支那の地方工業は崩壞狀態にあり、其の大部分は帝國主義者の掌中に移つた。銀の下落は世界經濟恐慌の破壞作用を惡化した。國民黨の政策の破產と革命の彈壓及び帝國主義者との妥協を基礎にして、經濟的安定及び國の政治的統一を確保しやうといふ其の約束の破綻、實際には統一の代りに軍閥戰爭（同時に自己の影響の爲の帝國主義者の鬪爭を反映する處の）のより以上の尖銳化、增大する經濟的破滅等々——總て是等は地主とブルジョアジーとの反革命的陣營に於ける分裂の激化と崩壞の促進とに導く。此の情勢の下にあつて、革命以外に、帝國主義と國民黨の掃蕩以外に、ソヴィエトの勝利以外に、出口はないし又あり得ないといふ、大衆の意識が擴大し且成長する。

國民黨は慘酷なテロルを以てする勞働者及び農民の直接的彈壓といふ自己の基本的政策を補足するに、種々の策略に依る革命運動の潰滅の試みを以てしてゐる（國民議會の召集、農業及び勞働立法案、關稅の引上げに關するデマゴーグ的な身振り、治外法權の撤廢に關する空虛な宣言等々）。中國共産黨は是等の策略の危險性を過小評價してはならぬ。其の暴露は國民黨支配を更に一層掘り崩す爲の黨の義務的な任務であ

る。

三、支那に於ける革命運動の發展は不均等に進行してゐる。卽ち數千萬の人口を有する地域に於てソヴィエト權力が勝利を收めてゐるにも拘らず、革命的危機はまだ國の大部分に於ける大衆を國民黨及び帝國主義者の權力の顚覆の爲の直接の鬪爭に導かなかつた。「支那の決定的な部分へのソヴィエト運動のより以上の擴大を妨げてゐる最大の要素たるものは、統一戰線を成して支那國民の民族解放運動に反對してゐる國際帝國主義の勢力である。外國の帝國主義者は支那の勤勞者の革命運動との鬪爭に於て愈々益々大なる基本的勢力である。彼等は旣に支那の勤勞人民、其のソヴィエト及び紅軍に對して、何物に依つても隱蔽せられない干涉を行つてゐる。外國の帝國主義者は自己の軍艦と武裝兵力とに依つて支那の基本的なプロレタリア的中心地を占領し、鬪爭する大衆の革命的精力を國民黨と協力して鎖で縛り壓迫した。

革命運動を阻止する此の要素は、非ソヴィエト地域に於ける黨組織の弱さの故に、又此の結果として、大及び最大工業中心地に於ける勞働者の同盟罷業をも含めて、非ソヴィエト地域に於ける、勞働者及び農民の大衆的な革命的鬪爭に對する共產黨の不充分な指揮、斯る鬪爭の不充分な組織及び擴張の故に、プロレタリアートの鬪爭に對する戰鬪的精力と意志との成長にも拘らず、强化しつゝある。國の基本的工業中心地に於ける大衆的な反帝國主義運動の明かに不充分な今日の規模もまた、是と同じ原因に依つて規定せられる。今までは、大衆的勞働組合活動も、反帝國主義的鬪爭のより以上の發展及び指導の任務も、舊い黨及び勞働組合の指導部の側から殆ど全く閑却せられてゐたことが、夙に知られてゐる。正に非ソヴィエト地域に於ける我が黨の此の弱點の故に、ブルジョア的・地主的反革命は帝國主義者の軍事的干涉の援助を得て、都市に於ける勞働者運動、非ソヴィエト地域に於ける勞働者及び農民の大衆運動とソヴィエト地區に於ける勞農紅軍の鬪爭との提携を阻止することに成功してゐるのである。

四、然しながら、勞働者及び農民の運動の壓迫の爲に國民黨が帝國主義者の援助の下に極めて大なる兵力を集中してゐるにも拘らず、農民戰爭は、共產黨、紅軍及びソヴィエトを通じて益々組織的に實現せられるプロレタリア的指導の下に、益々新しい地方を摑みつゝある。ソヴィエト權力と紅軍との地域的基礎は擴大し

且强化しつゝある。今日の革命運動の力、規模及び大衆に對する影響は、國民の最下層が土地、米、八時間勞働日の問題を革命的な方法で解決し、下層自身が紅軍と自己のソヴィエト權力とを建設しつゝあることから生ずるのである。

全植民地世界を革命化しつゝある支那に於けるソヴィエト運動のより以上の發展は、ソヴィエト及び紅軍の地域的基礎の擴大及び强化と關聯してゐる。ブルジョア的・地主的反革命の全支配が、帝國主義と軍閥制度との力に依る勞働者及び農民の軍事的壓迫の下に著しい程度に維持せられて居り、大衆が少しでも抗議と鬪爭を試みやうとすれば、不可避的に全國民黨支配と衝突すると云ふ條件の下に於ては、共產主義者に依つて指導せられる勞農紅軍は、自然と、勞働者及び農民の革命的力の集合結成及び組織の中心、全革命運動の昂揚の最も重要な槓杆、支那に於ける革命的危機の最高の表現及び國民黨の顚覆の爲の鬪爭の基本的形態、革命の更に一層强力な發展を眞實に確保する力となるであらう。

五、黨の全組織の注意は、ソヴィエト地區の一層大なる擴大に、勞働者運動と農民運動との間に於ける戰鬪的な廣汎な提携の確立に、非ソヴィエト地域に於ける革命的鬪爭と勞農紅軍の行動との呼應に向けられなければならぬ。黨は非ソヴィエト地區に於てソヴィエト政府及び紅軍の行動を廣く知らしめなければならぬ。革命の今後の戰勝的な發展と革命に於けるプロレタリアートのヘゲモニーの確保との目的を以て、中國共產黨は何より先づ、次の諸任務を解決しなければならぬ。(一)地域的基礎の確乎たる獲得と其のより大なる擴大との基礎の上に於ける紅軍の建設及び强化。(二)中央ソヴィエト政府の組織、自己の支配する地域に於て、反帝國主義革命と農業革命との基本的標語を徹底的に實現するソヴィエト權力の確立。(三)革命的勞働組合運動の强化と擴大とに關する最も精力的な活動の下に、非ソヴィエト地域に於ける革命的大衆鬪爭、農民運動及び特に勞働者の同盟罷業の展開。總て是等の三つの任務は、反帝國主義的鬪爭の更に一層大なる强化及び擴大と結びつけられなければならぬ。是は國民黨の支配地區に於ける黨の注意の中心點であらねばならぬ。それと同時に、黨はソヴィエト地區に於て農民大衆の農業運動を反帝國主義革命の水準に高めなければならぬ。是等の基本的任務の成功的な遂行は、支那に

於けるソヴィエト運動の勝利の擔保である。

現段階に於ける革命運動の首領としての中國共産黨

六、共産黨に依つて指導せられるソヴィエト運動の成功の結果は、爾餘の支那に於ても、共産黨の標語と觀念との影響が、勞働者、農民及び軍閥軍の兵士の益々廣汎な層の中に大なる自然發生的力を以て擴大することになる。國內に於ける階級鬪爭の全行程は數百萬の勤勞者大衆を積極的な革命的鬪爭に奮起せしめる。此の點に黨の力と革命の勝利の擔保との主要な源泉がある。

然し中國共産黨は今日まで未だ大衆の中に於ける自己の活動を、革命的鬪爭の普及と成長とに依つて提起せられる要求に適應せしめることに成功しなかつた。それは大衆の中に於ける自己の影響を極めて微弱にしか組織的に固めてゐない。黨はまだ廣汎な大衆と實際的な日常の連絡を組織すること、勞働者の罷業鬪爭の指導權を獲得すること、プロレタリアートの大衆的組織を作り出すこと、及び全支那に於て農民運動の先頭に立つことに成功しなかつた。國內に於ける革命的危機にも拘らず、黨が非ソヴィエト地域に於て國民黨の將軍の遠征に對して、ソヴィエト地區の擁護の爲の强力な運動を起すことが出來なかつた主要な原因は、實に此の點にあるのである。

國內に革命的危機が存在し、而して多くの地方に於てソヴィエト權力が勝利を遂げた運動の現段階に於ては、鬪爭の結果は何よりも先づ且直接に、共産黨自體に、其の政治的方針、其の實際的活動の正しさに、廣汎な大衆の中に於ける其の影響の程度に、其の觀念的・政治的統一と其の全黨員の行動及び規律の統一にかゝつてゐる。

七、コミンテルン執行委員會幹部會は、一九三〇年夏、革命運動が中國共産黨の前にブルジョア的・地主的反動に對する攻撃のより大なる發展の新しい諸任務と地域的なソヴィエトの基礎の創設、赤色パルチザン部隊の正規の紅軍への轉化、中央ソヴィエト政府の樹立、全國に於ける勞働者及び農民の大衆鬪爭の全面的展開に基く帝國主義との決定的鬪爭の準備を提起した時に、李立三を先頭とする中國共産黨の指導部の一部がレーニン主義的方針に反ボリシェヴィキー的及び半トロツキスト的方針を對立せしめたことを確認する。此の方針はボリシェヴィキーの政策をば冒險主義的

一揆主義と同時に大衆の中に於ける活動の拒否、革命的任務の解決の爲の實際的鬪爭の拒否を以て、すりかへることを意味する（土地問題の解決に於ける右翼日和見主義、ソヴィエト地區にソフホーズやコルホーズを植へ附けやうとする極左的な企圖及び支那の爾餘の地區に於ける勞働組合や共産青年同盟を清算しやうとする試み）。

コミンテルン執行委員會幹部會は、左傾的、半トロツキスト的文句で隱蔽しながら、ソヴィエトの地域的基礎の建設、紅軍の强化及びソヴィエト政府組織の爲の鬪爭の任務を拒否し、大衆の組織と勞働者階級の日常の要求の爲の鬪爭の意義を過小評價し、支那革命のブルジョア民主主義的段階を拒否し、而して同時に實踐に於て右翼日和見主義を實行した處の、李立三の反レーニン主義的立場と方針に對する徹底的鬪爭を完全に承認する。

八、コミンテルン執行委員會幹部會は、中國共産黨中央委員會第三回總會が李立三の誤謬と半トロツキスト的方針との眞實の本質を黨の前に暴露しなかつたこと、李立三の反レーニン主義的概念の克服が此の方面に於て、此の段階に於ける主要な危險性としての右翼日和見主義に對する鬪爭の前提及び特殊形態であるのを理解しなかつたことを確認する。第三回總會は李立三の反レーニン主義的政治方針に對して曖昧な和解的立場を取り、而して此のことは右翼清算主義者及び分裂主義者、反革命的陳獨秀主義の手先（羅章龍）に、中國共産黨の方針に對する攻撃に移ることを容易ならしめた。同時に黨自體の內部から、當時の指導部の一部の動搖を克服しやうとする健全な努力が發生したことを、滿足を以て指摘しなければならぬ。

九、コミンテルン執行委員會幹部會は、中國共産黨中央委員會第四回擴大總會が二つの戰線に於ける鬪爭に於て、李立三的誤謬と、是に對立する和解主義に對する一部の勞働者幹部の不滿を反黨的目的に利用しやうとした右翼分裂主義者と清算主義者との攻撃を退けて、李立三の半トロツキスト的立場と彼に對する和解主義に決定的打撃を與へたことを、滿足を以て確認する。黨のボリシェヴィキー化の仕事に於て重大な步みをなし、政治的方針を訂正し且黨指導部を更新した第四回總會は、それと共に黨の一切の活動に於て、黨の當面する緊急の任務の實踐的及び徹底的解決の方向への轉換に基礎を置いた。コミンテルン執行委員會幹部

會は、黨の方針の實現と其の隊伍の固めを確保する目的を以て、第四回總會中にも其の直後にも黨に依つて實行せられた組織的諸方策（政治局の改選、反黨的パンフレットの出版及び分裂主義的活動の廉で羅章龍と彼の二人の支持者を黨から除名すること）の必要を確認する。レ

一〇、李立三の支持者の黨への降伏は「左翼」日和見主義との今後の鬪爭の任務を容易ならしめる。然し此の鬪爭は弱められてはならぬ。それと同時に、主要な危險性たる日和見主義と是への和解主義に對して決定的鬪爭を行はなければならぬ。

右翼日和見主義は革命の力に對する不信を撒き散らし且革命運動の發展を阻害する。それは勞働者運動の水準を低下せしめ、而してソヴィエト運動の擁護及び支持へ大衆を動員する代りに勞働者の鬪爭と組織とを國民黨的合法性に從屬せしめやうとする。右翼日和見主義は、黨の基本的標語、卽ち農業革命及び反帝國主義革命への自己の淸算派的態度に依つて、消極性と待受主義との自己の戰術に依つて非ソヴィエト地域に於ける農民運動及び反帝國主義運動の展開を妨害する。然るにソヴィエト地區に於ては右翼日和見主義は搾取者

的要素と提携し、勞働者の生活水準の向上の爲の彼等の鬪爭を妨害し、而して本質に於て農業問題の富農的解決を主張する。紅軍の建設、其の中に於ける黨指導の强化の任務を右翼が拒否し又は輕視すること、ソヴィエト地區に於ける地方主義と地方的傾向との支持、ソヴィエト運動の擴大の爲の鬪爭の拒否又は過小評價——總て是等のこと及び右翼日和見主義の此の種の現れは專ら搾取者階級の爲に行動することである。右翼日和見主義者は勞働者をソヴィエトや紅軍に對する指導から引離し、國民大衆の革命的創造力を束縛し、ソヴィエト黨機構を官僚化し、「AB同盟」型の反革命的組織に對する黨の鬪爭を困難ならしめる。右翼日和見主義の政策及び戰術は革命の敗北に導く。右翼日和見主義が、必ずしも黨の方針に反對して展開せられた政治綱領を以て行動しないといふ事實は、其の危險性を減少せしめないで、增大せしめる。蓋し是は大衆の前に於ける右翼日和見主義暴露を困難ならしめ且實際的活動に於ける其の普及を促進するからである。中國共產黨は右翼日和見主義の見解の全體の暴露を廣汎に展開し、理論に於ても實踐に於ても、是に對して非和解的な鬪爭を行はなければならぬ。

一一、黨と大衆との結合、大衆の共產黨に對する信賴は、革命の勝利の決定的條件である。それ故黨は革命に於ける大衆の役割の過小評價と輕視に對して、プロレタリアートの勢力と戰鬪能力に對する不信に對して、勞働者及び農民の廣汎な大衆の革命的創造力の輕視に對して、形態は異なつても、右翼日和見主義にも「左翼」日和見主義にも特徵的な黨の役割の過小評價に對して、特に決定的に鬪爭しなければならぬ。たゞ、二つの戰線に於ける鬪爭及び主要な危險性としての右翼日和見主義に對する鬪爭の中にのみ、黨のレーニン主義的方針の實行が確保せられ得るのである。

それと同時に黨は今や一束になつた陳獨秀派及びトロツキストのグループに對する其の鬪爭を强化しなければならぬ。最近黨は是等の反革命的グループに對する自己の觀念的及び組織的鬪爭を弱めたが、一方是等は著しく其の活動を積極化してゐるのである。黨及び紅軍の隊伍の分解に關する是等の新しい策略を考慮して、中國共產黨は新聞に於て、自己の組織に於て、而してまた勞働者及び農民大衆の中で、國民黨及び支那反革命の是等の從僕に對する決定的鬪爭をあらゆる方法で强化しなければならぬ。

一二、プロレタリアートのヘゲモニーと革命の勝利的發展とは、中國共產黨が、自己の政治的方針に依つてのみならず、自己の構成及び其の全指導機關に於ける勞働者の役割に依つてプロレタリア黨となるといふ條件の下に於てのみ、確保せられ得る。黨への勞働者の最良の部分の恐るゝことなき、組織的な、それと同時に緊急の徵募が黨の一切の細胞及び委員會の最も重要な政治的任務とならなければならぬ。中國共產黨は自己の下級組織を此の事及び最大の仕事の爲に諄々と說得しなければならぬ。國の一切の大中心地に於ける黨組織が復興せられ且强化せられなければならぬ。黨は、屢々此の數年間指導なく、黨組織との接觸なくして、鬪爭を繼續してゐる諸企業に於ける黨員グループとの失はれた連絡を最短期間に復興しなければならぬ。黨中央委員會は一切の黨生活に於ける工場細胞の役割をあらゆる方法で高めなければならぬ。黨委員會は工場細胞の聲に特別な注意を以て耳を傾けなければならぬ。黨の最良の役員が工場細胞に屬せしめられ、而して彼等の活動は一切の黨組織にとつて模範的なものとならなければならぬ。最も近い將來に、細胞が一切の地方的問題に應答し、勞働者の鬪爭を集結し且、

組織する處の企業に於ける指導的中心に事實上なることが達成せられなければならぬ。

黨は黨勢力が非合目的に利用せられてゐる今日の實踐を終熄せしめなければならぬ。卽ち今日は黨勢力の著しい部分が上部諸機構に坐り込み、是等の黨員は大衆及び大衆鬪爭と結びつかないで、黨の若干の重荷となつてゐるのである。種々の機關や機構に存在する役員の構成をば、彼等の最大多數を下部の活動に、而して第一に企業に向ける目的を以て、改正しなければならぬ。黨にとつて幹部が極めて必要なことを考慮して、中國共產黨は、特に勞働者及び貧農の中からの新しい活動分子の組織的な拔擢、一切の自己の宣傳活動及び黨內敎育活動の强化と改善、特にソヴィエト區域に於ける黨學校の廣汎な網の創造に眞面目な注意を拂はなければならぬ。

ソヴィエト區域に於ける黨建設の諸問題は極めて急速な解決を得なければならぬ。指導的中心及びソヴィエト地區に於ける黨組織の强化の爲にあらゆる方策が取られなければならぬ。紅軍の總ての部分に於ける黨の核心と黨の指導とが最大限に强化せられなければならぬ。ソヴィエト地區に於ける黨組織の社會的構成の

組織的改善と一切の大衆組織に於けるフラクション活動の强化とが達成せられなければならぬ。一切の取入り分子及び異分子を黨の隊伍から組織的且無容赦に肅清しなければならぬ。此の目的を以てソヴィエト地區に於て黨の統制委員會を作らねばならぬ。

條件が許す範圍に於て黨內民主主義と自己批判とを發展せしめなければならぬ。特にソヴィエト地區に於ては自己批判は黨指導の一切の環を强化する最も重要な手段及び二つの戰線、第一に實際的活動に於ける日和見主義との鬪爭の道具となり得るし又ならなければならぬ。

非ソヴィエト地域に於ける大衆的活動の展開

一三、是を達成する爲に黨が自己の全力を向けなければならない非ソヴィエト地域に於ける黨の活動の當面の目的は、ソヴィエト地區の擁護の爲の强力な大衆運動の組織と勞農紅軍に對する國民黨の將軍の遠征の粉碎へのあらゆる手段を盡しての援助である。大衆の組織、ソヴィエト運動の擁護の爲の大衆的カムパニヤと結合した彼等の日常鬪爭の指導は、ソヴィエト地區の積極的支持へ工業中心地の勞働者大衆を引上げる爲に黨が摑まなければならない基本的な環である。

一四、勞働者階級の戰鬪能力を高める決定的條件は、プロレタリアートの大衆的組織の復興、强化及び擴大である。大衆の不滿が激烈であり且增大しつゝある今日の條件の下に於ては、勞働者大衆の中に、特に企業內に組織を持込むことは、プロレタリアートの革命的鬪爭を疑ひもなく屢々强化する。主として上海の組織に於ける、中國共產黨第四回總會以後に於ける黨の大衆的活動に於ける最初の躍進は、既に若干の成功に導き、勞働者の革命運動の巨大な可能性を證明してゐる。黨は諸企業に於ける下部組織、卽ち工場の勞働組合グループ、工場代表者會議、選出工場委員會、第一に最も重要な生產部門、大工業中心地、大工場、鑛山、港、鐵道、兵器廠等に於けるそれらの最も廣汎な網の創造を基礎にして、赤色勞働組合を復興し且强化しなければならぬ。下部勞働組合組織の强化を基礎にして個々の產業部門別に勞働組合を復興しなければならぬ。勞働組合は各企業に於て、非黨員勞働者會議に於て、個々の產業部門の勞働者の日常の要求の綱領を勞働者大衆の審議にかけなければならぬ。此の審議の結果の愼重な考慮を基礎にして、勞働組合は部分的要求の決定的綱領を作成し、それを自己の大衆的活動及び勞働者の鬪爭の展開の基礎に置くべきである。

一五、此の要求綱領は黃色勞働組合の指導部及び指導者の裏切者的役割や國民黨の勞働法を暴露する道具とならなければならぬ。黃色勞働組合に於ける活動の過小評價には重大な危險性がある。黃色勞働組合の組合員大衆の中には、國民黨、特に其の勞働組合の「再組織」の指令に對する激烈な不滿が增大しつゝある。黨は國民黨に依る勞働組合の「再組織」を勞働組合員大衆の急進化に依つて喚起され且勞働者階級の更により大なる壓迫を目的とする方策として暴露しなければならぬ。言葉の上では此の「再組織」に反對しながら、實際には其の案內者たる、黃色勞働組合の指導者の二重の演技を組織的に具體的な事實に依つて暴露することが、特に重要である。以前の黃色組合を決して擁護することなしに、共產主義者は、實行される改組を國民黨に對する勞働者の鬪爭の激化及び赤色勞働組合の强化の爲に利用しなければならぬ。赤色勞働組合の活動の强化と特に其の同盟罷業運動の指導とは、黃色組合に於ける大衆的組合反對派の形成及び下からの統一戰線の戰術を實行する爲に有利な條件を作り出すであらう。共產主義者と赤色勞働組合とは、再組織せられ

た勞働組合をも含めて、黄色の、ギルド的な、國民黨の勞働組合の大衆の中で、是等の中で組合反對派の形成の爲に、精力的な活動を行ひ、而して是が爲に大衆的活動のあらゆる最小の可能性をも利用し、特に黄色勞働組合の倶樂部を利用しなければならぬ。

それと同時に黨組織は、合法的可能性と當該地點の諸組織（夜學校、スポーツ團體等々）の利用に就て開始せられた活動を繼續し、是等の强化に依つて勞働者大衆との自己の連絡を達成しなければならぬ。

一六、現時に於ける勞働者運動の情勢の特殊性は、罷業鬪爭の著しい成長及び激化にも拘らず、同盟罷業の壓倒的多數が自然發生的に發生して、大衆の中に於ける黨組織の活動が極めて微弱な結果、革命的指導が行はれてゐないことにある。それと同時に是等の同盟罷業の多數及び益々增加する多數は逆襲的性質を帶びてゐる。此のことは黨に依る罷業鬪爭の指導と擴大化に於ける非常に有利な見透しを規定するのである。

此處から此の方面に於ける此の瞬間の主要な任務が生ずる——卽ち是非とも、黨と大衆との連絡を强化し、勞働者階級の罷業鬪爭を準備し、組織し且指揮することであつて、是は疑ひもなく近い將來に、罷業運動の規模の擴大と一層攻擊的な鬪爭形態とに導くのである。革命的勞働組合運動の樞軸的任務は、個々の最も重要な工業中心地又は多くの決定的な工業部門に於ける經濟鬪爭の組織と準備である。上海に於ける製絲工の最近の同盟罷業は既に現在全工業部門の勞働者を鬪爭に立ち上らしめる可能性を實踐に依つて證明した。然しそれと同時に同じ同盟罷業は、此の種の運動の準備活動に於ける黨の極端な弱さ竝に既に勃發した鬪爭に於て自己の影響を强化する能力がないことを證明してゐる。それ故革命的罷業鬪爭を準備し、組織し且實行することを學ぶ任務は、黨にとつて今日第一義的意義を持つてゐる。經濟的罷業鬪爭の意義のあらゆる過小評價は淸算しなければならぬ。「同盟罷業は革命の學校だ」（レーニン）。黨に依る經濟鬪爭の强力な展開及び組織は最も遲れた勞働者層を革命運動に引入れる。個々の工業部門に於ける同盟罷業（經濟的要求と政治的要求との結合の下に於ける）自體が、ソヴィエト地區を力强く支持するところのものである。黨の正しい政策の下に、勞働者の氣分の冷靜な革命的考慮の下に、戰鬪の擴大とプロレタリアートの組織とに關する共產主義者の獻身的な活動の條件の下に、斯る罷業鬪爭は短期間に、ソヴィエト擁護の直接的標語の下に、國民黨に對する强力な政治運動に轉化し、而してそれは政治的總罷業の實行の任務を日程に上せるであらう。

一七、現在に於ける日和見主義の最も危險な現れは、日々の經濟的必要の爲の鬪爭とソヴィエト運動の擁護への大衆の動員に關する不斷の日常の大衆的活動とを結合することを欲せず且其の能力がないことである。共產主義者は大衆の不滿のあらゆる現れ、彼等のあらゆる攻勢を、全支那の勤勞者大衆の解放の爲の紅軍とソヴィエトとの鬪爭の意義及びソヴィエト地域に於ける勞働者、農民の革命的成果を說明することを其の內容とする、徹底的且巧妙な煽動の爲に利用する義務を持つてゐる。黨は大衆の日々の必要の爲の鬪爭と密接に結びつきつゝ、諸企業にソヴィエト運動擁護委員會網を作ること、義勇兵を紅軍へ送ること、紅軍を支持する資金を募集することから、大衆的、政治的罷業、革命的示威運動、軍隊、軍需品の輸送停止等々に至るまで、支那に於けるソヴィエト運動の大衆的擁護及び支持のカムパニヤを組織する義務を持つてゐる。

是と並んで黨は、黨に依つて非常に遲れて開始せられた失業者の間に於ける組織的活動を繼續しなければならぬ。特に作成せられた標語の周圍に彼等を組織することに依つて、黨は彼等の鬪爭を支那のプロレタリアートと農民大衆との一般的鬪爭に合體せしめなければならぬ。

「一八、それと同時に黨は反帝國主義運動のより以上の擴大と其の中に於ける自己の指導の確保との爲にあらゆる手段を取らなければならぬ。黨は帝國主義的壓迫の一切の現れ、支那の反動に對するソヴィエトの戰爭への國際帝國主義の干涉のあらゆる事實、勤勞者大衆に對する帝國主義の側からのあらゆる暴力行爲を利用し、其の帝國主義的壓迫者に對する支那國民の憎惡を煽動し且深刻化し、而して彼等との決定的鬪爭に大衆を組織しなければならぬ。黨は自己の一切の反帝國主義的な口頭及び印刷物での煽動及び宣傳を强化し、大衆的組織としての反帝國主義同盟の活動を展開し、帝國主義的壓迫に對する大衆の憤激が自然發生的に勃發する場合には、行動委員會を作らなければならぬ。」

一九、黨は一層眞面目な注意を婦人運動に向けなければならぬ。此の方面に於ける自己の活動を婦人勞働者の爲の特殊な部分的要求の作成、特殊な合法的な活

動形態の利用、企業代表者會議の經驗の擴大、失業者及び軍閥の軍隊に屬する兵士の妻の特殊な集會の開催等の線に沿ふて强化することに依つて、黨は勤勞婦人を革命的解放闘爭の一般的流れに組織し且引入れなければならぬ。

二〇、黨は支那共產青年同盟の指導と援助を眞面目に强化しなければならぬ。支那共產青年同盟は、李立三的指導部が獨立的組織としての同盟の清算を實行しやうと試みた時、苦難時代を通過した。勞働者農民青年の首領たる支那共產青年同盟は、支那革命の一切の發展と闘爭に於て、ソヴィエト權力の爲の闘爭に於て、農業革命の實行に於て、若き勞働者及び農民の巨大な層の黨の側への獲得に於て、紅軍の强化に於て、其の新しき部隊の創設等に於て、極めて大なる役割を演ずべき使命を帶びてゐる。支那共產青年同盟は、李立三主義と自己の指導部に於ける是への和解主義とを克服して、それに依つて自己の今後の成長と發展との爲の前提を作り出した。それは右翼に對する闘爭に於てコミンテルンの方針を擁護し、「左翼的」誤謬と李立三主義の遺物とに對する闘爭を繼續し、二つの戰線に於ける闘爭を我が物にし、自己の實際的活動に於て最初の重要な成功を達成した（紅軍への勞働者青年の動員、新工場細胞、個々の組織の成長、勞働者幹部の養成、軍閥の軍隊に於ける活動の開始、青年の個々の同盟罷業の指導其の他）。支那共產青年同盟の基本的任務は、勞働者青年の經濟的及び政治的闘爭の指導と組織、ソヴィエト運動、紅軍の强化へのあらゆる方法に依る援助及び參加、支那共產青年同盟自體のより以上の强化及び其の社會的構成の改善である。其の中央委員會第四回總會に依つて支那共產青年同盟の前に提起せられた任務の解決を基礎として、支那共產青年同盟の思想的成長と强化が行はれなければならぬ。

二一、それと同時に黨は國民黨の地域に於て農民運動を最も積極的に展開し、農民委員會を設立し、日常の要求（租稅、地代、軍閥の誅求等に對する）の爲の農民の自然發生的闘爭を組織することに於て革命的活動の立場を達成し、それを革命化し且それを地主の土地の占領と分配の爲の闘爭に轉化しなければならぬ。一切の國民黨の地域に於ける農民のパルチザン運動の積極的な組織と展開は、黨に依つて第一に、ソヴィエトに對して戰爭を行ふ國民黨軍の背後を弱めること

に、其の連絡線の切斷に、行李や武器輸送の奪取等々に向けられなければならぬ。國民黨の支那に於ける農業運動とパルチザン戰爭はソヴィエト權力の益々新しい根據地の形成と、現存するソヴィエト根據地の擴大の爲に行はれなければならぬ。

二二、黨は軍閥の軍隊、第一にソヴィエト及び紅軍に對して作戰をなしつゝある軍隊の崩壞の爲の活動を、あらゆる方法に依つて展開する義務を持つてゐる。客觀的情勢は、此の方面に於ける黨の活動にとつて、以前決してなかつた程に好都合である。土地の爲の闘爭は、軍閥の軍隊を著しい程度に補充しつゝある窮民化せられた農民の大衆を、勞農革命の味方たらしめる。然るに共產主義者は敵軍の此の崩壞過程をソヴィエト地區に對する將軍連の攻擊を粉碎する爲に充分利用しなかつた。李立三主義の一揆主義的誤謬を根絶しなければならぬ。然し此のことは國民黨軍兵士大衆の獲得闘爭の拒否、兵士の一揆の利用、組織及び擴大の拒否に導いてはならぬ。軍閥の部隊の兵士の部分的な經濟的要求を利用することを拒否する傾向は誤つてゐる。敵の兵士が、都市及び農村の階級落伍者的要素から專ら成るものと評價することは、有害である。共產黨は捕虜になつた軍閥兵士の爲の短期間の講習會の開催といふ（毛澤東の）積極的經驗を普及せしめ、共產主義者グループの創設の活動の遂行の爲に、敵の軍隊の崩壞の爲に、最も優秀な進步的勞働者及びパルチザンを軍閥の軍隊へ派遣する最初の工作を繼續し、國民黨の軍隊の中に發生するあらゆる軋轢を支持し、煽動する義務を持つてゐる。ソヴィエト地區のより以上の擴大、將介石の遠征の挫折は、軍閥の軍隊の崩壞、農業革命及びソヴィエトの側への兵士大衆の移行に向けられた、共產主義者及び共產主義者に依つて指導せられるパルチザン等々の獻身的な活動に著しく依存するであらう。

二三、非ソヴィエト地域の勞働者及び農民大衆を紅軍及びソヴィエトの積極的な支持に動員する目的で、又農業革命の全面的な展開の目的で、中央ソヴィエト政府は支那の勤勞者及び被搾取大衆の闘爭の綱領——ソヴィエト權力の目的及び任務、ソヴィエト地區で實現されてゐる勞働者、農民、都市貧民の獲得物（政治的、農業的及び勞働的立法、租稅政策等々）を宣言する農業革命及び反帝國主義革命の綱領を發表しなければならぬ。反帝國主義革命及び農業革命の此の

綱領は、國の總ての隅々に於ける、勞働者、農民、兵士及び都市の貧民の間に於ける支那の全領土の共産主義者、進歩的勞働者及び革命的農民の一切の活動の抹殺し難い構成部分及び樞軸とならなければならぬ。

ソヴィエト地域に於ける黨の任務とソヴィエト運動の見透し

二四、此の瞬間の最も重要な任務は、紅軍を強化すること、紅軍の總ての部分の行動の統一、勞働者及び農民の全大衆に依る其の戰鬪的支持を確保すること、國民黨の新しい攻撃を擊退すること、其の武裝勢力を粉碎し且崩壞せしめること、及びソヴィエト地區の擴大、全面的なソヴィエト地域の形成の目的を以て攻撃を開始することである。

此のことは次の任務の遂行の爲に黨から全力の緊張を要求する。

（イ）紅軍の戰鬪能力をあらゆる方法に依つて高めること。是が爲には其の政治教育活動を強化し、各々の紅軍兵士が殘らず勞働者と農民の革命の目的を知り且理解し、而して特に、紅軍の全員の軍事的規律を紅軍に於ける共産主義者の活動の強化に依つて鞏固にしなければならぬ。而して是は軍事的規律の模範とならなければならぬ。當にソヴィエト地區に於てのみならずまた非ソヴィエト地域に於ても、紅軍と勤勞者大衆との提携をあらゆる方法に依つて強化しなければならぬ。軍隊の隊伍に、勞働者、日傭人、苦力、貧農及び中農を引き入れると同時に、其の隊伍、第一に司令部から、明白に富農的及び劣紳的な要素を肅清しなければならぬ。赤色衞兵、青年衞兵及び赤色自衞隊を擴大強化し、是等の軍事的訓練及び政治教育を強化し、是等の中に黨及び共産青年同盟の核心を作らなければならぬ。共産青年同盟の援助に依つてソヴィエト地區の勞働者及び農民青年の一般的軍事教育を開始せよ。必要な彈力性を以て是等の大衆的な軍事組織と紅軍部隊との軍事行動の統一を組織し、而して是を革命的な勞働者及び農民より成る訓練せられた幹部を以て紅軍を急速に補充する貯水池たらしめよ。紅軍の社會構成の强化にとつて巨大な意義を有するものは、革命的大衆組織（勞働組合、貧農グループ等々）が自己の最優秀な成員を紅軍の隊伍へ組織的、自發的に派遣することである。黨、紅軍、ソヴィエト及び勞働組合は、

ソヴィエト地區の農民大衆に、彼等の獲得物の維持が唯ソヴィエト運動の擴大と全民族的規模に於けるソヴィエト權力の勝利との下に於てのみ可能であることを、組織的に且倦まず撓まず説明しなければならぬ。

（ロ）ソヴィエト根據地に隣接する國民黨の地區に於ける、勞働者及び農民の進出の强力な波と紅軍の鬪爭の大衆的支持とを組織しなければならぬ。紅軍、ソヴィエト及び勞働組合は是等の地區に勞働者及び農民出身の數千人の煽動者及び組織者を送り、而して彼等は、ソヴィエト革命の任務と目的、ソヴィエトが勞働者と農民に與へたもの、廣汎な宣傳を行ひ、國民黨の地域に於て、特に國民黨軍の背後に於て、農民運動とパルチザン戰爭とを組織しなければならぬ。是等の勞働者及び農民の全權委員は、勞働者や農民が自己の代議員や代辯者をソヴィエト地區へ選出し派遣する發起人とならなければならぬ。

（ハ）全ソヴィエト地域に於て農業革命の基本的標語を徹底的に實行し且實現せよ。

ソヴィエト權力の政策、ソヴィエト建設、紅軍の建設は、プロレタリアートのヘゲモニーと貧・中農層との同盟の强化、社會生活の一切の領域に於ける、ソヴィエトの指導下に於ける大衆の革命的自己活動の展開——「下層民の創造力を全面的に展開せよ」（レーニン）——自己の獨裁權力に依る革命の敵の壓迫を確保しなければならぬ。

二五、ソヴィエト民主主義を徹底的に實現しなければならぬ。卽ちソヴィエト大衆との眞實の不可分的連絡を保證し、ソヴィエト權力の全機關は完全に選擧され代議員は更迭されるやうにし（選擧人が自己の代議員を召還する權利）ソヴィエト及び各代議員は形式的ではなくて具體的に、組織的に活動報告をなし、責任を持つやうにならなければならない。ソヴィエトは勞働組合に立脚しなければならぬ。ソヴィエト附屬の又は農村の貧農グループの組織を促進し、ソヴィエトの周圍に日傭人・貧・中農層の全大衆を結成し、都市及び農村の富農其の他の搾取者階級の選擧權の剝奪を嚴重に實施し、ソヴィエトに粘着する富農的要素をソヴィエトから組織的に肅清しなければならぬ。

ソヴィエト國家は自己の權力の源泉として、下から及び地方に於ける國民大衆の直接のイニシァチヴを持たなければならぬ。ソヴィエトは此のイニシァチヴの

指導者及び組織者とならなければならぬ。多くのソヴィエト地區に於て行はれてゐる處の勞働者及び農民の革命的創造力の日和見主義的抑制、大衆の官僚的指導は極めて無容赦に阻止せられなければならぬ。都市ソヴィエトが選擧せられずに上級ソヴィエト政府が作られた長沙や、其の他のプロレタリア中心地（安遠、景德鎭等）の經驗は、革命に於ける勞働者階級と勞働者代表ソヴィエトの役割を引下げる極めて危險な傾向の存在を證明してゐる。此の傾向は勞働者と農民との同盟を分裂せしめ、ソヴィエトのプロレタリア的指導を弱める虞れがある。此の實踐は富農が農業革命の規模を局限することを助け、經濟狀態の困難（例へば工業商品と農業商品との間に於ける價格の乖離）を勞働者階級の犧牲に依つて解決しやうとする彼等の試みを助ける。

二六、最短期間に最も確實な地方に中央ソヴィエト政府が樹立せられなければならぬ。ソヴィエト政府は、反帝國主義的農業革命の綱領（國民黨權力の顚覆、農民の爲に地主の土地の沒收、ソヴィエト權力下に於ける國の完全な民族的獨立と統一の爲の帝國主義との徹底的鬪爭、帝國主義者の財產の沒收、八時間勞働日、社會立法と勞働者の生產管理）を宣言し且實行しなければならぬ。ソヴィエト政府は少數民族に對して彼等の完全な同權と彼等の自決權とを基礎にしてボリシェヴィキー的民族政策を實行しなければならぬ。

二七、黨及びソヴィエトは、日傭人、貧農及び中農自身が彼等自身の利益の爲に、農業問題を解決するやうに、あらゆる方策を取らなければならぬ。

地主、軍閥、劣紳、寺院及び高利貸の一切の土地は小地主及び「善良な」劣紳に對しても何等の例外なしに、彼等が自己の經營を營む土地も、賃貸する土地も舊土地所有者に對する何等の賠償なしに、卽時に沒收せられなければならぬ。沒收せられた土地は平等主義に基いて、ソヴィエトの指導の下に、貧農及び中農、日傭人、苦力及び赤軍兵士の中に分配せられなければならぬ。沒收せられた土地の舊所有者は少しの分前をも受取るべきではない。

沒收は、富裕な中農をも含めて、中農の自作地に及んではならぬ。其の代りに、以前富農に屬した土地は、貧農及び中農、日傭人、苦力及び紅軍兵士の爲に再分配せられなければならぬ。ソヴィエトに對する武裝暴動に引入れられなかつた富農には、優良地ではないが、勤勞的分け前だけが提供される。それも彼等が以前土地を耕作して居り、而して今後も自らそれを耕作するといふ條件で。

ソヴィエト運動の實踐は個々の地方に於ける農業問題の正しからざる解決、特に土地の一般的な平等分配の强制的實現の多くの實例を與へてゐる。如何なる場合にも共產主義者はそれを暴力で押付け、それを上から純粹に行政的方策で實行してはならぬ。土地の一般的な平等分配を、土地から一切の債務奴隷的關係、地主的所有の一切の痕跡及び結果を掃蕩する徹底的な方策、それに續く土地國有化への豫備方策と認めることに依つて、共產主義者は、交叉耕地、遠隔耕地の淸算、日傭人、貧農、中農の爲の土地の新分配等が農民經營の收益の向上を助長する限り、農民に對する其の利益を說明することが出來る。然しながら、共產主義者は、それが農民大衆自身のイニシァチヴに依つて取上げられないならば、平等分配の問題を提出すべきではない。ソヴィエトは此の方策を農民層及び日傭人層の基本的大衆の直接の積極的な支持の下に於てのみ、又貧農及び自身の土地を有する中農の平等分配政策贊成の下に於てのみ、實現しなければならぬ。此の場合、此の問題の實際的解決に於ても、是と關聯した總ての煽動に於ても、共產主義者は具體的な情勢から出發し、種々の地方に於ける社會經濟的條件の多樣性、特に、自己の小有產者的氣分と偏見とを保存してゐる獨立農民・有產者の著しい中間層が支那の多くの地方に存在することを考慮しなければならぬ。

プロレタリアートと貧・中農層との同盟に於ける勞働者階級の指導を確保しつゝ、此の同盟を强化する必要は、農業改革の一切の實踐に於て我が黨に對して、農民大衆自身の利益及び同意を考慮し且それから出發することを義務づける。特に地方の黨及びソヴィエト機關は、農民自身の希望に從つて（彼等の宗教的感情に觸れないで）、宗教團體、寺院等に屬する土地の問題を解決しなければならぬ。正に是と同樣に、日傭人、貧農及び中農の利益から出發して、地方の黨及びソヴィエト組織は各農村に於て、與へられた條件に於て最も有利な土地の分配の原則を具體的に選擇しなければならぬ。土地は家族の口數又は勞働能力を有する人數に依つて分配することが出來、又は口數及び勞働能力の混合的原則が適用せられ得る。此の場合、面積のみならず、分配せられる土地の質（收穫率）もまた考慮せ

られなければならぬ。

是と共に黨は、土地の國有化を布告しやうとする時期尚早な試みに對して警戒しなければならぬ。土地の國有化の實現は、基本的農民大衆に依る此の方策の支持の下に、國の決定的な地域に於てソヴィエト革命が勝利するといふ條件の下に於てのみ可能である。

二八、ソヴィエト權力の經濟政策は、勞農紅軍の勝利の確保と勞働者及び農民の經濟狀態の根本的改善に向けられなければならぬ。

ソヴィエトは一切の封建的、債務奴隷的關係を清算し且根絶しなければならぬ。高利貸に對する勤勞大衆の一切の債務を破棄し、債務奴隷的契約の復活と鬪爭せよ。階級的租稅政策を實施し、商品取引の發展を促進し、協同組合（第一に配給・販賣組合）の建設に全力的な協力を示し、手工業生產の發展を促進せよ。ソヴィエト政權は資本家のサボタージュ又は企業閉鎖に對して、沒收に至るまでの方策を取り、此の場合、一切の大中工業、商業及び銀行企業に於て設定せらるべき勞働者管理機關に立脚しなければならぬ。

ソヴィエト政權は八時間勞働日、同一の勞働に對する同一の賃銀、而してまた勞働立法（毎年の休暇、一週一日の休日、手工業に於ける兒童勞働を完全に廢止しまたソヴィエト地區の一切の工業企業に於て、其の布告に依つて兒童勞働を禁止して搾取から兒童を保護すること、病氣の時の治療と賃銀、不具者の扶助、企業家の負擔に依る保險、專ら勞働組合を通じての解雇と雇傭）を卽時に實施しなければならぬ。十四歲乃至十六歲の勞働青年の勞働日は四時間に、十六歲乃至十八歲のそれは六時間に制限せられなければならぬ。

日傭人の勞働時間の調節（若干の延長を許す方向への）は農業に於ける雇傭に關する特殊な臨時規則に於て留保せられなければならぬ。而して此の規則の中には、生產の季節的性質と中農的農業經營に依る農業勞働者のまばらな雇傭が規定せらるべきである。

ソヴィエト政權は失業者の援助と失業の減退に向けられた方策を卽時に取ると共に、其の完全な清算は、たゞ多年支那にソヴィエト制度が存在する場合に於てのみ、可能であることを明瞭に意識しなければならぬ。個人企業家に依る生產の閉鎖及び縮小を阻止しなければならぬ。其の條件が存在する處では、第一に紅軍に對する配給及び其の他の社會的需要の爲に活動するアルテーリに失業者を結合せよ。

二九、ソヴィエト地區に於ける黨の政策は、プルジョア民主主義的農業革命の遂行と其の社會主義革命への轉化の任務から出發しなければならぬ。

既に今日成長しつゝあるソヴィエト運動の進行中に勞働者や農民は支那が社會主義的發展の道へ移行する前提を作り出してゐる。

卽ち——農業革命から發生するところの、勞働者農民及び紅軍兵士代表者ソヴィエト竝に勞農紅軍部隊は、プロレタリアートと農民層との革命的獨裁の機關となつた。革命的な人民は、「被壓迫階級、勞働者及び農民の最も意識的な、最も精力的な進步的部分」に組織形態を與へ、「斯くして是に依つて被壓迫階級の前衞が是等の階級の尨大な全大衆を引上げ、敎育し、訓練し且自己の後に引率する處の機構」（レーニン）なる新國家機構を作り出す。

農業革命の進行中、貧・中農大衆はプロレタリアートの指導の下に、封建的土地所有の決定的、且徹底的淸算を志向しつゝ、ブルジョア的・地主的反革命の側に移つた富農層と不可避的に衝突する。また貧農の役割と其の組織性とが增大する（ソヴィエトの下に於ける貧農グループの創立等）。

農業革命は其の反帝國主義的性質を每日益々明瞭に示しつゝある。農業運動と反帝國主義運動との間の相互作用が益々大いに發展し且强化しつゝある。自身の鬪爭經驗に依つて、帝國主義からの國の解放なくしては農業革命の勝利が不可能なことを確信する農民層の基本的大衆が、プロレタリアートの指導の下に、帝國主義に對する鬪爭、支那に於ける其の政治的及び經濟的地位の淸算の爲の鬪爭に立ち上りつゝある。

革命運動に於けるプロレタリアートの指導的役割が强まりつゝある。プロレタリアートの黨、中國共產黨は、ソヴィエトの唯一の指導的な黨であり、勞農紅軍の組織者及び指導者であり、勞働者及び農民の唯一の首領である。プロレタリアートのヘゲモニーは國家權力の萠芽に於て固められてゐる。それはプロレタリアートの獨裁の萠芽及びそれへの過渡的段階である。

三〇、それと同時に、社會主義的發展行程への支那の移行にとつての諸前提の創造と確立の爲の鬪爭は、ソヴィエトと紅軍との地域的基礎のあらゆる方法に依る擴大、反革命の兵力に對する是等の勝利及び支那に於て決定的意義を有する地域に於けるソヴィエト政權

の樹立を要求する。

ソヴィエト革命のみが支那の國家的統一を實現することが出來る。勞働者運動と農民運動との結合、反革命的權力の顚覆及び大プロレタリア中心地に於けるソヴィエト政權の樹立は、勞働者及び農民の新しい巨大な層を革命に吸引し、プロレタリアートのヘゲモニーを屢々强化し（共產黨の社會的構成を根本的に改善し、プロレタリアートの大衆をソヴィエトの直接の建設に吸引し、ソヴィエト及び紅軍の爲に多くの指導的なプロレタリア幹部を作り出し、運動を集中化することに依つて）、是に依つて中央ソヴィエト政府に眞に全支那的な、全民族的な力と意義とを賦與する。

支那の領土のかなり大部分に於ける封建的、軍閥的細分化と地主的土地所有の淸算、其處に於ける統一ソヴィエト國家の建設は、プロレタリアートの爲に階級的勢力の相互關係の變化を促進するであらう。帝國主義的干涉に對する民族解放戰爭に於て、勞働者階級の周圍に、たゞ農民のみならずまた都市小ブルジョアジーの廣汎な層を結成することは、プロレタリアート—帝國主義に對する鬪爭に於て最後まで徹底的な、此の唯一の階級——をば支那人民の眞に一般に認められた首領たらしめるであらう。

それと共に、支那プロレタリアートの國際的結合、世界プロレタリア運動との其の戰鬪的結合、支那の勞働者及び農民と勝利せる社會主義の國との結合が擴大せられる。ソヴィエト聯邦の諸民族の經驗、實例及び援助と全國際プロレタリアートの鬪爭とはそれでまた支那プロレタリアートの立場を鞏固ならしめるものであり、社會主義的發展行程への支那の來るべき移行への決定的要因である。

斯くして農業革命及び反帝國主義革命の進行中に農民層に對するプロレタリアートの單に觀念的のみならず、國家的なヘゲモニーが形成せられ且成長するであらう。支那に於て鞏固なるソヴィエトは、共產主義者の指導の下に、ブルジョア民主主義革命の任務の解決を最後まで導き得るのみならず、また今後プロレタリア獨裁へ、社會主義の爲の直接の鬪爭への移行を確保し得る權力となるであらう。

三一、支那の民族的統一の爲の、地主的土地所有と帝國主義的奴隷制度の淸算の爲のソヴィエトの鬪爭の利益は、革命の進行中にソヴィエト權力に對して、一切の外國人企業の徹底的な國有化のみならず、また、

第一に全國民的意義を有する土着資本企業（銀行、鐵道、軍事企業、海上及び河川運輸、發電所其の他の公營企業等）の沒收とそれに續く國有化を指令する。總て是等のものは土地、水路及び灌漑設備の國有化と並んで社會主義の爲の、其の今後の鬪爭に於てプロレタリアートの立場を非常に强めるであらう。

支那ブルジョアジーのサボタージュと積極的な反革命的活動、地主、軍閥及び帝國主義者の管理に依つて齎された經濟的混亂、堪え難き窮乏から出口を見出さうとする大衆の志向及び、特に帝國主義者及びブルジョア的・地主的ブロックに對する人民の戰爭に於ける勝利の確保の任務等々は、ソヴィエトが一方では、支那ブルジョアジーの經濟的武裝解除の道を更に一層前進すること、他方では、國民經濟の國家的統制、及び次いで其の計畫化の方向に進む個々の方策を實行することを必要ならしめるであらう。

是等の個々の方策は農業革命及び反帝國主義革命の獲得物の維持、確保の成熟せる任務、此の革命を最後まで導く任務から生ずるものでなければならない。是は勤勞者及び被搾取者の極めて廣汎な大衆の必要から生ずるものでなければならず、而して特に重要なことであるが、是等の方策の必要は彼等に依つて意識されなければならぬ。

此の場合特に注意しなければならないことは、農業革命の結果、單純商品（農民）經濟の役割が更に一層增大し、基本的農民大衆の爲の封建的土地所有の革命的淸算の後に於ても（土地の平等分配及び國有化の後に於てもなほ）、資本主義がより以上の成長への若干の傾向を疑ひもなく表現し、生產力の低い水準の故にプロレタリアートが比較的少數である處の、小規模及び最小規模商品經濟の國支那に於ては、轉化期（次いで社會主義建設期もまた）が、一層發達した資本主義の國と比較して相對的に、一層長いであらうといふことである。

三二、プロレタリアートと農民層との二階級の獨裁からプロレタリアートの獨裁への、革命の社會主義的段階への直接的移行は、支那の決定的な部分に於ける農業革命及び反帝國主義革命の勝利及び徹底的遂行の下に於てのみ中心的任務となり、而して此のことはプロレタリアートの國家的ヘゲモニーを大いに强化し且彼等の有利となる樣に力の相互關係の必然的な變動を作り出すであらう。

プロレタリアート（日傭人層をも含めて）の組織性と意識性のあらゆる方法に依る向上、勞働者階級と其の黨との周圍に於ける貧農の結成、中農層との緊密な同盟の強化と深化を基礎にして、ブルジョア民主主義革命時代に成立したソヴィエトは、プロレタリア獨裁の機關に轉化するであらう。プロレタリアートの獨裁を樹立する具體的な方法は豫見することが不可能である。

非資本主義的な、卽ち社會主義的な發展行程の爲の鬪爭の總ての段階に於ける黨及びソヴィエト權力の政策の指導的原則は、勞働者階級と貧・中農層との同盟の强化でなければならず、而して此の場合、最初は農業革命及び反帝國主義革命の勝利の爲に、次いで、ブルジョア民主主義革命の任務の解決の程度及び進行につれて——資本主義の完全な絶滅と農民層の社會主義的再敎育、組織的說得・實例・經濟上の組織的援助の方策に依る農民層の遲れた個人經營の社會主義的基礎（協同組合化と集團化）に於ける改造の爲に、此の同盟に於て、プロレタリアートの指導的役割が獲得せられ且强化せられなければならぬ。

プロレタリアートと貧・中農層との緊密な同盟の下に、勝利せるプロレタリアートの國の直接の援助の下に——而して此のことは、支那に於ける成功的な社會主義建設の必要條件であり、國の社會主義的工業化及び支那の農業の集團化の促進の決定的條件である——支那に於ける社會主義の勝利は確保せられるであらう。

三三、資本主義諸國のコミンテルン支部が、今日まで支那に於けるソヴィエト革命の無條件的支持と云ふ意味では、決して自己の責任を遂行してゐないことを確認して、「コミンテルン執行委員會幹部會はコミンテルンの全支部に對し、支那ソヴィエトの支持の爲に最も廣汎な大衆的カムパニヤを行ひ、あらゆる方法に依つて（軍隊の中に於ける革命的鬪爭の組織をも含めて）、帝國主義者に依る支那反革命の財政的及び軍事的支持に反對し、支那から外國の軍隊を撤退させる爲に、反革命的干涉に對する鬪爭を行ふ義務を課する。

支那ソヴィエトの事業は總ての國際プロレタリアートの事業である。

一六　日本の滿洲占領に對して

十月革命第十四周年に寄するコミンテルン執行委員會の檄から、一九三一年十一月六日。

恐慌からの出口を求めて帝國主義者は事實上既に東洋に於て戰爭を開始した。フランスの帝國主義者は、平和に關するブリアンの華麗な演說に依つて大衆を痲醉せしめつゝ、日本の滿洲占領を祝福した。ジュネーヴに於て平和主義的喜劇を演じつゝ、獲物の分配に就て日本と協議した後、滿洲には「何等の戰爭も存在しない」と全世界を說得することに依つて、イギリスとフランスとに依つて率ゐられる國際聯盟は、支那の分配を組織しつゝある。それは支那を全東洋に於ける軍事的强奪の足場、及びソヴィエト聯邦に對する來るべき戰爭の多くの足場の一つに轉化しやうと欲してゐる。アメリカ帝國主義は獲物の分け前を得やうと執拗に努力してゐる。帝國主義者の從僕であり、帝國主義者の爲に反日示威運動を射擊しつゝある國民黨と蔣介石とは、支那の獨立を擁護することが出來ないし又しないであらう。

滿洲の占領は、蔣介石と國民黨に對する戰爭ではなくて支那の勤勞者大衆及び支那革命に對する戰爭であり、是は諸君に對する戰爭である。

戰爭がまだ存在しないといふ欺瞞に屈するな。

新帝國主義戰爭の發頭人に對する大衆的、革命的反擊を組織せよ。

諸君の支那の兄弟を日本の占領に對する、國際聯盟に對する、裏切者の國民黨に對する、蔣介石に對する、彼等の鬪爭に於て、統一獨立支那の爲の彼等の鬪爭に於て、積極的に支持せよ。

ソヴィエト聯邦を犧牲とする恐慌からの脫出は帝國主義者にとつて最も望ましい道だ。……支那に於て開始せられた戰爭は、既にソヴィエト聯邦に對する戰爭への一步前進だ。

コミンテルン執行委員會

「全世界の勞働者及び勞働婦人よ！　資本主義世界の勤勞者及び被壓迫者よ！」より。「プラウダ」一九三一年十一月六日。

一七　帝國主義的分割に對する支那の擁護の爲に

コミンテルン執行委員會の檄から、一九三二年五月一日。

帝國主義戰爭は既に現存する。アジアの憲兵の役割を演じつゝある日本帝國主義は、ヨーロッパの憲兵たるフランス帝國主義と最も緊密に同盟して、帝國主義

諸強國の暗默の同意の下に、兵力に依つて滿洲と上海とを占領した。破壞せられた都市と農村、殺戮され又は餓死せる勞働者及び農民、婦人及び兒童の死體——是が支那の勞働者及び農村に對する帝國主義戰爭の最初の結果である。兩太平洋帝國主義強國——日本と北米合衆國との間の對立を尖銳化しつゝある支那の軍事的分割は、更に一層巨大な新世界戰爭に依る世界の新分割を直接日程に上せてゐる。支那に對する戰爭はソヴィエト聯邦に對する襲撃への序曲である。

帝國主義的掠奪者達は、恐慌が存在せず、失業が存在しない處の、彼等にとつて憎むべき社會主義國——ソヴィエト聯邦に對してもまた手を伸ばさうと欲してゐる。ヨーロッパ及びアメリカの資本家は、たゞ支那に對してのみならず、またソヴィエト聯邦に對する戰爭の爲に、兵器、彈藥及び毒瓦斯を積んだ列車、汽船を日本へ送つてゐる。

……勞働者及び勞働婦人よ！全世界の被壓迫者及び被搾取者よ！戰爭は形式的には宣言せられなかつたが日本帝國主義は支那を攻撃した。何人が此の戰爭の世界帝國主義戰爭への轉化を防止し得るか？國際聯盟であらうか？國際聯盟は日本帝國主義に依る支那掠奪を祝福したではないか！其の存在の第一日以來、弱小被壓迫民族に對して總ての大帝國主義強國を支持した國際聯盟であらうか？其の豫備會議及び軍縮會議がソヴィエト聯邦に依つて提議せられた一般的軍備縮小案を一度ならず否決したのは、國際聯盟ではないか！第二インターナショナルであらうか？第二インターナショナルは一九一四年に諸君を裏切つたではないか！第二インターナショナルは一九一四—一九一八年の戰爭中に、是が最後の戰爭であらうと宣言したではないか！其の支部は議會に於て軍事豫算に組織的に贊成投票したではないか！それはモロッコ、シリア、印度支那の攻撃を支持したではないか！其の協力の下に印度に於ける全村落が飛行機からの爆彈で破壞されたではないか！第二インターナショナルは赤色帝國主義に關する卑劣な中傷に依つてソヴィエト聯邦に對する戰爭を準備したではないか！其の第二インターナショナル自身が、戰爭が既に始まつてゐる瞬間に、今や「最早戰爭は存在しない」と宣言してゐるではないか！

勞働者及び勞働婦人よ！勤務者及び貧農よ！社會主義の勝利がソヴィエト聯邦に於て事實となり、帝國主義戰爭が支那に於て既に存在し、社會主義國に對する

軍事的干渉の準備が完了しつゝあり、革命の波が愈々高まりつゝあり、資本主義の顚覆の爲の戰勝的鬪爭の見透しが益々近くなりつゝある歷史的な時——此の時に、社會民主主義的首領達は今一度資本主義を救濟する爲に、ブルジョアジーと共に戰爭を準備し、諸君を彈丸の餌食たらしめやうと欲してゐる。

支那には、崩壞しつゝある國民黨一派のテロリスト的精神錯亂がある。國民黨の死刑執行人は、帝國主義的掠奪者と同盟して四度も支那ソヴィエト地區に對する攻撃を組織し、其の度毎に名譽ある紅軍に依つて撃退されてゐる。

支那に於ける掠奪戰爭に答へて、日本の爲に如何なる武器又は軍需品をも輸送することを拒絶せよ！新帝國主義戰爭とソヴィエト聯邦に對する軍事的干渉の準備に對して戰爭反對の大衆的進出を以て答へよ！

勞働者、農民及び兵士よ！

五月一日には、鬪爭に對する諸君の不撓不屈にして決定的なる意志を表明せよ！

資本の攻勢反對！

帝國主義的分割に對する支那の擁護の爲に！

ソヴィエト聯邦——全勤勞者の祖國の擁護の爲に！

プロレタリアートの獨裁の爲に！

世界革命の勝利の爲に！

共産インターナショナル 執行委員會

コミンテルン執行委員會の檄「萬國の勞働者及び勞働婦人に！總ての被壓迫者及び被搾取者に！」より。「プラウダ」一九三二年五月一日。

一八 コミンテルン執行委員會第十二回總會（一九三二年九月）

資本主義的安定の終焉と支那に對する日本の戰爭

資本主義の相對的安定の終焉が到來した。然しまだ最も重要且決定的な、資本主義諸國に於ける直接の革命的情勢は存在しない。現在の瞬間には階級間及び國家間に於ける大なる衝突の新しき一勝負、革命と戰爭との新しき一勝負への移行が正に行はれつゝある。

「國際情勢と共産インターナショナル支部の任務」、「コミンテルン文書集」九七四頁。

國際關係に於ける相對的安定期は終結した。フランスの完全且公然の支持とイギリスの曖昧たる支持の下に行はれた支那への日本帝國主義の攻撃は、新帝國主義戰爭の始まりである。世界經濟恐慌の結果尖銳化せられた世界再分割の爲の鬪爭は、帝國主義體制の內部

に於ける一切の對立の激化の中に現れてゐる。帝國主義の陣營に於て主要な北米合衆國とイギリスとの間の對立の激化、北米合衆國と日本との間の軋轢の尖銳化、フランスとドイツとの間に於けるヴェルサイユ體制をめぐる鬪爭の鋭い尖銳化、ダンチッヒやポーランド廻廊の問題をめぐり、東プロシヤの問題に關するポーランドとドイツとの間のそれ、フランス帝國主義とイタリー帝國主義との間の鬪爭の尖銳化、及び總て是等の事實と關聯して生ずる帝國主義强國の再編成は、新しい軍事的衝突の勃發に導くのである。日本の支那攻撃に對する國際聯盟の態度は、國際聯盟がフランス及びイギリスの帝國主義の掌中にある戰爭と干渉との道具であることを今一度明白に證明した。滿洲の占領に反對しつゝ、北米合衆國は極東に於ける勢力範圍の「公平な」再分配といふ自己の帝國主義的目的を追求してゐる。ジュネーヴ、ローザンヌ及びオッタワに於ける會議は帝國主義者達の間の對立の排除に役立たないのである。

「極東の戰爭に就て、竝に帝國主義戰爭及びソヴィエト聯邦に對する軍事的干渉に對する鬪爭に於ける共産主義者の任務に就て」、「同上」、九九〇頁。

滿洲は、フランスとイギリスとの支持の下に、日本帝國主義の暴行に依つて、ソヴィエト聯邦に對する攻撃の爲の足場に轉化せられた。

「同　上」。

日本の滿洲占領と上海攻撃とは、支那に於ける勢力範圍の設定に關する北米合衆國、日本及びイギリスの以前の協定を破棄した。日本帝國主義はフランスとの同盟及びイギリスの事實上の支持の下に滿洲を自己の植民地に轉化し、支那の分割とソヴィエト聯邦に對する干渉との爲の武裝鬪爭の問題を日程に上せた。國際聯盟は、フランス及びイギリスの指令に依つて、日本に味方した。合衆國は、極東に於て自己の帝國主義的目的を追求しつゝ、新しい軍備競爭を以て脅かしてゐる。太平洋の對立の總和は、新しい世界帝國主義戰爭の主要な根源地である。

「國際情勢と共産インターナショナル支部の任務」、「同上」、九七五頁。

革命的昂揚の發展と中國共産黨の當面の任務

コミンテルン執行委員會第十一回總會の時以來革命的昂揚の成長は特に次の國々に現れた——

支那に於ては、反帝國主義的鬪爭の大衆的昂揚、ソヴィエト運動の展開、英雄的な支那紅軍の大なる成功。

「同上」、九七七頁。

……支那に於ては、革命的情勢、而してかなりの地域に於てソヴィエト革命の勝利……

「同上」、九七四頁。

コミンテルン執行委員會第十二回總會は、日本のブルジョアジー及び地主に依つて開始せられた帝國主義戰爭に對する日本共産黨の英雄的鬪爭と、日本帝國主義及び總ての帝國主義者に對する中國共産黨の革命的鬪爭を歡迎する。

中國共産黨は、國民黨的支那に於ける大衆的反帝國主義運動に於けるプロレタリアートのヘゲモニーを確保する爲に、今後もまた全力を盡す義務を持つてゐる。此の目的の爲に中國共産黨は、ソヴィエト運動のより以上の展開と深化、紅軍と支那ソヴィエトの强化、ソヴィエト運動と國民黨的支那に於ける大衆的反帝國主義鬪爭との結合を自己の任務とし、大衆の反帝國主義鬪爭に於て下からの統一戰線戰術を廣汎且徹底的に適用し、總ての帝國主義者に對する支那の獨立、統一及び保全の爲の、帝國主義の手先——國民黨の顚覆の爲の革命的民族解放戰爭の標語の下に大衆を組織しなければならぬ。

「極東の戰爭に就て、竝に帝國主義戰爭及びソヴィエト聯邦に對する軍事的干渉に對する鬪爭に於ける共産主義者の任務に就て」、「同上」、九九一—九九二頁。

次のことが中國共産黨の特殊な任務に屬する——

(一)支那の獨立と統一との爲に、日本其の他の帝國主義者に對する民族革命鬪爭の標語の下に於ける大衆の動員。(二)ソヴィエト地區の發展と統一、紅軍の强化。(三)國民黨權力の顚覆の爲の鬪爭。(四)赤色勞働組合を大衆的組織に轉化する決定的進路及び國民黨の勞働組合に加入せる勞働者の獲得。(五)農民委員會の設立、租稅及び政府の命令のボイコット、帝國主義者の手先の財産の沒收、選擧制人民政權の組織の標語を滿洲に於て提起しつゝ、パルチザン運動を展開すること。(六)ソヴィエト地區の達成及び支那の勞働者農民とソヴィエト聯邦との友誼的同盟の標語の普及。

「國際情勢と共産インターナショナル支部の任務」、「同上」、九八一頁。

支那プロレタリアートの經濟鬪爭

プロレタリアートの經濟鬪爭の領域に於ける革命的昂揚の成長は大衆的罷業の發展の中に(スペイン、支那、ポーランド、チェッコ・スロヴァキア、日本、フランス、ベルギー、ブルガリア、イギリス、印度、北米

合衆國其の他)、經濟恐慌の發展が最も遲れてゐる諸國のプロレタリアートの新部隊を經濟闘爭へ包含したことの中に(ポリナージュの鑛夫——ベルギー、トヴェンテの紡績工——オランダ、オダレンの製紙工——スエーデン、チューリッヒの機械組立工——スイス)、小さな經濟運動の大衆的な經濟的及び政治的罷業への急速な轉化の中に(ブルックス、ポリナージュ其の他)、共産黨及び革命的勞働組合の比重の增大の中に、罷業闘爭及び失業者の闘爭の中に、改良主義的勞働組合官僚に反對して、資本の攻勢に對して英雄的に闘爭しつゝある新しき勞働者の活動分子の出現の中に現れてゐる。

「經濟的罷業及び失業者闘爭の教訓」、「同上」、九八二頁。

革命的昂揚の成長、改良主義的勞働組合に於ける危機の成熟及び前進しつゝあるより大なる革命的闘爭は、赤色勞働組合の大衆的活動の重大な改善及びプロレタリアートの經濟的闘爭の組織と指導とに於ける是等の役割の强化の爲の一切の前提を作り出す。

コミンテルン執行委員會第十二回總會は、多くの重大な成功(チェッコ・スロヴァキア、ポーランド、スペイン、日本)にも拘らず、赤色勞働組合の大多數が、資本の攻勢に對する大衆の憤激の增大及び階級闘爭の尖鋭化を、農業闘爭及び失業者運動の先頭に立つ爲に利用することが出來なかつたことを確認する……。

支那に於ては、革命的勞働者運動のあらゆる巨大な規模にも拘らず、プロレタリアートの經濟闘爭の組織者及び指導者としての赤色勞働組合の役割は弱まつたが、最近再び高まつた。

「同上」、九八六頁。

コミンテルン執行委員會第十一回總會の時以來の多くの大罷業運動の經驗(ブルックス、ポリナージュ、ワルソーの電車從業員、上海の電話交換手、東京の地下鐵從業員、トヴェンテの紡績工の同盟罷業其の他)は、共産黨と革命的勞働組合組織とが、闘爭の全段階に於て下からの統一戰線戰術を徹底的に、適用し、卑近にして大衆に理解せられる要求と罷業の標語とを適時に提起し、彼等を廣汎なプロレタリア民主主義の基礎の上に組織し、闘爭しつゝある勞働者の總ての層を罷業の指導に吸收し、改良主義的勞働組合官僚の策略とそれに對する信賴的、和解的態度を決定的に暴露した場合に、プロレタリアートの經濟闘爭の指導に於て成功を收めたことを示してゐる。

「同上」、九八三頁。

大衆的ファシスト勞働組合又は類似の大衆的な反動的組織が存在する國(イタリー、支那)に於ては、特にファシスト勞働組合が獨占的である處では、共産主義者は是等の內部で積極的、且組織的に活動し、階級闘爭へ是等の組織の成員大衆を吸引する爲に、大衆の眼前に於て是等の組織を不信用ならしめる爲に、大衆の中で革命的勞働組合運動の立場を强化する爲に、一切の合法的及び半合法的可能性を利用しなければならぬ。

「同上」、九八六頁。

支那とコミンテルンの諸黨

帝國主義戰爭に對し、又軍事的干涉の準備に對して大衆を動員する仕事に於ける、帝國主義國及び植民地國の共産黨の活動の明確な積極的な結果を承認すると共に、コミンテルン執行委員會第十二回總會は、帝國主義國の共産黨が、支那への軍隊及び日本向の軍需品の輸送を革命的行動に依つて阻止し得なかつたこと、是等が軍事企業及び運輸の廣汎な勞働者大衆を闘爭に蹶起せしめ得なかつたこと、一部分は極東戰爭の日和見主義的過小評價の結果、而してまた戰爭に對する左傾的・宿命論的な輕率な態度の結果、大衆的な反戰カムパニヤが徐々にしか展開せられなかつたことを確認する。

「極東の戰爭に就て、竝に帝國主義戰爭及びソヴィエト聯邦に對する軍事的干涉に對する闘爭に於ける共産主義者の任務に就て」、「同上」、九九二頁。

……第十二回總會は、諸共産黨が大衆に立脚する合法的、半合法的又は非合法的な監督委員會及び、企業、鐵道、港灣、船舶に於ける非合法的行動委員會を創設する緊急の任務を解決すること、改良主義的勞働組合及び其の他の大衆的勞働組織に結合せられた廣汎な勞働大衆を、下からの統一戰線戰術に基いて動員し、以て支那への軍隊及び日本への軍需品の輸送を妨害し、且帝國主義戰爭竝に軍事的干涉に對する煽動を、農民及び都市小ブルジョア大衆の中で展開することが出來なかつたことを確認する。支那に於ける戰爭の日和見主義的過小評價と帝國主義戰爭及び軍事的干涉の脅威の過小評價、新世界戰爭への今日の進展の一切の獨自性の日和見主義的無理解、レーニン主義的戰爭論からの個々の平和主義的偏向、革命が戰爭から自動的に成長するといふ理論の中に表現せられてゐる宿命論的日和見主義的氣分に對して、充分に鋭いボリシェヴィキー

的反撃が與へられなかつた。

「同上」、九九二―九九三頁。

帝國主義戰爭と軍事的干渉とに對する鬪爭や、種々の方法に依つて帝國主義戰爭及びソヴィエト聯邦に對する軍事的干渉の準備と實行とを容易ならしめるファシズム、社會民主主義及びブルジョア平和主義に對する鬪爭に於ける總ての共產黨の一般的任務は、次の點にある――

……反ソヴィエト・カムパニヤの一切の現れに對して積極的に應酬し、ソヴィエト聯邦に於ける社會主義建設の成功の宣傳を最も廣汎な大衆の中で强化し、白衞兵に對して勤勞者を動員し、ソヴィエト聯邦の平和政策を一般に普及せしめ、ソヴィエト聯邦、支那及び支那ソヴィエト革命の積極的擁護に大衆を動員すること、是である。

「同上」、九九三頁。

コミンテルン執行委員會第十二回總會は、支那及び支那革命の擁護の爲の、切迫せる軍事的干渉に對する萬國の勞働者の祖國――ソヴィエト聯邦――の擁護の爲の、新しい帝國主義戰爭に對する資本主義國の勤勞者擁護の爲の、勞働者及び農民竝に全勤勞者の鬪爭の組織と指揮とを、總ての共產黨の最も重要な任務と考へる。

「同上」、九九一頁。

支那と第二インターナショナルの諸黨派

第二インターナショナルと其の諸黨派の指導者達は、自己のブルジョアジーの要求に依つて、極東戰爭中に自己の戰術を變更した。支那に對する戰爭の初期に彼等は勞働者に國際聯盟支持を訴へ、聯盟とケロッグ條約とを平和の道具であると說明した。彼等は自己のブルジョア政府の政策を支持し、たゞ他國の帝國主義政府のみを批判し、日本の支那攻撃をヨーロッパやアメリカの勞働者階級の利益に觸れない遠方の植民地戰爭だと宣言し、勞働者に反戰鬪爭手段として國際聯盟及び自己の政府に訴へることを提議した。彼等は、或はソヴィエト聯邦に對する干渉の脅威を完全な沈默を以て無視し、或は、干渉がソヴィエト聯邦を脅威してゐないかの如く大衆を直接欺瞞した。それと同時に第二インターナショナルの諸黨は反ソヴィエト的誹謗カムパニヤを强化し、勤勞者大衆に對するソヴィエト聯邦の平和政策の影響を弱めることに努力し、完全な軍備縮小に關するソヴィエト聯邦の提議に對する帝國主義政府の露骨な侵略政策を支持した。改良主義的勞働組合は軍需品生産及び日本向軍需品輸送に對する鬪爭をサボタージュし、戰爭は失業を清算する、と主張した。第二インターナショナル及びアムステルダム・インターナショナルと連絡してゐる日本の社會民主主義者は、日本ブルジョアジーの掠奪戰爭を完全に支持して、此の戰爭は社會主義への道だと主張した。日本社會民主主義の此の立場は、世界の總ての社會民主主義が新帝國主義戰爭發生の際に如何なる立場を取るかを示すものである。

其の後、大衆の壓迫の下に、チューリッヒに於ける第二インターナショナル執行委員會は形式的に帝國主義戰爭に反對して、ソヴィエト聯邦を擁護する決議を採擇し、干渉とソヴィエト權力に對する反革命的進出の支持の立場から、形式的中立及びソヴィエト聯邦を言葉の上だけで擁護する立場に移つてゐる。然しながら實際には第二インターナショナルの黨は、誹謗者的反ソヴィエト・カムパニヤを繼續し、ロシヤのメンシェヴィキー・干渉者を支持し、軍需品生産と日本向軍需品輸送に反對する勞働者の一切の具體的行動をサボタージュし、帝國主義戰爭及び軍事的干渉に對する實際的鬪爭から大衆を引離す目的で引續き平和主義的幻想を撒き散らし、アムステルダム反戰大會をボイコットし、帝國主義戰爭と軍事的干渉の準備と組織とに參加し、各國に於て自己のブルジョア政府を支持してゐる。

「同上」、九九一頁。

一九　コミンテルン執行委員會第十三回總會（一九三三年十二月）

支那には戰爭と干渉と革命がある

コミンテルン執行委員會の最近の（第十二回）總會に於て指摘せられた相對的安定の終焉の後に於ける資本主義の一般的危機の發展は、全世界に於ける資本主義體制の可成り深刻な動搖に導いた。

國際プロレタリアートと被壓迫民族との城塞たるソヴィエト聯邦が、自己の社會主義建設を展開し且自己の力を益々昂揚しつゝある時、資本主義世界の經濟は崩壞しつゝある。貧困、零落、饑餓の索條は益々固く引締まりつゝある。ブルジョアジーはファシスト的暴行、勤勞者階級の掠奪の方法や他民族に對する掠奪戰爭に依つて、自己の經濟的搾取方法を法外に强化しつゝある。然しそれと同時に、勤勞者大衆の革命的憤激と、

搾取者階級の堪え難い抑壓の顚覆への彼等の準備とは益々增大しつゝある。

資本主義國に於ける內部的階級對立竝に國際的對立の異常な緊張は、現在世界が革命と戰爭との新しい局面の一步手前まで來てゐるほど革命的危機の客觀的前提の成熟を證明してゐる……。

「ファシズム、戰爭の危險及び共產黨の任務」、「コミンテルン執行委員會第十三回總會のテーゼ及び決議」五—六頁。

自國の勤勞者の搾取の强化に依るのみでは恐慌からの出口を見出すことが出來ないことをブルジョアジーが益々確信するに至つた結果、帝國主義者は自己の安危を戰爭に賭するやうになつた。國際情勢は新しい世界戰爭の前夜の性質を帶びてゐる。

一、新しい世界戰爭の火災は太平洋地方に於て燃え上つてゐる。ブルジョア・地主の君主國の極めて深刻な內部的危機に依つて驅り立てられつゝある日本の軍部は、支那に對する掠奪戰爭を繼續し、國民黨の援助を得て、北支那を隷屬せしめ、蒙古人民共和國に對する攻擊を準備してゐる。イギリス帝國主義は支那の南東諸省へ、西藏、四川へ、フランス帝國主義は雲南へ手を伸ばしてゐる。日本のファシスト的軍部は、支那に於ける反帝國主義革命及び農業革命に對して、猛烈な反擊を加へてゐる。アメリカ、日本及びイギリスの帝國主義は、支那に於ける唯一の人民權力に對する——支那ソヴィエトに對する、國民黨の第六次遠征に於て國民黨の背後に立つてゐる。支那に於けるソヴィエト革命の勝利、滿洲に於けるパルチザン鬪爭、日本に於ける革命的勢力の成長、植民地民族の解放運動は、帝國主義の背後に新しい戰線を作り出してゐる。支那に於けるソヴィエト革命は世界革命の大なる要因となつた。

「同上」、一二—一三頁。

階級鬪爭と社會主義建設との全戰線に於けるソヴィエトの勞働者及びコルホーズ農民の偉大なる勝利の經驗に基いて、種々の國の獨自の條件を考慮しつゝ、各國の勤勞者の前に、ソヴィエト制度が自國に於て彼等に何を與へるかを示す處の綱領を展開しなければならぬ。此の場合、失業及びソヴィエト制度下に於ける明日に對する不安の淸算、勞働日の短縮の下に於ける勞働條件及び社會保險の不斷の改善、封建制度の一切の遺物から、一切の債務奴隷制からの農村の勤勞者の解放、土地を有せず又少しか有せざる農民への土地の確保、貧農の支持及び農民協同組合とコルホーズへの援助、勞働者靑年及び全勤勞者の文化的發展の爲のあらゆる道の解放等が特に强調せられなければならぬ。

勞働者及び半プロレタリアートの大衆的組織を其の基礎とするソヴィエト權力は、以前資本主義に依つて壓迫せられてゐた勤勞者大衆に、民主主義の廣汎な實際的利用の可能性を提供するであらう。

ソヴィエト權力はプロレタリアートの獨裁の國家權力である。

ソヴィエト權力は、ブルジョア民主主義革命の社會主義革命への轉化を確保する(支那其の他)處の、プロレタリアートと農民層との革命的民主主義的獨裁の國家形態である。

是は勤勞者にとつては民主主義であるが、搾取者に對しては峻嚴な獨裁である。

「同上」、二四—二五頁。

白色テロルに對して

プロレタリアよ！全世界の勤勞者よ！

共產主義者よ！

勞働者階級の最良の子供達の血が、總ての資本の國に於て流されてゐる。ドイツのファシストは勞働者階級の進步的鬪士の肉體的殲滅や、革命的勞働者に對する拷問や、苛責や、暴行や、嘲弄に於て、國民黨の刑吏達と競爭してゐる。中世の宗教裁判の恐怖やナチスや蔣介石の非道の前には顏色がない。

國際革命鬪士救援會の資料に據れば、最近一年間だけで、資本の國及び植民地に於て四萬六千人の革命家が責め殺され、十六萬人が傷つけられ且不具にせられ、二十二萬八千人が逮捕せられた……。

ベルリンと上海に於て、東京と滿洲に於て、ソフィアとワルソーに於て、インドネシアと印度支那に於て——到る處に於て、奴隷所有者と軍國主義者は革命の鬪士に對して懲罰を行つてゐる。

蔣介石は、ドイツ、イギリス及びアメリカの將軍竝に社會民主主義的警官・大統領——グルジェジンスキーの奉仕者を以て自任し、支那の革命的な勞働者及び農民を數千人も斬首した。昨年の秋、上海に於て勞働者等の反戰集會が逮捕され、總ての者が其の場で銃殺された。一九三三年の夏國民黨の刑吏は、反ファシスト大會の參加者百五十人を逮捕し、彼等を南京へ送り、彼等に對して血腥い懲罰を組織した。

日本では、支配的ファシスト徒黨は二年間に一萬五千人の革命的な勞働者、農民及び兵士を拷問部屋に投じ

た。數十人の日本の共産主義者が殺された。滿洲、朝鮮、臺灣に於ては數萬人が日本の帝國主義的侵略者に對する抵抗の廉で寸斷せられた。

インドネシアに於てはオランダの奴隷所有者は戰鬪艦「デ・ツェヴェン・プロヴィンチェン」の蜂起せる水兵に對して懲罰を行つてゐる。

印度支那に於ては「民主主義的な」フランスが、蜂起せる土人を火と刀とを以て壓迫してゐる。

印度、アラビア及びバレスチナに於てはイギリスの帝國主義者が、植民地奴隷化に對して蜂起した勤勞者を數千人も射殺してゐる……。

到る處に於て、ドイツ、支那其の他の資本主義國に於けるファシスト・テロルに對して大衆的抗議を展開せよ！

血腥いファシスト・テロルに對する鬪爭へ！

「コミンテルン執行委員會第十二回總會のテーゼ及び決議」、二六—二九頁。

コミンテルン執行委員會第十三回總會は、共產インターナショナルの全支部、世界の全勞働者及び勤勞者を、帝國主義者の反革命的陰謀に對するソヴィエト聯邦の獻身的擁護に、帝國主義的干涉に對する支那革命と其のソヴィエト權力の擁護に召集する。

「ファシズム、戰爭の危險及び共產黨の任務」、「コミンテルン執行委員會第十三回總會のテーゼ及び決議」、一八—一九頁。

附錄

コミンテルン執行委員會第十三回總會に於ける王明の演說

一　支那は革命、戰爭及び干涉の舞臺である

諸君、中國共產黨の代表は、我々の一般的テーゼに於て與へられた評價及びクーシネンの報告、卽ち「現在世界は既に完全に革命と戰爭との新しい局面の一步手前迄來て居り」、「資本主義の基礎は其の極めて深刻な、解決し得ざる矛盾に依つて既に破壞せられてゐる。世界經濟恐慌は資本主義の一般的危機と極めて密接に絡み合ひ、資本主義世界の一切の基本的矛盾を、經濟的危機の革命的危機への轉化を意味する轉換が、何時でも到來し得る程度に尖銳化しつゝある」と云ふ報告に完全に同意するものである。支那に於ける情勢は、國際情勢の斯る評價の立派な實際的證明であり、確認である。

既にコミンテルン執行委員會第十二回總會に於ては資本主義的安定の終焉及び革命と戰爭との第二局面への移行としての國際的情勢の評價と關聯して、中國共產黨代表は「支那では既に革命と戰爭が進行してゐる」こと、「支那は既に革命と戰爭の連鎖の主要な一環となつた」ことを指摘した。

第十二回總會後一年餘經過した。世界は今や既に、全く革命と戰爭の新しい局面に近づいてゐる。此の期間に一體何事が支那に起つたのであるか？

A　革命は進出する

a　ソヴィエト革命の勝利と中華ソヴィエト共和國の成長

支那に於ける革命運動の、一層の發展はどの點に表現せられてゐるか？　それは先づ第一に、ソヴィエト革命の勝利、中華ソヴィエト共和國の成長及び全世界の面前に於ける其の事實上の確認の中に表現せられてゐ

る。コミンテルン執行委員會第十二回總會當時、帝國主義者や國民黨員が中華ソヴィエト共和國と其の紅軍に對して、其の規模に於て支那史上未曾有の大掛りの第五次遠征を組織したことは周知の通りである。此の第五次遠征の爲に國民黨は八十六箇師以上を動員し、多數の地主・富農的武裝部隊を組織した。大體此の遠征の軍事行動には約一百萬の正規軍及び不正規軍が直接參加した。

帝國主義者と蔣介石は當時、此の遠征が支那に於けるソヴィエト運動を永遠に終熄せしめ得ると語つた。右翼日和見主義者や黨の隊伍に一時潛んでゐた反革命的羅章龍派の殘黨は、中國共產黨と紅軍には此の大軍事遠征を擊退する能力はないと叫んだ。此の狼狽氣分が、是等の日和見主義者共を國民黨の側へ公然と移行せしめた。然し乍ら、支那革命の多くの友人達や若干の共產主義者達すらも悲觀論に囚はれた。彼等は、今度は紅軍と中國共產黨との勝利が殆ど不可能であらうと考へた。然しながら是等の一切の豫言にも拘らず中國共產黨の代議員は、コミンテルン執行委員會の本總會に於て、一九三二年秋に始まつた第五次反ソヴィエト遠征が、一九三三年春夏の末に國民黨軍の大敗北、共產黨とソヴィエト支那の中央政府の指導の下に於ける紅軍の大勝利を以て終つたことを、誇らかに全世界に聲明する完全な權利を有するのである（喝采）。

此の勝利は如何なる結果を齎したか？

一、中華ソヴィエト共和國の領土の强化、擴大及び統一。紅軍は支那の南部、中部、北西部の諸省に於て七十九の新しい縣を占領したが、其の中に三つの地方都市がある（福建省に於ける邵武、四川省に於ける綏定と閬中）。軍事行動の結果占領せられた市の或るものは屢々奪ひ合ひされたが、今日まで四十以上の新たに占領せられた市が紅軍の手中に殘つた。我が第四軍は第五次遠征に對する戰爭中に、四川省に强大なるソヴィエト地區を創設した。此の省內には紅軍の活動にとつて有利な條件が存在した。卽ち外國及び支那の新聞紙が正當に指摘してゐる如く、此の富裕な省は帝國主義者にとつては入り難いが、紅軍にとつては守り易い。四川省の新ソヴィエト地區は、中央ソヴィエト地區と同樣に、甚だ有利な見透しを持つてゐる。

江西省北東部の地區及び福建省の西部地區は、江西省中部地區と統一せられたが、此の結果、中央地區に於けるソヴィエト地域は、最近一年半の間に敵が一度も此の中華ソヴィエト共和國の根據地に侵入し得なかつた程に强化せられた。

此の外、第六次遠征の初めには紅軍は、またもや約十五の新しい縣と、かなり顯著な商工業中心地である二つの地方都市を占領した。是は福建省の延平と四川省の萬縣である。

其の結果、中華ソヴィエト共和國の地域は、今や其の廣袤に於て西ヨーロッパの孰れの大資本主義國よりも廣大なものとなつた。

コミンテルン執行委員會第十二回總會の當時、中華ソヴィエト共和國の地域は支那本部の六分の一に相當し此の地域には鞏固なソヴィエト地區と赤色パルチザン部隊の行動地區とを包含してゐた。今や中華ソヴィエト共和國の地域、卽ち鞏固な地區と赤色パルチザンの行動地區を含む總面積は、既に支那本部の巨大なる四分の一を占め、而して支那本部の六分の一が既に鞏固なソヴィエト地區に屬してゐる。

中華ソヴィエト共和國の總面積は一、三四八、一八〇平方哩であり、既に堅固な地區の面積は六八一、二五五平方哩である。

若し中華ソヴィエト共和國の安定地域だけをヨーロッパ及び東洋の大資本主義國の領土地域と比較するならば、次の如くである。

ソヴィエト支那の安定地區の地域に對して、フランスの領土は八〇・九%、ドイツは六八・七%、イギリス（植民地を除き）は三五・五%、日本（植民地を除き）は五五・九%である。

支那に於ける中央ソヴィエト地區だけでオランダとベルギーの地域を併せたよりも二倍以上大である。

二、紅軍のより以上の强化と擴大。第五次遠征を擊退しつゝ、紅軍は國民黨軍四十箇師を擊破し、其の中には多數の師團長、旅團長、聯隊長等があつた（例へば中央ソヴィエト地區だけでも一九三二年中に師團長三人、旅團長十一人、聯隊長十八人を捕虜にし、一九三三年の一月から四月にかけて師團長二人、旅團長二人、聯隊長一人を捕虜にした）。敵の小銃十四萬挺、重機關銃、輕機關銃合計一千三百九十挺、無線電信機二十基、重砲及び野砲數百門、飛行機六臺を鹵獲し約三萬人の國民黨軍の兵士が紅軍側に移つた（喝采）。

此の大勝利と關聯して紅軍は著しく成長し且强化した。コミンテルン執行委員會第十二回總會當時、紅軍の

正規部隊は二十萬乃至二十五萬人、非正規軍卽ち新式又は舊式の小銃を持つたパルチザン、赤衞軍、青年親衞軍は四十萬人を越えてゐた。現在では紅軍中、正規部隊は既に約三十萬人を算し、非正規武裝部隊は六十萬人以上である。

此の期間に新たに六箇軍團が編成せられた。卽ち第二十五及び第二十八軍團は第四軍のゐた地域に——第四軍が四川へ移動した後——、第十一、第十五、第十九軍團は中央ソヴィエト地區に、而して新しい一軍團が四川に編成せられた。五箇の新師團が創設せられ、其の中三箇の模範的師團が中央ソヴィエト地區に創設せられた。此の際二箇師團は勞働者と日傭人を以て特別に組織せられ、一箇師團は共產青年同盟員を以て組織せられた。卽ち國際共產青年同盟師團である。是等の師團內の兵士の大部分は黨員又は共產青年同盟員である。是等の模範的師團は支那の全紅軍の突擊部隊であり、鐵拳である。四川には二箇の新師團が組織せられた。卽ち一は四川の北部に、他は西部に。

質的關係に於ても、紅軍は過ぐる期間中に多大の進歩を遂げた。先づ第一に其の共產主義的、プロレタリア的骨格が著しく强化せられた。中央ソヴィエト地區の

紅軍の多くの基本的な編成に於て、黨員は全員の五〇%から五八%を占め、プロレタリア分子卽ち勞働者、手工業的勞働者及び日傭人は平均二五%乃至三〇%、個々の場合には三〇%乃至五〇%を占めてゐる。模範的師團では人員の殆ど一〇〇%が工業又は手工業勞働者、日傭人及び店員である。

三、ソヴィエト建設の領域に於ける大いなる成功。

一九三一年第一回全支那ソヴィエト大會に於ける中央ソヴィエト政府の結成後、コミンテルン執行委員會第十二回總會迄の期間は、中華ソヴィエト共和國の政治的、組織的形成の期間として特徵づけることが出來る。而して過ぐる一年は中華ソヴィエト共和國のより以上の發展及び成長と、世界に於ける其の事實上の確認の時期と定義することが出來やう。

中央及び地方ソヴィエト政府は我が黨の指導の下に、過ぐる一年間に支那ソヴィエト第一回大會で採擇せられた基本的法律及び命令の具體化、正確化及び實施の意味で非常に多くのことをなした。

ソヴィエト政治行政組織の領域に於ては、地區化や、縣から村に至るまでのソヴィエト權力の地方機關の構成や、其の活動の手續に關する特殊な命令、而して又あらゆる等級のソヴィエトへの選擧及び再選擧の手續に關する命令が發表せられ實施せられた。

經濟政策の領域に於ては、中央ソヴィエト政府は此の期間に協同組合化や（例へば江西省の中央ソヴィエト地區だけでも、此の期間に五百以上の生產、消費、信用協同組合組織が設立せられた）、國家及び個人の信用に關する手續、ソヴィエト地區に於ける商工業への投資規定や、軍事專門家其の他の專門家の利用や、勞働者の生產管理や、ソヴィエトの統制下に於ける土地賣買の許可や、而してまた多くのソヴィエト地區、例へば舊第二赤軍地區に於て行はれた不斷の土地再分割の禁止に關する特殊な命令を發布した。此の不斷の土地再分割は、農民經濟の昂揚にとつて重大な障碍の一つである。

中央竝に地方ソヴィエト政府は、自己の掌中にソヴィエト地區の農業、工業及び商業の改善事業を掌握したので、農業カムパニヤ——收穫播種等を指導して來たし又指導してゐる。彼等は家畜又は土地を所有しない農民に對する援助を組織し、經濟活動に於ける廣汎な革命的競爭や突擊主義を組織した。彼等は舊い堤防の修理や、新しい堤防の構築に關する大衆的活動を組織し且指導した。彼等は廣大な荒蕪地を播種地にする爲に農民を援助した。彼等はソヴィエト勞農銀行の活動を屢々改善し、紅軍への補給を確保する爲に、稅制を整理し、ソヴィエト財產の最大限の節約の爲の廣汎なカムパニヤを實行した。

ソヴィエト國家機構の改善と經費節約の領域に於ては、此の期間に勞農監督局と輕騎兵隊の組織、而してまたソヴィエト機構の活動を組織的に檢查する他の大衆的組織に關する活動が開始せられた。多くの地方に於て既に勞農大衆の側からの、ソヴィエト機構の活動に對する自己批判の廣汎な波が高まつてゐる。是は大きな結果を與へた。中央及び地方ソヴィエト政府は、豫算制度を採用することゝなり、一—三箇月間に一回、收入及び支出に關する報告を大衆の前に發表し、國民黨の諸機關の豫算と我々の豫算とを比較し、ソヴィエト政府のみが、支那の國民が常に夢想した唯一の安上りの政府であることを實踐に依つて大衆に示した。

國民敎育の組織の領域に於ては、過ぐる一年間に總ての主要ソヴィエト地區に於て、物資及び人員の缺乏の爲に大なる困難があつたにも拘らず、國民敎育の組

織に關する廣汎な活動が開始せられた。例へば中央ソヴィエト地區の寧都縣のみに於ても三百五十の初等國民學校、五百八十の夜學校及び多數の文盲退治に關する小集團竝に十三の俱樂部が組織された。此の縣に於ける初等學校だけの生徒が七千五百六十人に達してゐる。是等の學校は無料であるばかりでなく、生徒に學用品や食事を給與してゐる。富農の子供のみは教育及び食事の費用を支拂ふ。斯る國民教育制度、斯る廣汎な國民學校網は支那史上嘗つて見ない現象である。

我々が受け取つた材料に據ると今年の初め中華ソヴィエト共和國の赤都瑞金に最初のマルクス共產主義大學が設立せられた。第四軍の地區には既に各種の中等ソヴィエト學校が存在する。

婦人解放の領域に於ては、中央ソヴィエト政府は結婚及び離婚の自由や、勤勞婦人の同權や、土地分配の權利に關する命令の斷乎たる實行を主張するのみならず、各ソヴィエト機關又は其の委員會の指導的成員が最小五分の一乃至五分の二は勤勞婦人より成ることを要求する。各ソヴィエトには母性及び幼年保護の爲の委員會が存在する。

大衆組織の領域に於ては、過ぐる一年はあらゆる形態の大衆的、革命的組織、先づ第一に赤色勞働組合——我が黨、ソヴィエト權力及び紅軍の、此の確實な支柱の嵐の如き成長の年であつた。我々は今日迄中華ソヴィエト共和國の全地域に於ける赤色勞働組合員の正確な統計を持たないけれども、現存する個々の數字はソヴィエト支那の赤色勞働組合が廣大な大衆的組織であることを充分明瞭に示してゐる。例へば、中央ソヴィエト地區だけでも、既に一九三三年の初めに赤色勞働組合員は約十八萬乃至二十二萬人であつた。九つの省勞働組合協議會が存在する。各ソヴィエト地區では今年勞働組合大會、會議、代表者會議が召集された。

赤色勞働組合はソヴィエト支那に於て巨大な指導的役割を演じてゐる。六月から八月に至る三箇月間に全支那勞働聯盟中央局の主唱及び召集に依つて江西に於て專ら勞働者、手工業者、勤務員、店員、日傭人からなる紅軍の模範的な二箇師團が組織されたといふ事實だけでも取つて見よ。全ソヴィエト地區に於ては赤色勞働組合員の平均一〇%から一五%が任意的に紅軍に入隊した。全地區に於ける造兵廠の勞働者は二倍化し、此處彼處で紅軍用の武器彈藥の日々の生產高は三倍化した。

貧農の集團は富農及び地主の殘黨に對する鬪爭に於ける我が黨及びソヴィエト政府の大衆的支柱である。是は既に廣汎な大衆的組織となつた。例へば中央ソヴィエト地區の八縣に於て、貧農集團の成員は十四萬九千人に達してゐる。

モップルの組織は如何であるかと云ふに、八月一日中央ソヴィエト地區の瑞金で行はれたモップルの第一回大會の頃、中央ソヴィエト地區だけで約六十萬人のモップル會員があつた。此の大會では支那に於けるモップルの活動と任務が審議され、モップル執行委員會とスタソワ、ファシスト・ドイツ及び君主主義的野蠻國日本の英雄的戰士達に對する挨拶が可決せられたのみならず、ドイツ及び日本の我々の兄弟達に對する救援資金の募集が行はれた。

是は共產黨の指導下に鬪爭してゐる支那の勤勞者大衆が、ドイツ・プロレタリアートの英雄的鬪爭、テールマンの指導の下に共產黨に依つて指導せられる鬪爭に寄せた廣汎な連帶性と同情とを立證する多數の事實の中の一つたるに過ぎない。ドイツ・プロレタリアートと其の共產黨に對する支那勤勞者大衆の側からの廣汎な支持は、ファシズムに反對して共產黨を擁護し、其の正しいボリシェヴィキー的な政治的及び組織的方針を擁護し（ヒットラーの政權掌握前、中、後）、ドイツ問題に關するコミンテルン執行委員會幹部會の決議を擁護する爲の、中國共產黨中央委員會の組織的鬪爭の結果であり、ドイツ共產黨の指導部に對するレムメレ・ノイマン一派のあらゆる日和見主義的誹謗の暴露の結果である。

プルジョア的君主政體と鬪爭しつゝある英雄的日本プロレタリアートに對する、支那の勤勞者大衆の側からの廣汎な同情と支持は偶然ではなくて、日本に於ける革命的鬪爭の擁護の爲の大衆の動員に關する中國共產黨中央委員會の組織的活動の結果である。同時にプロレタリア・インターナショナリズムの實現の爲の自己の鬪爭に依つて、支那の民衆に對する自國プルジョアジーの帝國主義的攻擊に對する實際的鬪爭に依つて、日本共產黨は、支那及び日本の名譽あり且英雄的な共產黨の指導の下に、共通の敵——日本帝國主義——に對する鬪爭の爲に兩國の革命的大衆の統一戰線を樹立すべく熱烈な志望を示してゐる處の、日本の勞働者階級と支那の勤勞者との間に於ける、革命的連帶事業を

高度に強化した。

中央ソヴィエト地區だけで反帝國主義同盟は約五十萬人の會員を持つて居る。

同地區に於けるソヴィエトの友の會の會員數はモップルの會員と同數、卽ち約六十萬人である。

ソヴィエト地區內の反革命に對する鬪爭の領域に於ては、此の期間に我がゲ・ペ・ウの組織及び活動は非常に改善せられ且强化せられて、我々の背後に於て反革命的暴動を組織せんとする國民黨のあらゆる試みの激化にも拘らず、最近一年間にはソヴィエト地區に於て最早、以前にあつた如き如何なる重大な暴動もなかつた程である(喝采)。我がゲ・ペ・ウは、我がソヴィエト支那に於ける國民黨及び帝國主義者の多數の反革命的陰謀や謀叛を摘發し且粉碎することが出來た。

四、支那の民族解放鬪爭に於ける唯一の堡壘としてのソヴィエト政府及び紅軍の成長。昨年中ソヴィエト政權は、支那に於ける帝國主義の支配及び封建制度の遺物を決定的に絕滅しやうとする革命の現段階に於ける任務を提起したけれども、國の中心から比較的遠距離にある爲に、それは當初勤勞者大衆の眼前に於て、先づ第一に支那に於ける農業革命の擔當者の役割を演じた。然し最近一年間には、廣汎な統一的民族革命戰線の設立事業に於ける中國共產黨の熟練せる、柔軟且機動能力ある戰術に依つて、又時宜を得た反帝國主義的及び反國民黨的進出に依つて、ソヴィエト政府は唯一の國民的、反帝國主義的政府として巨人的に成長した。此の政府のみが、支那の獨立と保全と統一の爲の日本及び其の他一切の帝國主義に對する、武裝國民の民族革命戰爭を實際に展開することが出來るし又展開するであらう。

中華ソヴィエト共和國の中央ソヴィエト政府は中國共產黨中央委員會の指導下に、最近一年間の實踐に依つて次のことを示すことが出來た。卽ち今日までそれは全ソヴィエト地區を、一個の連續せるソヴィエト共和國に、地域的に統一することが出來なかつたにも拘らず、中華ソヴィエト共和國の全領域に亘つて、統一的な行政組織、統一的な經濟政策、統一的なソヴィエト組織機構、統一的な租稅及び財政政策が實行され、中央執行委員會、人民委員會議及び革命軍事會議を先頭に戴く統一的・軍事的及び政治的指導が實現されてゐること、是である。是に依つて支那ソヴィエト政府は、それが先づ第一に勞働者農民の政府であつて、たとへ地域的には、まだ全ソヴィエト地區を統一してゐないとしても、實際上は全支那の革命的統一を眞に達成し得る唯一の政府である點に於て、南京政府其の他の支那の國民黨軍閥官僚の政府と異なることを示した。同時に國民黨の南京政府は、たとへ國民黨的支那に於ける中央政府と自稱してゐるにしても、事實上は其の領域に於て各々の軍閥、各々の官吏及び各々の劣紳及び土豪さへもが自分勝手に秩序を立てゝ居り、彼等各自が租稅を定め且徵收し、苛斂誅求をなす權利を持ち、彼等各自が自分自身の法律や規則を持つてゐるといふやうな狀態である。

以上述べたことに依つて、中華ソヴィエト共和國が既に近代國家の一切の條件と要素を持ち、文化的な人民共和國と稱せられるに値することは明かである。

正にそれ故に、今日迄歐米及び東洋の一資本主義國すらもが、まだ公式には中華ソヴィエト共和國を法律的に認めてゐないにも拘らず、外國の諸强國及び支那軍閥諸政府は既に事實に於て公然と是を認めざるを得なくなつてゐる。此のことは先づ第一に其の經過に就いて見れば明かである。或る新聞は中華ソヴィエト共和國を征服し得ないことを認めるべく餘儀なくされ、他の新聞はソヴィエト政府を支那に於ける最良の、最もよく組織せられた政府と認め、第三の新聞はソヴィエト支那に於ける住民の幸福は國民黨の支那に於けるよりも高度であると考へ、第四の新聞は支那統一の唯一の希望はソヴィエト政府であると述べてゐる等々。

此處に幾多の例がある。國際聯盟に對するリットンの報告にはかう書かれてゐる、「支那に於ける共產主義は單なる政治上の教義ではなくなつた。支那には獨立の共產黨が創設せられたのみならず、それは國民政府の競爭者となつた。何故なら支那に於ける共產主義は自分自身の法律、自己の軍隊及び政府を作り出し、而して自己の領土的勢力範圍を持つてゐるからである」。

イギリス帝國主義の公認機關紙「タイムス」の一九三三年十一月十三—十四日の紙上には「支那に於ける共產主義」といふ表題で、最近まで江西及び湖南のソヴィエト地區にゐた人物の論文が揭載せられてゐる。此の論文に於て彼は次の如く書いてゐる。

「中華ソヴィエト共和國は宣言された。それは——現に統治してゐる如く——一定の地區を統治することゝなつた。此の地區の鞏固な中心は江西の中部及び南部、

福建の西部であるが、更に次々に湖南、廣東、湖北の一部を包括した。

多くの人は――と論文は續けて云ふ――此の場合共産主義とは、匪賊行爲、不滿、失業等の普通の現象に對する鄭重な稱呼に過ぎないと考へてゐる。然し彼等は非常に誤まつてゐる。江西に於ける反共産主義勢力の戰線、次いで湖南を經て南方への旅行を基礎とする次の觀察は、より正確な、安心を許さない結論に導く材料を與へるであらう。

支那の呪咀は消極主義である。然し支那の共産主義者は決して消極的ではない。赤色地區は首都瑞金に本部を有する中央政府に依つて統治されて居り、而も嚴重に統治されてゐる」。

アメリカの自由主義的週刊雜誌「ニュー・リパブリック」は九月二十七日號の「赤色支那」といふ表題の論文に於て、次のやうに書いてゐる。

「ソヴィエト地區は尊敬すべき司令官に依つて支配されてゐる隣接の地區よりも、比較的により繁榮狀態にある。此處では收穫が多く、租稅は低く、河岸の堤防は著しく高い。……其の存在中、ソヴィエト權力は此處で貨幣流通を調整し、國民敎育の領域に於ける大なる成功を達成した。……間斷なき戰爭の六年間に、ソヴィエトは、それが支那に於ける唯一の、眞實の人民政府であることを示した。北方の司令官達は、日本帝國主義からの補助金を持つた日本の奴僕である。南西の廣東人はイギリスの影響下にある。蔣介石と彼の南京政府は、借款と軍需品とを供給して呉れる任意の强國に聽從する用意がある。彼等は日本人に服從してゐるが、最も多くアメリカ資本主義に共鳴してゐる。ソヴィエトは如何なる外國の援助も、如何なる補助金も、如何なる借款も、彼等が敵から分捕つた以外に如何なる武器をも受取つてはゐない。若し沿岸のロボット政府が西洋又は日本の支持を失つた場合には、全支那は數箇月又は數年の中に共産主義化するであらうといふことを、ソヴィエトは絶えず示してゐる」。

日本で發行せられてゐる新聞も亦、斯く認めることを餘儀なくされてゐる。「嘗つての滿洲王朝に反對して起つた暴動以來、他の如何なる出來事よりも大なる役割を支那の民族解放の事業に於て演ずるべく運命づけられた運動が起つてゐる。四川に於ける成功が江西に於ける紅軍の牽制の結果、可能となつたことは全く明かである。若し此の接觸と提携とが南京を不安ならしめるとすれば勿論それは諸强國をも不安ならしめるであらう。玆に支那の眞の統一に對する希望が潛んでゐるが、それは若干の强國には全く不都合且不利である」。

（「ジャパン・クロニクル」、一九三三年三月十一日號）。

日本新聞「大阪每日」の一九三三年十月十四日號の支那紅軍の狀態に關する、福建からの其の特派員の論文に於て、「支那のソヴィエト地區の住民は今日紅軍の到着前よりも良い條件にある」と書いてゐる。

天津で發行せられてゐる支那の大ブルジョア新聞「益世報」は其の社說に於て一度ならず斯く聲明した、「支那に於ける內部抗爭の問題に就ては、我々は常に『支那人は失ひ而も支那人は儲ける』と云ふ舊い有名な形式で意見を持するものである」。

「ケレンスキーはロシヤのツァーを打倒したが――と社說は更に述べてゐる――ロシヤは强國として無難に殘つた。レーニンはケレンスキー政府を顚覆してソヴィエト政府を樹立したが、而もロシヤは獨立の强國として殘つた。國內に於ける政治的變革といふものは起るがまゝにして置けば好いのだ。結局此の問題は第二義的なものである。然し國民を外國人の奴隸にし、民族を奴隸的民族たらしめることは、何としても我慢することは出來ない」。

最後に、次の事實は特に重要である。最近既に次の樣な現象が現れて來た。卽ち軍閥の個々の黨派が、紅軍との戰鬪に於ける度々の敗北の後、自己の兵士大衆竝に中級及び下級の指揮官の一定の部分さへからも革命的氣分の强力な壓迫を受けて、或は、彼等は紅軍との戰鬪を續けるべきか（それは疑ひもなく彼等の完全な壞滅を意味するであらう）、或は、此の袋小路からの出口を見出す爲に自己の武器を日本帝國主義と其の走狗たる蔣介石とに對する鬪爭に向けるべきであるか、といふ問題を公然と、露骨に提起し始めた。

全支那及び全世界の面前に於ける眞に獨立の人民共和國としてのソヴィエト支那の成長――此處に今や主要な點があるのである。

b ソヴィエト支那以外に於ける革命運動の
より以上の成長

是は特に滿洲、熱河、北支那及び福建に於ける支那の極めて廣汎な大衆の、反帝國主義的及び特に反日本的武裝鬪爭のより以上の展開の中に、勞働者大衆の鬪爭のより以上の革命化と擴大の中に、農民運動の廣汎な發展と、其の中に於けるプロレタリアートと其の共

産黨及びソヴィエト權力の指導と影響の强化の中に、軍閥軍の兵士大衆の士氣沮喪と革命化の中に、小ブルジョアの左傾と其の巨大な部分の國民黨其の他の反動的諸黨派の影響からの解放の中に表現せられてゐる。

總て上述した處から見て、現時の支那が、共産黨に率ゐられる勝利的ソヴィエト革命が行はれてゐる處の、全資本主義世界に於ける唯一の國であることは明かである。

中華ソヴィエト共和國、中國共産黨は既に現代支那の全政治生活に於ける基本的な要因となつたのみならず、また世界政治の決定的な要因の一つとなつた。

是は過ぐる一年間に於ける世界政治の最も主要にして新しいモメントの一つである。

B　戰爭及び干渉の擴大及び深化

然し支那には革命のみが進行してゐるのではない。それと平行して戰爭と干渉とが行はれてゐる。昨年中、支那に於ける戰爭と干渉とは同じく擴大した。支那に於ける戰爭は既に、早くから始まつてゐるが、今日迄此の戰爭の性質はアメリカやヨーロッパの總ての勞働者と勤勞者とにとつて明瞭ではなかつた。一體如何なる戰爭が今日支那に於て行はれてゐるのであるか？

——革命的戰爭と反革命的戰爭とである。支那に於ける革命的戰爭は種々の形態で現れてゐる。其の最高の形態は、共産黨及びソヴィエト政府の指導の下に、鐵の如き勞農赤軍を先頭に有する武裝人民に依つて行はれてゐる戰爭である。此の戰爭は同時に、反帝國主義的、民族解放的、反國民黨的及び革命的・市民的性質を持ち、而して總ての是等の特徵は互に絡み合つてゐる。其の最初の形態と段階は、例へば滿洲や、熱河や其の他の地方に於ける今日の抗日パルチザン戰爭、盜賊的占領者と國民的裏切者蔣介石、黃郛、溥儀を武力に依つて追放せんとする人民の戰鬪的意志を表現する處の、廣汎な人民大衆に依つて行はれてゐる戰爭であり、或は國民黨の租稅や苛稅に對する勤勞者大衆の武裝的進出の形態を取り、或は地主、官吏及び警察制度に對する地方農民の暴動、結局に於て帝國主義に對する武裝鬪爭に不可避的に轉化する進出の形態を取る反國民黨的及び反軍閥的人民戰爭である。

支那に於ける反革命戰爭は、支那の完全な分割及び再分割の爲の帝國主義戰爭であり、支那の人民革命に對する帝國主義者の干渉戰爭である。此の際兩者は、根本に於て互に絡み合つてゐる。

過ぐる一年間に支那に於ける革命及び反革命戰爭竝に干渉は益々廣く且深く發展した。

私は、第一に、中華ソヴィエト共和國と其の英雄的な紅軍に對する干渉戰爭に就て述べやう。私は既に帝國主義者及び國民黨の第五次反ソヴィエト遠征が支那史上未曾有の大軍事遠征であつたことを述べた。然し第五次遠征が赤軍に依つて粉碎された後、蔣介石、劉湘其の他の國民黨軍閥は、世界の帝國主義者の貨幣及び武器を以てする一層大きな援助の下に、更に一層大規模な第六次反ソヴィエト遠征を組織し且實行しつゝある。アメリカ帝國主義は此の遠征の成功的な組織と遂行との目的を以て、南京政府に對し「棉麥借款」の形で五千萬米弗、南京政府の爲にアメリカに於て軍用飛行機八百五十臺の建造を目的とする所謂飛行機借款の爲の四千萬米弗の借款を提供した。而して右の內百五十臺は既に支那へ送られた。イギリス帝國主義は蔣介石に五百萬磅、劉湘（四川の軍閥）に二百萬磅を提供した。日本の掠奪者は、一方では、蔣介石と所謂「北支の休戰」を締結し、以て後者に、紅軍に對して全軍を動員し得る可能性を有せしめた。而して他方では日本帝國主義は、南京がアメリカから受取る棉花の大部分を、蔣介石の爲に武器及び軍需品と交換して獲得してゐる。日本帝國主義は蔣介石に對して自己の軍事力を示威し、ソヴィエトに對し支那に於ける「赤色の危險」を排除する爲の彼の鬪爭に於て彼に出來る限りの援助を與へる用意があることを力强く示威し、以て蔣介石をアメリカ資本の影響下から完全に切り離し、彼を自己の公然の忠實な手先に變へやうとしてゐる。北米合衆國、イギリス、ドイツ、日本、フランス、イタリー、オランダ、ベルギー、ポーランド其の他の國々の港から支那へ——上海、南京、九江、南昌、武漢、廣東其の他へ、機關銃、大砲、戰車、飛行機、軍需品、化學材料を積んだ數十隻の汽船が陸續として來港してゐる。以前五回の遠征に於て粉碎せられた國民黨の刑吏達は、此のお蔭でのみ、紅軍に對する大々的な第六次遠征に於て新たに組織する可能性を有するのである。此の遠征に於て蔣介石其の他の刑吏達は中央ソヴィエト地區に對して、江西、福建、浙江、廣東及び湖南の省境へ四百四十四萬二千人を動員し、湖北——河南——安徽のソヴィエト地區に對して十三乃至十五箇師、湖北——湖南のソヴィエト地區に對して八箇師、四川

のソヴィエト地區に對して二十箇師以上を動員することに成功した。然し問題は是に止まらない。

ソヴィエト支那に對する第六次反革命的遠征は、國際的帝國主義反革命の直接且公然の參加の下に行はれてゐることに於て、國民黨の一切の以前の反ソヴィエト遠征と異なる。百五十人のアメリカ及びカナダの飛行家が江西——福建——湖南の戰線に勤務してゐる。多數のアメリカ及びドイツの化學者及び軍事技術の專門家が蔣介石に雇はれてゐる。前ドイツ國防軍の指揮官ゼークト將軍が他の二人の將軍——ヴェツェルとクリベルー——及びドイツ參謀本部の將校七十人と共に第六次遠征の實行の爲に軍事計畫を作成したのみならず、彼等自身國民黨軍の戰鬪行爲に直接參加してゐる。卽ち世界資本の是等の傭兵共は、自由なソヴィエト支那に對して今日恐るべき空中戰及び化學戰を行つてゐるのである。嘗つての社會民主黨時代の伯林警視總監グルジェジンスキーと其の助手社會民主主義者ウェイスは紅軍との鬪爭に於て其の背後を確保する爲に、國民黨の警察を再組織すべく南京へ到着した。而して此の事實は偶然ではない。是はドイツの社會ファシスト及び第二インターナショナルの指導者達の眞正の血

塗れの顏の反映である。是と平行してアメリカ、イギリス、日本、フランス、イタリーの艦隊が鐵の環を以て支那の一切の主要な都市及び港を取り卷いてゐる。是等帝國主義國の艦隊は自己の戰鬪的用意を示威したし、何時でも支那の蜂起せる勞働者及び農民に對して直接的軍事行動を開始することが出來るのである。然し萬縣（揚子江畔に於ける一川の大きな商港の一つ）では、一方イギリス、日本及びイタリーの艦隊と、他方第四紅軍、蜂起した勞働者、都市貧民及び農民との間に、時々刻々激烈な戰爭が迫つてゐる。

考慮しなければならないことは、帝國主義列强〻離間せしめる對立にも拘らず、蔣介石の第六次遠征の財政的及び軍事的準備の統一戰線への帝國主義列强の直接的參加、此の遠征の作戰遂行への彼等の兵力の直接且公然の參加は、ソヴィエト支那と其の紅軍が前五回の遠征に於て擊破し難いものであることが判り、反革命的國民黨が支那に於ける成長しつゝあるソヴィエト革命を打破するに無力であることが判つたこと、中華ソヴィエト共和國の政策と成功とが既にソヴィエトの事業を事實上、全支那國民の廣汎な大衆の事業に轉化し、ソヴィエトは國民から自己の民族的開放の爲の革命的

鬪爭の精力を汲み取つてゐること、またソヴィエト支那が、印度支那、印度、日本、インドネシア、キューバ、朝鮮、臺灣に對して、卽ち中華ソヴィエト共和國を手本にして、如何に外國及び自國の壓迫者及び搾取者に對して鬪爭しなければならないかを學びつゝある全東洋竝に全植民地及び半植民地世界に對して、巨大な革命化的影響を及ぼしてゐることのみに基いてゐるのではないことである。さうではなくて、問題は、現在ソヴィエト支那が、ソヴィエト聯邦に次ぐ世界第二のソヴィエト共和國であり、最終的崩壞と貧困化から自己を救濟する爲の革命的鬪爭に於ける全支那人民の唯一の支柱であり希望であつて、それが多年に亘つて存在してゐるといふことのみで萬國のプロレタリア及び勤勞者を鬪爭に召集し、彼等に自己の力と勝利とに對する確信を吹き込み、同時に國際資本主義の深刻な腐敗を明瞭に證明し、支那及び世界を新たに再分割すること、支那を軍事的足場と化すること及び新しい戰爭を準備することを妨げ、資本主義體制の一般的危機の條件の下に於ける多年の經濟恐慌に依つて喚起された資本主義の治療し難い疾患を和らげる爲に、國際資本にとつて特に必要な支那の廣大な市場に於ける帝國主義者の支配を妨害するものであることにある。世界的事件の發展の見地からすれば、帝國主義者等の第六次遠征への此の參加は、正に、太平洋に於ける此の革命的戰場の破壞が、世界帝國主義にとつて、太平洋に於ける世界帝國主義戰爭、而して第一に、東洋からのソヴィエト聯邦に對する、帝國主義者等の反革命的干涉戰爭の準備及び、實行に必要な條件であり、また世界プロレタリア革命と世界ソヴィエト共和國の爲の鬪爭とに對して向けられてゐることに基いてゐるのである。

私は第二に、支那の完全且決定的な分割の爲の帝國主義戰爭に就て述べやう。過ぐる一年間に日本の占領者は、滿洲に次いで熱河、察哈爾を武力を以て占領し、而して北支那に對する自己の完全なる統制を樹立した。今や德王を首領とする買收せられた蒙古の貴族及びラマ僧を通じて、また內蒙古の「獨立」と云ふ口實の下に、日本の掠奪者共は內蒙古に於ける完全な支配を獲得した。帝國主義戰爭を行つてゐる英國の橫領者共は、自己の走狗である西藏の封建領主——其の軍隊は、イギリスの新聞自體の報道に據れば、イギリスの軍服を着用し、イギリスの大砲、機關銃及び小銃を所持し、